第5章　地域放送局

①全国８地域のそれぞれの冒頭で，2013年度のその地域の放送局の特記事項を要約した。
②「地域放送番組編集計画」（⇒p.580）

Ⅰ．地域放送番組の編成

13年度は地域の再生，活性化に貢献するため雇用，観光，教育，医療，福祉，農業などの領域で，地域が抱える問題と向き合った。それぞれの地域の特性や視聴者の関心に応じ，地域に密着した番組や連動したイベントを展開するとともに，全国に地域の情報を発信した。また，地域の豊かな自然，温かい人々のつながりや暮らしを舞台にした地域発ドラマを制作し放送した。

１．地域の実情に応じた放送サービスの充実

13年度も各放送局は，それぞれ地域の実情に応じた編成に取り組んだ。総合テレビ午前の情報番組では，『ひるまえほっと』（関東地方），『ひるとく』（長野県域），『東海北陸フレッシュ便　さらさらサラダ』（中部地方），『こと金！』（石川県域），『はっけんTV』（九州・沖縄地方），『沖縄ちゅらTV』（沖縄県域），『ひるはぴ福島』（福島県域）を新設した。

夕方のニュース・情報番組では『ニュースブリッジ北九州』（北九州域），『おきなわHOTeye』（沖縄県域）を新設した。

また，『北海道クローズアップ』「津波避難は変わるか～海底観測網の挑戦」，『クローズアップ東北』「“認知症800万人”時代～地域力で災害から守れ」，『知るしん。信州を知るテレビ』「大地震から命を守るために～長野県北部地震から３年」，『ナビゲーション』「津波の前に“水”が来る～海抜ゼロメートル地帯の脅威」（中部地方），『震災19年～真の復興へ　やらなあかんことがある』（近畿地方），『フェイス』「記録的豪雨　特別警報　どう命を守るか」（中国地方），『四国羅針盤』「巨大津波　避難の処方箋～一人一人の命を守るには」，『特報フロンティア』「防災対策は進んだのか～九州北部豪雨から１年」（九州･沖縄地方）など，震災復興支援をはじめ，防災意識の向上など地域が直面している課題を取り上げる多様な番組を放送した。また，地域の関心の高いスポーツ中継を随時，放送した。

ラジオにおいては，第１放送で，災害時の機能強化を目的に『夕刊　ゴジらじ』（東海地方），『金曜夕方　どぉ～かいの！』（広島県域），『はっけんラジオ』（九州・沖縄地方），『福島のお耳にふくみみラジオ』（福島県域），『北海道まるごとラジオ』（北海道地方）などを新設した。

２．地域発全国放送番組の充実

地域を舞台に地域放送局が制作した地域発ドラマとしては，『父の花、咲く春』（岐阜局），『狸（たぬき）な家族』（徳島局），『恐竜せんせい』（福井局），『菜の花ラインに乗りかえて』（千葉局），『田上トパーズ！』（大津局），『私の父はチャンポンマン』（長崎局），『木曽オリオン』（長野局），『ちょっとは、ダラズに。』（鳥取局），『苦くて、甘い』（福岡局），『そんじょそこら商店街』（大分局），『ダルマさんが笑った。』（高知局）をBSプレミアムで放送した。

地域からの全国発信枠として，総合テレビでは，各地のニュースや話題，そして日本のいまを“まるごと”伝える『情報まるごと』を新設するとともに，地域の旬の話題を生放送で紹介する『ひるブラ』を継続した。『ろーかる直送便』では，各地の文化や風土，土地に暮らす人々，直面している課題への取り組みなど，地域放送局が制作した番組を全国に発信した。

Ⅱ．地域放送局の組織

１．地域拠点局

本部を除く53の放送局のうち，大阪，名古屋，広島，福岡，仙台，札幌，松山の７つの放送局を地域拠点局と位置づけ，域内各放送局の支援・調整機能を持たせている。

地域拠点局の組織･業務体制は，放送部（大阪･名古屋は編成部，制作部，報道部），技術部，広報･事業部（大阪・名古屋は広報部，事業部），営業推進部，企画総務部である。なお，これに加えて，大阪には考査部が，また，大阪に４か所，名古屋に２か所，札幌に１か所の営業センターがある。

地域拠点局は，各組織が緊密な連携のもとで，地域サービス充実のための業務運営を推進している。

２．放送局

放送局の組織・業務体制は，放送部，技術部，営業部の各部が連携しながら全局を挙げて視聴者本位の地域サービス充実のための業務運営を推進している。

北　海　道

◇北海道では，さまざまな番組で，北海道の豊かな自然や食，地域の魅力を全道・全国に発信するとともに，TPP交渉やJR北海道問題など，地域の関心の高い課題を多角的に伝えた。
◇災害に対応できる設備・体制を強化するため，簡易IP中継・伝送システムを導入し，事件・事故や災害の初動で活用した。
◇“I LOVE JIMOTO 北海道”キャンペーンを通年で展開し，各キャスター等のスポット放送や多彩なイベント・PRなどで，公共放送の存在感を示す活動に取り組んだ。
◇北海道７局が一体となり，夕方６時台のニュース番組や『北海道のナンモン！』などに，オール北海道の体制で取り組み，地域サービスの充実を図った。

Ⅰ．放　送

１．放送の概要

NHK北海道は，７つの放送局が緊密に連携し，豊かで質の高い地域放送サービスを行っている。

報道では，道民の安心・安全を守るため，あらゆる伝送路を駆使して防災・減災につながる情報を提供した。７月の参議院選挙では，正確かつ迅速な報道を行った。

番組では，「エネルギー」「観光」「TPP（環太平洋パートナーシップ協定）」「JR北海道」をテーマに，視聴者参加の大型番組『北海道のナンモン！』を放送し，北海道が抱える課題に正面から向き合った。また，インターネットを活用して，家族で楽しめる生中継番組『北スペシャル～夜の動物園でドキドキしナイト』を制作・放送した。ソチオリンピックの開幕直前には，『ソチで輝け！どさんこアスリート』を放送し，関連番組の集中編成とともに大会への期待を高めた。

（１）ニュース・報道番組の強化

４年目を迎えた平日午後６時台の『ネットワークニュース北海道』では，道内７局のネットワークを活用し，地域のニュースや話題をきめ細かく分かりやすく伝えた。

金曜午後７時台には『北海道クローズアップ』を原則毎週編成し，TPP交渉の行方や道内関係者の対応，事故が多発したJR北海道についての検証など，北海道が直面する課題に向き合い，将来へのヒントを探った。特に大きな課題については『北海道のナンモン！』として結実させ，視聴者とともに考えた。

13年３月に発生し多数の死者を出した暴風雪のような被害を出さないためにも，防災・減災の視点から，荒天時などではあらゆる伝送路を活用し，柔軟な編成で警戒を呼びかけた。また，現場から機動的に映像を伝送できる新システムを開発し，緊急報道体制の強化を図った。

７月の参議院選挙に際しては，選挙の結果をきめ細かく報道したほか，選挙戦の最新情報を届ける『北海道クローズアップ』を放送し，有権者の関心に応えた。

選手団の半数以上を道内関係者が占めたソチオリンピックに際しては，開幕直前に『ソチで輝け！どさんこアスリート』を放送したほか，多くの関連番組を道内向けに放送して，視聴者の期待に応えた。

（２）道内の幅広い視聴者に向けた番組の充実

金曜午後８時台は，12年度に続き，家族で楽しめるゾーンと位置づけ，『北海道中ひざくりげ』『いくぞ～！北の出会い旅』をはじめ，『北海道発掘バラエティー　ホリホリX』など，道内各地の自然や人の魅力を紹介する多彩な番組を放送した。

若い世代に向けた番組ゾーンは月曜午後11時台に移設，ツイッターを活用した双方向番組『穴場ハンター』をはじめ，新感覚のドキュメンタリー『脳内ドキュメンタリー　考える人』や，アーカイブス映像を活用した『北海道100年ニュース』などを放送し，視聴者層の拡大を図った。

（３）北海道の魅力や問題を全国へ発信

11月に総合テレビで放送した『探検バクモン～北海に眠る黒ダイヤ』は，釧路局が制作参加して国内唯一の炭坑の知られざる内側を紹介した。また３月には総合テレビで，世界でもまれな極寒・豪雪の地にある朱鞠内湖（しゅまりないこ）の自然を見つめた『雪の魔法～日本一寒い湖の物語』を放送した。

一方で，北海道を通して日本の課題を問う番組も制作した。７月には『戦後史証言プロジェクト～日本人は何をめざしてきたのか～釧路湿原・鶴居村～開拓の村から国立公園へ』をEテレで放送，10月には総合テレビで『地方発　ドキュメンタリー～ロージナ（ふるさと）～北方領土　色丹島のロシア人』を放送した。

（４）デジタルサービスの充実

防災教育コンテンツ「防災IT教室」を継続して展開したほか，青少年・教育番組部や道教育委員会と連携して「北海道いじめを考えるキャンペ

ーン」を展開した。

データ放送では，北海道の生活に密接に関わる「雪道NAVI」や「除雪情報」「飛行機・JR空席情報」などを提供した。

番組連動は，『穴場ハンター』『つながる@きたカフェ』の「川柳サロン」で安定的に運用しながら，生中継番組『北スペシャル～夜の動物園でドキドキしナイト』に結実させた。

（５）地域貢献への取り組み

道内の視聴者に，地域の放送局に親しみをもってもらうとともに，地域の魅力を再発見し，元気になってもらうことを目的に，『I LOVE JIMOTO 北海道』キャンペーンを展開，30秒スポットと５秒クラッチを制作して年間を通して放送した。

２．地域放送番組

（１）定時番組

『NHKニュース おはよう北海道』　G

月～金　7:45～ 8:00

『NHKニュース おはよう北海道　土曜プラス』　G

土　7:30～ 8:00

第１回93.4.5／北海道ブロック／北海道の朝の最新ニュースと詳しい気象情報を丁寧にまとめた地域密着のニュース情報番組。暮らしに役立つリポートのほか，全道各地からの中継や天気カメラで北海道の朝の表情を生き生きと伝えた。

土曜は，『土曜プラス』として地域の課題を掘り下げる「土曜プラス特集」，各局のリポーターが道内各地を訪ね歩く「ぶらりみてある記」などで，地域の話題を多彩に伝えた。

『つながる@きたカフェ』　G

月～金　11:30～12:00

第１回10.4.2／北海道ブロック／“つながる”をコンセプトに，視聴者からの写真やお便りを随時紹介，道内各局のネットワークを生かし，北海道各地の旬の話題，各地のイベント情報を生放送で届けた。

『ネットワークニュース北海道』　G

月～金　18:10～18:59

第１回10.3.29，最終回14.3.28／北海道ブロック／道内７局のネットワークを生かし，北海道のその日１日のニュース，深く掘り下げた特集を伝えたほか，各局をリレーで結び道内各地の話題もテンポよく紹介した。

『ニュース北海道845』　G

月～金　20:45～21:00

第１回13.4.1，最終回14.3.28／北海道ブロック／北海道の１日のニュースを伝えるニュース番組。午後７時以降の新たなニュースや，きめ細かい気象情報を分かりやすく伝えた。

『ニュース北海道645』　G

土・日　18:45～18:59

第１回13.4.6／北海道ブロック／土曜，日曜の北海道のニュースを伝えるニュース番組。１日の北海道のニュースや，きめ細かい気象情報を分かりやすく伝えた。

『北海道クローズアップ』　G

金　19:30～19:55

㊐日　8:00～ 8:25

第１回93.4.1／北海道ブロック／北海道の“いま”を見つめ，“これから”を問う番組。防災・減災をはじめ，TPP交渉の影響や，事故が多発したJR北海道，世界遺産・知床の現在など，北海道で起こるさまざまな出来事や，直面する課題について継続的に取材，放送した。また，地域で生き生きと輝く人々に密着した「ヒューマンストーリー」も随時放送した。

主な内容／「TPP“強い酪農”への道」「“新世代ベアーズ”に揺れる知床」「検証・JR北海道～なぜトラブルは続くのか」「動き出した“国立アイヌ博物館”」「家族でつかんだソチ～アイスホッケー・床亜矢可」「孤立死をどう防ぐ～新たな見守り」「待ったなし！北海道の空き家対策」など

『北海道のナンモン！』　G

金　19:30～20:45

㊐土　10:05～11:20

北海道ブロック／北海道が抱える大きな課題を徹底的に掘り下げ，詳しい分析と分かりやすい解説で問題を浮き彫りにし，視聴者とともに北海道の未来を考えた。年間で４本制作した。

「自然エネルギー王国　北海道の可能性を生かせ！」

札幌・旭川局　6. 7

「ダイジョウブ！？“観光王国”北海道」

札幌・函館・旭川・釧路・北見局　9.20

「いよいよ大詰めTPP！どうする北海道」

札幌・旭川・帯広・釧路局　11.22

「どうした？どうする！？JR北海道」

札幌局　3. 7

『北スペシャル』　G

金　20:00（19:30）～20:43

㊐土　10:35～11:18

※「北海道中ひざくりげ」は㊐日　8:00～ 8:25

第１回10.4.2，最終回14.2.28／北海道ブロック／“家族みんなで楽しめる番組”をコンセプトに，

「北海道中ひざくりげ」「いくぞ～！北の出会い旅」などの旅番組，北海道の知られざる魅力を探し出すバラエティー番組，豊かな自然を描くドキュメンタリーなど多彩な番組を編成した。

「北海道中ひざくりげ」
〔気合い一撃！150人の朝稽古～札幌・中央体育館界わい〕
札幌局　4.12／20:00～20:25
〔小さな塾から夢羽ばたいて～中川町〕
旭川局　5.24／20:00～20:25
〔故郷の味　地豆にかける～大樹町〕
札幌局　6.21／20:00～20:25
〔一瞬の夏を楽しめ～小樽　海岸線を行く〕
札幌局　8. 2／20:00～20:25
〔コスモスでつながる町～遠軽町〕
札幌局　9.13／20:00～20:25
〔幻のたまねぎに夢のせて～札幌・丘珠町〕
札幌局　10.18／20:00～20:25
〔家族の心ひとつ　りんごの里～壮瞥町〕
札幌局　11. 1／20:00～20:25
〔人を運んで　つないで100年～函館・路面電車〕　函館局　12. 6／20:00～20:25
〔誇りをもって　いまに生きる～阿寒湖アイヌコタン〕　釧路局　1.10／20:00～20:25
〔この街で、一人前になる～札幌ススキノ〕
札幌局　3.14／20:00～20:25

「ネイチャリング北海道」　札幌局
〔スノーシューで青い川を目指せ！〕
4.12／20:25～20:43
〔余市の森で山菜ガール！〕
5.24／20:25～20:43
〔爽快！　マウンテンバイクで山遊び〕
6.21／20:25～20:43
〔石狩浜でサンドアートに挑戦！〕
8. 2／20:25～20:43
〔アイデアは自然から！立体アートづくり〕
9.13／20:25～20:43
〔くん製づくりで秋の恵み満喫！〕
10.18／20:25～20:43
〔森はワンダーランド！廃線トレッキング〕
11. 1／20:25～20:43
〔大空を舞え！スポーツカイトに挑戦〕
12. 6／20:25～20:43
〔太平洋！旬の味覚を釣り上げろ〕
1.10／20:25～20:43

「いくぞ～！北の出会い旅」　札幌局
〔雪の下からミラクルポン！〕
5.17／20:00～20:43
〔しらかば、あおぞ～ら〕
6.14／20:00～20:43
〔あっ！空知でみ～つけた〕
7.19／20:00～20:43
〔とことこ知床！〕　9. 6／20:00～20:43
〔エブリデー！いぶり〕10.25／20:00～20:43
〔シュッ！ポッポー　七飯町〕
11.29／20:00～20:43
〔あけまして　根室！〕　1.17／20:00～20:43

「ホリホリX」　札幌局
第１回〔北海道のシンボル〕
4.26／20:00～20:43
第２回〔北海道に昔からあるのに意外と知られていないモノ〕
7.26／20:00～20:43
第３回〔北海道の挑戦者たち〕
10. 4／20:00～20:43
第４回〔北海道の達人スペシャル〕
2.28／20:00～20:43

「厳冬　利尻～究極のスキー大滑降」
札幌局　4.19／19:56～20:45
「日本一困難な除雪～知床横断道路　雪と闘う男たち」　釧路局　5.10／20:00～20:43
「夜の動物園でドキドキしナイト」
札幌局　7. 5／20:00～20:43
「あの日の記憶と生きる～奥尻島・被災者の20年」　函館局　7.12／20:00～20:43
「北のまほろば～野付半島の四季」
札幌局　8.30／20:00～20:43
「世界遺産　知床の海～コンブの楽園から命あふれる」　札幌局　9.27／20:00～20:43
「激闘！ご当地ンピック　in北海道」
札幌局　10.11／20:00～20:43
「北の大地を歩きつくそう2013～ぶらりみてある記スペシャル」
札幌局　11.15／20:00～20:43
「目指せ“ワイン王国”～醸造家　ブルース・ガットラヴの挑戦」
札幌局　12.13／20:00～20:43
「北の大地コンサート2013」
札幌局　12.20／19:30～20:43
「ソチへ　心ひとつに～カーリング女子日本代表」　札幌局　1.24／20:00～20:43
『ソチで輝け！どさんこアスリート』　G
札幌局　1.31／19:30～20:45

開幕が迫ったソチオリンピックを前に，髙梨沙羅選手など多くの注目選手の横顔や競技の見どころを紹介した。

月曜夜間の独自編成番組　G

22:55～23:19

第１回11.5.13，最終回14.3.10／北海道ブロック／30～40代以下の若い視聴者に向けて，旅，音楽，アウトドアなどさまざまなジャンルの番組，ツイッターやデータ放送の双方向機能を使った生放送の番組，新しい題材や演出に挑戦する開発番組などを編成し，視聴者層の拡大を図った。

『穴場ハンター』　札幌局

「“懐かしい”穴場を探せ」　4. 8
「帯広で，強い男，強い女を探せ！」　5.20
「“絵になる”穴場を探せ」　7. 1
「利尻島でご当地アイドルを探せ！」　9.16
「苫小牧で場違いな穴場を探せ！」　9.30
「小樽で記憶に残る穴場を探せ！」　10.21
「釧路でハンター対決！」　12. 2
「函館でまつりな穴場を探せ！」　1.20
「岩見沢で鬼のような穴場を探せ！」　2. 3
「羊蹄山エリアで冬だけどホットな穴場を探せ！」　3. 3
「札幌・ススキノエリア」
3.14／20:25～20:43

『北海道100年ニュース』　札幌局

「北海道の若者」　4. 1
「観光編」　6. 3
「クイズ！北海道100年ニュース～北海道の“はじめて”」　8.19
「北海道今昔物語」　10.14
「すすきの」　12. 9
「クイズ！北海道100年ニュース～新春編」　1.13

『鈴井貴之　A道ベンチャー！』　札幌局

「season　1」　5.13
「第２話　登山」　9. 2
「第３話　再登山」　10. 7
「最終話　冬山」　3.10

『脳内ドキュメンタリー　考える人』　札幌局

「お菓子販売のプロデューサー」　4.15
「フランス料理シェフ　中道博さん」　7.22
「漫画家　板垣恵介」　9. 9
「シンガーソングライター　坂田おさむ」　11. 4
「ウエディングドレスデザイナー　伊藤羽仁衣」　1. 6

『北海バンド史道～前編』　札幌局　6.10
『北海バンド史道～後編』　札幌局　6.17
『ドキュメント舞台ウラ～すすきの　老舗ミュージックパブ』　札幌局　11.11
『札幌発ショートドラマ～三人のクボタサユ』　札幌局　11.18

『ドキュメンタリー５』　G

札幌局　土　12:40～12:45

第１回11.5.20／北海道ブロック／さまざまな人生，各地の暮らしの中にある，大切な“物語”を５分のドキュメンタリーで紹介した。

『おはよう　もぎたてラジオ便』　R1

月～土　7:40～ 8:00

第１回02.4.1／北海道ブロック／ニュース，気象情報，交通情報など各種の情報を分かりやすく的確に伝えた。また，道内の多様な取り組みの紹介や自然やイベント，スポーツ情報などを日替わりのテーマで伝えた。

『トウディ・リポート北海道』　R1

月～金　19:45～20:00

第１回95.4.3／北海道ブロック／北海道の１日のニュースを分かりやすく伝えるほか，きめ細かい気象情報を伝えた。

『北海道まるごとラジオ』　新　R1

木　17:00～18:00

第１回13.4.4／北海道ブロック／道民の安全・安心を守る地域放送局の発信を確保し，北海道各放送局がネットワークを駆使して地域情報を伝えた。

『道北♥LOVEラジオ』　R1

（第１）金　12:30～12:55

第１回12.4.6／旭川単／道北各地のタイムリーな話題や週末のイベントを伝える情報番組。地元学生と一緒に制作するコーナーも。

（２）特集番組

〔北海道ブロック〕

『LIVE　H』　G　札幌局　4.28／ 1:35～ 2:48

『北海道発音楽ドキュメント～歩きつづけるかぎり　遅咲きのロックバンド　怒髪天』　G

札幌局　5. 1／ 0:10～ 0:39

『札響FMコンサート』　FM

札幌局　6.15／19:20～21:00
札幌局　12.14／14:00～16:25

『クリエイティブ・フロンティア2013～学生たちが映像で伝える“愛”』　G

札幌局　9. 7／16:20～16:58

『防災ラジオ特集～命を守るために～奥尻から北海道へのメッセージ』　R1

札幌局　9. 8／13:20～15:30

『北の音楽隊～オーケストラと大冒険』　G

札幌局　10.12／16:00～16:48

『トムソーヤのたね～北海道　野遊び探検』　G
旭川局　10.26／15:05～15:29
『PMF2013　オーケストラ演奏会』　FM
札幌局　11. 3／19:20～21:00
『アイデア対決　全国高等専門学校　ロボットコンテスト2013～北海道地区大会』　G
札幌局　11.17／15:05～15:59
『巻き返せ！コンサドーレ～来シーズンこそJ1昇格』　R1　札幌局　12.14／16:05～16:55
『北の文芸館2013～朗読と音楽のライブセッション』
札幌局　G　12.15／16:35～17:29
R1　12.21／16:05～16:55
12.28／16:05～16:55
『ニュースハイライト北海道2013』　G
札幌局　12.27／17:10～19:00
『防災ラジオ特集～命を守るために～暴風雪に備える』　R1　札幌局　1.18／12:15～14:00
『銀のしずく～人形劇でみるアイヌ神謡集』　E
1.26／16:00～16:43
『市民リレー朗読会～生命（いのち）の絵を読む』　R1　旭川局　3.22／ 8:05～ 8:55
〔各局単〕
〔函館単〕
『NHKのど自慢予選会in厚沢部町』　G
7.30～31／15:15～15:59
〔旭川単〕
『NHKのど自慢予選会in東神楽町』　G
6.18～19／15:15～15:58
『旭川　お宝フィルムでQ』　G
11.23／10:30～11:13
『北の文芸館～道北・オホーツクの物語』　R1
3. 1／ 8:05～10:00
〔釧路単〕
『NHKのど自慢予選会in根室市』　G
9. 6／ 0:40～ 4:05
『くしろ冬ほたる』　G　12.19／16:50～16:55
〔北見単〕
『北の文芸館～道北・オホーツクの物語』　R1
3. 1／ 8:05～10:00
〔室蘭単〕
『密着！のど自慢予選会in苫小牧～みんなのうた声』　G　12. 9～10／15:15～16:00
『いぶりひだかミニ紀行　春夏秋冬～総集編』
G　3.17／ 1:35～ 2:18
〔各局共通〕
『第80回NHK全国学校音楽コンクール』
「北海道ブロックコンクール」　E
※北海道ブロック
札幌局　9.28／14:00～17:00
「小樽･後志地区、空知地区大会　小学校の部、中学校の部」　FM
札幌局　8.24／16:00～18:00
「札幌地区大会小学校の部、中学校Aの部、中学校Bの部」　FM
札幌局　8.25／14:00～18:00
「小樽・後志地区大会、札幌地区大会　高等学校の部」　FM
札幌局　9. 1／14:00～16:00
「道南地区大会」　函館局
FM　8.24／16:00～18:00
「道北地区大会」　旭川局
G　8.27／15:15～15:54
FM　9. 1／14:00～17:00
「十勝地区大会」　帯広局
G　8.23，26～31／11:50～11:54
FM　8.31／13:00～14:00
「釧根地区大会」　釧路局
G　8.26～28／11:50～11:54
FM　9. 1／14:00～16:00
「北見地区大会」　北見局
G　8.27／15:15～15:58
FM　8.25／14:00～15:55
「室蘭地区大会」　室蘭局
FM　8.25／14:00～17:00
『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』
札幌局　E
1.25，2. 1，8，15，22，3. 1／17:25～17:30
1.25，2. 1，8，15／20:50～20:55
1.26，2. 2，9，16，23，3. 2／ 8:55～ 9:00
函館局　G
2.26，28，3. 7，11～13／11:50～11:54
旭川局　G　2.25／15:15～15:58
帯広局　G
12. 2～ 4，6，9～11，13，16～18，20／11:50～11:54
釧路局　G　3.12～13／10:55～11:00
北見局　G　1.20～22，24，27／11:50～11:54
室蘭局　G　1.16～17，20～24／10:55～11:00

３．スポーツ中継

〔高校野球〕
第52回春季北海道高校野球大会　決勝
R1／ 6. 2
第95回全国高校野球選手権大会　南北海道大会地区代表決定戦　※各局単

札幌地区代表決定戦　R1／ 6.30～ 7. 1
小樽地区代表決定戦　R1／ 6.30
函館地区代表決定戦　R1／ 6.29
室蘭地区代表決定戦　FM・R1／ 6.30
第95回全国高校野球選手権大会　北北海道大会
地区代表決定戦　※各局単
空知地区代表決定戦　R1／ 6.30
名寄地区代表決定戦　R1／ 6.29
旭川地区代表決定戦　R1・FM／ 6.30
十勝地区代表決定戦　R1／ 6.29
釧根地区代表決定戦　FM・R1／ 6.30
北見地区代表決定戦　FM・R1／ 6.30
第95回全国高校野球選手権大会　北北海道大会
１回戦～決勝　R1・FM／ 7.13～19
準決勝・決勝　G・E／ 7.18～19
第95回全国高校野球選手権大会　南北海道大会
１回戦～決勝　R1・FM／ 7.15～21
準決勝・決勝　G・E／ 7.20～21
第66回秋季北海道高校野球大会
準決勝・決勝　R1／10.12～13
決勝　G・E／10.13

〔プロ野球　北海道日本ハムファイターズ戦〕

対「ソフトバンク」
G（サブ）4. 5／18:00～21:08
G　19:30～20:44
対「中日」　G（サブ）5.31／18:00～21:50
G　19:30～20:44
対「西武」　G（サブ）6.28／18:00～21:08
G　19:30～20:44
対「楽天」
R1　5. 2／18:05～18:50，19:30～21:45
対「阪神」
R1　6.13／18:05～18:50，19:30～20:43
対「広島」
R1　6.18／18:00～18:50，19:30～21:50
対「オリックス」
R1　7. 5／18:05～18:50，19:30～21:55

〔Jリーグ　コンサドーレ札幌戦〕

対「徳島ヴォルティス」
G（サブ）4.14／13:05～15:00
G　13:05～14:55
対「水戸ホーリーホック」
G　5.26／13:05～14:55
対「ギラヴァンツ北九州」
G（サブ）11.24／12:15～15:00
G　13:05～15:00
対「モンテディオ山形」
FM　3. 9／12:15～15:10

〔その他のスポーツ〕

〔北海道ブロック〕

第31回知事杯全道サッカー選手権～天皇杯全日本サッカー選手権代表決定戦
G　8.25／13:05～15:34
第28回NHK室蘭杯高校アイスホッケー大会　決勝「駒大苫小牧」対「北海」
E　10.20／14:00～15:45
第34回NHK杯カーリング　女子決勝
G　11. 4／14:00～16:20
アジアリーグアイスホッケー
「日本製紙クレインズ」対「王子イーグルス」
G（サブ）12. 8／15:05～17:30
G　15:05～16:59
フットサルFリーグ
「エスポラーダ北海道」対「アグレミーナ浜松」
G　12.15／13:05～14:50
第66回北海道高校アイスホッケー選手権　決勝
「駒大苫小牧」対「白樺学園」
G　12.20／ 9:55～11:30
ジャンプ女子ワールドカップ
第６戦　札幌大会　G　1.11／16:30～17:30
第８戦　蔵王大会　G　1.18／15:05～16:05
第９戦　蔵王大会　G　1.19／15:15～16:15

〔帯広単〕

第53回全十勝小中学校選抜スピードスケート選手権大会　小学生決勝
G　2.22／10:05～11:20

〔釧路単〕

第45回NHK杯アイスホッケー大会　決勝
小学校の部　G　11. 3／10:05～11:50
中学校の部　／13:05～15:00
高等学校の部　／15:50～17:55

〔室蘭単〕

第28回NHK室蘭杯中学アイスホッケー大会　決勝　G　10.20／10:05～11:49

Ⅱ．技　術

１．地上デジタル放送の受信環境整備

北海道は地形等の影響により地上デジタル放送が受信できない難視世帯が全国でも多い地域である。このため，北海道地上デジタル放送推進協議会の一員として，高性能アンテナや共同受信設備による対策を進め，13年度は約3,900世帯の対策を完了した（残り約900世帯については14年度に対策を実施）。

デジタル混信については，渡島局，興部局の周波数を変更し，混信の影響を受けていた約7,000世帯の対策を完了した。

NHK共同受信施設のデジタル化については，衛星セーフティネット受信となっていた新得町の１施設でデジタル化工事を完了した。

２．地域放送番組の充実

『札幌発ショートドラマ～三人のクボタサユ』（11.18管中），ハイスピードカメラや高感度カメラの特撮映像を使用し，双方向番組とCS活動も併せて実施した『北スペシャル～夜の動物園でドキドキしナイト』（7.5），『のど自慢』やプロ野球「日本ハム」戦など，道民の関心が高く北海道の魅力あふれる番組を数多く制作し，全国・全道に発信した。

７月の参院選では，188か所からの開票データを処理する大規模システムを構築し，迅速で正確な開票速報を実施し（7.21），視聴者の信頼に応えた。

ソチオリンピックを控え，カーリングソチ五輪世界最終予選日本代表決定戦（9.16～17）や，FISワールドカップジャンプ（1.25男子，1.11女子），NHK杯ジャンプ大会（2.2），アイスホッケー中継など，視聴者の関心が高いウインタースポーツ中継を全･管中で実施し，ソチオリンピックに向けて北海道を盛り上げた。

３．データ放送コンテンツの開発

札幌局では引き続き「クロスメディア推進プロジェクト」が核となり，データ放送の番組開発を行った。13年度はスポット連動や応援メッセージで全道展開できるよう汎用データ放送コンテンツを開発し，旭川局連動データ放送『なつかしの旭川』（11.18）や「SHVパブリックビューイング」スポットなどで活用した。

双方向番組では，北海道の穴場を視聴者からのツイッターやメール投稿と連動して伝える『穴場ハンター』，午前11時台『つながる@きたカフェ』の「川柳さろん」での川柳人気投票の定時番組のほか，『北スペシャル～夜の動物園でドキドキしナイト』（7.5）や『ニュースハイライト2013』（12.27），『ソチで輝け！どさんこアスリート』（1.31），『北海道のナンモン！』（3.7）などの生中継や特番で双方向番組を実施し，視聴者参加型番組の充実を図った。

独立データ放送では，主要な峠の気象情報等を伝える「雪道NAVI」（11.7～5.13）や「札幌市除雪情報」（12.10～3.20），「でんき情報」（12.9～3.7）など，13年度も雪国の生活に密着した放送サービスを提供した。

域内局では，午前11時台『つながる@タンチョウ』で地元アイスホッケーチームに関する双方向クイズ「クレインズ☆クエスチョン」，夕方６時台『ネットワークニュース釧路』で気象に関する双方向クイズ「教えて！予報官」（以上，釧路局），自治体と連携した胆振・日高地方の「お出かけ情報」（室蘭局）などで12年度に引き続きデータ放送を実施し，定着化を図った。

４．緊急報道・災害報道への対応

北海道管内の緊急報道実施件数は109件。上半期は，異常気象による大雨（４・８月：道内各地）や，その影響による八雲町でのJR函館線貨物列車脱線事故（８月）などの災害報道，JR北海道の特急車両床下や配電盤からの出火（５・７月：茶志内，八雲町，北広島）など，頻発する車両事故への緊急報道を実施した。

下半期はJR函館線大沼駅構内の貨物列車脱線事故（９月）など相次ぐ列車事故，それに伴うJR北海道特別監査，強制捜査（９･10･11･２月：札幌，函館ほか）など，JR北海道関連の緊急報道を数多く実施した。

札幌白石区での小学生女児行方不明事件（１・２月）では，１週間にわたり24時間体制での対応となったが，犯人逮捕時まで迅速・的確な中継伝送対応を行った。

５．放送設備の整備

放送の安定送出・電波確保では，放送の機能強化として函館・亀田報道拠点（サブステーション）を整備し，旭川会館および函館山テレビ・江別ラジオを含む道内10放送所の自家発燃料タンクを増量した。また，テレビ中継局12局の放送機２台化，室蘭ラジオ放送機の更新，手稲山などのFM放送機と空中線の更新を行った。

放送サービスの充実では，岩見沢天気カメラなどでハイビジョン化工事を実施し，道内約９割の天気カメラでハイビジョン化が完了した。また道内６局および各報道室と札幌局を結ぶIP回線網を構築，３月から素材伝送を開始し，少人数の道内局からでも迅速な素材伝送を可能とした。

６．視聴者活動

東神楽町（5.18），厚沢部町（6.22），根室市（7.27），苫小牧市（11.9）の『のど自慢』では，

出場者が自分の歌唱映像を30分後に見ることができる「予選会時差再生上映」や「出場者写真プレゼント」「カメラマン体験」などを実施した。また，中継車見学と映像スイッチャー，音声ミキシング操作体験ができるバックヤードツアーを２回実施し，多くの視聴者とのふれあいを深めた。

中継車，CSK，第１スタジオ見学への参加者は延べ約1,850人に上り，13年度も充実したCS活動が展開できた。

Ⅲ．視聴者

１．広報

（１）経営広報

NHK北海道の一体感を醸成するとともに地域を応援し，魅力的なイベント展開で視聴者サービスの充実と地域社会への貢献を図る“I LOVE JIMOTO 北海道”キャンペーンを展開した。

北海道に住む各地域の皆さんに地元の魅力をアピールしてもらうスポットの放送や，ソチオリンピック出場選手への応援メッセージなど，番組と連動した地域応援活動を実施した。

若い世代への受信料理解促進に資するため，北海道独自の受信料PRキャラクター“サクラマスオ”を製作し，ホームページや番組スポット，ポスター・のぼりなどでPRに努めた。

（２）番組広報

札幌局では，地域制作ドラマ『三人のクボタサユ』を北海道ブロックで放送した。脚本は札幌市で活躍する若い作家。出演者やドラマのロケ場所もすべて地元にこだわり，地域で頑張っている若い人々とともに作り上げることで，幅広い層へのアピールを試みた。

制作発表からロケ取材会まで，マスコミ各社が記事掲載するなど，地域ドラマを広くPRすることができた。

（３）視聴者ふれあい活動

札幌市で行われている文化施設を夜間開放して家族で楽しめる「カルチャーナイト」に参画し，７月19日，ロビー・ギャラリーを開放した。

「大河ドラマ～八重の桜」展や「NHKテレビ60年の歩み」展などを実施した。

（４）地域独自の視聴者活動・広報展開

道南地方の景勝地や歴史的建造物，憩いの場など，各地の魅力ある風景を紹介する，函館局制作の１分ミニ番組『道南ふらっと♪散歩』のホームページを新たに公開し，動画や静止画で過去放送した地域を紹介した。多くの人々がアクセスし，道南地域の魅力を広くPRすることができた。

開局80周年を迎えた旭川局では，“地域とあゆんだ80年～つなげよう未来へ”のキャッチコピーと「80周年どーもくん」のロゴマークを作成。このキャッチコピーとロゴマークを活用したさまざまなPRグッズで広報展開を行った。11月には，特別番組として『旭川　お宝フィルムでQ』を放送，クイズ形式の演出で，旭川の懐かしい映像を紹介した。また，12月末には「なつかしの旭川プロジェクト」の取り組みをまとめ，郷土史のエピソードを分かりやすく紹介した郷土史本『知らなかった，こんな旭川』を刊行した。

帯広局では，“十勝の食とばんえい競馬の魅力を発信しよう”と開催された「ばんえいゆるキャラ選手権」にどーもくんが初出場（10月）。十勝管内などのゆるキャラ18体とともに，入場者のお出迎えや徒競争を行うなど１万4,000人の入場者とふれあい活動を行った。

釧路局では，釧路市などとの共催で「ソチオリンピック・がんばれくしろっ娘（こ）パブリックビューイング」を実施した。釧路市出身の選手が出場する女子アイスホッケー２試合と，女子スピードスケート１種目を市の生涯教育センターの大ホールで，大型スクリーンで公開し，地元のアイスホッケーチームの監督・選手や元日本代表選手などをゲストに招いたトークショーなども併せて行った。

北見局では，13年３月に暴風雪でオホーツク海側・道東で大きな被害が出たことから，全局態勢で「ストップ！暴風雪被害キャンペーン」を展開した。暴風雪の被害から身を守る情報を放送・ホームページ等で伝え，3-Screens展開により，地域の安全・安心と接触者率の向上に結び付けた。キャンペーン用にオリジナルキャラクター「ブリザーどん」を開発し，ウェブ展開に加えて，オリジナルカイロを地域の冬まつりで配布して，多角的な情報発信に努めた。

室蘭局では，ソチオリンピック期間中，局舎外観にPR看板を掲げたほか，胆振・日高地方の公共施設に広報印刷物を配布し，オリンピックの視聴促進を図った。

４月に室蘭局ロビーから『今夜も生でさだまさし』を放送した。番組の中で，『花は咲く』室蘭版を紹介。独自に取り組んできた震災支援の活動をPRした。

２．イベント事業

北海道事業では13年度，道内７局が一体となって展開する「I LOVE JIMOTO 北海道～ボクらの地元は，愛で一つ。」キャンペーンを踏まえ，地域の文化拠点として，全国放送公開番組をはじめ，環境・食料・防災など，NHKならではの活動を自治体や関係団体との連携のもとに行った。また，ソチ冬季五輪放送のキャンペーンを展開し，接触機会の拡大を図ることで，幅広い層に向けた，放送の視聴促進，理解促進活動にも取り組んだ。

（１）公共放送ならではの活動強化

『NHKのど自慢』『BS日本のうた』などの全国放送公開番組を道内で27本実施し，約２万7,000人を集めた。中でも４月に札幌市で実施した『着信御礼！ケータイ大喜利』は，事前の投稿なども多く集まり，大学生や家族連れでにぎわった。環境・食料・福祉など，社会的なテーマに基づき全国展開しているキャンペーンにも積極的に取り組んだ。防災では，地域防災に取り組んでいる自治体や大学，気象台と連携して「NHK防災ひろば」を，浦河町（９月，室蘭局），北斗市（３月，函館局）で実施した。NHKキャラクターのどーもくんを起用した「みんなの防災劇場」と，放送やホームページと連動させた「防災IT教室」を同日に行い，防災意識の醸成を図った。環境では，札幌市円山動物園との共催で『北スペシャル』の生放送やツイッターと連動したイベント「夜の動物園でわくわくしナイト！」（７月），旭川局でも旭山動物園との連携で，動物と人との関わりをひもとくパネルシアターやステージイベント（11～２月），北見局では大学生を対象にした「環境セミナー」（５月）をそれぞれ実施した。食料では，札幌局がソチ五輪にちなんだ「ロシア料理の教室」（２月），帯広局はおびひろ動物園との共催で「どうぶつの食にんげんの食」（９月）を行った。福祉では，「公開すこやか長寿」を北広島市（２月，札幌局）で，「第18回NHKハート展」を北見局（３月）で行った。

（２）地域視聴者との結びつきを強める活動

13年度の新規企画イベントは，札幌・旭川・釧路局の３局の提案が採択・実施された。札幌局ではアイヌ文化をテーマに「銀のしずく～大地が謡ったものがたり」（12月）を全道放送との連動で行った（放送は１月全道放送，４月全国放送）。

旭川局では開局80周年事業として，“ふるさとの歌”にスポットを当てた『北の大地コンサート』を12月に開催し放送した。釧路局では，“環境に優しいエコな光”を題材にした「くしろ冬ほたる」で，福祉施設や町内会など，地域の人々とともに，イルミネーションイベントと“光と音のコラボ”によるコンサートを実施した。ソチ冬季五輪の視聴促進イベントを「どさんこ広域プロジェクト（広域Dプロ）」が中心となって全道展開した。室蘭局では，アイスホッケー女子日本代表選手を招いてのトークショーを10月に実施。札幌・旭川局では，カーリングの現役選手とジャンプ女子のコーチにNHKのスポーツ担当アナウンサーを交えての「ウインタースポーツトーク」を12月に実施した。また，カーリング体験キットや過去の冬季五輪金メダリストのパネル展示，冬季五輪関連クイズなどを札幌・帯広・釧路・北見局で行った。それぞれの会場では，道産子選手への応援メッセージも募集し，五輪中継など放送に反映した。地域文化の振興と活性化を目指して，２年前から札幌交響楽団と共同で企画した「北の音楽隊」のアンサンブル版を室蘭局管内の安平町で実施（５月），フルオーケーストラ版を市制施行50周年を迎えた芦別市で実施し（８月），小中学生を中心とした多くの家族連れに楽しんでもらった。各放送局では地域のイベントへの参画も積極的に行った。札幌局では，２月に開かれた「さっぽろ雪まつり」に合わせて「NHKゆきんこフェスタ」を実施した。NHKキャラクターによるステージショーのほか，環境・食料キャンペーンの参加型イベントも行い，約３万人の家族連れでにぎわった。函館局では，公立はこだて未来大学と連携し「はこだて国際科学祭」に参加（８月）。旭川局では，道北最大の食フェスティバルの会場でスーパーハイビジョンのパブリックビューイングを行った（９月）。帯広局では，２月の「おびひろ氷まつり」会場で番組体験ランドや「NHKおもしろ☆ミニステージ」を行い，番組PRをはじめ理解促進活動に取り組んだ。釧路局では，９月の「大漁どんぱく」，２月の「くしろ冬まつり」にNHKブースを出展。北見局では，２月の「あばしりオホーツク流氷まつり」期間中にイベントを実施して地域に貢献した。

（３）受信料制度の理解を深める活動強化

理解促進を強化するため，「BS体感ランド」「記念写真サービス」「カメラマン体験コーナー」などの活動を，『のど自慢』の４会場（５月東神楽町，６月厚沢部町，７月根室市，11月苫小牧市）で展開。また，支払い者限定イベント「ポコポッテイト小劇場」を道内７会場で14公演行った。いずれの会場も応募多数による抽選となり，キャラ

クターの人気の高さがうかがえた。

３．営業

12～14年度の３か年経営計画の２年目となる13年度は，12年度から引き続き，受信料支払率の向上に向け，訪問要員による契約・収納活動の強化と経営計画に基づく外部委託化（法人委託）の拡大と定着に向けた取り組みを強化した。受信料の理解促進活動では，北海道オリジナルキャラクターを活用したPR活動を積極的に展開し，新生活を始めた学生や社会人の契約促進を図った。また，ソチオリンピックでは，地元出場選手を応援するキャンペーンと連動し，衛星放送の普及と衛星契約を促した。加えて，ホテル・旅館の施設や病院関係施設等の事業所契約対策についても全局体制で取り組み，事業所契約の増加を図った。

これらの活動の結果，13年度は，北海道ブロック全体で営業収納額をはじめとした全ての営業目標を達成することができた。

東　　北

◇東日本大震災から３年目にあたる13年度は，今なお避難生活を余儀なくされる被災地の現状や復興計画の遅れなどに見るさまざまな課題を全国と地域に発信した。また，東北を本拠地とするプロスポーツチームやソチ五輪での地元出身選手の活躍および地元を舞台にしたドラマを通じて，被災地に笑顔と元気を届けるなど，震災からの復興を支援する放送やイベントを積極的に展開した。

◇大震災の教訓と災害時のラジオ放送の重要性・有益性を踏まえ，域内全局でローカルラジオの強化に取り組んだ。14年度からは週１回以上の県域ラジオ番組を放送する。

◇夕方６時台のニュース・情報番組では，各地域が抱える課題を深く掘り下げて伝えたほか，金曜夜間の『クローズアップ東北』と『東北Z』では，被災地に生きる人々をシリーズで描いた「震災ドキュメンタリー」や郷土色豊かな東北文化の魅力を伝えた。

◇12年度に引き続き，大規模災害時における長時間の停電や燃料供給の停滞に備え，放送会館・中継局に非常用発電機の整備や燃料タンクの増量を行った。また，災害時の生活情報をきめ細かく伝えるため，域内各局にL字作画装置を整備するとともに，原子力発電所を撮影するロボットカメラに長時間給電する燃料電池を整備した。さらに，老朽化したFM・ラジオ基幹局の放送機更新やラジオ中継局のプログラム回線を無線化するなど機能強化を図った。

Ⅰ．放　送

１．放送の概要

東北の各放送局は，東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故からの復興を全力で支援することを最優先に掲げ，地域が抱える課題に真正面から向き合った。

震災直後から継続している『被災地からの声』では，被災地に暮らす人たちや他の地域へ避難している人たちの今の思いを毎週伝えた。各局の夕方６時台のニュース・情報番組では，被災地をはじめ，各地域が抱える課題を深く掘り下げて伝え，平日午前11時台の情報番組『ひるはぴ』でも，復興支援に関わる人々を通じて被災地の動きを伝え

た。金曜夜間には，被災地で起きている問題を『クローズアップ東北』でタイムリーに取り上げ，『東北Z』では，被災地の現状と課題をさまざまな切り口で伝えたほか，被災地に生きる人々を「震災ドキュメンタリー」のシリーズで描いた。

震災関連の定時番組として，12年度後期に引き続き，BSプレミアムの『きらり！えん旅』を総合テレビの東北ブロックで編成し，地域の再生に向けて立ち上がる人々を応援した。また，宮城，岩手，福島の３県での『あの日　わたしは～証言記録　東日本大震災』の独自放送も継続し，震災の教訓を伝え続けた。

震災から２年半となる９月には，仙台局のスタジオをキーステーションに被災地の現状を全国に伝える２時間の生放送を行ったほか，「震災ビッグデータ　File.2～復興の壁　未来への鍵」（9.8），「津波から命を守れ～浸水域に暮らす人々」（9.27）の２本の『NHKスペシャル』を制作した。震災から３年となる３月にも，盛岡市で開催中の「“ふるさとの記憶”特別展」の会場をキーステーションに５時間近くの生放送を行い，被災地の声や復興への取り組みを全国に紹介するとともに，「“災害ヘリ”映像は語る～知られざる大震災の記録」（3.1），「どう使われる　3.3兆円～検証復興計画」（3.9），「あの日　生まれた命」（3.11）など８本の『NHKスペシャル』を制作した。各局の県域のニュース・情報番組でも，被災地の現状や人々の思いを見つめ，復興の道筋を検証するさまざまなリポートを放送した。

仙台局，盛岡局，福島局では震災関連の『NHKスペシャル』を年間18本制作したほか，『クローズアップ現代』や『明日へ～支えあおう』『ラジオ特集』，被災地を舞台にした特集ドラマ『かつお』など，多数の震災関連の全国番組を制作した。

東日本大震災の余震や台風による大雨，津波注意報の発表など，大きな被害が予想される場合には，東北ブロックや各県域でニュースを特設し，逆L字やデータ放送，ホームページも利用しながら，地域の安全・安心を守るためにきめ細かな報道を行った。

プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」の活躍に伴い，リーグ優勝決定試合を総合テレビで生中継し，優勝当日の特別番組や『NHKスペシャル』「東北楽天　被災地に誓った初優勝」（10.2）を制作した。クライマックスシリーズも２試合を総合テレビで生中継したほか，日本シリーズ中には応援特番を，日本一となった当日にも特別番組を急きょ生放送し，機動的な編成で視聴者の関心に応えた。

東北を舞台にした『大河ドラマ』「八重の桜」や『連続テレビ小説』「あまちゃん」は，全国的なブームとなり，観光客が増加するなど，関係する地域の活性化に貢献した。

〔仙台局〕

東日本大震災からの復興支援に引き続き全力を尽くすとともに，復興に向けて立ち上がる人々を積極的に応援した。また，地域の安全・安心を守るための取り組みを強化した。

夕方６時台の『てれまさむね』は，復興への課題が多様化，複雑化，潜在化する中，深い取材に基づくリポートや解説で，ニュースの核心を分かりやすく伝えた。震災関連の企画のほか，悲願の日本一を遂げたプロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」をはじめとした地元プロスポーツチームの活躍，暮らしに役立つ情報なども積極的に取り上げた。１月20日からは字幕放送を開始し，視聴者の利便性を高めた。

災害時の迅速な緊急報道に備えて12年度に開始したラジオ番組『ゴジだっちゃ！』では，各地の通信員やゲストとともに，宮城のニュースや地元に密着した旬の話題を提供した。県内のラジオ番組は，NHKネットラジオ「らじる★らじる」で配信が５月27日から開始された。

元漁師とその家族が震災を乗り越えて懸命に生きる姿を描いた特集ドラマ『かつお』を全局体制で制作し，全国に被災地の現状を伝えた。

自治体の防災担当者や研究者を招いて４月，11月に仙台局で開催した「防災に関する地域会議」では，震災の教訓を生かした実践的な取り組みを報告した。

６月には公共情報コモンズとの接続を開始し，リアルタイムで自治体からの災害情報等を受信し，データ放送やホームページできめ細かく提供することが可能となった。

７月の参院選に加え，８月の仙台市長選，10月の宮城県知事選では，争点や課題を多角的に取り上げ，開票速報では迅速・正確に当確を伝えた。

〔秋田局〕

日本海中部地震から30年，白神山地の世界自然遺産登録から20年の節目を迎えたことから，地域防災を検証するとともに，豊かな自然・文化を伝えることを重点に編成した。

夕方６時台の『ニュースこまち』では，８月に発生した土石流災害をはじめ，県民の生命・財産を守る災害報道に全力を挙げた。また，秋田県知事選挙・秋田市長選挙などの県内選挙，参議院選

挙について地域の課題とともに厚く伝えた。そして，スポーツコーナーを中心に地元スポーツの話題を積極的に取り上げた。年末には『ニュースこまち　年末スペシャル2013』を公開生放送し（12.27），１年のさまざまな転機を，秋田ゆかりのゲストとともに振り返った。昼前の生活情報番組『エキヨコこまち』は，視聴者と触れ合う貴重な公開番組として，ロビースタジオから観覧自由の生放送で届けた。

日本海中部地震から30年という節目にあたり，『ウオッチA』「巨大津波はやってくる～徹底検証　秋田の津波防災」（5.24）を中心に地域防災について力強く発信した。ラジオ第１でも県域で特番を放送するなど，県内の防災体制の検証と県民の防災意識の向上に取り組んだ。さらに，年度後期からはラジオ第１で『きく・こまち』を新設し，ラジオの機能強化を図った。

金曜夜間の『ウオッチA』では，TPPに揺れる県内の農業を徹底討論するなど，秋田県が直面する課題を掘り下げたほか，「秋田の行事」の移設で改めて注目された藤田嗣治に迫る番組を制作するなど，タイムリーに秋田の“いま”を伝えた。また，５分間のドキュメンタリー番組『コトノハ』では，秋田に暮らす人々の声により幅広く耳を傾けた。

世界自然遺産登録20周年を迎えた白神山地をはじめとする秋田の魅力的な自然と，豊かな文化を伝える音楽番組『白神音祭』を多彩なミュージシャンを迎えて公開収録するなど，放送と連動したイベントを県内各市町村と連携して積極的に展開した。

〔山形局〕

夕方６時台の『ニュースやまがた６時』は，２年目に入り，ニュースや話題を取材者が出演して分かりやすく伝えるなどブラッシュアップを図った。

昼前の情報番組『やまモリ！』では，イベント情報，料理レシピなど暮らしに役立つ身近な情報を発信した。

金曜夜間の『やまがたスペシャル』は２回放送した。８月には，夏の甲子園大会で県勢初のベスト４を達成した日大山形高校の監督と選手が生出演し，試合を振り返った。また11月には，12年度からシリーズ化した「ねっづぐ！！やまがた調査隊」を放送。山形県内で頑張っている人やその取り組みを紹介し，県内でまちの活性化に尽力する人たちをバラエティー色豊かに取り上げた。

全編山形弁のラジオ番組『今夜はなまらナイトNEO』は毎月第１水曜にトークやラジオドラマなどの構成で計10回放送した。６月は総合テレビで1,000人近くの入場者があった公開ステージ『なまらナイトフェスティバル』の様子を放送した。「なまらナイト」シリーズは７年間続いたが，３月のラジオ公開生放送『なまらナイト卒業式』で幕を閉じた。

ソチオリンピック直前の１月に開催されたジャンプ女子ワールドカップ蔵王大会やJリーグ「モンテディオ山形」のテレビ中継など，地元で開催された注目スポーツを積極的に取り上げて放送した。

〔盛岡局〕

東日本大震災から３年目の局面に向き合い，復興の状況や課題，行政の動きなどを迅速かつ詳しく発信した。また，公共放送として震災および震災前の記憶を風化させないための地域番組制作に取り組んだ。

夕方６時台の『おばんですいわて』は，「いわての“今”を現場から伝えます」をコンセプトに，キャスター変更，スタジオセット更新などをして，番組をリニューアル。県内のニュースや話題を取材者の解説を交えながらタイムリーに分かりやすく伝えた。

昼前の情報番組『ひるっコいわて』では，趣味，料理，エンターテインメント，イベント情報など暮らしに役立つ情報を取り上げた。

金曜夜間は『シリーズいわて』で「ふるさとの記憶」を連続放送した。震災で失われた町並みを模型で復元し，そこで営まれていた人々の暮らしの記憶を収集・保存することに取り組む“「失われた街」模型復元プロジェクト”（全国複数の大学の建築系研究室が参加）の活動に密着取材し，計10回のドキュメンタリーを制作した。

12年度放送を開始したラジオ番組『がんばろう！いわて』は，週１回の放送を２回に増やし，災害時にいち早く生活情報を提供することを想定した番組作りを行った。

また，『NHKスペシャル』など震災関連の全国放送番組も多数制作。被災者の視点に立った情報を全国へ発信した。そのほか，全国的なブームとなった『連続テレビ小説』「あまちゃん」（岩手がロケ地）の放送に合わせ，『おばんですいわて』内での関連コーナーの新設，出演者からのメッセージ紹介，ファン感謝祭の県域放送など，さまざまな形で『あまちゃん』の魅力を伝え，県民を元気づけた。

〔福島局〕

12年度に引き続き，東日本大震災と東京電力福島第一原発事故関連の報道に重点的に取り組み，総合テレビ午後６時台のニュース情報番組『はまなかあいづ　Today』を中心に，復興への課題や原発事故処理の現状・課題などについて詳しく多角的に伝えるとともに，年間６本制作した『NHKスペシャル』などで震災・原発事故後の福島の現状を積極的に全国発信した。その他，総合テレビの金曜午後８時台では県域放送の『さすけねぇの？福島』を年間２本制作し，住宅地の除染の課題や里山の放射能汚染の現状など福島の視聴者の不安に寄り添い，疑問に答えた。視聴者の関心の高い放射線測定値については，12年度に引き続き，テレビ・ラジオのニュースの中だけでなく，データ放送やインターネットでも伝えた。

また，福島県会津地方が主な舞台となった『大河ドラマ』「八重の桜」と連動し，『はまなかあいづ　Today』の中で毎週「週刊八重の桜マガジン」を放送し，ドラマ制作の舞台裏，出演者インタビュー，ドラマをきっかけとした地元を盛り上げる動き，隠れた地域の魅力などを幅広く伝えた。また，同じく舞台となった京都局と共同でインターローカルの放送を実施し，『大河ドラマ』をきっかけにした地域の交流の広がりも伝えた。

その他，ラジオ第１では，週１回の県域の地域情報番組『ふくみみラジオ』を開始し，地元の旬の話題や防災に役立つ情報を伝えるなど，ラジオでの地域情報や防災情報の発信強化に取り組んだ。

〔青森局〕

東日本大震災で浮き彫りになったさまざまな課題を検証したほか，日本海沿岸の津波の想定浸水域の変更に伴う避難態勢の見直しの動きを伝え，将来起こるかも知れない災害への対策について考えた。

平均寿命が全国最下位の青森県民の健康改善のため，原因分析や対策について夕方６時台の『あっぷるワイド』でシリーズ編成で考えたほか，金曜夜間の県域および管中で関連番組を放送した。また，東北電力の東通原子力発電所の敷地内を走る断層が活断層か否かを巡る動向を厚く伝えた。

４月14日の青森市長選挙と７月21日の参議院選挙では投票終了直後にそれぞれ当確を打つなど開票速報を迅速・正確に行ったほか，選挙の争点や課題等も丁寧に伝えた。

地域の応援団として，男子プロバスケットボールbjリーグに参入した「青森ワッツ」の開幕戦や青森県卓球選手権大会など，県民に元気を与えるスポーツの試合を中継した。

「方言の魅力・温かさの再認識」をコンセプトに『お国ことばdeのど自慢』を開催したほか，双方向クイズ番組の地方局版『県民総参加クイズSHOW！クイズバトル青森』を全国で初めて放送するなど，新しい番組作りに取り組んだ。

２．地域放送番組

（１）定時番組

『NHKニュース　おはよう宮城』　G

月～金　7:45～ 8:00

第１回00.4.3／宮城県域（一部東北ブロック）／県内のニュースのほか，東北各地の話題や中継などで朝の表情を生き生きと伝えた。

〔各局タイトル〕

『おはよう秋田』『おはようやまがた』
『おはよういわて』『おはようふくしま』
『おはよう青森』

『ウイークエンド東北』　G　土　7:30～ 8:00

第１回85.10.12／東北ブロック（一部県域）／東北各県のニュースや問題に迫る「ウイークエンドリポート」や，各地で力強く生きる人たちを追った「ウイークエンドFACE」，各地を旅してその魅力を伝える「東北小さな旅」など，NHKのネットワークを生かして東北のさまざまな動きや話題を伝えた。

『ひるはぴ』　G

（ブロック）　月～金　11:30～11:45
（各県域）　11:50～11:54
（宮城・岩手・福島県域）　11:45～11:50

第１回12.4.3／東北ブロック，各県域／暮らしに役立つ情報や地域に密着した話題を届ける情報番組。家庭で手軽にできる料理や旬の食材，東北各地の観光情報やイベント情報，復興支援に取り組む人や話題の人へのインタビューなど，暮らしを豊かにする多彩な情報を，視聴者からのお便りを交え，仙台局のロビースタジオから届けた。

〔各局タイトル〕

（秋田局）『エキヨコこまち』
（山形局）『やまモリ！』
（盛岡局）『ひるっコいわて』
（福島局）『ひるはぴ　福島』　新
（青森局）『情報ランチ』

『てれまさむね』　G　月～金　18:10～18:59

第１回03.3.31／宮城県域／震災の教訓と課題を県内の被災者の証言から探る「あの時　わたしは」，被災地をヘリコプターで空撮し，被災前と

比較して伝える「空から見た被災地」の企画を継続したほか，震災２年半，３年の節目には，震災関連のリポートを集中編成した。畠山キャスターが県内各地を訪ねるコーナーや視聴者からの投稿写真を紹介するコーナーに加え，仙台局のキャラクター「やっぺぇ」を毎回出演させるなど，視聴者との結び付きを深め，“笑顔”を届ける取り組みを充実させた。

〔各局タイトル〕

（秋田局）『ニュースこまち』

（山形局）『ニュースやまがた６時』

（盛岡局）『おばんですいわて』

（福島局）『はまなかあいづ　Today』

（青森局）『あっぷるワイド』

『クローズアップ東北』　G　金　19:30～19:55

㊝土　10:05～10:30

第１回02.4.5／東北ブロック／東北の“今”を徹底的に見つめ，地域が抱える課題や関心事，時代を先取りする人々の動きにタイムリーに迫る番組。復興の動きをつぶさに見つめ，幅広い視点から震災後の地域の現状と課題を伝えるとともに，「英語での授業」や「認知症」など，全国的に関心が高いテーマについて，東北の新たな動きを発信した。

「アスベスト　被災地に潜むリスク」　仙台局／ 4.12

「ふるさと再生　福島・川内村の模索」　福島局／ 4.26

「求む“家庭医”～被災地から変わる日本の医療」　仙台局／ 5.10

「あの日の誓いを忘れない～石巻工業　野球部」　仙台局／ 5.24

「巨大津波　日本海が危ない」　秋田局／ 6.14

「遙（はる）かなる“住民参加”～応援職員が挑む復興」　盛岡局／ 6.21

「急増する野生動物～原発事故が壊した生態系」　仙台局／ 6.28

「徹底追跡　魚の町“第２の危機”」　仙台局／ 7. 5

「被災地を支える“方言の力”」　仙台局／ 7.26

「最後の避難所」　福島局／ 8. 2

「泣いて笑う～被災地巡る“お坊さんカフェ”」　仙台局／ 8.30

「さまようお骨～福島県浪江町　ある寺と檀家たちの夏」　仙台局／ 9.13

「被ばくの不安をなくすために　福島・浪江町の染色体検査」　青森局／ 9.27

「それからの海を見つめて～震災二年半　海の再生は今」　盛岡局／10.25

「“英語の授業は英語で”～新指導要領の波紋」　山形局／11.15

「認知症看護のスペシャリストを養成せよ」　秋田局／11.22

「帰還の条件」　福島局／11.29

「脱！短命」　青森局／12. 6

「20歳　ソチに挑む～ボブスレー　黒岩俊喜選手」　仙台局／ 1.17

「“認知症800万人”時代　地域力で災害から守れ」　仙台局／ 1.24

「“定点映像”が伝える東日本大震災」　仙台局／ 1.31

「独自の道を切りひらけ～“減反廃止元年”コメ産地の模索」　山形局／ 2.28

『東北Z』　G　金　20:00～20:43

㊝土　10:30～11:13

第１回11.6.3／東北ブロック／東日本大震災の現状と課題をさまざまな切り口で分かりやすく伝える番組を中心に，東北に関わる人物や文化を豊かに描く番組，笑いや感動を届ける音楽番組など，多彩な番組を展開した。新たなシリーズとして，被災地を支えるさまざまな分野の専門家たちの活動から復興の道筋を考える「支える」を放送したほか，東北各地の“メンコイ”ものを調査する「TOHOKUメンコイらぼ」を継続し，代々受け継がれてきた伝統や，新しい発想で生み出された品々を紹介した。

◇支える／仙台局

「神戸からのメッセージ～NPOよろず相談室理事長・牧秀一」　4.26

「ジャズピアニスト小曽根真　三陸をゆく」　7.26

◇TOHOKUメンコイらぼ／仙台局

「東北の“おやつ”お調べします」　5.10

「心こもるうつわ　お調べします」　6.21

「ふるさとのハートフル　フルーツ」　10.25

「愛が紡いだ　東北の布」　11.15

「いとしのローカルペットたち」　12. 6

「明日に届ける　東北の保存食」　1.17

「スーパーコレクション」3.14／19:30～20:43

◇その他

「彼女の選択～福島→北海道→チェルノブイリ」　仙台局／ 4.12

「そして，歌が溢（あふ）れた～松本幸四郎×石川啄木」　盛岡局／ 5.24

「シリーズ　災害から未来へ　第４回“復興”はしたけれど～神戸・大正筋商店街の18年」　仙台局／ 6.14
「語りはじめた土偶たち～山形　国宝土偶の謎を追う」　山形局／ 6.28
「ふるさとの記憶～岩手県釜石市」　盛岡局／ 7. 5
「サンドウィッチマンのどうなってる？防潮堤」　仙台局／ 8. 2
「明日に向かって駆ける～父と娘の“相馬野馬追”」　福島局／ 8.30
「さだまさし　長崎から東北へ～復興支援コンサート」　仙台局／ 9.13
「希望の音色　ふたたび～第５回仙台国際音楽コンクール」　仙台局／ 9.20／19:30～20:29
「ふるさとの記憶～岩手県陸前高田市」　盛岡局／10. 4
「あまちゃんの舞台　三陸鉄道をゆく」　仙台局／10.11
「今こそ！寺山修司」　青森局／11.22
「限界は　ない～大曲の花火“五重芯”成功の軌跡」　秋田局／11.29
「東北Zスペシャル～センバク！～北の“ビジュアル系”ロックフェス」　仙台局／12.13／19:30～20:43
「この里に生きる～丸森町耕野・支えあう人々」　仙台局／ 1.10
「防潮堤　住民たちの模索～宮城・気仙沼の１年半」　仙台局／ 1.24
「風雪のクロニクル～青森県六ヶ所村と核燃料サイクル」　仙台局／ 2.28
「北国からのコンサート2014」　仙台局／ 3. 7／19:30～20:43

『被災地からの声』　G　木　12:20～12:43

第１回11.3.20／東北ブロック／被災者が今一番伝えたいことを直接カメラに向かって話してもらう番組。震災直後に開始した番組スタイルを継続し，被災地に暮らす人たちや他の地域へ避難している人たちの声を，被災地・石巻出身の津田喜章アナウンサーが伝え続けた。

『東北ラジオあさいちばん』　R1　月～土　7:40～ 8:00

第１回99.4.1／東北ブロック／東北各地のニュースや話題，気象情報，交通情報などをコンパクトに伝える地域情報番組。地域リポーターやコミュニティFM局からの電話リポート，健康情報，週末情報などを，音楽とともに日替わりで伝えた。

『ゴジだっちゃ！』　R1　月～金　17:00～18:00

第１回12.4.2／宮城県域／宮城の話題にとことんこだわったラジオ番組。ニュースや気象情報，交通情報に加え，話題の人を招いたインタビューや専門家によるニュース解説，県内各地の「だっちゃ通信員」からの電話リポートなど宮城の情報を，リスナーのお便りを交えながら楽しく軽快に伝えた。ショッピングセンターからの公開生放送や，仙台局スタジオでの川柳・短歌大会も実施した。

『民謡をどうぞ』　R1・FM　金　12:30～12:55

第１回54.11／東北ブロック／東北ならではの民謡を季節に応じたテーマで放送した。1954（昭和29）年にスタートした東北の最長寿番組で，４月には2,600回目の放送を記念し，ゲストを招いてのスペシャル番組を３週にわたって放送した。

『仙台音楽倶楽部』　FM　（月１回）土　16:00～18:00

最終回14.3.15／宮城県域／中学生，高校生を中心とする若者のリスナーに向けて，仙台の最新の音楽情報を伝える番組。毎月１回，NHK仙台放送局のスタジオから，ライブとトークで仙台の「旬」の音楽をいち早くリスナーに届けた。２月には仙台局のスタジオで公開収録を行い，ダイジェスト版を総合テレビでも放送した。

『サバトセーラ東北』　FM　土　18:00～18:50

第１回11.5.14，最終回14.3.29／東北ブロック／東北の音楽ファンとミュージシャンを応援する生放送番組。東北ゆかりのアーティストの情報や震災復興に元気を届けたいと活動するミュージシャンの話題を絡めながら，懐かしの名曲から最新の曲まで，幅広い音楽ジャンルを取り上げた。９月と12月には，復興支援に携わるバンドによる公開ライブを，時間を拡大して伝えた。

（２）特集番組

〔東北ブロック〕

『マイケル・サンデル白熱教室@東北大学　特別編』　G　仙台局　4. 6／10:05～11:18

『震災ドキュメンタリー2013～子どもたちのために』　G　仙台局　4.19／19:31～20:44

『希望の音色　ふたたび～第５回仙台国際音楽コンクール』　G　仙台局　8.25／16:00～16:59

『サバトセーラ東北　公開ライブ～ジャズ　インミュージアム　仙台市博物館』　FM　仙台局　9. 7／16:00～18:50

『見せた！東北の“底力”～初優勝　楽天イーグルス　第１部』　G
仙台局　9.26／22:55～23:20
『見せた！東北の“底力”～初優勝　楽天イーグルス　第２部』　G
仙台局　9.27／ 0:10～ 0:40
『震災ドキュメント～ひとつ屋根の下で～震災遺児と伯父の日々』　G
仙台局　10. 4／19:30～19:55
『震災ドキュメント～高校生、“公園”をつくる』　G
仙台局　10.11／19:30～19:55
『震災ドキュメント～無人の町の“じじい部隊”～福島・大熊町　駐在員６人の苦闘』　G
仙台局　10.18／19:30～19:55
『“魂”の日本一へ～がんばれ楽天イーグルス！』　G
仙台局　11. 1／19:30～20:43
『見せた！東北の“底力”～祝日本一　楽天イーグルス』　G
仙台局　11. 4／ 0:05～ 1:10
『東北楽天　被災地に誓った初優勝』　G
仙台局　11. 4／22:00～23:10
『アイデア対決！全国高等専門学校ロボットコンテスト2013　東北地区大会』　G
仙台局　11.17／15:05～15:59
『ドラマ「かつお」撮影の舞台裏』　G　仙台局
「芦名　星さん」　11.20／22:45～22:50ほか
「大友康平さん」　11.27／22:45～22:50ほか
「梅沢富美男さん」　12. 4／22:45～22:50ほか
「遠藤章造さん」　12.11／22:45～22:50ほか
「嶺岸佑樹さん」　12.14／15:50～15:55ほか
『サバトセーラ東北～歌の元気を届けよう！公開ライブ　イン　石巻』　FM
仙台局　12.14／16:00～18:50
『ドラマ「かつお」宮城ロケの舞台裏』　G
仙台局　12.29／11:18～11:33
『ジャンプ女子ワールドカップ第８戦　蔵王大会』　G
仙台局，山形局　1.18／15:05～16:05
『ジャンプ女子ワールドカップ第９戦　蔵王大会』　G
仙台局，山形局　1.19／15:15～16:15
『第35回NHK東北民謡コンクール　各県大会』　FM
18:00～18:50
青森　2.12，岩手　2.13，宮城　2.14，秋田　2.17，山形　2.18，福島　2.19

〔県域番組〕
〔仙台局〕
『ふるさと宮城の復興は～10年後の被災地を考えよう』　G
6. 7／19:30～20:43
『NHKのど自慢　予選会～宮城県富谷町』　G
6. 9／ 1:20～ 3:20
『仙台市長選挙　開票速報』　G
8.11／20:55～21:00，21:58～22:00，22:37～22:47
『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』　E
10.23～24，10.28～31，11. 5～ 6／12:55～13:00
『宮城県知事選挙　開票速報』　G
10.27／20:45～21:00，21:50～22:15，22:29～22:50
10.28／ 0:10～ 0:20
『ゴジだっちゃ！特集～第13回NHK仙台　川柳・短歌大会』　R1
11.30／13:05～15:55
『避難の切迫性をどう伝えるか～防災に関する地域会議』　E
12. 7／13:00～13:45
『てれまさむね年末スペシャル　2013』　G
12.27／17:10～19:00
『仙台音楽倶楽部onTV』　G
3.17／ 1:25～ 2:10

〔秋田局〕
『ウオッチA』　G
「激論！秋田農業」　4.19／19:31～20:44
「巨大津波はやってくる～徹底検証　秋田の津波防災」　5.24／19:30～20:43
「ビューティフルライフ～出稼ぎばあちゃんと男たち」　6. 7／19:30～20:13
「世界のフジタ“伝統”への回帰～片岡鶴太郎×『秋田の行事』」　9.13／19:30～19:55
「あさイチ中継 総集編」　10.11／19:30～19:55
「いま、“百姓”を彫る」　11. 1／19:30～20:13
「埋もれた心　掘りおこして」　12.23／18:10～18:33
「きみがいれば」　1.24／19:30～19:53
「あしたをつかめ～しごともくらしも～アンコール」　2.28／19:30～19:55
「音楽熱視線～白神音祭」　3.28／22:55～23:20
『コトノハ』　G　水　22:45～22:50
「第19章　“もっともっと　尖れ”」　4. 3
「第20章　“わたし的には　いい父親かな”」　4.24
「第21章　“まめでくるように”」　5.15
「第22章　“魂を　打ち込める”」　6. 5
「第23章　“殿様の庭園だと思えばいい”」

6.19
「第24章　“規格は　自分でもいいんだ”」
7. 3
「第25章　“私の苦しみは　ぜいたくな苦しみ”」　7.17
「第26章　“心で泣けば　艶になる”」　9. 4
「第27章　“迷いながら　表現したい”」　9.25
「第28章　“愛しいやつよ”」　10. 9
「第29章　“念ずれば　花ひらく”」　10.23
「第30章　“頑張っている感じが　好き”」
11. 6
「第31章　“この土と　生きていきたい”」
11.20
「第32章　“誇りや自信につながれば”」
12. 4
「第33章　“楽しく生活するために　医学を使う”」　2. 5
「第34章　“大好きな　列車です”」　3. 5

『きく・こまち』　新　R1
（後期）水　19:45～20:00

『日本海中部地震から30年』　R1
5.26／14:05～15:30

『秋田大曲・全国花火競技大会2013　アンコール』　G　9.14／ 1:15～ 4:00

『元気な秋田！500歳野球中継』　R1
10. 2／14:00～15:55

『音楽熱視線～在日ファンク in Akita ～ for 白神音祭』　FM　11. 3／16:00～17:40

『きく・こまち年末スペシャル』　R1
12.25／19:30～20:00

『ニュースこまち　年末スペシャル2013』　G
12.27／17:10～19:00

『NHK朗読ひろば～秋田を読もう』　R1
1.18／ 9:05～ 9:55

〔山形局〕

『今夜はなまらナイト』　G･R1
「なまらナイトフェスティバル～終わったはずなのになんでだろうスペシャル」　G
6. 7／19:30～20:43
「今夜はなまらナイトNEO」　R1　新
（第１）水　20:05～21:30
※（１・３月を除く）
「なまらナイト卒業式」　R1
3. 2／15:30～16:55

『第95回全国高校野球選手権大会準決勝　アンコール　「日大山形」対「前橋育英」』　G
8.22／ 0:10～ 2:15

『やまがたスペシャル』　G
「おめでとう！日大山形～県勢初のベスト４」
8.23／20:00～20:43
「ねっづぐ！！やまがた調査隊～まちおこし」
11. 1／19:30～20:43

『ニュースやまがた６時　年末スペシャル2013』　G　12.27／18:00～19:00

〔盛岡局〕

『がんばろう！いわて』　R1
月・火（新）　19:45～20:00

『シリーズいわて』　G
4.12～ 1.10／19:30～19:55
「ふるさとの記憶」
山田町　4.12
宮古市田老地区　5.10
大槌町　6.14
大船渡市　9.13
田野畑村島越地区　11. 1
岩泉町小本地区　12. 6
野田村　1.10
※釜石市，陸前高田市は『東北Z』としてブロック放送，福島県浪江町は全国放送。

『にっぽん縦断こころ旅　おつかれさまスペシャル　岩手県』　G　6. 7／19:30～20:30

『がんばろう！いわてスペシャル』　R1
6.22，11. 9／13:05～14:00，14:05～14:55

『第95回全国高校野球選手権大会　アンコール　準決勝　「花巻東」対「延岡学園」』　G
8.22／ 0:10～ 2:10

『あまちゃんファン感謝祭･じぇじぇじぇ祭り！』　G　9.15／14:00～14:59

『ぼくは賢治さんが大好き！～ひとり芝居・ノッポさんの宮沢賢治』　E　9.21／ 9:00～10:45

『突撃アッとホーム あまちゃんスペシャル』　G　12.27／17:10～17:35

『おばんですいわて　年末スペシャル』　G
12.27／17:35～19:00

『おばんですいわて　震災から３年』　G
3.11／18:01～19:00

『ラジオ文芸館アンコール「双子の星」』　R1
3.22／ 8:05～ 8:45

〔福島局〕

『さすけねぇの？福島』　G　20:00～20:43
「どうなってるの除染」　7.26
「ど～なってるの？山の汚染」　1.31

『NHKのど自慢・予選会～南相馬市』（前後編）　G　8.22～23／ 0:10～ 1:30

『はまなかあいづToday×ニュース610　京いちにち～時代をこえて、つながる』　G
10.25／18:10～18:52
『年末スペシャル～はまなかあいづ2013』　G
12.27／18:00～18:59

〔青森局〕
『あっぷるワイドPlus』　G　19:30～19:55
「日本海中部地震30年　浮かび上がる課題」
5.24
「復活のイルカショーにかける」　8.23
「めざせ！平均寿命ワースト脱出」
10.11／20:00～20:43
『青森ねぶた祭2013』　G　8. 8／ 0:10～ 2:10
8.24／15:30～16:59
『お国ことばdeのど自慢』　G
12.13／19:30～20:30
『あっぷるワイド　年末スペシャル』　G
12.27／18:00～19:00
『県民総参加クイズSHOW！ クイズバトル青森』　G　2.28／19:30～20:00
『NHKのど自慢in八戸　全部見せます予選会』
G　3.18／10:15～10:55，11:05～11:45
3.20／15:12～15:52
『おらほのラジオ』　R1
～十和田市現代美術館から生放送
4.27／14:00～16:00
～弘前市立観光館から生放送
5.25／14:00～16:00
～八戸市水産科学館マリエントから生放送
6.29／14:00～16:00
「ご当地キャラクター井戸端会議」
10.19／14:00～14:55
「みつめていますか　あなたのカラダ」
11.30／13:00～15:00
「巣立ちの時…あおもり“卒業”シーン特集」　3.15／13:05～14:55

〔各局共通〕
『第80回NHK全国学校音楽コンクール』
「宮城県」　E　9.14～15
「秋田県」　FM　8.31
「山形県」　E　8.31／FM　9. 1
「岩手県」　E　9.14
「福島県」　E　9.14，21～22
「青森県」　E　8.31／FM　9. 7
「東北ブロック」　E　9.21，28

３．スポーツ中継

＊ブロックと記した以外は県域

〔高校野球〕
第95回全国高等学校野球選手権　地区大会
宮城県　準々決勝　R1／ 7.27～28
準決勝　G·E·R1／ 7.30
決勝　G·R1／ 7.31
秋田県　３回戦～準々決勝　R1·FM／ 7.17，20
準決勝　R1·FM／ 7.21
決勝　G·R1／ 7.23
山形県　３回戦　R1／ 7.19～20
準々決勝　R1·FM／ 7.21～22
準決勝　G·E·R1／ 7.24
決勝　G·R1／ 7.26
岩手県　準々決勝～準決勝　R1／ 7.21～22
決勝　G·E·R1·FM／ 7.26
福島県　準決勝　G·E·R1／ 7.27
決勝　G·R1／ 7.28
青森県　決勝　G·R1／ 7.23
第66回秋季東北地区高等学校野球
◇地区大会（準決勝，３位決定戦·決勝）
宮城　R1／ 9.23～24
秋田　R1·FM／ 9.28～29
山形　R1／ 9.26～27
岩手　R1／ 9.21～22
福島　R1·FM／ 9.20，22
青森　R1／ 9.25～26
◇東北大会（ブロック）
準々決勝　R1·FM／10.15
準決勝　FM／10.17
決勝　FM／10.18

〔その他のスポーツ〕
NHK杯東北高校ラグビー選手権·決勝
「秋田工」対「仙台育英」（ブロック）
E／ 6.16
NHK杯東北高校バレーボール選手権・男子決勝
「弘前工」対「五所川原工」（ブロック）
E／ 6.23
第93回天皇杯サッカー各県代表決定戦
宮城県代表決定戦（仙台）
「ソニー仙台」対「仙台大学」　G／ 8.25
秋田県代表決定戦（秋田）
「ブラウブリッツ秋田」対「秋田FCカンビアーレ」　G／ 8.25
山形県代表決定戦（山形）
「山大体育会」対「羽黒高校」　G／ 8.25
岩手県代表決定戦（盛岡）

「グルージャ盛岡」対「岩手大学」　G／ 8.25
福島県代表決定戦（福島）
「福島ユナイテッド」対「相馬サッカークラブ」　G／ 8.25
青森県代表決定戦（青森）
「ヴァンラーレ八戸FC」対「八戸学院大学」　G／ 8.25

プロ野球

（東北ブロック）
「楽天イーグルス」
対「ロッテ」　G／ 4. 5
対「西武」　R1／ 4.12
対「西武」　G／ 4.14
対「ソフトバンク」　R1／ 4.18
対「日本ハム」　R1／ 5. 2
対「オリックス」　G／ 5. 4
対「中日」　G／ 5.17
対「ヤクルト」　R1／ 5.20
対「DeNA」　G／ 5.31
対「中日」　R1／ 6. 3
対「西武」　G／ 7.12
対「日本ハム」　G／ 9. 6
対「西武」　G・R1／ 9.26

クライマックスシリーズファイナルステージ
「楽天」対「ロッテ」
第１戦　G・R1／10.17
第２戦　R1／10.18
第３戦　G／10.19

Jリーグ

（県域）
「ベガルタ仙台」（仙台）
対「サガン鳥栖」　G／ 4.28
対「サンフレッチェ広島」　G／10.26
対「清水エスパルス」　G／11.30
対「アルビレックス新潟」※開幕スペシャル　G／ 3. 1
「モンテディオ山形」J2（山形）
対「FC岐阜」　G／ 4.28
対「京都サンガ」　G／ 5.26
対「愛媛FC」　G／10.27

サッカーJFL

「福島ユナイテッド」対「FC琉球」（福島）　G／ 9.29

なでしこリーグカップ

「ベガルタ仙台レディース」対「岡山湯郷ベル」（ブロック）　G／ 6. 2

バスケットボール　bjリーグ

「青森ワッツ」対「岩手ビッグブルズ」（盛岡，青森）　G／10. 5
「仙台89ERS」対「青森ワッツ」（仙台，青森）　G／12. 8
「秋田ノーザンハピネッツ」対「富山グラウジーズ」（秋田）　G／12. 8
「秋田ノーザンハピネッツ」対「横浜ビー・コルセアーズ」（秋田）　G／12.15

ジャンプ女子ワールドカップ蔵王大会

（ブロック）「第８戦」　G／ 1.18
（ブロック）「第９戦」　G／ 1.19

第55回NHK杯青森県卓球選手権大会

（青森）　G／11.24

Ⅱ．技　術

１．公共放送の機能強化と設備整備の推進

12年度に引き続き，長時間停電などの状況下でも放送機能を維持し，視聴者に必要な情報を途切れることなく伝えるため，放送会館（山形）や中継局などへの非常用発電機整備（鳴子R等２局），燃料タンク増量整備（安積R等４局）を行った。また，災害時に生活情報などの地域情報をきめ細かく伝えるため，域内局にL字作画装置を整備するとともに，女川原発を撮影できるロボットカメラに，長時間給電が可能な燃料電池システムを整備し緊急報道に備えた。

一方で，老朽化したFM基幹局，ラジオ基幹局（大年寺FM，原町R，矢巾R）の放送機更新，ラジオ中継局（横手）のプログラム回線の無線化などを実施し，音声メディアの安定性を向上させた。また，テレビ中継局の放送機２台化整備（磐城西郷等11局）などにより放送ネットワークの強化を図った。

２．報道対応と放送の安定確保

参議院選挙（７月），仙台市長選挙（８月），宮城県知事選挙（10月）での政見経歴放送，関連取材，事務所中継を含めた開票速報など，全体において的確に取り組み，ミスなく対応することができた。

漁船転覆事故（仙台），土砂崩れ（秋田），集中豪雨被害（山形，盛岡）など，域内局を含めた緊急報道でも迅速かつ確実に対応した。

また，放送無事故の継続のため，全国統一運行バックアップ訓練に加えて，異動期や個別テーマを設定しての独自訓練を実施し，番組送出業務の習熟向上を図った。また，各種設備工事に際して

は，綿密な事前準備と作業手順の確認を確実に実施した。

３．地域放送サービスの充実

大震災から３年目を迎え，テレソンや中継番組，ロケ番組など多種多様な番組の制作に，全国の支援を受けながら域内技術パワーを結集して取り組み，被災地の現状と課題の発信と風化の抑制に努めた。

日本一となった「東北楽天イーグルス」の試合中継に積極的に取り組み，マルチ編成を駆使して試合を切れ目なく放送した。また，ワールドカップ女子ジャンプ蔵王大会，Jリーグ，bjリーグなどのスポーツでの地元チームの活躍を多彩な映像音声表現で取り上げ，被災地に元気を届ける放送サービスを行った。また，５年ぶりの制作となる特集ドラマ『かつお』では，適切な要員・機材運用を図りながら被災地ならではのドラマを制作した。

夕方のローカルニュース『てれまさむね』では，大震災以降初めてとなるキャラバン中継を実施し，地元視聴者との触れ合いを図った。また，災害時の放送に備える意味でも県内リスナーとのつながりを深めるため，ラジオ県域番組の公開生放送を開催した。

新しいサービスとして，ネットラジオ「らじる★らじる」への展開（５月），ローカルニュースでの生字幕サービス（１月）などを開始した。

４．新たな難視対策と安定したネットワークの確立

13年度は新たな難視世帯への対策として，送信対策，共聴対策，アンテナ対策などで約1,600世帯の恒久対策を実施した。新たに２局の中継局を建設した結果，東北域内のデジタル放送所は307局となった。

域内の老朽化したNHK共聴17施設の光化による大規模改修工事を実施し，受信環境インフラの安定化を促進した。

５．視聴者対応活動など

仙台局内での放送体験クラブに参加できない学校に出向いて放送体験をしてもらうイベントを，県南部の亘理小学校で実施し，５年生118人に放送局業務の一端を体験してもらった。

SHVパブリックビューイングとして，東京で行われたミラノ・スカラ座公演のもようを生伝送し，仙台局第１スタジオで公開した。公開に合わせて，電器店向けの説明会も開催し，SHVの浸透を図った。

Ⅲ．視聴者

１．広　報

（１）東北が舞台のドラマの広報活動

13年度は，『大河ドラマ』「八重の桜」（福島局），『連続テレビ小説』「あまちゃん」（盛岡局），仙台局が制作した震災で被災した家族をテーマとする特集ドラマ『かつお』と，東北を舞台にした全国放送のドラマが制作・放送された。

仙台局では，10月にロケ地・石巻市での「マスコミ取材会」，12月に東京と地元石巻市で行った「完成試写会」を実施したほか，放送・印刷物・ウェブなどの各媒体を活用した番組広報を実施した。

盛岡局では，『あまちゃん』がスタートした直後の４月に，ドラマの舞台となった久慈市で『土曜スタジオパーク』の公開生放送，９月には盛岡市で「あまちゃんファン感謝祭」を実施するとともに，ホームページや盛岡版番組ポスター等を活用した広報活動を多面的に展開した。

福島局では，12年度に引き続きドラマ関連の活動として「福島の桜フォトコンテスト」および同巡回展を福島県内や京都等で実施したほか，出演者を招いた「プレミアムトーク」を７月に福島市で行い，９月には福島の最終ロケに合わせた取材会を実施して，ドラマの視聴促進を図った。

（２）放送と連動した広報活動

東北各局では，公開番組等の実施の機会を捉えて「ふれあいミーティング」を実施し，NHKへの理解促進・視聴者意向把握に努めた。

また，仙台局では，初の日本一となったプロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」の中継に合わせた広報イベントやパブリックビューイングを10月に集中的に実施し，地域の応援熱を盛り上げた。

秋田局では，８月に中継した「大曲全国花火競技大会」のパブリックビューイングを実施し，花火競技会会場以外での視聴者へのサービス活動を行った。

山形局では，１月に山形市で開催されたジャンプ女子ワールドカップ蔵王大会とソチオリンピックの広報用ポスターを作成し，公共交通機関や地元商店街等に掲出してスポーツ放送を盛り上げた。

（３）多様な視聴者ふれあい活動

視聴者とのふれあいを深める活動として，秋田局（２月），山形局（11月），青森局（10月）で会館公開イベントを実施した。また，青森局では地域放送等の情報を掲載する独自の広報誌を新たに制作・発行（毎月１回）し，企業・番組広報に努めるなど，各局とも特色ある活動を展開した。

２．イベント事業

（１）復興支援イベントの実施

被災地に元気を届け，復興の力になる放送イベントを，東北６県で45本実施した。

①NHK公開復興サポート～明日へ～in石巻

通算４回目を，最も人的被害の大きかった石巻市で実施。雨天にもかかわらず11番組の公開収録に4,523人が来場し「震災後こんなに笑ったことがなかった」「身体中が暖かくなる優しい時間だった」などの声が多数寄せられた。また，被災した沿岸部の地域再生に向かう姿を描いた特集ドラマ『かつお』関連で，復興への思いを書き込んだ「うろこ」で３メートルの巨大な「かつお」のオブジェを作るなど地域色も強めた。このオブジェは，JR仙台駅に展示するなどして，多くの人々にその思いを伝えた。

②“ふるさとの記憶”ーいわて 失われた街 模型復元プロジェクト展

震災を風化させないための番組『シリーズいわて～ふるさとの記憶』と連動した展示イベントとして実施。放送に合わせて，街の復元模型展を岩手県沿岸部９か所で開催し，7,376人が来場した。それらをまとめた特別展（３月，盛岡市）には，１万4,180人が来場し「この模型の街よりさらにいい街になるよう頑張ろう」などの感想が寄せられた。

③番組と一体となったイベント展開

復興に向けた思いを伝えた『あなたが主役50ボイス』（11月，石巻市），出演バンドの姿や曲で東北の若者を勇気づけた『センバク！～北の“ビジュアル系”ロックフェス』（12月，仙台市），被災地の元気を伝えた『北国からのコンサート』（１月，仙台市）など，数多くの番組を公開収録し，復興への思いを伝えた。

④公開番組の実施など

津波で大きな被害を受けた沿岸部に加え，原発事故による影響が続く福島県や内陸部で公開番組を31本実施したほか，「尊厳の芸術展」（５月，仙台市），「N響演奏会」（３月，福島･盛岡･仙台市）など，芸術・文化イベントも実施した。

（２）コンクール等

①第80回NHK全国学校音楽コンクール

各県コンクールと東北ブロックコンクール（名取市9.7～８）を実施。東北６県で小学校211校，中学校245校，高等学校37校が参加。東北代表に岩手大学教育学部附属小学校，郡山市立郡山第五中学校，郡山市立郡山第二中学校，福島県立郡山高等学校，福島県立安積黎明高等学校が選ばれた。

②第60回NHK杯全国放送コンテスト

６月に各県大会を開催。アナウンス，朗読，ドキュメント（テレビ・ラジオ），創作ドラマ（テレビ・ラジオ）の６部門に東北６県で141校が参加。

③第30回NHK杯中学校放送コンテスト

７月に各県大会を開催。アナウンス，朗読，テレビ番組，ラジオ番組の４部門に東北６県で66校が参加。

３．営　業

13年度は，受信料の値下げと「３年間で支払率３ポイント向上」「収納率３年後97％」の目標を掲げた３か年経営計画の２年目であった。また，受信料値下げによる影響が通年となることから，受信料収入の減収を食い止めるうえでも，前倒しの業績確保を行うことが必要な年であった。

東北ブロックでは，13年度の業績を確保すると同時に戦略的な体制の構築を最重要課題として年度当初より積極的な取り組みをスタートした。

地域スタッフの少数精鋭化に向け，継続した指導を徹底するとともに，東北ブロック内の法人委託の大幅な拡大を目指し積極的な開発に取り組んだ。また，職員による事業所対策や民事対策を計画的かつ精力的に推し進め，業績確保に最大限こだわった活動を展開した。さらに，東日本大震災復興プロジェクトによるイベントや公開番組と連動した被災者の仮設住宅対策を親切・丁寧に実施した。

その結果，営業諸目標は東北ブロック全局が全ての営業目標を２年連続で達成し，13年度末の東北地方の放送受信契約数は312万3,853件，衛星契約数は151万7,533件となり，対前年度比での放送受信契約数は２万6,504件の増加となった。また，営業収納額は受信料値下げの影響により７億6,507万円の減収となった。

関東甲信越

◇６月23日，東京都議会議員選挙の投開票が行われた。自民党の追い風，民主党の逆風の中で行われた選挙の結果，自民党は59人の候補全員が当選して圧勝し，第２党の公明党と合わせて過半数を大きく上回った。民主党は議席を半分以下に減らす大敗となり，共産党を下回って都議会第４党に後退した。

◇９月８日，2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定。８年にわたる招致活動の努力が実り，東京をはじめ日本中が大きな歓声に沸いた。

◇９月28日，東京では54年ぶりとなる国民体育大会が開催された。７年後の東京オリンピックで期待がかかる若い世代の選手が活躍したほか，大会ではオリンピックを見据えたさまざまな取り組みが行われた。

◇10月16日，大型で強い台風26号によって，伊豆大島では未明から，１時間の雨量が100ミリを超す記録的な豪雨となり，大規模な土砂災害が発生。36人が死亡，３人が行方不明となった。

◇東京都の猪瀬知事が知事選挙の直前，大手医療法人「徳洲会」グループ側から5,000万円を受け取っていたことが11月下旬明らかになった。都議会での厳しい追及に対して猪瀬知事の説明は二転三転した末，知事は12月19日，辞職する考えを表明した。過去最も多い430万票余りを獲得して当選した猪瀬知事は，就任から１年余りで辞職した。

◇14年２月９日，猪瀬知事の辞職に伴う東京都知事選挙の投開票が行われた。自民党東京都連と公明党東京都本部の推薦を受けた元厚生労働大臣の舛添要一氏が初当選した。舛添氏の得票は211万票余りと，他の候補の倍以上となり圧勝した。都知事選挙では元総理大臣の細川護熙氏が，同じく元総理の小泉純一郎氏の応援を得て立候補。元総理の二人三脚で原発の即時ゼロを訴えたが，届かなかった。

◇３月28日，猪瀬前知事が公職選挙法違反の罪で略式起訴され，罰金50万円の略式命令を受けた。猪瀬前知事は起訴内容を認めて全額を納付。今後５年間，公民権が停止された。都知事経験者が選挙での違法行為で刑事責任を問われたのは初めてとなった。

Ⅰ．放　送

１．放送の概要

約4,800万人が暮らす関東甲信越地域において，東京の本部と９県の各放送局が取材・制作した番組・ニュースを発信，各時間帯で多様な情報を提供している。

13年度は，災害や防災，超高齢社会の問題や東京都政に関する全国向け番組を数多く放送した。

10月，台風26号と27号が相次いで日本列島を襲った。東京都の伊豆大島では台風26号による記録的な大雨で大規模な土砂災害が発生。多くの犠牲者を出した。その翌日に『クローズアップ現代～“記録的豪雨”が島を襲った～緊急報告・台風26号』（10.17）を放送。島で一体何が起きていたのか伝えた。さらに台風27号が接近した10月26日には『NHKスペシャル～台風　連続襲来“記録的豪雨”はなぜ？』を放送。今後さらなる気候変動が予想される中で，私たちの社会に何が求められているのかを考えた。２月には記録的な大雪が関東甲信地方で猛威をふるった。中央自動車道や国道が相次いで通行できなくなり，山梨県では県全域が一時ほぼ“孤立”するという異常事態になった。『クローズアップ現代～大雪の猛威“空前の立往生”はなぜ起きた』（2.25）では，当時の状況を証言と映像から克明に描き出し，浮かび上がった課題を検証した。

12年12月，山梨県の中央自動車道笹子トンネルで発生した天井板崩落事故。それをきっかけに全国各地で始まった緊急点検。『NHKスペシャル～調査報告　日本のインフラが危ない』（8.4）では，インフラの安心・安全を脅かす“老朽化の実態”と対応に苦慮する自治体の姿を調査報道で明らかにした。

東日本大震災にまつわる膨大な電子情報を防災に生かそうという動きが加速する中で，『NHKスペシャル～震災ビッグデータfile3～“首都パニック”を回避せよ』（3.2）を放送。震災の際，首都圏では515万人の帰宅困難者を生み，大混乱の要因となった。震災ビッグデータを解析し，都市住民の脆弱（ぜいじゃく）さを浮き彫りにして，次なる巨大災害に備えるきっかけとした。

９月７日から８日，2020年のオリンピックとパラリンピックの開催都市を決めるIOC総会がブエノスアイレスで開かれ，東京が開催都市に決定した。NHKでは特別番組を放送。立候補していた

イスタンブール，東京，マドリードの最終プレゼン，そして投票から開催都市決定までのもようを伝えた。東京のスタジオとブエノスアイレス，マドリード，イスタンブール，そして東京都内の各地と中継を結び，13時間余りの生放送を実施した（9.7～８）。

12月19日，東京都の猪瀬知事が大手医療法人「徳洲会」グループ側から5,000万円を受け取っていた問題で辞職を表明。それに伴う都知事選挙が２月９日に行われ，舛添要一氏が当選した。その翌日，『クローズアップ現代～舛添新知事に問う　東京の“未来像”』を放送（2.10）。東京オリンピック開催や少子高齢化時代における社会保障問題などにどう取り組むのか問うた。

居場所を持てず介護施設や宿泊所を転々とする高齢者たちの実態を継続取材。“独り暮らし”で“認知症”の高齢者に焦点を当てた『NHKスペシャル～“認知症800万人”時代～“助けて”と言えない　孤立する認知症高齢者』を放送（11.24）。周囲の人たちも気づくことができないまま認知症が悪化。意思の確認ができず介護保険などの公的なサービスにつなげることも難しいといった厳しい実態を伝え，大きな反響を呼んだ。

一方，13年度は，東京の首都圏放送センターと関東甲信越の９つの放送局が連携して取材・制作する「プロジェクト　平成四半世紀」を企画した。平成になって25年。振り返れば「低迷」「閉塞」「憂鬱」という言葉が繰り返されてきた四半世紀でもあった。しかし「明日に向かって一歩踏み出そう」と前に向かう機運も出始めている。プロジェクトでは，第１シリーズのテーマを「東京」として『首都圏ネットワーク』『首都圏スペシャル』で放送。出口を目指す人々の行動と熱意を追った。

◇長野局では，年間テーマ「星空プロジェクト」を設定，信州の“星空”の魅力を番組などで全国に発信し続けた。その集大成となった長野局初制作の地域発ドラマ『木曽オリオン』を１月に全国放送。相次いだ山岳遭難，台風，大雪などに際しては注意喚起の情報を分厚く発信し，防災・減災報道に力を注いだ。

◇新潟局では，新潟地震や中越地震，新潟・福島豪雨など過去の災害発生時期に合わせた防災企画を放送し，注意喚起に努めた。また，柏崎刈羽原発の運転再開を巡る問題や，高い自殺率を改善するための取り組みなど，ニュース・番組で地域の課題を掘り下げた。

◇甲府局では，世界文化遺産に登録された富士山関連のニュースや自然・文化的価値を掘り下げた番組を放送した。２月の記録的大雪では，特設ニュースや逆L字画面によるスーパー，データ放送で生活情報などをきめ細かく伝え続けた。

◇横浜局では，児童虐待や待機児童の問題についてリポート等で多角的に伝えた。また，参院選，横浜・川崎市長選では正確迅速な当確報道を行ったほか，横浜地検川崎支部から容疑者が逃走した事件や鉄道の脱線事故では，中継も含めて現場の状況や市民生活への影響など，最新の情報を全国に伝えた。

◇前橋局では，開局80年に合わせ，地域の魅力や課題を伝える特集番組『ぐんまの絆　上毛かるた』（4.5），『知って愛して！群馬県！！』（12.13）を放送したほか，18時台の定時番組『ほっとぐんま640』で計６日間の「キャラバン」を実施。台風や大雪の際に，データ放送やホームページも活用して，きめ細かな情報発信を行った。

◇水戸局は，東日本大震災の被災地を継続的に取材して「特集」などで伝えたほか，参議院議員選挙や茨城県知事選挙の政見放送・選挙報道に着実に取り組み，公共放送として報道の使命を果たした。また，『ニュースワイド茨城』のキャラバンを５月に県西で，11月に県北で実施したほか，水戸局独自キャラクターの「なっとうどーもくん」が幼稚園児と交流する放送と連動したイベントを実施し，県域放送の普及や視聴者と結び付きの強化に努めた。

◇千葉局では開局70周年記念として，千葉発地域ドラマ『菜の花ラインに乗りかえて』を10月に放送し，全局体制で放送やイベントなどPRキャンペーンに取り組んだ。５月の千葉市長選や７月の参院選，11月の野田市の廃油精製施設の爆発火災事故や市川市の女性殺傷事件，３月の柏市連続通り魔事件など選挙・事件が多かったが，的確で核心に迫る報道ができた。

◇宇都宮局では，開局70周年を記念して職人の熟練の技を紹介する「栃木の匠（たくみ）」や県内のすべての市町を自転車で回る「キラリ☆とち旅」など地域の魅力を発信する番組を放送。また，ツイッターやメールを通じて視聴者との双方向の交流を取り入れた討論番組も実施した。

◇さいたま局は，９月の竜巻，２月の大雪と埼玉県がこれまでに見舞われたことのない災害の被害状況や防災の課題をニュースや『特報首都圏』などの番組で伝えた。東日本大震災の原発事故で埼玉に避難して３年目となった福島県双葉町の住民の生活再建の課題を『首都圏スペシ

ャル』や中継で伝えた。

〔長野局〕

長野局では２つの年間テーマを設定。その１つが，地域で暮らす人々の生命と財産を守る防災・減災報道の充実・強化。気象予報士の資格を持つ気象キャスターを平日の日中に常駐させ，台風や大雪などに際しては，防災情報などをしっかりと注意喚起した。ラジオでも毎日気象コーナーを始めるとともに，ホームページにも防災サイトを立ち上げて防災に関連する情報を分厚く発信した。

もう１つの年間テーマが「星空プロジェクト」。標高が高く空気が澄んでいる信州ならではの“星空”の魅力を番組やホームページを通じて全国に紹介した。その集大成が長野局として初制作となった地域発ドラマ『木曽オリオン』の放送。木曽にある天文台の若き研究者と地元主婦との触れ合いを描いたドラマは視聴者から高い評価を受けた。

そのほか，サッカーJ2「松本山雅」，J3「長野パルセイロ」など県内スポーツの活躍をニュースや中継で放送した。また，データ放送を使って視聴者に参加してもらう双方向のスペシャル番組を放送するなど，デジタル放送ならではの特性を生かした番組開発に取り組んだ。

昼前の情報番組『ひるとく』は，県内を拠点に活動する人たちのミニコンサートや地元の人が地域の魅力を紹介するコーナーなどを生放送。夕方のニュース番組『イブニング信州』は，１日のニュースを掘り下げたリポートや記者解説，カメラマン企画を伝え，関心の高い問題についてはシリーズで放送し，年間の平均視聴率は14.1％でよく見られた。『知るしん。』は信州の今にこだわり，県内の課題を掘り下げる特集と県内各地をキャスターが訪ねるコーナーで構成。年23本の平均視聴率は12.3％で高い支持を得た。

〔新潟局〕

地震・水害・豪雪など過去に災害に見舞われた時期を中心に，「防災」「減災」につながる情報をさまざまな角度から取材し，『新潟ニュース610』のニュース企画として放送した。夏から秋にかけての大雨による土砂崩れや浸水，台風の被害では，迅速にヘリコプターや地上の中継態勢をとって伝えた。柏崎刈羽原発の安全審査関連の情報をいち早く放送し，『金よう夜　きらっと新潟』で運転再開を目指す東京電力の動きと原発の安全性等について，不安を拭えない住民の声や対策を伝える番組を制作。その後も継続してニュース企画等で発信した。福島の原発事故で新潟県内に避難している5,000人近くの人たちを対象にアンケートを定期的に行い，被災者の暮らしや心情を伝えた。

サッカーJ1「アルビレックス新潟」の注目試合を生中継し，ニュース番組のスポーツコーナーや応援番組などでチームの情報を詳しく取り上げたほか，ソチ五輪の県内出身メダリストの情報も丁寧に伝えた。

国内外で評価の高い製品を生み出す県内の中小企業を『新潟ニュース610』で毎月紹介したほか，湯沢町に林立する中古リゾートマンション群に移り住む人々に着目して，課題克服への住民の動きを『地方発　ドキュメンタリー』「バブルの遺産と生きていく」で全国に向けて放送した。

〔甲府局〕

ニュース情報番組『まるごと山梨』では，富士山の世界文化遺産登録を巡る県と地元の動きや，笹子トンネル事故の警察捜査，裁判，遺族の動きを伝え続けた。２月の記録的大雪では，県内の被害状況や生活情報，復旧作業の状況などを伝え続けた。また，山梨県が舞台の『連続テレビ小説』「花子とアン」をPRするコーナーで県内のロケの様子などを伝えたほか，スポーツではヴァンフォーレ甲府の全試合を伝えた。

新番組『ヤマナシQUEST』では，甲州弁や甲州凧（たこ）など地域密着のテーマのほか，世界文化遺産に登録された富士山の自然や文化的価値を紹介する番組を制作した。このほか『連続テレビ小説』「花子とアン」をPRする番組も制作し，地元・山梨を盛り上げた。

生活情報番組『かいなび』では，山梨の自然の魅力を紹介する「自然だいすき」，話題の本や図書館を紹介する「おはなしなび」，主婦層の関心が高い衣食住の話題を提供する「かいなびスタイル」「市場だより」などのコーナーを『まるごと山梨』と連動して放送した。

全国放送番組では，『NHKスペシャル』「世界遺産　富士山～水めぐる神秘」，『クローズアップ現代』「世界遺産　富士山は守れるか」，『ETV特集』「富士山と日本人～中沢新一が探る１万年の精神史」など，富士山関連の番組を制作した。２月の記録的大雪関連では，『クローズアップ現代』「大雪の猛威～“空前の立往生”はなぜ起きた」を制作した。

２．地域放送番組

（１）定時番組

『ひるまえほっと』　新　G

月～金　11:05～11:54

第１回13.4.3／関東ブロック／関東地方のフレッシュな話題や暮らしに役立つ情報を伝える地域情報番組。月曜は１都６県すべての放送局から地域の話題と１週間のイベント予定を紹介。火曜は横浜・水戸局，水曜は千葉・宇都宮局，木曜はさいたま・前橋局から地域の話題をリポート。東京からは月～水曜に趣味・文化・健康情報などを伝える「@ほっと」，木曜に地域を笑顔にしようと取り組む人たちにスポットを当てる「笑顔みつけ隊」，毎月第１金曜に視聴者の投稿川柳を紹介する「ほっと川柳」，さらに旬の海産物・野菜・花の情報を伝える「いま旬☆市場」，関東各地の行楽スポットを訪ねる「てくてく散歩」なども放送した。また，おいしい料理を手軽に作る方法を紹介する「かんたんごはん」を月～金曜に放送，視聴者の好評を得た。／キャスター：三好正人アナ／首都圏放送センター

『ゆうどきネットワーク』　G

月～金　17:10～18:00

第１回97.4.1／13年度から月～木曜を本部，金曜を大阪局からの全国向け生放送として編成。生活情報を中心に，身近で関心の高い話題を掘り下げて放送した。11年度にスタートした，旬の魚の生態とその調理法などを紹介する「さかなクンのギョギョ魚発見！」や「松崎しげるのトリタビ」は番組独自の旅企画として定着し，好評を得た。竜巻，集中豪雨など大規模災害に際しては機動力のある中継機材を活用して防災情報を発信。また，地域放送局と連携して東日本大震災の被災地の現状を伝え続けた。加えて，13年度は，世界最高齢でエベレスト登頂に成功した三浦雄一郎さんを年間通して取材。登頂直前のインタビューや登頂成功後にはスタジオゲストに招き，快挙達成の裏側に迫った。さらに年末には，総まとめにした「三浦雄一郎スペシャル」を通常の放送枠を拡大して特集番組として放送した。／キャスター：山本哲也・出田奈々アナ（本部），比留木剛史アナ，田丸麻紀（大阪局）／首都圏放送センター，大阪局

『首都圏ネットワーク』　G

月～金　18:10～18:59

第１回97.4.1／関東ブロック（水戸局を除く）／関東地方の視聴者に向けて，その日１日の重要ニュース，生活情報，気象情報などを幅広く伝えるニュース情報番組。６月の東京都議選，７月の参院選では選挙の争点や候補者の訴えをシリーズで伝えた。東京都の猪瀬前知事の資金問題では最新の情報を継続して伝えた。舛添知事が当選した２月の都知事選では，出口調査の分析などを交え投票にあたって有権者が何を重視したのかや，今後の都政の見通しなどを詳しく伝えた。また，10月の台風による伊豆大島の土砂災害や２月の関東甲信地方の大雪被害では，被害状況を伝えるとともに，なぜ大きな被害をもたらしたかについても伝え，今後の防災・減災に資するよう努めた。このほか，関東各局のリポーターが地域の文化や自然を紹介する「いってみよう いってみたい」や，キャスターが関東各地の食や文化を探訪する「月イチ探検」など，くつろいで見ることができるコーナーも充実させ，バラエティーに富んだ内容の放送を目指した。／キャスター：村竹勝司・片山千恵子アナ／首都圏放送センター

『特報首都圏』　G

金　19:30～19:55

㊐土　10:50～11:15

第１回84.4.6／関東甲信越ブロック／視聴者の関心の高いテーマを幅広く取り上げ，合わせて31本の番組を放送した。13年度は災害が多く，９月に埼玉と千葉，栃木を襲った竜巻，10月に伊豆大島の土砂災害，２月に記録的大雪被害があった。番組では適時被害の実態や課題について伝えた。また，急増する認知症高齢者の問題や，2020年五輪の東京招致に関する話題，原発事故３年目の県外避難者の実態，実の母と娘の深刻な確執の現状など，社会の関心事を掘り下げた。ゼロ戦の開発秘話や山田洋次監督のテレビドラマ初作品，東京大空襲の被災地図などスクープ性の高い話題も伝えた。関東甲信越各地の活力ある話題を集めた「わが町の大逆転」も２回放送し好評を得た。13年11月からは視聴者の要望を受け，番組中のご意見紹介をデータ放送で行うシステムを構築。ツイッターや番組ホームページを積極的に活用し，視聴者の声を数多く紹介した。／キャスター：斉藤孝信アナ／首都圏放送センター

『首都圏スペシャル』　G

（最終）金　19:30～20:43

㊐（最終）土　10:05～11:18

第１回11.4.22／関東甲信越ブロック／首都圏の視聴者に向け，関心の高いテーマを深く掘り下げて伝える大型特集番組として年間10本放送した。「地震火災から命を守る～関東大震災90年」「ふるさとを遠く離れて～原発事故　避難者の３年」など，防災について考える生番組や東日本大震災の被災者の現状を伝えるドキュメンタリーを放送した。“いじめを考えるキャンペーン”の一環として放送した「聞こえますか、子供たちの“心の声”が」では，識者とともに子供たちの本音に迫

った。また「発酵漫遊記スペシャル～お宝発酵食を発掘せよ！」「夏山へGO！2013～達人と楽しむ日本の名峰」「おもいで映画館～フィルムがつむぐ物語」など，貴重な映像資料を掘り起こしたり，趣味の世界の新たな発見を家族で楽しむ番組を企画したりした。「平成四半世紀　東京」では，“東京”をテーマに25年を振り返り，未来の姿を識者のインタビューを交えて考えた。／首都圏放送センター

『キッチンが走る！』　G

金　20:00～20:43（関東甲信越）
㊐土　10:05～10:48（関東甲信越）
㊐火　15:15～15:58（全国）

第１回10.10.1／キッチンを備えた車に料理人と俳優の杉浦太陽が乗り込み，地元の人たちと触れ合いながら，旬の食材を集め，究極のオリジナル料理に挑戦する。／出演：杉浦太陽ほか／語り：高橋克実／コンテンツ開発センター，NEP，NEXTEP

『首都圏ニュース845』　G

月～金　20:45～21:00

第１回96.4.1／関東ブロック（水戸局を除く）／帰宅したサラリーマン層も意識して，首都圏のその日の主なニュースや話題を放送。各地の動きをコンパクトに伝えるとともに，あすの気象情報のポイントが分かるニュース番組として視聴者から支持を得ている。／キャスター：守本奈実・松村正代アナ／首都圏放送センター

〔長野局〕

『ひるとく』　G

月～金　11:40～12:00

地域の生活・文化・スポーツ情報を発信。13年度は信州ゆかりのアーティスト28組がスタジオライブを披露したほか，暮らしのヒントや県内の美術館･博物館情報を放送した。また，市場情報は，内容を大幅にリニューアルして『イブニング信州』でもあわせて放送し，野菜や果物，魚の旬の素材の魅力を伝えた。

『イブニング信州』　G

月～金　18:10～19:00

県内の幅広い分野のニュースや話題を伝えた。特に13年７月に中央アルプスで起きた韓国人登山グループ４人が死亡した遭難事故や，14年２月の記録的な大雪による影響を多角的に伝えるなど災害報道に力を入れた。長野県建設業厚生年金基金の元事務長の巨額横領事件では，金の使い道や事件の背景などを継続的に取材した。13年７月の参院選や10月の長野市長選挙では，選挙戦の焦点や課題をリポートや解説で分かりやすく伝えた。ソチ五輪を前に，長野県ゆかりの注目選手をシリーズで紹介したほか，大会の結果を詳しく伝えた。さらに，気象コーナーを一新し，専門のキャスターを置いて，きめ細かい情報を発信した。

『知るしん。信州を知るテレビ』　G

金　19:30～19:55

13年度はソチ五輪を控え，信州から世界を目指すアスリートをシリーズで紹介。過疎の農村で活性化に取り組む農家や，日本一の納豆を作る職人，被災から３年となった栄村で証言集をまとめる住民など，信州で活躍するさまざまな分野の人々を詳しく伝えた。

『信州845』　G　月～金　20:45～21:00

信州の１日が分かる地域最終ニュース番組。

『ニュース』　R1　月～金　19:45～20:00

長野県の１日をコンパクトに伝えるローカル最終ニュース。

〔新潟局〕

『お昼はじょんのび　くらし情報便』　G

月～金　11:40～12:00

暮らしの安全・健康・趣味・教養などの情報をスタジオ生インタビューで紹介したほか，展覧会や祭りなどイベントのお知らせ，青果・鮮魚・花の市場情報など，暮らしに密着した情報を伝えた。

『新潟ニュース610』　G

月～金　18:10～19:00

県内のニュースや動きを記者リポートや記者解説，中継などを交えて多角的に伝えた。インタビュー，スポーツ，旅，ケーブルテレビ便りなどの企画コーナーのほか，原発事故からの避難者に福島のニュースを伝える「福島ふるさとニュース」を継続。防災企画は時機を見て，シリーズを組んで放送した。

『金よう夜　きらっと新潟』　G

金　19:30～19:55
㊐火　11:05～11:30

柏崎刈羽原発の運転再開問題や高い自殺率に対する取り組みなどを取材した報道番組，県内で活躍する人物にスポットを当てたドキュメンタリー，新潟の豊かな自然・文化を伝える紀行番組など，幅広いテーマの番組を制作した。

『新潟ニュース845』　G

月～金　20:45～21:00

県内の１日のニュース・気象情報をコンパクトに伝えた。

『新潟ラジオセンター』　R1

月～金　7:40～ 8:00

新潟の各分野で活躍する人が語る「朝の随想」のほか，音楽，「防災メモ」，気象情報，交通情報を伝えた。

『新潟・きょうの１日』　R1

月～金　19:45～20:00

県内の１日をまとめたニュースや気象情報のほか，地震や水害への備えを呼びかける「防災メモ」を伝えた。

〔甲府局〕

『かいなび』　G

月～金　11:35～12:00

第１回12.4.2／食，子育て，美容・健康，カルチャー，ガーデニングや自然の楽しみなど，山梨らしい話題をそろえたコーナーで構成する生活密着型の情報番組。夕方のニュース情報番組とも連動し，地域情報を手厚く発掘・発信した。

『まるごと山梨』　G

月～金　18:10～19:00

“きょうの山梨県の動きがわかる”をコンセプトに県内のニュースや話題を分かりやすく伝える“ニュース情報番組”。特に国民文化祭，富士山の世界文化遺産登録では，記者解説やリポートを充実させて伝えた。

『ニュース山梨845』　G

月～金　20:45～21:00

山梨県内の１日のニュースや気象情報をコンパクトに伝えた。

『ヤマナシQUEST』　新　G

金　19:30～19:55

山梨で“今，起きている潮流”“魅力的な人々の営み”を探索し，未来の山梨を探求する“特集番組”。富士山の世界文化遺産登録，県民の安全に関わる防災や社会問題，地域密着のドキュメントなど，ニュースとの連動も実施。視聴者参加の双方向システム，ご意見募集などを積極的に取り入れた。合計11本制作。

『ニュース・天気予報・おしらせ』　R1

月～金　19:45～20:00

県内の１日のニュースのまとめと気象情報，防災メモなどを伝えた。

〔横浜局〕

『FMサウンド☆クルーズ』　FM

月～金　18:00～19:00

神奈川ゆかりのゲストのトーク，ジャズ・クラシック・ポップスの音楽紹介，そして県内の鉄道沿線からの中継なども交え，地域の文化，魅力を伝えるとともに，子育て支援情報など暮らしに役立つ情報も発信。毎月第４水曜には横浜放送会館からジャズライブの生中継を行った。

〔前橋局〕

『ほっとぐんま640』　G

月～金　18:40～19:00

第１回12.4.2／県内のニュースを中心に，身近な情報をきめ細かく伝える，生活に役立つニュース情報番組。“好きです。群馬”をキャッチフレーズに群馬の魅力を発掘・再発見し，「群馬ブランド」の魅力を伝えた。キャラバンも５月に西毛地区（富岡市，甘楽町），11月に北毛地区（みなかみ町，片品村），３月は東毛地区（桐生市，邑楽町）で実施した。

『ぐんま土曜広場』　FM

（随時）土　16:00～18:00

ジャズの調べとともに，寄せられたリクエストやお便りを紹介する「ぐんまリクエストカフェ」（6.29，8.24，10.26，12.21，2.22），群馬交響楽団の定期演奏会「群響アワー」（6.15，11.9）のほか，日本を代表する温泉地の伊香保と草津で収録した「ふれあい歌謡ステージ」（7.13，9.7）を放送した。

〔水戸局〕

『とれたて　ワイド　いばらき』　G

月～金　11:30～12:00

第１回09.4.2／料理や健康など暮らしに役立つ生活情報に，リポートや中継をふんだんに交えて伝える地域応援番組。ロビースタジオで公開生放送，学校単位で見学に訪れる小学生たちの学校自慢などを生き生きと伝えた。

『ニュースワイド茨城』　G

月～金　18:10～18:59

第１回09.3.30／その日の茨城県のニュースを中心に，徹底した取材と多角的な視点でその背景や原因を追求するとともに，問題点や解決策を探っていくニュース情報番組。今も残る大震災の課題や国内最大規模の竜巻災害から，茨城の魅力的な場所，人，食べ物を紹介する企画まで，きめ細かく地域情報を発信した。

『茨城ニュース845』　G

月～金　20:45～21:00

第１回04.10.1／茨城県のその日の出来事を，気象情報と併せてコンパクトに伝えた。

〔千葉局〕

『ひるどき情報ちば』　FM

月～金　11:00～12:00

音楽とともに，暮らしに役立つ情報や県内のさまざまな分野で活躍する人へのインタビューを伝える番組。月曜は食，火曜は子育て・暮らし，水曜は健康・本，木曜はスポーツ，金曜は観光と美

術館・博物館情報の定番コーナーがある。ニュース，交通情報，気象予報士による気象情報とともに，生放送した。

『チバ☆スタ』　FM

4.27，9.14，12. 7／土　14:00～16:00
2.21／金　18:00～18:50

千葉放送会館１階ロビーで実施する公開生放送番組。進行役は厚井大樹アナウンサーと北林きく子キャスター。「千葉の子育て」「千葉の観光」などのテーマを設け，旬な著名人や地域で活動する人を招いて千葉の魅力や気になる話題について語り合った。毎回100人前後の観覧者があり，９月には，開館70周年会館公開イベントの一環として，渡辺正行さんなど『千葉発地域ドラマ』の出演者をゲストに迎えて行った。

〔宇都宮局〕

『とちぎ640』　G

月～金　18:40～19:00

第１回12.4.2／その日の出来事をとことん掘り下げ分かりやすく伝える県域ニュース番組。毎週月・金曜の「スポーツ情報」では，サッカー「栃木SC」の動きをはじめ県内のプロスポーツチームの話題を中心に取り上げた。また，火曜の「とちぎ情報」ではきめ細かな地域の話題や暮らしに直結する情報，水曜の「マイビデオ」では視聴者から寄せられた映像を紹介したほか，自転車で県内各地を巡る「キラリ☆とち旅」や匠の技を持つ県内の職人を紹介する「栃木の匠」もシリーズでお伝えした。

『ときめきとちぎ』　G

金　11:30～12:00

第１回12.4.6／アウトドアや健康など暮らしに役立つさまざまな情報や，生活の中で発生する問題への対処法など多彩な情報を伝える地域情報番組。自宅でできる「健康体操」や健康を保つための注意点，トラブルに巻き込まれないための生活上の対処法など，毎週各分野の専門家をスタジオに招いて解説した。また，「NHK放送体験クラブ」や「キラリ☆とち旅 わたしの自転車ライフ」の様子など，宇都宮放送局主催イベントのもようも紹介した。

〔さいたま局〕

『日刊！さいたま～ず』　FM

月～木　18:00～18:50

埼玉にゆかりのある人たちをゲストに，生活の知恵や旬の話題を伝えた。５月，さいたま市長選の結果を記者解説で伝えた。３月11日には東日本大震災で被災した人々を支える「絆スペシャル」を放送した。

『週刊☆サッカー王国』　FM

金　18:00～18:50

「浦和レッズ」と「大宮アルディージャ」の前節の分析と次節の展望を，聴取者からの投稿メールとコメンテーターの解説を交えて伝えた。

（２）特集・特別番組

〔長野局〕

『知るしん。信州を知るテレビ～シリーズ“信州からソチへ”』　G

9.13，10. 4，11.15，12. 6／19:30～19:55

信州から世界を目指すアスリートをソチ五輪開催半年前から４回にわたり放送。１回目は女子ショートトラック・菊池純礼。２回目はカーリング男子・SC軽井沢クラブ。３回目はソチ五輪で銀メダルを獲得したノルディック複合・渡部暁斗。４回目はパラリンピックで金メダル２個を獲得したチェアスキー・狩野亮。

『ドラマ木曽オリオン直前特番』　G

11. 1，1.17／19:30～19:55

１月22日放送の長野発地域ドラマを前に２回にわたり，ドラマの見どころを伝える特集番組を制作。１回目は撮影の舞台裏を出演者のインタビューとともに紹介。２回目は脚本家・岡田惠和氏へのロングインタビューを中心に，完成した映像も併せて伝えた。

『撮るしん。スペシャル～写真で再発見！とっておき信州』　G　12.13／19:30～20:43

信州の美しい風景の投稿写真を長野局のホームページで紹介している「撮るしん。」。この１年に寄せられた6,000枚の中から，生放送中に視聴者の投票で12枚を選び，新年のカレンダーを制作した。

〔新潟局〕

『金よう夜　きらっと新潟』　G
「japan beauty～にいがた漆物語」

6.21／19:30～19:55

国の「伝統的工芸品」に指定されていながら，取り上げられることが少なかった「新潟漆器」と「村上木彫堆朱（ついしゅ）」に注目。高度な職人技の息づかいを特殊機材も生かして撮影し，現場の音を大切にする編集でその魅力に迫った。

「始まった“安全審査”～柏崎刈羽原発　最新報告」　11.29／19:30～19:55

柏崎刈羽原発の安全審査が始まる中，早期の運転再開を目指す東京電力の動きと，原発の安全性や事故発生時の避難について不安を拭えない住民の声や独自の対策など，県民の関心の高い情報を

せき止めて放送した。

「“きざし”を見逃さない～薬剤師が挑む自殺予防」　1.10／19:30～19:55

全国最悪のレベルで自殺率の高い新潟県で，処方薬で自殺を試みる人が多い現状を打破しようと動き出した薬剤師たちの先進的な取り組みを紹介した。

「命守るラジオ」　3. 7／19:30～19:55

新潟県中越地震と東日本大震災で，コミュニティFM局が果たした役割に目を向けるとともに，「緊急告知ラジオ」を海外にも普及させようとする地域のラジオ局の動きを伝えた。

〔甲府局〕

『よってけし！ハートプラザ～“かいなびフェスタ”にようこそ』　R1　5.18／13:05～16:00

『まるごと山梨～新会館１周年』　G　5.21／18:10～19:00

『よってけし！ハートプラザ～食欲の秋！“おいしい”朗読会』　R1　11.30／13:05～16:00

『かいなび年末スペシャル』　G　12.27／11:05～11:54

『まるごと山梨～まるごと2013』　G　12.27／18:00～19:00

〔横浜局〕

『ヨコハマから届けよう、ジャズの元気2013』　FM　5.25／14:00～18:00

東日本大震災の被災地にジャズを通して元気を届けようという多数のミュージシャンが放送会館ロビーに集合し，ジャズライブを開催。そのもようを神奈川県および被災地の宮城・岩手・福島県向けに４時間にわたり生中継した。また，後日，再編集し年末年始特集として全国放送および国際放送に展開した。

『FMサウンド☆クルーズ～NHK横浜スペシャルジャズライブ』　FM　10.12／14:00～18:00

ジャズの町・横浜で毎年開催される大型ジャズイベント「横濱ジャズプロムナード」に合わせ，２日間にわたって会館ロビーでNHK横浜放送局主催のジャズライブを開催し，このうち１日目のもようを４時間にわたり神奈川県域で生中継した。

〔前橋局〕

『NHK前橋放送局開局80周年記念～ぐんまの絆　上毛かるた』　G　4. 5／19:30～20:43

群馬県民が愛してやまない「上毛かるた」を取材した特集番組。県大会優勝を目指し奮闘する強豪チームに密着し，レギュラー争いやケガを乗り越え成長する子どもたちや，その頑張りを応援する地域の絆のドラマを見つめ，世代を越えて夢中にさせる不思議な魅力に迫った。

『親子で歌おう♪ぐんま童謡コンサート』　FM　4.29／10:00～11:00

開局80年企画として実施した，群馬ゆかりの童謡を後世に歌い継ぐコンサートのもようを伝えた。

『第95回　全国高校野球選手権大会　決勝ダイジェスト「前橋育英」対「延岡学園」』　G　8.23／ 0:10～ 2:44

前日行われた決勝戦のダイジェスト。

『ありがとう　前橋育英～優勝の軌跡』　G　8.24／17:05～17:30

夏の甲子園で初出場初優勝の快挙を遂げ，全国の頂点に立った前橋育英高校の荒井直樹監督をゲストに迎え，優勝までの道のりを振り返った。

『NHK前橋放送局開局80年記念番組～知って愛して！群馬県！！』　G　12.13／20:00～20:43

日本有数の温泉や豊かな自然があるにもかかわらず，群馬県の知名度は高くないという番組独自のアンケート結果を基に，群馬出身のタレントや識者を招き，前橋局スタジオと東京銀座を中継でつなぎ，知名度アップの道を楽しく探ったトークバラエティー。

『ほっとぐんま640　年末スペシャル』　G　12.27／18:10～19:00

群馬県内で起きたニュースをまとめ，１年を振り返るほか，甲子園優勝監督へのインタビューや，館林市で活躍するご当地アイドルの出演などを織り交ぜながら50分間にわたって放送した。

〔水戸局〕

『茨城スペシャル』　G

「不屈の森～牛久・放射能と向き合う自然公園」　6. 7／20:00～20:43

牛久市にある自然観察の森。子どもたちや市民の憩いの場所だったが，原発事故でホットスポットに。再び笑顔あふれる公園にしたいと格闘する職員たちの姿を追った。

「我らに夢と戦略あり～茨城のキーマン　TPP・農を語る」　6.28／19:30～20:43

TPP交渉会合目前，農業県である茨城県は大きな転機を迎えていた。生産者や行政，JAなど５人のキーマンが集結。時代を乗り切る戦略や夢を語った。

「ハングリーハンター　農家直伝！台所の知恵」
9.27／19:30～20:43
農水産物が豊かな茨城で，産地ならではの食べ方を探るスペシャル番組。レンコンやりんご，にらなどを素材にした，あっと驚く料理や知ってトクするスゴ技を公開した。

「技極め　光舞う～生中継土浦全国花火競技大会」
10. 5／19:30～20:45
秋の夜空に花火師たちの究極の技が花開く。羽田美智子さんと河野晴行さんをゲストに迎え，日本一を目指す花火師たちの熱い戦いを生中継した。

「原子力ムラの前村長が訴える～脱原発の信念と現実のはざまで」
11.29／19:30～20:09
東海村で16年間村長を務め，引退後脱原発を目指して活動する村上達也さんに注目。経済の停滞で原発再稼働を望む声も根強い中，原発と地域の在り方を考えた。

「小澤征爾＆シュトゥッツマン指揮　水戸室内管弦楽団演奏会」
G（サブ）　1.17／19:00～19:30
G　1.17／19:30～20:45
G（サブ）　1.17／20:45～20:57
世界のオザワが２年ぶりに指揮する演奏会を演奏会終了まで生中継。水戸芸術館の館長となって初のステージを全国に先駆けて放送した。曲目は「ベートーベン交響曲第４番」ほか。

「今夜は、いばらナイト～参加型エンターテインメント番組」
1.31／19:30～20:43
スーパー小学生から世界一の83歳まで，茨城を代表する強者（つわもの）たちがスタジオに大集合。リモコンを押してよかっぺ度を投票する双方向番組。出演は渡辺裕之，綾部祐二ほか。

「冬のおくりもの　ここから～復興へ・いま伝えたい言葉」　G　2.28／19:30～20:43
FM　3.22／20:10～21:00
震災から３年，「いま伝えたい言葉」を視聴者から募集して紹介。その思いを心温まる朗読と音楽のハーモニーで届けた。ゲストは石井竜也。演奏は加羽沢美濃と吉田正記念オーケストラ。

「女性が輝く～働くチャンスがやってきた」
3.28／19:30～20:13
出産・育児を機に６割の女性が仕事を辞める日本だが，いま，女性の活躍の場が社会に広がっている。番組では，社会で活躍する女性たちの最前線を追い，女性の新たな働き方を考察した。

〔千葉局〕

『若い芽のαコンサート』　FM
7.14／14:00～16:00
千葉県出身の若手演奏家が地元オーケストラと共演する「若い芽のαコンサート」を収録して放送した。

〔宇都宮局〕

『奇跡の湿地　渡良瀬』　G
8. 2／19:30～19:55
希少な植物や鳥類が数多く生息する渡良瀬遊水地の特異な環境を紹介したほか，その豊かな恵みを利用して暮らす人々の様子や，湿地を再生させる取り組みなどを伝えた。

『栃木の匠（たくみ）』　G　11. 1／19:30～19:55
世界遺産の日光東照宮を修復している職人や，木で魅せる作品を作り出す鹿沼組子の職人など，県内の人間国宝や伝統工芸士の熟練の技を紹介した。

『とちぎの未来』　G
11.15／19:30～20:43
宇都宮市の中心街にある「オリオンスクエア」を会場に，県内で地域活性化に取り組む代表的な人々６人をゲストに迎えて栃木県の未来を語る生放送番組。多くの人々を集めるイベント，若者たちの店が続々と生まれる町，御当地グルメ，自転車イベントで新たな魅力を発信する町など，県内の市町のさまざまな姿を紹介した。

『キラリ☆とち旅　日光スペシャル』　G
12. 6／20:00～20:43
秋深まる日光を自転車で巡る旅番組。自転車が大好きな安田大サーカス団長とモデルの宇井愛美さんがふるさとの宝に出会い，人々との触れ合いを堪能した。

『第23回ピアノコンクール入賞者演奏会』　FM
3. 1／14:00～16:00
栃木県総合文化センターで行われた「第23回ピアノコンクール入賞者演奏会」のもようを収録して放送した。栃木県内４つのピアノコンクールで優秀な成績を収めた小学生から社会人まで16人の若きピアニストたちの演奏を紹介した。

〔さいたま局〕

『“週刊☆サッカー王国スペシャル”Jリーグさいたまダービー　浦和VS大宮』　FM
4.20／16:00～18:00
10. 5／16:00～18:00
サッカーを応援する放送局として，Jリーグ「浦和VS大宮」のさいたまダービーを放送。試合中

に応援メールを紹介するなど，聴取者の参加感を高める演出を施した。

『“週刊☆サッカー王国スペシャル”Jリーグ第33節　サガン鳥栖VS浦和レッズ』　FM
11.30／14:00～16:00

佐賀県で行われたサガン鳥栖と浦和レッズの優勝争いに絡む試合を現地から中継。聴取者からのレッズへの応援メールを番組中に募集し紹介するなど，県民サポーターの目線に立った放送を行った。

『埼玉県第４種サッカーリーグ選手権大会決勝』　FM　12.23／12:45～14:05

小学生サッカーの埼玉県チャンピオンを争う大会を生中継。サッカーの盛んな土地ならではのハイレベルな試合を伝えた。

『震災復興応援コンサート～故郷への想い、音楽に託して』　FM　3.11／16:00～17:20

東日本大震災で被災した多くの人々が暮らす加須市で，震災復興を応援するコンサートを実施。ダイナミックなオーケストラの演奏や会場全員で「花は咲く」を合唱した。

〔各局共通〕

『NHK全国学校音楽コンクール』

東京都　FM　小学校　8.26／ 7:30～ 9:30
　　中学校　8.27／ 7:30～10:00
　　高等学校　8.28／ 7:30～10:00
長野県　E　8.31／12:00～13:52
　　9. 7／12:00～14:14
新潟県　E　8.31／12:25～13:00，13:10～14:26，14:35～15:43
　　FM　9. 1／ 7:20～ 8:20，8:30～11:00，14:00～16:15
山梨県　FM　8.26～27，30／18:00～18:50
　　8.28～29／18:00～19:00
神奈川県　FM　8.26～27／ 7:25～10:00
　　8.27／14:00～16:00
　　8.28／ 7:25～ 9:20，14:00～15:08
群馬県　FM　8.31／16:00～18:50
茨城県　FM　小学校・高等学校
　　8.31／ 9:00～10:41
　　中学校　9. 1／ 9:00～10:23
千葉県　FM　予選
　　小学校　8.19～23／18:00～18:50
　　中学校　8.26～30／18:00～18:50
　　FM　本選（小・中・高等学校）
　　9. 1／12:15～18:00
栃木県　G　8.13～15／18:40～18:52
　　FM　8.26～29／18:00～18:50
埼玉県　FM　小学校の部　8.26／13:00～15:55
　　中学校の部予選
　　8.27／13:00～15:55
　　中学校の部本選・高等学校の部
　　8.28／13:00～15:55

３．スポーツ中継

〔高校野球〕

全国高校野球選手権大会・地区大会
東京都　東東京大会・決勝　G・E・R1／ 7.27
　　西東京大会・決勝　G・R1／ 7.28
長野県　準々決勝　R1／ 7.24～25
　　準決勝　G・E・R1／ 7.27
　　決勝　E・R1（一部FM）／ 7.28
新潟県　準決勝　G・R1／ 7.23
　　決勝　G・R1／ 7.25
山梨県　準々決勝　R1／ 7.23～24
　　準決勝　G・E・R1／ 7.26
　　決勝　G・E・R1／ 7.27
神奈川県　準決勝　FM／ 7.28　11:00～11:50，12:15～17:10
　　決勝　FM　7.30／12:55～15:35
群馬県　準決勝　FM／ 7.27
　　決勝　E・FM／ 7.28
茨城県　準決勝　G・FM／ 7.24
　　決勝　G・FM／ 7.25
千葉県　準決勝　FM　7.26／10:00～17:30
　　決勝　FM　7.27／ 9:45～13:00
栃木県　準決勝　FM／ 7.27
　　決勝　G・FM／ 7.28
埼玉県　準決勝　FM／ 7.27
　　決勝　G・FM／ 7.28

秋季高校野球・県大会
長野県　３位決定戦・決勝　R1／10. 1
新潟県　準々決勝　R1／ 9.19～20
　　準決勝　R1／ 9.22
　　３位決定戦　R1／ 9.23
　　決勝　R1／ 9.23
山梨県　準決勝　R1／10. 5
　　３位決定戦　R1／10. 6
　　決勝　R1／10. 6
茨城県　準決勝　FM／10. 6
　　決勝・３位決定戦　FM／10. 7

秋季高校野球・関東地区大会
山梨県　準決勝　R1／10.30
　　準決勝　前橋・水戸・宇都宮局　FM／10.30

決勝　前橋・水戸・宇都宮局
FM／10.31

秋季高校野球・北信越地区大会
準決勝　長野・新潟・福井局
R1／10.19
決勝　長野・新潟・福井局
FM／10.21

全国高校軟式野球選手権大会
決勝　横浜局　FM／ 8.30

〔サッカー〕

サッカーJ1リーグ
大宮×浦和　さいたま局　FM／ 4.20
新潟×大分　新潟・大分局　G／ 5.18
鹿島×名古屋　水戸局
G（メイン）／ 5.18
浦和×大宮　さいたま局　FM／10. 5
甲府×東京　甲府局　G／10.27
鹿島×川崎　水戸局　G／10.27
鳥栖×浦和　さいたま局　FM／11.30
新潟×名古屋　新潟局　G／12. 7
甲府×徳島　甲府局　G／12. 7
仙台×新潟（開幕戦）仙台・新潟局　G／ 3. 1
甲府×鹿島　甲府局　G／ 3. 1

サッカーJ2リーグ
栃木×水戸　宇都宮・水戸局　G／ 4.14
松本山雅×カターレ富山　長野・富山局
G／ 5.26
水戸×神戸　水戸局　G（メイン）／ 6. 1
富山×群馬　富山・前橋局　G／ 6. 8
水戸×北九州　水戸局　G／10.20
水戸×京都　水戸局　G（メイン）／11.17
水戸×大分　水戸局　G／ 3. 2

天皇杯全日本サッカー選手権　地区大会
長野県　決勝　長野局　G／ 8.25
新潟県　決勝　新潟局　G／ 8.25
山梨県　決勝　甲府局　E／ 8.18

埼玉県第４種サッカーリーグ選手権
決勝　さいたま局　FM／12.23

〔バスケットボール〕

bjリーグ
信州×秋田　長野局　G／ 2. 9

新潟県高等学校総合体育大会バスケットボール
男子・女子決勝　新潟局　G／ 6. 2

〔プロ野球〕

新潟×群馬（BCリーグ）
新潟局　R1／ 4.13

「横浜DeNA」対「西武」
横浜局　FM／ 5.28

「横浜DeNA」対「ヤクルト」
横浜局　FM／ 9.17

Ⅱ．技　術

〔長野局〕

〈送信設備の機能強化〉
・災害時の長時間に及ぶ停電対策として白馬・大桑ラジオ放送所の非常用電源をBF装置から自家発電装置に変更したほか，ラジオ中継所５局所において自家発用燃料タンクの増量工事を実施した。
・ラジオ中継所の10局所全てに送り返しモニター設備を整備して会館での監視強化を実施した。
・中継放送所の信頼性向上のためTV中継放送機の２台化工事を白樺湖・望月・木曽妻籠の３局について実施した。

〈送信設備維持・整備〉
・FM放送機の更新（善光寺平，鬼無里，飯田，倉本）を実施した。
・善光寺平中継所の自家発電装置の更新，その他BF用蓄電池を７局所，自家発始動用・リモコン用蓄電池の更新を実施した。
・アナログ放送の終了に伴いアナログ中継局24局の設備撤去を実施した。

〈緊急災害時の設備強化〉
・非常災害時の伝送ネットワークの強化のため，鳥居山FPU基地を高所移転し清水高原FPU基地を整備（長野県山形中継基地併設）し，エリアを拡大した。
・小型FPU伝送機材の緊急パックを追加整備し，２式により機動性を強化した。
・会館の自家発燃料の増量を行い，100時間の電源確保により非常用電源を強化した。
・会館に衛星電話の固定アンテナを整備し，災害時の通信手段の確保を強化した。

〈設備維持・整備〉
・会館の無停電電源装置（UPS）の統合更新と電源負荷の系統整理を実施した。
・音声放送媒体をMOからコンパクトフラッシュ（CF）に更新した。
・３か所の報道室の取材カメラをテープレスカメラに更新した。
・VHF連絡無線基地のデジタル化の更新（美ヶ原，松本，諏訪，飯田）を実施。

〈情報カメラ〉
・移動天気カメラを伊那市光前寺の桜カメラ（４月），岡谷市鶴峯公園のツツジカメラ（５月），

御嶽山ロープウエーで秋の紅葉カメラ（９月），白馬駅前の降雪情報カメラ（11月）として設置運用。

〔新潟局〕

新潟県が発表したハザードマップで，信濃川を遡上する津波により新潟放送会館周辺は１メートル近く浸水し，１階にある自家発室に被害が及ぶことが判明。このため，放送電源確保を目的に会館屋上に非常用簡易自家発を新規整備した。併せて地下タンクの増量化工事（２万4,000ℓ）を実施し，放送機能の強靭化を推進した。

映像伝送および報道設備では，越後湯沢基地局や佐渡基地局，佐渡報道室などをHV化更新。今回の更新により県内報道設備のHV化が完了した。越後湯沢FPUはヘリ追尾機能（GPS）が付加され，受信エリアが拡大した。

放送網の安定化と機能強化として，13年度は６か所の中継局放送機２台化工事と３か所のNHK共聴大規模改修を実施。また，津南地区のフェージング対策として，小千谷真人に局舎を建設。14年度に伝送設備を整備する。

３月，県防災システムに直結していた災害情報データの取得ルートを公共情報コモンズ経由に移行する作業を実施。この移行に合わせ，県内自治体の災害情報入力訓練を実施。データ放送で生送出することで迅速・確実な災害情報の提供に取り組んだ。

設備の改善・開発として，「河川カメラ送出システム」など災害報道に直結したシステムを開発し，防災・減災情報の充実を図った。また，12年度より継続開発した「カメラ構図自動調整システム」は，番組技術展において，報道室記者の負担軽減に着目した点を高く評価され，「優秀賞」を受賞した。

地域貢献への取り組みとして，移動天気カメラを県内７か所に仮設し，季節情報の発信に努めた。また，出前授業を県内９校210人の小学生を対象に実施。公開派遣番組でフォトサービスを４か所，延べ1,700人に対して行った。

送受信技術業務の再構築として，７月より受信業務の分業化を実施。共聴保守業務や技術講習会業務をアイテックへ委託した。

〔甲府局〕

「10年に一度」と言われる大型で強い台風26号が関東甲信地方に接近，甲府局では，現在あるシステムを工夫し，独自に台風の進路図をL字に付加し，きめ細やかな情報発信に努めた。

山梨県に82施設あるNHK共聴において，早川町にある湯島・西山温泉の２施設が11月13日暫定対策ではあるがデジタル導入が完了し，すべてのNHK共聴でデータ放送を含め高画質での放送を届けられるようになった。

６月22日，富士山の世界文化遺産の登録が決定し，その喜ばしい結果を受け，実に13年ぶりの『ゆく年くる年』の放送を行う運びとなった。富士登山の入り口である北口本宮冨士浅間神社からの生中継，折しも大みそかは新月，その漆黒の闇の富士山を撮影すべく超高感度カメラ（EOS-C500PL）を駆使し，どの放送局よりもいち早く14年初の富士山の映像をお茶の間に届けた。

デジタル一眼カメラを用いて８K画質のコマ撮りシステムを開発。山中湖にそのシステムを設置し，ダイヤモンド富士を８K画質で撮影することに成功。ローカル放送の『かいなび』と『まるごと山梨』にてハイビジョン画質に変換し放送。山梨県の視聴者に，その美しさを伝えた。

〔横浜局〕

ニュース・緊急報道では，１月「地検川崎支部容疑者逃走」「小学生行方不明」，２月「大雪」「東横線電車追突」「JR電車横転」，３月「ベビーシッター―幼児死亡」「三浦沖貨物船追突」等の事件・事故に対し，迅速・的確に対応。選挙では「参院選」「横浜市長選」「川崎市長選」において正確な放送を行い地域放送局の存在感を高めた。

FM放送では『ヨコハマから届けよう，ジャズの元気』（東北３県でも放送），ジャズの街・横浜で毎年開催される大型イベント「横濱ジャズプロムナード」の他，「音楽コンクール」「高校野球」，地域応援番組としてプロ野球「横浜DeNAベイスターズ戦」などのローカル中継を行った。テレビ放送では『小さな旅～大山』などを制作し，神奈川の文化・情報の発信に取り組んだ。

CS活動では，６月に横浜みなとみらいで「深海ひろば ダイオウイカ展」，11月，相模原女子オープンゴルフで「ゴルフスイングスマホ動画サービス」，年末には横浜赤レンガ倉庫で「紅白SHV-PV」等，多数の来場者に情報・文化を発信した。２月には放送部と連携し「出前授業」を山間部の小学校で実施。神奈川県民に親しまれる放送局を目指した。

大規模災害を想定した機能強化として「会館自家発燃料タンク増量工事」を行い，長時間停電に対する放送機能の維持を可能とした。

地デジ難視解消対策では，東京スカイツリーへの受信局変更，高性能アンテナ対策，CATV加入やワンセグ受信対策などを視聴者の理解を得て実

施した結果，約1,400世帯の難視を解消した。

放送所，NHK共同受信施設の保守業務体制を外部委託し，業務の効率化と体制の強化を図った。

放送機の２台化（１局），NHK共同受信施設の光化改修（３施設）など電波確保に向けた機能強化を図った。また，中継局７局，NHK共聴44施設でアナログ放送設備の撤去をデジタル設備に影響がないように行った。

〔前橋局〕

新たな難視対策の一環として，下仁田テレビ中継局の送信出力を3kWから10kWに増強するなど継続して難視対策に取り組んだ結果，群馬県の未対策世帯数は262世帯（３月末）となり，衛星セーフティネットが終了する15年３月までに完全解消のめどがついた。

東京スカイツリー移転対策において，移転前後の視聴者訪問対策を想定どおり完遂した。また，県域放送とスカイツリー受信（関東広域放送）が混在する県東南部地域の視聴者にアンテナを群馬の基地局に向けてもらうため，10市町の広報誌に県域放送受信を案内する記事を掲載した。

３月に高崎市役所のロボカメのHV化整備（カメラは高崎市所有）が終了した。これにより県内のロボカメ10か所中７か所がHV化された。TV中継放送所の安定運用のため，放送機の二重化改修に取り組み，13年度は２か所の二重化が終了し，県内33中継所のうち16の放送所が二重化された。

〔水戸局〕

県域テレビ放送のエリア拡大のため，古河，大洗サンビーチ，笠間上郷，石岡真家，かすみがうらの５中継局を新規開局させるとともに，番組と連動して県南部や西部で県域放送（G単中継局）の受信普及活動を展開した。

番組では，参院選と県知事選での開票速報や，双方向バラエティー番組『茨城スペシャル～今夜は、いばらナイト』に対応した。朝のニュースの天気情報では，ロボットカメラ映像を月：水戸，火：筑波，水：神栖，木：筑西，金：大洗として運用し，視聴者からの要望に応えた。季節ロボカメは，潮来（あやめ園），北茨城（五浦海岸），常陸太田（竜神峡），水戸（偕楽園）と移動させ，四季折々の話題を提供した。

設備では，ロボットカメラのハイビジョン化（神栖，筑波大，筑西，千波湖，霞ヶ浦），筑波FPU基地の機能強化に伴う設備整備，アート送出サーバの更新，加波山FM放送所の無線中継アンテナ更新，日立神峰中継局の換気扇大口径化などを実施した。地デジ開始時に導入し，老朽化したTSレコーダ，バーチャルシステム等は，その運用を終了した。

新たな難視の対策指導では，約１万世帯を対策完了に導いた。NHK共聴の光化改修に関しては，地元組合へ説明を重ね，12施設を指導した。CS活動では中継車公開やカメラマン体験を実施した。

〔千葉局〕

14年度末までに期限の迫った新たな難視世帯の解消に向け，富津浜金谷，富津豊岡，山武日向，東金城跡，君津長谷川の５中継局の新規整備および東京親局のスカイツリー移転による送信対策，総務省，デジサポや民放各社，関係自治体と連携した地元説明会やワンセグ対策などの受信対策により，年度当初約２万5,000世帯あった難視世帯を約3,000世帯まで減少させた。上記５局の開局により，千葉県内の地上デジタル中継局は36局所となった。

NHK共聴施設については，デジタル化により良視となった２施設を廃止した。これにより千葉県内のNHK共聴施設は86施設となった。また，４施設の設備更新を実施した。

安全安心のための設備整備として大多喜FPU基地局のハイビジョン化，銚子港および千葉港に設置している天気カメラのハイビジョン化を実施した。

また，首都直下地震等により本部が機能停止した場合でも取材が継続できるように，衛星を使用して大阪局経由でニュース原稿を出稿できる設備を整備した。

放送の安定送出と電波確保・長時間停電に備えて，FM親局と千葉会館に自家発電設備の燃料残量管理システムを設置し，本部などから燃料消費状況の一括管理が可能となった。また，定期点検の確実な実施と基本事項の徹底により人為的な放送事故ゼロは９年間継続した。

〔宇都宮局〕

13年度の県域放送では，４月14日のサッカーJ2「栃木SC」のホーム試合，７月21日の参議院選挙の開票速報を県民に届けたほか，９月４日の矢板市，鹿沼市で同時に発生した竜巻災害では，首都圏や隣接局の支援も得ながら中継で詳細な情報を提供した。また，２月14～15日に発生した大雪ではL字装置を駆使し交通情報や雪積状況，大規模停電の状況を伝えた。

このほか，会館や県内各地に設置している天気カメラで季節の状況を，「移動天気カメラ」で八幡山の桜，市貝町の芝桜，那須町のつつじ，日光

市霧降高原のニッコウキスゲ，竜頭の滝などの映像を全国に発信した。

開局70周年を記念した特別番組を多数制作したほか，宇都宮市のオリオンスクエアから大型中継を行った。

設備整備面では，栃木鬼怒川温泉の天気カメラのハイビジョン化とIP伝送対応を行ったほか，会館のCS受信装置の狭帯域化，運行装置代替系のL字送出装置，番組ノンリニア編集機，録音装置のCF化の整備，空調・給排水装置の更新などを行った。

デジタル難視については，セーフティネットによる仮衛星対策を行っている地域に対する恒久対策を進めるため，最後となる９つの地上デジタル中継局を開局した。また，ローカル難視解消のため，足利西中継局を設置した。受信対策関係では，15年３月の仮衛星対策終了を目指し，地元説明会を開催して共聴新設の最終取りまとめを行ったほか，さまざまな受信対策を推進した。また，県北部の難視地域に向けた対策では，12年度に続き野岩鉄道の構内に敷設した光回線やNTTの光ファイバーの利用により，沿線のNHK・自主共聴への地デジ導入が完了した。

〔さいたま局〕

機能強化のため報道別館が竣工し，電源・CSP・ラジオ制作エリアなどの整備を行った。非常時の訓練を兼ねてラジオ制作エリアからR1ニュースの送出を可能とする整備を行い，12月から運用を開始。14年度からはFMローカルの送出も可能とするため，運行装置への接続など，追加整備を実施した。

さいたま市長選挙と参議院議員選挙で政見放送や開票速報を正確・迅速に実施した。また，竜巻や記録的大雪，工場爆発事故，冷凍食品農薬混入など埼玉県内外で発生した緊急報道を迅速・的確に情報発信した。

さいたま放送局開局70周年「震災復興応援コンサート」を，更新整備したCF装置で収録・編集し送出したほか，サッカー中継，高校野球県大会，学校音楽コンクールなどの地域放送サービスを実施した。

地上デジタル放送の新たな難視対策では，東京スカイツリーへの送信所移転や高性能等アンテナ対策などの受信対策により，2,800世帯の対策が完了した。

さいたま会館と平野原FM放送所間のSTL回線装置を，総務省が進める電波利用の再編成に合わせて更新するとともに，TSL回線装置を新たに整備することで制御・監視回線の安定化を図った。

小川テレビ中継放送所の開局に伴い不要になったNHK共同受信施設３施設（青山・青山田島・大原）を全面撤去した。

Ⅲ．視聴者

１．広　報

〔長野局〕

年間を通じて取り組んだ「星空プロジェクト」について，ホームページや営業と連携したスポットなどで広く周知を図り，地域発ドラマ『木曽オリオン』のPR展開につなげた。また，BSプレミアムの『発見！体感！天竜川紀行』の放送に合わせ，スポットや『イブニング信州』のインタビューコーナーでPRしたほか，番組ポスターを制作し，営業と連携して観光協会・ケーブルテレビなどへの営業対策を行った。

12年度に引き続き『撮るしん。スペシャル』で選ばれた12枚の写真で壁掛けカレンダーを作成し，視聴者に抽選でプレゼントし，『撮るしん。展』の実施と合わせ幅広い認知につなげた。13年度，「撮るしん。」に寄せられた写真は5,536枚，このうち1,977枚をホームページで紹介した。

局内見学は，小学生の団体は105件，5,187人。一般団体は19件，522人だった。

〔新潟局〕

次世代の放送メディアを広く県民にアピールするイベント「スーパーハイビジョン長岡花火パブリックビューイング」を新潟市で実施した（8.4）。このイベントは新潟県が全国に誇る日本有数の花火大会「長岡まつり大花火大会」をスーパーハイビジョンで収録し，その２日後に300インチ大画面でパブリックビューイングを行ったものである。14回の上映は全て満席で来場者は1,540人であった。

新潟局の来館者サービスを充実するため，ろびースタジオでの子ども向けイベント（5.21，7.30，8.20，9.27，1.28）や「NHKテレビ60年の歩み展」（8.26～2.28），ハイブリッドキャストの展示（2.6～）などの取り組みを行ったほか，クロマキー装置やキャスター体験カメラなどの常設機器の更新を行い，年間で２万1,529人の来館があった（12年度比1,404人増）。

〔甲府局〕

新放送会館オープンから２年目を迎え，地域放送局として更に地元の人々に親しんでもらえるよ

うに，ハートプラザギャラリーに幼児でも安心して遊ぶことができるスペースを設置したほか，クロマキー合成を体験できる“キャスター体験席”を設置するなど「体感できる放送局」にリニューアルした。また，従来のアドスペースだけでなく，会館壁面を利用した番組PRの横断幕を設置するなど，より多くの人々に甲府局の取り組みを知ってもらうための広報活動を展開した。

〔横浜局〕

県域テレビ放送がないという事情を抱えている横浜局では，視聴者サービス向上に向け，神奈川の地域情報ライブラリー「まるまるかながわ」を充実させ，ホームページでの動画配信や音声配信により県内情報を全国へ発信した。

１月には，地域の人々への感謝の気持ちを込めた「NHK横浜　感謝祭」を開催。「うたのおねえさんショー」，地元中学校吹奏楽部の演奏や大道芸など地域の人々のパフォーマンスで盛り上がり，4,790人が来場した。

〔前橋局〕

開局80年を迎えた前橋局では，局舎に懸垂幕やのぼり旗を掲出したほか，うちわやシール，クリアファイルなどのノベルティグッズを作成し，会館公開や各イベントで配布した。

また，夕方のニュース情報番組『ほっとぐんま640』が２年目に入ったことから，新たにキャスターの等身大バナーやチラシを作成して県内に広く周知を行い，番組定着を図った。

前橋局スタジオ見学では，操作体験カメラをハイビジョン化し，内容を充実させた。小学生を中心に48団体，1,395人が参加した。

〔水戸局〕

県域放送の視聴促進のため，中継局の開局に合わせ，カバーエリアへ新聞折込広告で受信方法の案内を実施し，多くの問い合わせが寄せられた。

『ニュースワイド茨城』で放送してきた「筑波風土記」がBSプレミアムで『新日本風土記』として全国放送されるのに先立ち，番組PRとして「新日本風土記・筑波展」をつくば市で開催。県域で放送してきた「筑波風土記」の上映，カメラマン自らが厳選した映像の写真パネルや制作裏話エピソードの展示などを行い，来場した800人の皆さんに地元つくばの魅力を再発見してもらうとともに，県域放送の視聴促進も図ることができた。

〔千葉局〕

開局70周年の広報活動は千葉発地域ドラマ『菜の花ラインに乗りかえて』の番組広報を核に実施。千葉局やロケ地などで試写会やパネル展を開催したほか，千葉都市モノレールでラッピングモノレールを運行した。ドラマの特設ホームページでは番組の情報を伝えるだけでなく，10問の設問から閲覧者におすすめの旅先を紹介する「チバ鉄診断」など，楽しめるコンテンツも展開。ツイッターやブログでも頻繁にホームページへの誘導を図り，これらの取り組みにより放送当日のページビューは２万を超えた。

〔宇都宮局〕

13年11月１日に，NHK松本会長をはじめ，栃木県の行政，経済界を代表する方々など約250人の関係者を招き，開局70周年を記念する式典を開催。開局以来の主なニュース映像を交えて，宇都宮局のこれまでの歩みを紹介した。また，宇都宮局が14年度中に『栃木発地域ドラマ』を制作予定であることを正式に発表した。加えて，地元出身のアーティスト「ダ・カーポ」をゲストに迎えて代表曲が披露されたほか，地元で活動するジャズバンドによる演奏も行われた。

〔さいたま局〕

９月から10月にかけて，さいたま放送局ホームページ内に開設している，埼玉鉄道風景写真ブログ「てったま！」の投稿写真の人気投票を実施した。鉄道写真家による予備審査とウェブ投票によって優秀作12点を選び，これらの作品によるカレンダーを作成した。国内外どこでもダウンロードできるデジタルカレンダーも作成することで，多くの鉄道が走る埼玉の魅力を県外へも発信することを目指した。

２月１日には加須市でさいたま放送局開局70周年イベントを開催した。NHK放送博物館の貴重な所蔵品を展示するとともにテレビ放送60年のあゆみのパネル展示，ハイブリッドキャストの紹介などを行い，放送の歴史について学ぶことができる構成とした。

２．イベント事業

〔長野局〕

『NHKのど自慢』をはじめ９本の全国放送公開番組を実施したほか，星空プロジェクト，地域ドラマに関連したイベント，公開試写会などを実施した。また，「撮るしん。」写真展を長野市・松本市ほかで計３回（11.1～22（信州まつもと空港），1.11～22（長野局），2.10～15（松本支局））実施し，地域とのつながりを深めた。「第15回長野オリンピック記念長野マラソン」（4.21），「第18回長野県サッカー選手権大会」（8.25）などで地域に根ざしたスポーツイベントと連動した視聴

者活動を行った。

〔新潟局〕

全国放送公開番組として,『NHKのど自慢』(6.9, 阿賀野市),『BS日本のうた』(4.25, 上越市／10.17, 南魚沼市),『弾き語りフォーユー』(10.4, 佐渡市),『今夜も生でさだまさし』(11.24, 新潟局）など，テレビやラジオを含めた計７本を県内各地で実施した。

また，独自イベントとして『スーパーハイビジョン長岡花火パブリックビューイング』(8.4, 新潟市）を，新潟市と共催で『にいがたパラパラマンガ大賞』(11.2～３，新潟市）を実施したほか，幼児や児童向けのイベントとして「ポコポッテイト小劇場」(9.29, 佐渡市）を，長岡造形大学と連携して大学生向けに『NHK大学セミナー』(12.14, 長岡市）を実施し，年間を通じて幅広い年代向けのイベントを展開した。

このほか「わたしの尾瀬 写真展」を中・下越，佐渡の県内７か所で年間を通じて開催した。

〔甲府局〕

『NHKのど自慢』など人気歌手が出演する番組から「ポコポッテイト小劇場」のような幼児に人気のショーまで，幅広い視聴者層にアピールする公開番組やイベントを展開した。また「NHK朗読シアター」や「NHKギャラリー賞絵画展」などをハートプラザギャラリーで開催することにより，多くの皆さんに放送会館に足を運んでもらった。

甲府局のキャラクター「しんげん君ファミリー」は，13年度より県内各地の幼稚園・保育園を対象に公募制としたところ，多くの園から応募があり，新しい幼稚園・保育園で，園児と触れ合うことができた。このもようはミニ番組『だってともだち』として，Eテレで県域で放送した。

〔横浜局〕

全国放送公開番組を神奈川県内で７本実施するとともに,『井上ひさし朗読会』や『ヨコハマから届けよう、ジャズの元気2013』『NHK横浜スペシャルジャズライブ』等の地域放送公開番組を18本実施した。この他，受信料支払者限定の「ポコポッテイト小劇場」を２本，ケーブル事業者との共催イベント「CATVキャラバン」を４本実施した。

また,『NHKスペシャル』「深海の巨大生物」関連イベントとして，トークショーやワークショップ，ギャラリー展示と連動した「NHK深海ひろば」を横浜市内で実施し（６月），１万8,000人の来場者に好評を得た。

〔前橋局〕

全国放送番組の公開番組として,『民謡魂 ふるさとの唄』(4.24, 桐生市),『あつまれ！ワンワンわんだーらんど』(5.12, 前橋市),『BS日本のうた』(6.20, みどり市),『夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会』(8.15, 邑楽町),『俳句王国がゆく』(10.12, 太田市),『NHKのど自慢』(10.20, 富岡市),『民謡をたずねて』(11.29, 明和町),『ごきげん歌謡笑劇団』(3.3, 中之条町）を実施した。

地域イベントとして，開局80年を記念した会館公開イベント「ふれあい広場2013～放送局であそぼう」を実施し（6.8～９），２日間で2,565人の来場者を記録した。そのほか「伊香保短歌・俳句大会」(5.16～17, 渋川市）や「ふるさとの食　にっぽんの食 群馬県フェスティバル」(10.5～６, 前橋市),「第18回わたしの尾瀬写真展」(12.13～18, 高崎市, 1.7～14, 前橋市）を実施した。

また，放送と受信料PRを連動させた「どーもくんの幼稚園・保育園訪問」は２年目に入り，県内15園を訪ね，子どもたちが群馬ゆかりの童謡を歌い，将来の夢を語るミニ番組を55本制作した。

〔水戸局〕

全国放送公開番組は『NHKのど自慢』(8.25, 常陸大宮市),『NHK歌謡コンサート』(9.10, 結城市）など12年度より２本多い，計８本を実施した。

また，初の試みとしてグリーティング企画「応援し隊なっとうどーものどーも！どーも！」を実施した。水戸局開局70年を記念して誕生した「なっとうどーもくん」が県内14の幼稚園を訪ね，子どもたちに元気を届けた。1,652人の園児，保護者が参加し，「子どもたちの笑顔が最高でした」「NHKが身近に感じられた」と大変好評で，水戸局のステーションイメージのアップに貢献した。

６回目を迎えた，アナウンサーによる朗読コンサート「冬のおくりもの」は，震災３年という節目の年,「復興へ・いま伝えたい言葉」をテーマに作品を募集し，震災から復興した日立市民会館で開催された（2.9)。作品の朗読と被災地北茨城市出身のアーティスト石井竜也さんと子どもたちのコラボなど内容の濃いイベントとなった。イベント後には，全国放送の要望が，県内外を問わず多数寄せられたため，県域総合，FMでの放送にとどまらず，総合，ラジオ第１で全国放送され，被災地の復興支援の活動として，高い評価を受けた。

〔千葉局〕
開局70周年記念の千葉発地域ドラマ『菜の花ラインに乗りかえて』の放送に合わせて，公開番組や鉄道スタンプラリーなど一連のドラマPRイベントを実施した。また，旅館組合や県の観光関係機関を巻き込み，ドラマと県の観光PRを兼ねた「千葉を元気に！」ポスターを配布するなど大規模なキャンペーンを展開し，テレビ波を持たない局として放送PRの可能性を模索した。

〔宇都宮局〕
開局70周年を記念し，11月２～３日に「移動放送博物館」「大河ドラマ　八重の桜パネル展」等の展示を中心とした放送会館公開を開催。また，共催イベントとして「野の自然・やまの自然」展（栃木県立博物館共催），企画展「日本近代洋画への道　山岡コレクションと高橋由一の名品を中心に」（栃木県立美術館共催）を開催した。このほか，『上方演芸会』（小山市），『ふるさと自慢うた自慢』（岩舟町），『BS日本のうた』（鹿沼市），『NHKのど自慢』（栃木市）など，テレビ・ラジオ合わせて６本の全国放送公開番組を実施した。

〔さいたま局〕
２月に，被災した多くの人々が暮らす加須市で「震災復興応援コンサート」を開催。市役所を通して39人の被災者を招待したほか，小学校の郷土芸能クラブなど地元から150人余りが出演した。２年目となる鉄道スタンプラリー「鉄どーもくんを探せ！」はポイントステーションを埼玉県内だけではなく東京，千葉，神奈川にも設置し，11万人を超える参加者があった。全国放送公開番組は『ごきげん歌謡笑劇団』（５月，久喜市），『のど自慢』（９月，上尾市）など10本を実施した。

３．営　業

関越ブロックでは，支払率向上と営業経費抑制の両立に向けて域内20局・センターと連携し，公開競争入札等による契約・収納業務の外部法人委託を大幅に拡大するなど，営業収納額を確保するための構造改革を促進した。また，並行して，マナーアップとクレーム抑止に向けて，法人委託の育成・指導に積極的に取り組んだ。

「営業諸目標」達成に向け，全ての訪問対策要員に対して，生産性・取次品質向上への取り組み強化を図り各種施策を展開した結果，19局・センターが全目標を達成したほか，関越ブロック計でも全目標を達成し，全国業績を牽引する責任を果たした。

民事手続きを活用した支払い督促の申し立てによる未収者削減対策と，民事訴訟提起による放送受信契約締結拒否者対策を拡大して実施した。また，確定者に対しても強制執行を継続して実施した。

危機管理については，啓蒙・研修・監査等を実施することによって営業系セキュリティガイドラインと個人情報保護の徹底を図るとともに，事件・事故の未然防止に向けて「NHK倫理・行動憲章」に基づくコンプライアンスの徹底を図った。

中　　部

◇14年３月１日，名古屋放送局はテレビ放送開始60年を迎え，関連番組・イベントを集中的に実施した。
◇中部各局が連携して，「NHK中部ネイチャープロジェクト」を結成し，さまざまな番組・イベントを展開するなど，中部地方の大自然の魅力を広く発信した。
◇防災や減災に関する番組を多く制作したほか，３月には震災３年特集番組『忘れない　未来のために～教訓をどういかすのか』を放送，中部地方における防災の課題などについて紹介した。
◇岐阜県を舞台にした『父の花、咲く春』，福井県勝山市を舞台にした『恐竜せんせい』などのドラマを制作した。

Ⅰ．放　送

１．放送の概要

〔名古屋局〕

14年３月１日，名古屋放送局はテレビ放送開始60年を迎えた。信頼されるニュース，暮らしに役立つ情報，質の高い番組で豊かな地域社会作りに貢献できるよう取り組むとともに，放送の原点を改めて見つめ直し，“地域に役立ち”“地域から信頼される”放送局として，放送・サービスの一層の充実を図った。

南海トラフ巨大地震や台風・豪雨などに備え，防災・減災に役立つ情報を継続的に発信した。４月から，夕方５時台に東海３県向けにラジオ第１で生放送番組『夕刊　ゴジらじ』を新設。ふだんからラジオに積極的に接してもらうことで，災害発生時の情報伝達回路の強化に取り組んだ。また，在名民放ラジオ各局との共同キャンペーン「ラジオきいてみた」を展開，ラジオのさらなる普及に努めた。９月の大雨，台風18号，２月の大雪などに際しては，テレビの特設ニュースをはじめ，ラジオニュース，逆L字やデータ放送，災害ホームページなどさまざまなメディアを通じて最新情報を伝えた。『ナビゲーション～津波の前に“水”がくる～「海抜ゼロメートル地帯」の脅威』や，震災３年特集番組『忘れない　未来のために～教訓をどういかすのか』などを通じて，引き続き，人々の命と暮らしを守るための情報発信に努めた。

４月の名古屋市長選挙，７月の参議院選挙では，事前特集番組や開票速報を放送。公平・公正な選挙報道に努め，迅速かつ正確な開票速報を実施した。名古屋市長選挙後には，『徹底討論　どうする名古屋の未来～河村たかし市長に問う』を放送。有権者の高い関心に応えた。

デフレや消費税の動き，近隣諸国との関係など地域経済と暮らしに与える影響，新たな成長産業への創出に向けた動き，少子高齢化など地域の課題に向き合い，『ほっとイブニング』の企画をはじめ各番組で取り上げた。『ナビゲーション』では，「アベノミクスと地方銀行」「相次ぐ“異業種”参入～農業はいま」「消費税率引き上げ～東海北陸経済への影響は」「“日本のコメ”の強みを生かせ～TPPで変わるコメ農家」「“袴田事件”証拠開示はどうあるべきか」など，『金とく』では「社会を変えたい！　ボクらの挑戦～ソーシャルビジネス」「SKE48の未来教室～過疎高齢化を考えます！」「のわみ相談所日記～愛知県　一宮市」「“赤ちゃん縁組”で命を救え」などを放送した。また，『クローズアップ現代～子供はどこへ消えた』『目撃！日本列島～機械よ　匠（たくみ）になれ～密着　トヨタ技能養成訓練』『NHKスペシャル』「“新富裕層”vs. 国家～富をめぐる攻防」「成長か、死か～ユニクロ　40億人市場への賭け」などを全国に発信した。

さらに，地域の豊かな自然や歴史・風土・文化を多彩に描く番組を放送した。放送エリアを中部ブロックに広げ刷新した『東海北陸フレッシュ便さらさらサラダ』や『ウイークエンド中部』では，身近な話題を通して地元の魅力を再発見してもらう企画を放送した。『金とく』では，「中山道謎めぐり　岐阜の旅」「悲哀は愛に変る～新美南吉生誕百年」「探検！昭和の大建築～黒部ダム50周年」，NHK中部ネイチャープロジェクトの企画として「御嶽山　滝ほとばしる絶景をゆく」「伊豆の海　冒険！シーカヤック紀行」「白山～夏いのち沸き立つ」「三方五湖～海水と淡水が織りなす営み」「やっほー！日本アルプス～秋の白馬連峰男ふたり旅」「やっほー！　日本アルプス～日本アルプス山小屋物語」「やっほー！日本アルプス～未知の大峡谷に挑む～立山　称名廊下」などを放送した。富士山の世界文化遺産登録に際しては，『金とく×ヤマナシQUEST～世界遺産目前！ぐるっと富士山　プレゼン対決～静岡VS山梨』，『金とく』「世界遺産・富士山を駆ける！～ぐるっと一周　161キロ」「富士山　“水の山”が

育む　豊かな世界」,『NHKスペシャル～世界遺産　富士山～水めぐる神秘』などを放送。また,20年に一度の伊勢神宮の式年遷宮においては,『遷御がつたえる日本の心～第62回伊勢神宮式年遷宮』や『金とく～20年に一度！伊勢神宮・式年遷宮大百科』を放送，視聴者の高い関心に応えた。

スポーツでは，ソチオリンピックを前に,『東海北陸スペシャル～ソチオリンピックを丸ごと楽しもう～五輪に挑む東海北陸のアスリートたち』を放送，注目される地元ゆかりの選手を取り上げた。そのほか，プロ野球やJリーグ，高校野球など関心の高いスポーツの特集番組や中継を随時放送した。

地域特集番組として,『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー』と題し“人”に焦点を当て情感あふれる番組を制作した。「心菜と父のミュージカル」「心伝えて　勝つ～足羽高校女子バスケットボール部」「“国産”医療機器で患者を救え～工業デザイナー　國本桂史の挑戦」「“一本松”に結集せよ～自動車メーカー若手技能者たちの挑戦」「“国産スキー”で頂点に挑め～アルペンスキー湯淺直樹」などを放送，全国放送にも展開した。全国放送番組では,『ヒューマンドキュメンタリー～三途（さんず）の川は、きれいだぞ～ぎんさんの娘たち“死”を笑う日々』を放送した。

名古屋局テレビ放送開始60年では『東海北陸スペシャル～撮った！伝えた！描いた！　NHK名古屋　テレビ60年』『カンシャ　カンレキ　ナゴヤ☆スペシャルライブ』を中心に関連番組を集中編成した。

名古屋局制作全国放送番組として放送してきた『ティーンズプロジェクト　フレ☆フレ』『Good Job！会社の星』『ゆきねえの名古屋なごやか喫茶』は13年度で放送終了。14年度新番組『超絶凄（すご）ワザ！』のスタートに向けた開発番組『激突　神ワザ！～究極の“真球”を目指せ』を放送した。

ドラマでは，岐阜県を舞台にした『父の花、咲く春』を岐阜局と，『恐竜せんせい』を福井局と共同で制作したほか,『土曜ドラマ』「太陽の罠（わな）」,『FMシアター』「いよう！」「タツ子さんの一日」「残穢（ざんえ）」などを制作した。

データ放送や双方向機能，マルチ編成，パソコン・携帯・タブレット端末の利用など，デジタル放送の特性を生かし，かつ，さまざまなメディアとの連動を図った。また，４月から『ほっとイブニング』と『ニュース845東海』で地域向けニュース番組の字幕サービスを開始し，５月下旬からはNHKネットラジオ「らじる★らじる　名古屋」を開始した。より充実したサービスを定時番組や特集番組で，随時，展開した。特集番組として生放送した『Good Job！会社の星』「クイズバトル！ビジネスマンの新常識」では，データ放送の双方向機能を活用した。『東海北陸スペシャル』「ソチオリンピックを丸ごと楽しもう」「撮った！伝えた！描いた！　NHK名古屋　テレビ60年」では番組へのメッセージ募集で視聴者の生の声をリアルタイムに伝えるなど，データ放送との連動のさらなる定着を図った。また,『カンシャ　カンレキ　ナゴヤ☆スペシャルライブ』ではスマートフォンでの番組連動など若者にアピールする企画を取り入れた。プロ野球では，マルチ編成を活用しサービスの充実を図った。

〔金沢局〕

北陸新幹線の金沢開業まで２年を切り，観光客増加の期待や，観光客誘致における課題などを多角的に取材し『かがのとイブニング』などで取り上げた。また，第23回参議院議員通常選挙および石川県知事選挙では，選挙の争点や地域の課題などを丹念に取材し，有権者の判断材料を提供する報道に努めた。さらに，６月に発生した大雨災害に際しては,ライフライン情報を積極的に発信し，安全・安心に資する放送を行った。そのほか，金沢放送局が保有する古いフィルムを放送する「石川アーカイブス 時の旅人」を『かがのとイブニング』内のコーナーとして新設し，石川県の歴史や風土の魅力を伝えた。また，コーナーの集大成として，イベントと連動した番組『かがのとメモリーズライブ』を放送した（２月）。

スポーツでは，石川県出身の大相撲力士・遠藤に注目し,『かがのとイブニング』や『ナビゲーション』で取り上げた。また，プロ野球BCリーグの「石川ミリオンスターズ」やJリーグ入りを目指す「ツエーゲン金沢」にもスポットを当てるとともに，日本ハンドボールリーグ女子の強豪「北国銀行」の試合を中継した。

『こと金！』を昼前の生活情報番組として新設し,毎週１回主婦層が興味を抱く企画を放送した。北陸新幹線の開業を見据え,『金とく』「白山～夏いのち沸き立つ」（９月),『金とく　北陸スペシャル』「心受け継ぎ　技極める～第60回日本伝統工芸展」（10月),『金とく』「体感！粋で雅（みやび）な金沢茶屋街」（11月）を放送し，石川県の豊かな自然や文化について発信した。また,『ナビゲーション』「めざせ月収40万円！～オラたちの農家民宿」（６月),『にっぽん紀行～それでも

俺たち　網を引く～能登半島　七尾』（１月）などその地域に住む人々の魅力も伝えた。さらに，12年度に引き続き『金とく　北陸スペシャル』「真相回転！どいね寿司　～能登・弾丸バスツアー」（１月）を若者向けバラエティー番組として放送した。

〔静岡局〕

東海地震が想定される静岡県では，巨大地震と津波に対する備えが，引き続き大きな課題となっており，防災・減災に寄与する情報を積極的に伝えた。また，被害が増え続ける“振り込め詐欺”の撲滅に向けたキャンペーンをニュース，スポット，ホームページで展開し，防犯意識の向上に資する情報発信に努めた。

静岡の「いま」「旬」をキーワードに地域の動きやトピックを深く掘り下げて取り上げる『静岡流』を６本制作。第五福竜丸が被ばくしてから60年になるビキニ環礁水爆実験を改めて振り返り伝えた。また，浜松支局開局80周年関連番組として，NHKがこれまで伝えてきた浜松の出来事を懐かしい映像で振り返り，町の発展を支えてきたチャレンジ精神を今に受け継ぐ浜松の魅力を伝えた。

そのほか，巨大津波に対する対策，地域文化，ビキニ事件，スポーツなど幅広い分野に及んだ。

３月には，県内民放ラジオ局２局と共同で，防災特別番組『ラジオのちから～いざという時！寄りそうラジオ』を共同制作し，「ラジオができること」「ラジオに求められるもの」などを伝えた。

〔福井局〕

13年７月13日に福井放送局は開局80年を迎え，開局80周年記念ドラマ『恐竜せんせい』を制作したほか，公開番組『あつまれ！ワンワンわんだーらんど』や『BS日本のうた』などを記念番組として放送した。

原子力発電所を巡る課題について，『かんさい熱視線』や中部ブロック震災特番で放送し，原発の安全性や，もんじゅの点検漏れ問題，それに原子力防災について，多角的な視点から検証した。

このほか，『金とく』『ナビゲーション』『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー』『金とく　北陸スペシャル』で地域の話題についてさまざまな形で取り上げ放送した。

また，国内初となった９月16日の“大雨特別警報”発表時には，正確かつ迅速に対応し，防災・減災に役立つ情報を発信した。

FMでは『情報たら福』『ダイノソニック　勝山音楽フェスティバル』を放送した。

〔富山局〕

第23回参議院議員通常選挙には全局体制で取り組み，公平・公正で迅速・正確な選挙報道を実施した。

11月に立山連峰で起きた７人の雪崩死亡事故では，東京や名古屋と連携して，ヘリコプターや警察署からの中継，関係者のインタビューを交え，雪崩のメカニズムなどを全国に伝えた。

『ナビゲーション』「生き残りへ　苦闘するコメ農家～富山・ある集落の決断」ではコメ農家を密着取材し，TPPや後継者不足など農業を取り巻く厳しい状況を乗り切ろうとする姿を取材。『地域発　ドキュメンタリー』として全国にも放送した。

『金とく』「探検！昭和の大建築～黒部ダム50周年」（５月），『ナビゲーション』「絶景！立山自転車レース～“スポーツツーリズム”で観光客を」（６月），『金とく』「未知の大峡谷に挑む～立山　称名廊下」（12月）など，「NHK中部ネイチャープロジェクト」と連動して，富山の大自然の魅力を県外に紹介する番組を制作した。

夕方のニュース番組でバケツを水田に見立てキャスターがコメ作りに挑戦する「屋上田んぼ化計画」を放送し，「水じまん写真」を募集。『金とく北陸スペシャル』「“水の国　富山”東西水じまん合戦」（10月）では，富山の“豊かな水”をアピールした。

富山第一高校のサッカー全国優勝を受け，急きょ，躍進の原動力を教育観点の切り口から描いた県域特番を放送。9.8％の視聴率を獲得した。

〔津局〕

南海トラフ巨大地震の津波被害が想定される三重県では，大規模災害時にも報道を継続するため取材・伝送拠点を整備し，定期的に運用訓練を実施した。『ほっとイブニングみえ』枠内の「防災最前線」ではさまざまな防災・減災情報を発信した。

伊勢神宮式年遷宮関連では『ほっとイブニングみえ』枠内の「伊勢・遷宮の年に」で紹介，遷宮の意味を分かりやすく解説した『金とく～20年に一度！伊勢神宮・式年遷宮大百科』（９月），遷御の儀のもようを超高感度カメラの映像で紹介した『遷御がつたえる日本の心』（10月），『NHKスペシャル～伊勢神宮～アマテラスの謎』（１月）などへ展開した。

『ナビゲーション』ではアサリの危機を報じた「沈黙の海～国産アサリ激減の謎」（６月），看護師の世界に飛び込む男性が増えている実情を伝え

た「“ナースマン”が医療を変える～男性看護師の可能性」（12月）を制作した。

〔岐阜局〕

岐阜県の“いま”を見つめるニュース・番組を県内外へ幅広く発信した。特に，水害・地震・原発問題など県民の安心・安全に直結する問題は，夕方の地域情報番組『ほっとイブニングぎふ』で丁寧に取り上げた。また，岐阜県出身の直木賞作家・朝井リョウや岐阜市・柳ヶ瀬商店街のゆるキャラ「やなな」の引退など地域住民にとって身近な“いま”にも着目し，それらの話題は『ナビゲーション』への展開も図った。

東日本大震災以降，被災地生まれの犬の成長を継続して取材し続けており，そのもようを特集番組『21頭の犬たち　ふるさとへの旅』や『目撃！日本列島』で全国に発信した。

また，『新日本風土記』では，白川郷をテーマに時代が移りゆく中で受け継がれてきた伝統文化を描き，同番組内での最高視聴率を記録した。

岐阜発ドラマ『父の花、咲く春』では，長良川沿いの美しい町を舞台に人々の絆を描いた。

２．地域放送番組

（１）定時番組

『NHKニュース　おはよう東海』　G

月～金　7:45～ 8:00

第１回93.4.5／東海３県ブロック／東海３県の最新情報を伝える番組。ニュース，気象情報，交通情報のほか，地域の新しい動きやさまざまな課題を取り上げる「リポート」，季節の話題や朝の表情を伝える「中継」，製造業が盛んな東海地方の企業の動きなどを追う「経済リポート」など，多彩な情報を提供した。／各局タイトル：金沢『おはよう石川』，静岡『おはよう静岡』，福井『おはよう福井』，富山『おはよう富山』

『東海北陸フレッシュ便　さらさらサラダ』　G

月～金　11:30～12:00

第１回03.4.3（『情報フレッシュ便　さらさらサラダ』（東海３県ブロック）としてスタート／中部ブロック（一部各局単）／放送11年目を迎え，放送エリアを中部７県に拡大。話題のゲストの旬のトークや料理・園芸・ヨガ・子育て・旅・地域の話題など，暮らしをワンランクアップする情報をプラザウェーブ21からの公開生放送で届けた。また，名古屋局テレビ放送開始60年企画ではオアシス21から放送した。／一部各局単・タイトル：金沢（金）11:30～12:00『こと金！』，静岡（月～木）11:45～12:00『しずおか情報ランチ』，富山（月～木）11:50～12:00（金）11:40～12:00『とやまおしらせたまご』，津（月～金）11:50～12:00『みえ～るくん情報』，岐阜（月～金）11:50～12:00『みのひだ情報局』

『ほっとイブニング』　G

月～金　18:10～18:59

第１回01.4.2／東海３県ブロック（一部各局単）／ホットなニュースやほっとする話題を，分かりやすく伝える東海地方の“きょう”が分かる“いま”が見える番組。景気回復への期待が高まる東海経済，暮らしを脅かす事件や事故，地域に息づく伝統文化などニュースの背景に迫るリポートを届けた。県内各地での公開生放送を実施。12月には「年末スペシャル」を放送。名古屋局テレビ放送開始60年企画ではオアシス21から届けた。また，４月１日から生字幕放送を開始し，ニュースを視覚的に読み取ることが可能になった。／18:30～59は各局単：津『ほっとイブニングみえ』，岐阜『ほっとイブニングぎふ』／各局タイトル：金沢『かがのとイブニング』，静岡『たっぷり静岡』，福井『ニュースザウルスふくい』，富山『ニュース　富山人』

『Uta-Tube』　G

月　22:55～23:15

第１回12.4.19／中部ブロック／中部エリアに発信する本格ライブ番組。一流アーティストのスタジオライブを届けるとともに地元の若きミュージシャンを発掘，その活動を紹介した。ホームページと連動し３月には「new-tubeグランプリ」を放送した。また，SKE48の紅白出場の舞台裏を特集するなど若者の期待に応える放送展開を図った。

『ナビゲーション』　G

金　19:30～19:55

㊐日　8:00～ 8:25

第１回93.4.11／中部ブロック／目まぐるしく変化する時代の旬なニュースや話題を深く，分かりやすく伝える報道番組。ニュースの背景に何があり生活にどんな影響があるのか，視聴者が今もっとも知りたいテーマを徹底取材と多彩な専門家の解説で届けた。

『金とく』　G

金　20:00～20:43

㊐土　10:05～10:48

第１回06.4.7／中部ブロック／皆さんの“見たい”“知りたい”“行きたい”に応える番組として，中部７県の自然や文化，歴史や暮らしを深く取材し，視聴者の関心に応えた。

『ウイークエンド中部』　G

土　7:30～ 8:00

第１回85.4.6／中部ブロック（一部各局単）／暮らしやお出かけの情報満載で届ける週末の朝の情報番組。13年度はトレンド情報コーナーを新設。中部７県の話題を取り上げ，地域に密着した番組を届けた。

『東海ピックアップ』　G

土　12:38～12:43
㊐水　22:45～22:50

第１回11.4.9／東海３県ブロック／東海３局のオススメ番組・イベント情報を紹介。担当したディレクターやアナウンサーなどが出演して，舞台裏のエピソードなどを交え，各局の取り組みなどを伝えた。

『中部あさいちばん』　R1

月～土　7:40～ 8:00

第１回99.4.5／中部ブロック（一部各局単）／ニュース，気象情報，交通情報や多彩なコーナー企画など，中部の朝の表情や生活情報を届けた。

『夕刊　ゴジらじ』　新　R1

月～金　17:00～17:55

第１回13.4.1／東海３県ブロック／その日のニュースや出来事を，分かりやすく深く楽しく届ける新番組。暮らしに身近な話題の特集や専門家やベテラン記者の解説，また，ゲストを迎えての音楽芸能情報も満載。旬の情報を東海３県各地とネットワークを結んで伝えた。

年末には「年末スペシャル」として拡大版を放送。スタジオ外での公開放送も実施。名古屋局テレビ放送開始60年の企画では名古屋テレビ塔から２日間，公開生放送を行った。

（２）特集番組

〔中部ブロック〕

『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー～心菜と父のミュージカル』　G

名古屋局　8.19／22:55～23:20

『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー～心伝えて　勝つ～足羽高校女子バスケットボール部』　G

福井局　8.23／19:30～19:55

『発掘！発見！とことん！恐竜せんせい～ドラマの舞台裏SP』　G

福井局　8.25／ 8:00～ 8:23

『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー～“国産”医療機器で患者を救え～工業デザイナー　國本桂史の挑戦』　G

名古屋局　9. 6／19:30～19:55

『わぉ！まるごと大自然　ネイチャーコンサート』　FM

名古屋局　9.14／20:10～21:00

『遷御がつたえる日本の心～第62回伊勢神宮式年遷宮』　G

津局・名古屋局　10. 2／22:00～22:43

『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー～命を愛し　命を撃つ～猟師・北川安代の仕事』　G

福井局　10.11／19:30～19:55

『アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2013～東海北陸地区大会』　G

名古屋局　11.17／15:05～15:59

『NHK福井　開局80周年記念ドラマ～恐竜せんせい　特別編』　G

福井局・名古屋局　12.20／19:30～20:43

『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー～“一本松”に結集せよ～自動車メーカー若手技能者たちの挑戦』　G

名古屋局　1. 4／ 7:35～ 8:00

『NHKナゴヤニューイヤーコンサート2014』　G

名古屋局　1.10／19:30～20:43

『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー～“国産スキー”で頂点に挑め～アルペンスキー　湯淺直樹』　G

名古屋局　1.17／19:30～19:55

『東海北陸スペシャル～ソチオリンピックを丸ごと楽しもう～五輪に挑む東海北陸のアスリートたち』　G

中部各局　1.24／19:30～20:43

『父の花、咲く春　特別編～岐阜発地域ドラマ』　G

岐阜局・名古屋局　1.31／19:30～20:43

『東海北陸スペシャル～撮った！伝えた！描いた！　NHK名古屋　テレビ60年』　G

名古屋局　2.28／19:30～20:43

『カンシャ　カンレキ　ナゴヤ☆スペシャルライブ』　G

名古屋局　3. 1／16:05～18:00

『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー～信じて待つ～はぐるまの家“母”と“子”の日々』　G

名古屋局　3. 2／8:00～8:25

『ゆめうつつー』G

名古屋局　3. 3／ 1:35～ 1:45ほか

『震災３年特集番組～忘れない　未来のために～教訓をどういかすのか』　G

名古屋局　3. 7／19:30～20:43

『Uta-Tubeスペシャル～new-tubeグランプリ』　G

名古屋局　3.13／22:00～22:43

『東海・北陸文学紀行～東海・北陸ゆかりの作品と源氏物語』　FM
福井局　3.15／19:20～21:00
〔東海４県ブロック〕
『クイズ！防災SHOW』　R1
名古屋局　9.28／ 9:05～ 9:55
〔東海３県ブロック〕
『徹底討論　どうする名古屋の未来～河村たかし市長に問う』　G
名古屋・岐阜局　4.26／19:30～20:43
『がんばれ！グランパス！～リーグ再開に向けてブラジルに学べ！』　R1
名古屋局　7. 3／20:05～20:55
『参院選2013　開票速報』
名古屋・津・岐阜局
G　7.21／20:13～21:00ほか
R1・FM　7.21／20:20～20:30ほか
『NHK名古屋児童劇団公演～西遊記』　E
名古屋局　8.25／14:00～15:00
『NHK名古屋青少年交響楽団～第48回定期演奏会』　E　名古屋局　9.14／13:00～13:59
『NHK・民放連共同ラジオキャンペーンin名古屋～君の思いをかなえよう！　夢ラジオ（１）～（５）』　R1
名古屋局　9.22／20:05～20:55ほか
『NHK・民放連共同ラジオキャンペーンin名古屋～学校訪問企画　今こそ、自分の声で伝えよう』　R1・FM
名古屋局　9.23／11:50～11:55ほか
『夕刊　ゴジらじ～年末スペシャル』　R1
名古屋局　12.26／16:05～17:55
『ほっとイブニング　東海スペシャル　2013』
G　名古屋局　12.27／18:10～18:59
『NHK・民放連共同ラジオキャンペーンin名古屋～フィナーレ　未来への種』　R1
名古屋局　12.28／15:05～15:55
『がんばれ！グランパス！～西野新監督に伺う期待の2014年シーズン』　R1
名古屋局　1.21／21:05～21:55
『がんばれ！グランパス！～いよいよ2014年シーズン開幕』　R1
名古屋局　2.24／20:05～20:55
〔各局共通〕
『Nコン2013東海北陸　第80回NHK全国学校音楽コンクール』
（中部ブロック）東海北陸ブロックコンクール
E　9.28／14:00～16:23
（東海３県ブロック）
愛知県コンクール　E　9. 7／12:00～14:00
三重県コンクール　E　8.31／13:00～15:00
岐阜県コンクール　E　8.31／15:00～16:35
（県域）
石川県コンクール　E　8.31／12:30～13:45
静岡県コンクール　FM　8.24／16:00～17:36
福井県コンクール　FM　8.30／ 7:25～ 9:20
E　8.31／13:00～15:00
富山県コンクール　E　8.31／13:00～15:00
〔北陸ブロック〕
『金とく　北陸スペシャル』　G　20:00～20:43
「心受け継ぎ 技極める～第60回日本伝統工芸展」　金沢局　10.25
「真相回転！どいね寿司～能登・弾丸バスツアー」　金沢局　1.17
「“自主性”でつかんだ日本一～富山第一サッカー部　躍進の秘密」
富山局　2.16／16:05～16:30
「福井から世界へ～若きアスリート列伝」
福井局　3.14
『FMスペシャル　北陸ウイーク』　FM
18:00～18:50
「やっぱり福井が好き？！」　福井局　11.25
「早く来い来い新幹線　いま黒部が熱い！」
富山局　11.26
「早く来い来い新幹線　いま高岡が熱い！」
富山局　11.27
「北陸映画ソング特集！」　金沢局　11.28
「サッカー中継テーマソング特集！」
金沢局　11.29
「DISCO音楽特集」　富山局　2.24
「教えて！あなたのデビューの日」
福井局　2.25
「開幕直前　BCリーグ特集！」　福井局　2.26
「金沢発！子どもとつながるクラシック・ピアノ曲」　金沢局　2.27
「北陸・私の勝負歌！」　金沢局　2.28
〔石川県域〕
『かがのとメモリーズライブ』　G
2.23／16:05～17:14
『石川朗読ひろば』　R1
7. 6／ 9:05～11:00
『FMジュークBOX』　FM　18:00～18:50
4.26，5.31，6.28，8.23，9.27，10.25，12.20，1.31，3.28
『2013参院選　開票速報・石川』
G　7.21／20:13～20:21ほか
R1・FM　7.21／20:19～20:25ほか

『石川県知事選挙　開票速報』
G　3.16／20:55～21:00ほか
R1　3.16／20:55～21:00ほか

〔静岡県域〕
『静岡流』　G　19:30～19:53
※3.2のみ 8:00～ 8:25
「植物の力を信じて～赤字植物園再生　樹木医の挑戦」　4.26
「浜松いまむかし～受け継がれる“やらまいか”」　7.19
「“ビキニ被ばく”あのとき人々は～60年目の証言」　9.27
「逆境を乗り越えろ～“日本一練習が短い”ラグビー部の挑戦」　11.29
「３年目の選択～津波から命をどう守るのか」　3. 2
「茶草場～お茶づくりが育む“命の楽園”」　3.20
『しずメン☆しずジョ』　G　19:55～19:58
※1.25，2.23のみ18:42～18:45
「車とあなたの共通点は？@静岡工科自動車大学校」　4.26
「あなたのかっこイイところ悪いところは？@静岡工科自動車大学校」　5.31
「私のゆずれないこだわり@静岡大学工学部」　7.19
「バッサリ切れないモノは？」　9.27
「私を笑顔にしてくれるもの@国際観光専門学校」　11.29
「今年、乗り越えたいことは？」　1.25
「胸に響いた１冊」　2.23
「成長したなと思ったことは？」　3.20
『たっぷり静岡～キャラバンin浜松』　G
10.30／18:10～19:00
『たっぷり静岡～2013年末特大号』　G
12.26／18:10～18:59
『たっぷり静岡～キャラバンin 熱海』　G
2. 6／18:10～19:00
『参院選挙2013　開票速報・静岡』
G　7.21／20:13～20:19，20:50～21:00ほか
R1・FM　7.21／20:04～20:05，20:19～20:24ほか
『NHK・SBS・K-mix共同制作　防災特別番組「ラジオのちから～いざという時！寄りそうラジオ」』　R1
3. 1／ 9:00～10:00，10:05～11:00

〔福井県域〕
『参院選2013　開票速報・福井』
G　7.21／20:13～20:25ほか
R1・FM　7.21／20:34～20:41ほか
『FM特集　80ラジオウイーク～情報たら福』
FM　5.27～30／17:20～18:00
『ダイノソニック　勝山　音楽フェスティバル』
FM　8.31／19:20～22:00
『やっぱり福井が好き？！』　FM
11.25／17:20～18:00

〔富山県域〕
『参院選2013　開票速報・富山』
G　7.21／20:13～20:19ほか
R1・FM　7.21／20:20～20:24ほか
『とやまアーカイブス～時代を超えた名作選』
G　10.13／15:05～17:16
『“水の国　富山”東西水じまん合戦　完全版』
G　10.20／16:20～17:30
『とやま民謡プレミアムスペシャル～地域の宝　富山の宝』　G
10.26／15:05～15:50
『とやまスペシャル～“自主性”でつかんだ日本一～富山第一サッカー部　躍進の秘密』　G
1.31／22:55～23:20

〔三重県域〕
『みえ発ドキュメント』　G
「俺たちのソーホー～島の“男”になるために」　7.19／19:30～19:55
「もう飲まんでよ～アルコール依存症と闘う医師」　3.24／22:55～23:20
『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』　G
2.25～26，28，3.5～ 6／10:40～10:50
『ホンネで！みえトーク』　新　FM
4.26，6.28，9.27，10.25，2.28／18:00～18:50

〔岐阜県域〕
『ぎふスペシャル～FC岐阜2013～選手たちが語るこの１年』　G　12.21／10:05～10:48
『ぎふスペシャル～笑う岐阜に福来る～第11回全日本学生落語選手権』　G
3.14／20:00～20:43

３．スポーツ中継

〔高校野球〕
第95回全国高校野球選手権大会
愛知県（東海３）準決勝　G・E・R1／ 7.30
決勝　G・R1／ 7.31
石川県　準々決勝　R1／ 7.23，25
準決勝　G・E・R1・FM／ 7.27
決勝　G・R1／ 7.28
静岡県　４回戦　R1／ 7.24
準々決勝　R1／ 7.26

準決勝　G・E・R1・FM／ 7.27
決勝　G・R1／ 7.29
福井県　準決勝　G・E・R1／ 7.25
決勝　G・E・R1・FM／ 7.26
富山県　準々決勝　R1／ 7.23
準決勝　G・E・R1／ 7.25
決勝　G・R1／ 7.26
岐阜県　準決勝　G・FM／ 7.25
決勝　G・FM／ 7.26
三重県　準決勝　G・FM／ 7.28
決勝　G・FM／ 7.30

第66回秋季東海地区高等学校野球静岡県大会
静岡県　３位決定戦　R1／ 9.28
決勝　R1／ 9.28

第66回秋季東海地区高等学校野球大会
（東海４）準決勝　R1／10.27
決勝　R1／10.28

第128回北信越地区高等学校野球大会
石川県　準決勝　R1／ 5.12
決勝　R1／ 5.13

第129回北信越地区高等学校野球大会
石川県　準決勝　R1／ 9.28
第３代表決定戦・決勝　R1（一部FM）／ 9.29
福井県　準決勝　R1／ 9.28
３位決定戦・決勝　R1／ 9.29
富山県　準決勝　R1／ 9.21
３位決定戦・決勝　R1／ 9.22

第129回北信越地区高等学校野球大会
（新潟・長野・福井）　準決勝　R1／10.19
（新潟・長野・福井）　決勝　R1／10.21

〔その他のスポーツ〕

プロ野球

「中日」対「楽天」（中部）　G／ 5.17　〈マルチ編成〉
「中日」対「ヤクルト」（中部）　G／ 7. 5　〈マルチ編成〉
「中日」対「広島」（東海３）　R1／ 9.26
「中日」対「広島」（東海３）　R1／ 3.28

第93回天皇杯サッカー選手権　各県大会　決勝

愛知県　G／ 8.24
石川・静岡・福井・富山・三重・岐阜県　G／ 8.25

高校総体サッカー静岡県大会　決勝

（静岡県域）　G／ 6. 2

Jリーグ

「名古屋グランパス」対「アルビレックス新潟」（東海３）　G／ 4.13
「名古屋グランパス」対「大宮アルディージャ」（東海３）　G・R1／10.27
「ジュビロ磐田」対「柏レイソル」（静岡県域）　G／ 5.11
「名古屋グランパス」対「清水エスパルス」（東海３・静岡）　G／ 3. 1

J2リーグ

「FC岐阜」対「モンテディオ山形」（岐阜・山形県域）　G／ 4.28
「カターレ富山」対「ザスパクサツ群馬」（富山・群馬県域）　G／ 6. 8
「カターレ富山」対「水戸ホーリーホック」（富山県域）　G／10.27
「ファジアーノ岡山」対「カターレ富山」（岡山・富山県域）　G／11.17
「FC岐阜」対「コンサドーレ札幌」（岐阜県域）　FM／11.17
「ファジアーノ岡山」対「カターレ富山」（岡山・富山県域）　G／ 3. 2

bjリーグ

「富山グラウジーズ」対「秋田ノーザンハピネッツ」　G　富山・秋田県域／12. 8

日本ハンドボールリーグ女子

「北国銀行ハニービー」対「飛騨高山ブラックブルズ岐阜」　G　石川県域／ 2. 2

Ⅱ．技　術

１．地上デジタル放送の普及促進

15年３月末の衛星によるセーフティネットの廃止に向けて，「新たな難視」地域の対応や「デジタル混信」，更に「デジタル化改修共聴」に対して，東海北陸域内各地域の地上デジタル放送推進協議会と連携して地デジ受信対策を推進した。

地上デジタル放送の難視対策である「ワンセグ対策」の一つに，NHK名古屋と静岡および地域協議会で提案した「４ダイバーシティー受信システム」が全国地上デジタル推進協議会で採用され，対策最終年度の対策を加速できた。

また，デジタル時代に即した受信相談体制が東海北陸域内全局でスタートし，より迅速できめ細かな視聴者対応を実施することができた。

２．地上デジタル放送のサービス向上

デジタル放送の特徴を生かしたデータ放送による双方向番組等の取り組みが増加した。名古屋局では毎週火曜に，管中番組『さらさらサラダ』に

おいて連動データ放送で双方向アンケートを開始した。また，毎週金曜の『ナビゲーション』や『金とく』の特番では，放送中に視聴者からTwitterやメールで意見を募集し，連動データ放送でメッセージスーパーを実施している。ドラマと連携したサービスとして福井局ではドラマ『恐竜せんせい』において，データ放送を用いた恐竜発掘ゲームを実施した。また，スポーツ番組との連携としては，金沢局で「ハンドボール中継」の解説を連動データで実施し，富山局では「サッカーJ2」の応援メッセージを連動データ放送で実施した。情報サービスとしては，津局で，鉄道フェリー運航情報をデータ放送で新規に開始した。

また，スマートフォンなどのセカンドスクリーンを用いた新たなサービスの開発にも取り組んだ。「NHK名古屋 テレビ放送開始60年」の音楽ライブ番組では，スマートフォンによるアーティスト応援投票を実施した。応援回数によってアーティストの写真をダウンロードできるサービスで，番組中500万票以上の投票があった。この大量データに対応するため，クラウドサーバーに，スマートフォンと接続するシステムを開発した。

３．放送設備の充実

地上デジタル放送電波の安定確保に向け，テレビ中継放送所の放送機２台化整備（９局），富山・岐阜局放送会館およびラジオ親局２局，ラジオ中継局５局の非常発電機用燃料タンクの倍増化整備を行い，大規模・長時間停電時の事業継続を可能とした。また，取材・伝送設備の電源系統の強化として，国見FPU基地局，久須夜FPU基地局に自家発電装置を整備した。

NHK共聴については，老朽化大規模改修８施設，小規模改修18施設，無停電電源装置の整備５施設を実施し，安定で良質な受信環境確保に努めた。

名古屋局のニュースタジオカメラの更新を行い設備の運用性の改善を図ったほか，局外カメラの整備では新幹線開通を見据えた金沢駅へのカメラの設置をはじめ，東伊豆小室山カメラ，下田寝姿山カメラをハイビジョン化更新し，地域放送の向上に資する整備を行った。

新たな放送サービスへの展開では，４月より『ほっとイブニング』と『ニュース845東海』に字幕を付加するサービスを開始した。また，R1，FM放送をインターネットでライブストリーミング配信してパソコンやスマートフォン等で視聴できるNHKネットラジオ「らじる★らじる」の整備を名古屋局でも進め，東京に続き５月よりサービスを開始した。

より良いサービスの提供に向けて，名古屋局は「AR技術を用いた電子フリップ・再撮モニタシステム」の新技術開発に取り組んだ。また，継続して開発に取り組んでいた「U-Padロボカメコントローラー」と「ワイヤレスFUシステム」が放送現場で運用を開始した。

４．緊急・災害報道の取り組み

事件報道では，４月に「稲沢市立てこもり事件」が発生，衛星伝送車２台，HV緊急パックに加え，高感度カメラで夜間の事件解決を中継伝送した。８月の「三重県朝日町女子中学生殺人事件」では津局衛星中継車が四日市北署，名古屋局衛星伝送車は事件現場を９月中旬まで16日間伝送対応を実施。14年１月には「春日井市猟銃閉じこもり事件」が発生，この対応では衛星伝送車やヘリ取材の他，IP伝送機器も一報映像伝送で活用した。

事故報道では，14年１月に「四日市コンビナート・タンク爆発事故」「東海市新日鉄住友製鉄所で異常火災」があった。

また，気象関連の報道も多く，９月には名古屋市で１時間に109ミリの猛烈な雨が観測され，衛星伝送対応に加え，名古屋駅中継，局前中継を実施した。台風襲来も多く，18号（9.16），26号（10.15～16），27号（10.25～26）では名古屋駅中継を実施した。さらに大雪関連対応（2.8，14）においても名駅より早朝の運行状況を伝えた。

選挙報道では，「名古屋市長選」（4.21，投開票）と「第23回参議院選挙」（7.21，投開票）があった。参院選ではラジオの政見収録・放送をMOからCF（コンパクトフラッシュ）メディアに変更して対応した。

設備整備では，名古屋局の自動追尾型衛星伝送車（ハンター機能付きCSK）と取材ヘリコプター（中型機JA65NH）が更新され，緊急報道の最重要設備の充実が図られた。機能強化整備として，青山FPU基地のハイビジョン化更新，粟ヶ岳FPU基地の無線制御化等を実施したほか，名古屋局が被災した場合を想定して本宮山FPU基地局を岐阜局から制御できる機能を整備した。

継続して進めている連絡無線基地局のデジタルナロー化整備は，名古屋放送センター３波をはじめ，域内の８基地局，12装置の設置工事を完了した。

また，ロボットカメラモニタリングシステムを

ハイビジョン化して緊急時の一報ロボカメ映像としての画質向上と運用性の改善を図った。さらに，航空取材時のサポートツールとしてヘリ映像に地名やフライト方向等を表示するヘリ映像スーパー装置を整備した。

データ放送とホームページ向けの災害情報では，緊急時に迅速に情報の提供が可能な新しいシステムとコンテンツの導入が完了した。また，静岡局と岐阜局については，公共情報コモンズと接続した情報の提供が可能となった。

５．番組制作技術の取り組み

ドラマ番組では，２年ぶりとなる名古屋制作の『土曜ドラマ』「太陽の罠（わな）」を制作した。また，福井発地域ドラマ『恐竜せんせい』の制作では，福井局にドラマスキル要員を派遣して，高品位なドラマを全国に発信，地域の活性化にも貢献できた。

スポーツ中継に関しては，「大相撲名古屋場所中継」で12年から導入しているワイヤレスカメラの中継可能エリアの拡大を図り，スロー再生やハイライト制作用に，世界標準のビデオサーバーである「EVS」を整備して多角的で迫力ある映像と感動を全国の視聴者に届けた。また，『NHKスペシャル』は「成長か、死か～ユニクロ40億人市場への賭け」「世界遺産　富士山～水めぐる神秘」「聞いてほしい　心の叫びを～バス放火事件　被害者の34年」の３本を制作，特に「世界遺産　富士山」は４K撮影を導入して制作し，これまでにない映像表現を視聴者に届けることができた。

名古屋局テレビ放送開始60年記念イベント（３月）ではスーパーハイビジョン公開展示を実施。ソチ五輪の浅田真央選手のフィギュアスケートや名古屋局制作の「秋の高山祭り」を来場した896人の人々に体感してもらった。

Ⅲ．視聴者

１．広　報

（１）マスコミ広報・番組広報

名古屋局では，広報番組『東海ピックアップ』を制作し，東海３局の経営・番組・事業イベントなどの情報を紹介した。また，NHK福井開局80周年記念ドラマ『恐竜せんせい』，『土曜ドラマ』「太陽の罠」，『Uta-Tube』「SKE48　紅白密着SP」，『超絶　凄（すご）ワザ！』などさまざまな番組で取材会を実施し，地元や在京のマスコミに積極的に情報を提供した。

津局では，大学生が一つのテーマを自由に語り合うFM番組『ホンネで！みえトーク』の番組広報のため，大学や学生たちの夢を紹介する１分スポット「三重の学生！ゆめトーク」を全大学で収録し，繰り返し放送した。

岐阜局では，BSP『ぐるっと食の旅　キッチンがゆく』『めざせ！グルメスター』『イッピン』などの全国放送番組について，県内の話題を取り上げた回では独自にポスター，チラシ，ポストカードを作成し，自治体と連携しながら周知を行った。特に，自治体の広報誌に掲載することで，より多面的な番組PRとなった。

（２）視聴者ふれあい活動

津局では，「視聴者のみなさまと語る会～NHK経営委員とともに～in津」では，公募による視聴者25人と，放送や経営全般について意見を交換した他，『大河ドラマ』「八重の桜」の制作統括による講演会も実施した（9.7）。

名古屋局では「NHK倶楽部」を４回実施し（7.23，9.30，11.13，2.6），名古屋局制作の情報番組やラジオ番組などをテーマに，メンバーから率直なご意見を聞いた。

見学施設「放送体験スタジオ　わくわく」へは，１年間に11万8,000人余りが訪れ，ニュースキャスターの疑似体験など楽しみながら放送を学んでもらった。また，250件7,335人の団体見学者にテレビスタジオなどを案内した。

テレビ放送開始60年を記念したイベント「カンシャ　カンレキ　感謝祭」を，NHK名古屋放送センタービルとオアシス21で実施（2.28～3.2）。オアシス21では公開生放送やキャラクターショーを中心に実施し，NHK名古屋放送センタービルでは『東海北陸スペシャル』セット公開やトークショー，スーパーハイビジョン公開，名古屋局制作番組のアナウンサー・キャスターによるトークショーなどを実施した。来場者は３日間で５万人を超え，大盛況だった。

津局では会館公開を実施し（10.12～13），FM番組『ホンネで！みえトーク』の公開録音，ハイブリッドキャスト体験コーナーやテレビ60年の歩みを紹介したパネル展などを行い，２日間で延べ１万人を超える来場者があった。

そのほか，豊橋支局，岐阜局でも会館公開を実施，視聴者との交流を深めた。

金沢局では，「かなざわ　まち博2014」に合わせて，「NHKアーカイブス上映会」を実施した（7.23）。13年度は『新日本紀行（金沢）1963年』

と『新日本紀行　城下町の歳月～紀行10周年～1973年』を上映し,「金沢の変容に興味を持った」など好評を得た。

福井局では『NHKのど自慢』予選会での中継車体験を行ったほか，小学校の“出前授業”や盲学校からの職場体験の受け入れ，小学校放送部やCATVへの勉強会・研修を行った。局のキャラクターを活用し810プロを展開した。

富山局では，さまざまな“地域の歌”を通し，富山の魅力を探る「トヤマウタ」の公開ライブを12年度に開催。そのもようを上映するイベントを富山大学で実施し（5.15），大学との連携を深めた。「のど自慢予選会」の「ふれあい隊」では，中継車見学ツアーに120人が参加（5.25）。また，３小学校で実施した「朗読ひろば」では，ふれあいミーティングを併せて開催した（11月，２月）。

岐阜局では公開番組『スクールライブショー』で，ふだん接触が少ない高校生との「ふれあいミーティング」を実施。司会のサバンナの２人が参加し，楽しい雰囲気で意見を交換し合った。

２．イベント事業

中部ブロックでは，公開番組をはじめ，公共放送キャンペーン，こども・青少年，教育・教養，美術，音楽，スポーツなど，さまざまな分野・対象のイベントを実施した。約46万人の視聴者と触れ合い，公共放送の理解促進と地域の活性化・文化振興に努めた。

〔名古屋局〕

（１）公開番組

『NHKのど自慢』『BS日本のうた』『ごきげん歌謡笑劇団』など例年実施している番組に加え，『島耕作のアジア立志伝』などの新規の全国放送番組も含め，中部で84本を実施した。

（２）公共放送ならではのイベント・キャンペーン

「防災キャンペーン」「ハートプロジェクト」「ふるさとの食　にっぽんの食」「環境キャンペーン」など，公共放送ならではのキャンペーン・イベントを中部各局で展開した。

名古屋局では，「防災キャンペーン」の一環として在名民放ラジオ局各社と連携した『クイズ！防災SHOW』を実施（9.22，オアシス21）。また，「ハートプロジェクト」では，「NHKハートフォーラム」を開催した（7.14，豊川市）。

（３）こども・青少年イベント

「第80回NHK全国学校音楽コンクール」「第60回NHK杯全国高校放送コンテスト」「第30回NHK杯全国中学校放送コンテスト」「キミが主役だ！NHK放送体験クラブ」を中部各局で実施した。

第80回を迎える音楽コンクールでは，関連企画として，嵐が制作した「オトダマくん」を名古屋局で特別展示し（6.6～11），約7,000人の来場者があった。

また，ファミリーで楽しめるステージショーとして，チャリティーコンサート「おかあさんといっしょファミリーコンサート」(9.21, 静岡市),「いないいないばあっ！あつまれ！ワンワンわんだーらんど」(8.3，福井市）や，「おかあさんといっしょ　あつまれ！土曜日」スタジオ収録（6.1，名古屋局),「おかあさんといっしょ宅配便～ポコポッテイト小劇場」（９か所）を中部各地で開催した。

名古屋局では夏休み中の親子を対象に「NHKこどもサマースクール2013」を実施し（8.9～11，名古屋放送センタービル），自由研究のヒントを提供した。

（４）教育・教養イベント

学校に出向いて行う「NHKこども音楽クラブ～N響が学校にやってきた」「NHK朗読ひろば」「Let's try！プレキソ英語」など，教育イベントを中部４か所で実施。

また，学校放送番組の研究委嘱を行い，教育現場での番組利用の推進を図った。

教養イベントでは，「NHK公開セミナー」として『大河ドラマ』「八重の桜」「軍師官兵衛」などをテーマにセミナー（３か所）を実施した。

（５）美術展・展覧会

特別展「中国王朝の至宝」（4.24～6.23，名古屋市博物館),「はじめての美術　絵本絵画の世界展」（6.15～7.21，名古屋市美術館),「生誕100年佐藤太清展」（6.21～8.4，富山県水墨美術館),「俵屋宗達と琳派展」（9.14～10.14，石川県立美術館),「第60回日本伝統工芸展」（10.2～７，名古屋三越栄店，10.25～11.3，石川県立美術館）を中部各地で主催し，地域の文化振興に寄与した。

（６）音楽イベント

『NHKナゴヤニューイヤーコンサート2014』（1.3，名古屋市),「N響定期演奏会」（1.18，名古屋市）を主催・共催した。

（７）スポーツイベント

「ラジオ体操・みんなの体操会」「第93回天皇杯全日本サッカー選手権大会代表決定戦」を中部各地で実施したほか,「NHKスポーツパーク」(5.12津市，9.21，飛騨市),「NHKジュニア野球教室」（12.7，滑川市),「NHKジュニア水泳教室」（2.1，

春日井市）を実施した。

また，名古屋局では，「2013NHK杯国際フィギュアスケート競技大会」に合わせてスーパーハイビジョンのライブビューイングイベントを実施した（11.8～10）。そして，ソチオリンピックの関連イベントとして，「ソチオリンピックを丸ごと楽しもう」も実施した（1.24）。

（８）その他のイベント

名古屋局制作番組『金とく』のネイチャープロジェクトと連動し，トークショー（8.10，名古屋市）やシンポジウム（8.28，名古屋市），コンサート（8.29，名古屋市），「“水の国富山”東西水じまん合戦」（9.21，黒部市）など中部地方の各局が連携したイベントを実施した。

〔金沢局〕

テレビ放送開始60年記念として『かがのとイブニング』で放送した企画「時の旅人～石川アーカイブス」と連動し，「かがのとメモリーズライブ」を金沢市で開催した（2.11）。38豪雪など過去の出来事や，昭和の名横綱・輪島の活躍など金沢局が保有するアーカイブス映像を，ジャズ，ギターとの生演奏と共に伝えた。主なゲストには俳優・篠井英介と漫画家・永井豪を迎え，来場者と共に当時の出来事を振り返った。

また，ラジオの公開番組として『石川朗読ひろば』を輪島市で実施し（6.9），アナウンサーやキャスターが能登を題材とした文学作品などの朗読を披露した。

さらに，石川県立美術館開館30周年を記念した企画展「俵屋宗達と琳派」を共催し（9.14～10.14），地域文化の振興に寄与した。

〔静岡局〕

地域の視聴者に親しまれる放送局を目指し，『上方演芸会』（5.10，清水町），『BS日本のうた』（9.12，沼津市），『おかあさんといっしょファミリーコンサート』（9.21，富士市），『のど自慢』（12.15，浜松市）など，県内各地でさまざまな公開番組や公開イベントを実施した。

夏休み親子イベントとして「気象キャスターによる天気実験講座」と「ラジオ工作教室」をテーマに「NHKサマースクール」を実施した（8.19～21）。親子で楽しむモノ作りが好評だった。

世界文化遺産に登録された富士山をテーマにした「NHK富士山写真コンクール写真展」（9.4～９，静岡市）は25回目を迎えた。併せて，富士山をテーマにした「富士山講演会～冬の富士山・テレビ撮影」を実施した（9.8，静岡市）。

〔福井局〕

開局80年を迎え，「NHK福井開局80周年まつり」を開催した（5.18～19，坂井市）。公開番組『文芸選評』『歌の日曜散歩』を実施したほか，「ぼくの絵わたしの絵展」「八重の桜巡回展」「移動放送博物館」などの展示や“タイムスライス”映像のワークショップを行い，幅広い年齢層の参加があった。

福井県との共催で「NHK環境セミナー～魅力たっぷり福井の里地里山」を開催した（6.15，福井市）。NHKのイベントへの初参加の人が８割を超えた。

「東海・北陸文学紀行」を開催した（3.8，福井市）。中部域内アナウンサーによる東海北陸地方ゆかりの文学の朗読と，ゲストを迎えての源氏物語についてのトークを行った。

〔富山局〕

生誕80周年を記念して出身地・高岡市で朗読イベント「耳で楽しむ藤子・F・不二雄の世界」を実施（6.29）。来場者は40代以下が３割を占めた。「“水の国富山”東西水じまん合戦」（9.21，黒部市）は水文化の多様さを印象づける構成とし，イベント参加者の満足度も79.2％を獲得。水写真展と併せて富山の“豊かな水”をアピールした。開幕直前に「ここが見どころ！冬季オリンピック」を地元出身の元五輪選手や元NHKスポーツ解説者を招いて開催（2.1，富山局スタジオ）。総合やBSで放送される競技の周知も行った。

〔津局〕

津局のアナウンサー２人と名古屋局のアナウンサー１人が小学校に出向き，「NHK朗読ひろば」を実施した（6.18）。

津局周辺がメイン会場となる「津まつり」に連動した会館公開の中で，食料キャンペーンイベントとして粘土作家によるワークショップ，国際コンクールで優勝した高校生による料理教室，環境キャンペーンイベントとして，４月に放送した清流宮川を旅する番組の出演者で元バドミントン日本代表の小椋久美子さんのトークショー，エコバッグ作り，昆虫探しゲーム，防災キャンペーンイベントとして，巨大地震を体験するシミュレーター「地震ザブトン」など多数のイベント・展示を行った。

「NHKカップ三重県少年サッカー大会」（12.7～８）は第20回の節目の大会となった。

〔岐阜局〕

岐阜局では地域の安心・安全を守る情報発信拠点として，「みのひだ防災・減災キャンペーン」

を展開し，防災・減災イベントを４回実施した。会館公開での「気象防災講座」（10.5，6,250人参加），岐阜県と協力した「岐阜県地震防災フォーラム」（10.27，大垣市，400人参加），「どーもくんの防災劇場」（11.16，輪之内町，354人参加），「気象防災講座」（1.18，高山市，120人参加）を実施し，県内で広く啓蒙活動を行った。また，「地震防災フォーラム」のもようは東海３県で放送した（11.16）。

11回目を迎えた「全日本学生落語選手権　策伝大賞」（2.22～23，岐阜市）では，全国49大学・大学院から，学生232人が参加した。当日は1,424人の来場者があり，大賞には地元の岐阜大生が輝くなど大変盛況だった。当日のもようを県域（3.14）と全国向け（4.3）で放送した。

３．営　業

13年度，中部ブロックでは，「平成24～26年度NHK経営計画」で掲げた公平負担と営業経費抑制に向けた営業改革に取り組み，ブロック全体で全営業諸目標を達成することができた。

放送受信契約件数は，13年度当初593万件に対して，13年度末は８万件増加して601万件となった。

13年度は，域内10局・センターと連携し，契約収納業務の外部委託化を積極的に進めた。小規模な一定地域において契約収納業務全般を委託する法人委託の実施地区は年度末で39地区，より広範な地域を対象とした包括的な業務委託を実施する地区は公開競争入札により年度末で５地区となるなど，営業業績を安定的に確保する体制を構築した。

一般世帯のほか，宿泊施設など事業所の契約適正化に向けた取り組みを強化し，事業所契約数を１万7,000件増やすことができた。

また，契約取次業務の不動産会社や引越し会社等への法人委託の実施により，効率的に営業活動を推進した。

受信料未払いの契約者に対する簡易裁判所への支払い督促の申し立てについても着実に実施し，公平負担の徹底に努めた。

近　　畿

◇「平成24～26年度NHK経営計画」の重点目標の１つである「本部のバックアップ機能」の整備に引き続き取り組み，新たに『ゆうどきネットワーク』の金曜を大阪局から生放送するなど，さまざまな運用訓練を継続的に実施した。

◇平日夕方５時台の刷新とともに，土曜午前に『週末応援ナビ☆あほやねん！すきやねん！』を新設し，若者だけでなくその親世代にも楽しめる情報を発信した。

◇『連続テレビ小説～ごちそうさん』は，食いしん坊の東京娘が「食い倒れの街」大阪に嫁ぎ，激動の大正・昭和を生きてたくましい大阪の母となり，男への愛を貫きとおす半生記をダイナミックに描いた。脚本は，森下佳子。

◇日曜午前７時台にアジアで活躍する関西人を通して，アジアの今を伝える『かんさい人物ファイル　アジアに夢中！』を新設したほか，７年目を迎えた地域経済番組を『新・ルソンの壺』としてリニューアルし，関西の旬な動きを紹介した。

◇７月の参議院議員通常選挙や，同日に行われた兵庫県知事選挙での政見・経歴放送や開票速報に万全を期し，公正・公平な放送を実施した。

◇ラグビーのまち，ものづくりのまちとして全国に知られる東大阪市を舞台にした地域ドラマ『花園オールドボーイ』を放送するとともに，営業活動も積極的に行った。

Ⅰ．放　送

１．放送の概要

（１）関西の安全・安心を守る防災・減災報道

甚大な被害が想定され，早めの避難や耐久化などの対策が求められている「南海トラフ巨大地震」については，金曜夜７時台の番組『かんさい熱視線』（G，年間34本）での「新たな脅威“関西直下地震”」（4.26）や，平日夕方６時台の番組『ニューステラス関西』（G）でのシリーズ企画（４月）など年間を通じて放送したほか，地域特集として『その時に備えて　南海トラフ巨大地震』（G，4.28）を制作した。また，全国放送では，『NHKスペシャル～MEGAQUAKEⅢ　巨大地震』で「第１回　次の直下地震はどこか」（4.7），「南海トラフ　見え始めた“予兆”」（9.1）に制

作参加した。原発関連では,『かんさい熱視線』で,「揺れる原子力規制委～“安全への判断”は貫けるのか」(6.21),「“もんじゅ継続”の行方」(10.4)を放送した。発生から19年目となった阪神・淡路大震災については,『ニューステラス関西』で,シリーズ企画「阪神・淡路大震災」(１月),地域特集として『あの日を胸に　阪神・淡路大震災から19年』(G, 1.17),『震災19年　真の復興へ　やらなあかんことがある』(G, 1.17)のほか,『NHKスペシャル』で,「阪神・淡路大震災19年　救助が来ない　巨大地震　その時あなたは」(1.17)を放送した。

本部のバックアップ機能強化については,『情報まるごと』を年４回(5.30, 9.19, 10.30, 11.28)大阪局のニュースタジオから,平日午後５時台の『ゆうどきネットワーク』(34本)を毎週金曜大阪局のプラザスタジオから,それぞれ生放送したほか,設備の整備を進めた。

(２)関西を元気にする放送の実現

土曜午前に『週末応援ナビ☆あほやねん！すきやねん！』(G, 年間42本)を新設し,若年層だけでなく,その親世代にも視聴してもらえる番組を目指すとともに,営業と連動した企画を展開し,11月には,「学園祭スペシャル」を放送したほか,夏期特集として「夏休みSP」を放送し,新たな視聴者層の獲得に取り組んだ。日曜午前にはアジアで活躍する関西人を通してアジアの今を伝える『アジアに夢中！』(G, 年間９本)を新設したほか,７年目を迎えた地域経済番組を『新・ルソンの壷』(G, 年間32本)としてリニューアルし,関西の旬な動きを紹介した。２年目を迎えた金曜夜８時台の『えぇトコ』(G, 年間27本)は,“関西再発見の旅”をテーマに,バラエティーに富んだ内容で関西の魅力を伝えた。平日午前の『ぐるっと関西　おひるまえ』(G, 年間225本)は,金曜の放送枠を拡大して,旬なゲストを迎えるコーナーなどで,より身近な番組として充実を図った。定時の全国放送番組では,『ゆうどきネットワーク』(G)の金曜が大阪局主管となったほか,12年度から放送している「シンサイミライ学校」が『学ぼう　BOSAI』(E)の第３シリーズとして新たにスタートした。５年目を迎える『歴史秘話ヒストリア』(G)は,東北各県を軸に地方局との連動を強化するなど,さらなる視聴者層の拡大を目指したほか,12年度の放送開始以来反響を呼んでいる『バリバラ～障害者情報バラエティー』(E)と『バリバラR』(R2)では,新たに双方向生放送(E, 5.10, 8.2, 11.1, 12.6)を実施した。このほか,『バラエティー生活笑百科』(G),『ミュージック・ポートレイト』(E),『かんさい土曜ほっとタイム』(R1),『上方演芸会』(R1)などを主管・制作した。

(３)地域の課題に向き合い,視聴者の暮らしを守る正確・迅速な報道

夕方６時台の各府県向けのニュース情報番組(G, 月～金)では,２年目を迎える６時40分から12分間の関西のニュースとスポーツ情報を伝えるコーナーの充実とともに,視聴者の関心度に合わせて,その柔軟な運用を行った。大阪局は『ニューステラス関西』を継続,各局は『ニュース610京いちにち』(京都),『ニュースKOBE発』(神戸),『あすのＷＡ！』(和歌山),『ならナビ』(奈良),『おうみ発610』(大津)をそれぞれ継続した。

金曜午後７時30分からの報道番組『かんさい熱視線』(G)では,関西にまつわるニュースや出来事を,素早く深く掘り下げて伝えた。制度創設以来の大幅な改正となった生活保護制度については,「生活保護法改正で何が～現場からの報告」(6.14),「生活保護　現場で何が」(9.20),「法改正で　どうなる生活保護」(1.24)で,大阪で進められている教育改革については,「特色をどう打ち出すか～大阪･教育改革の最前線」(7.19),「学校改革はできるのか～問われる“公募校長”」(12.6)で伝えた。このほか,南海トラフ巨大地震や原発問題,紀伊半島豪雨災害,“子どもを守れ！キャンペーン”関連にも継続的に取り組んだ。人の生命にかかわる最先端医療の動きについては,「遺伝子診断　がん治療は今」(7.12),「夢の医療はいま～iPS細胞　実用化への挑戦」(11.29)などで伝えたほか,全国向けには,『クローズアップ現代』で「がん“根治”の時代は来るか～“がん幹細胞”研究最前線」(9.19),「加速するiPS研究～山中教授に聞く実用化への道」(12.5)を放送した。

(４)信頼に応える選挙報道

７月４日公示,７月21日投票日となった第23回参議院議員通常選挙は,関西の各選挙区では,「自由民主党」と「公明党」の両党が全員の当選を果たしたほか,「日本維新の会」「共産党」がともに２議席を獲得する一方で,「民主党」は議席を獲得できなかった。大阪選挙区の定数が６から８(改選数４)となるなど,政見・経歴放送の放送時間は,立候補者の増加に伴い前回と比較して微増となった。開票速報では,同日選挙となった,兵庫県知事選挙,奈良市長選挙も含めて,ミスなく確実に伝えるなど,迅速かつ,公平・公正な選

挙報道を実施した。

（５）地域の再生，地域活性化への貢献

大阪を代表する伝統芸能である文楽については，21年ぶりに通しで上演された“伊賀越道中双六”を『にっぽんの芸能』（E，2.14）で全国に，地域向けには，『朝まで文楽』（E，12.30～31）として通しで放送したほか，“心中天網島”を『にっぽんの芸能』（E，10.18）と『古典芸能への招待』（E，6.30）で全国に発信した。14年４月に100周年を迎える宝塚歌劇団については，NHKに保存されている名作・名演を紹介する『メモリーズ･オブ･宝塚』（BSP）を月に２本程度放送した。

３年目を迎えた“子どもを守れ！キャンペーン”では，地域特集番組として『いのちの話をしよう～助産師・小林寿子さんのメッセージ』（G，8.22），『子育てガンバロ！クイズSHOW～宇宙船ガンバロ号のWARPトラベル』（G，11.30），『どんな家に生まれても～一人親家庭の子どもを支える学習塾』（G，1.23），『ファイト！～性同一性障害のボクサーと子どもたち』（G，3.31）のほか，視聴者から寄せられた体験談や子どもの写真などの関連ミニ番組を制作・放送した。また『かんさい熱視線』でも，「子どもはどこへ消えた～相次ぐ虐待死の裏で」（5.24），「LINE急増の陰で～子どもたちをどう守るか」（9.27），「子どもたちに“家庭”を～なぜ進まない　養子縁組」（11.15）など，子どもを取り巻くさまざまな問題を取り上げたほか，『ニューステラス関西』でも，関連企画「ハロー！スクール」などを放送した。また，ラジオでも，『関西発ラジオ深夜便』や『関西ホットライン』の中で子どもへのメッセージや朗読を放送したほか，『ラジオNMB48』（FM）でも関連企画を放送した。NHK大阪ホールを活用した番組では，２年目となる金曜夜８時台の『ふたりは最高！大阪SHOWTIME』（G，年５本）のほか，地域特集番組『漫才祭り』（G，年２本）や『上方落語の会』（G）などの収録を実施した。“上方落語”については，地域特集番組として，『桂文枝の落語新世紀』（G，年３本）でも放送した。大正から昭和にかけての東京と大阪を舞台にした『連続テレビ小説』「ごちそうさん」では，金曜夜８時台で『いよいよ大阪！連続テレビ小説「ごちそうさん」』（G，11.1）や，『「ごちそうさん」ファンミーティング』（G，3.1）を放送したほか，ヒロイン等がゲスト出演した『土曜スタジオパーク』（G，10.12）を大阪局のアトリウムから生中継した。また，『大河ドラマ』「八重の桜」と「軍師官兵衛」でも，地域特集番組として『歴史散策・八重が生きた京都』（G，8.3）や『黒田官兵衛戦乱の流儀　シンポジウム　in　姫路』（E，3.30）などに加え，『岡田准一が語る大河ドラマ「軍師官兵衛」』（G，3.21）を全国に放送したほか，『土曜ドラマ～夫婦善哉』（G，8.24～9.14，全４回）についても，地域向けに『オダサクさん、こんにちは』（G，8.24）を放送し，作者の生涯と作品の魅力を紹介するなど，ドラマの盛り上げや地域の活性化に努めた。さらに，東大阪を舞台にした地域ドラマ『花園オールドボーイ』（G，1.10）については，CS（視聴者満足）活動に全局体制で取り組んだ。

（６）視聴者の期待に応えるスポーツソフト

関西で行われるさまざまなスポーツを全国に向けて積極的に発信した。今大会から準々決勝の前日に休養日を設ける日程となった『第95回全国高校野球選手権大会』（G，E，R1，FM，8.8～22）や，『第39回社会人野球日本選手権 決勝』（BS1，11.7），『第15回全日本学生柔道体重別団体優勝大会』（E，11.9），『関西大学ラグビー「天理大」対「立命館」』（E，11.30）などのアマチュアスポーツを伝えた。駅伝では，『女子第25回・男子第64回全国高校駅伝』（G，R1，12.22），『第32回全国都道府県対抗女子駅伝』（G，R1，1.12）を放送し，インターネットへのサービス展開として，静止画によるレース速報に加え，パソコンとスマートフォンサイト向けに，放送終了後のコンテンツとして，全チームの中継所動画，レース展開を伝える動画クリップを制作した。このほか，『第68回甲子園ボウル～全日本大学アメリカンフットボール選手権「関西学院大」対「日本大」』（BS1，12.15），『第69回びわ湖毎日マラソン』（G，R1，3.2），『第86回選抜高校野球大会』（G，E，R1，FM，3.21～4.2），競馬の『第74回菊花賞』（G，10.20）などを中継した。

地域放送では，関西ゆかりの代表選手を紹介し観戦のツボを紹介する『全力応援！かんさい～ソチ五輪観戦ガイド』（G，2.1）や，関西から出場する７校の戦力や見どころを紹介する『甲子園でやったるで！　センバツで輝け　期待の関西勢』（G，3.18）を放送するなど，スポーツ中継への関心を高める取り組みを行ったほか，男子100mで高校生ランナーの桐生選手が日本歴代２位のタイムを記録した『第47回　織田記念国際陸上』（E，4.30）を録画で放送した。また，プロ野球（G），サッカーJリーグ（G），バスケットボール・bjリーグ（G）などのプロスポーツを生中継したほか，『なでしこリーグ「INAC神戸レオネッサ」

対「ベガルタ仙台レディース」～ノエビアスタジアム神戸』(G, 10.14）を録画で伝えた。このほか，『第42回関西学生サッカー選手権～決勝』（E, 6.1），全国高校野球選手権大会の関西２府４県大会の決勝戦（G，E，R1，FM），『第18回大阪サッカー選手権大会　決勝～天皇杯　大阪府代表決定戦』（G，8.25），『第58回全国高校軟式野球選手権大会～決勝』（R1，8.30），『秋季近畿地区高校野球大会』（R1，FM，10.26～11.4），『関西大学ラグビー「近畿大」対「立命館」』（E, 11.16），『関西学生アメリカンフットボール「立命館」対「関西学院」』（E，11.24）などを中継した。

（７）人にやさしく，新たな放送サービスの実施

12年３月に『関西845』（G）で大阪府域向けに開始した字幕放送については，夕方６時台の『ニューステラス関西』（G）で，番組後半の管中パートも含めてサービスを開始した。また，大阪局が主管する全国放送番組『歴史秘話ヒストリア』（G）では，新たに解説放送を始めた。また，大阪局が主管する全国放送番組『バリバラ～障害者情報バラエティー』（E）や地域放送番組『週末応援ナビ☆あほやねん！すきやねん！』（G）で，データ放送の双方向機能を活用して視聴者から投票を受け付けるなどの新たな放送サービスを展開した。また，地域向けのプロ野球中継では，地域放送としては全国で初めてマルチ編成時にリモコンの色ボタンで遷移できるサービスを実施した。

２．地域放送番組

（１）定時番組

『おはよう関西』　G

月～金　7:45～ 8:00

第１回93.4.3／近畿ブロック／毎週月曜から金曜まで，関西各地の朝を伝える『おはよう関西』。深夜から早朝にかけて取材した最新ニュース，この時間帯ならではの季節の風物詩など生中継を交え，各地の情報をコンパクトに伝えた。

『ウイークエンド関西』　G

土　7:30～ 8:00

第１回92.4.11／近畿ブロック／土曜の朝，週末のおでかけに役立つ多彩な情報を伝える番組。関西各地の町の魅力を掘り下げる「西日本の旅」をメインに，食や行事などその土地の“旬”を伝える中継，スポーツや気象などを届けた。

『ぐるっと関西　おひるまえ』　G

月～木　11:30～12:00
金　11:05～12:00

第１回03.4.3／近畿ブロック／関西２府４県の各局を結んで届ける情報番組。月曜から木曜は，市場発の野菜や魚の情報からおでかけ情報，ペット情報まで関西に暮らす皆さんのために，さまざまな情報を届けた。水曜には，原田伸郎が関西各地の元気なお年寄りを訪ねる新企画がスタートした。金曜は，新MCに八木早希を迎え，大平サブローとともに，旬のゲストとのトークやライブを発信した。

『ニューステラス関西』　G

月～金　18:10～18:59

第１回08.3.31／大阪単（一部, 近畿ブロック）／大阪をはじめ，関西のニュースを深く掘り下げて伝えるニュース情報番組。“より深く，より早く，より身近に”をモットーに，「教育」や，南海トラフ巨大地震に備える「防災」「減災」などのテーマに力を入れた。２年目を迎えた「関西FOCUS&SPORTS」では，関西全体がより一体感を増す演出を行ったほか，中継を増やしてライブ感を高めた。大阪府域向けに生字幕放送を開始した。(『ニュース610京いちにち』（京都），『ニュースKOBE発』（神戸），『あすのWA！』（和歌山），『ならナビ』（奈良），『おうみ発610』（大津））

『関西845』　G　月～金　20:45～21:00

第１回96.4.1／大阪単（一部大阪・和歌山ブロック）／関西の１日をコンパクトにまとめたニュース。京都局は『京都ニュース845』, 神戸局は『兵庫ニュース845』，奈良局は『なら845』，大津局は『おうみ845』，和歌山局は一部県域で放送。

『上方落語の会』　G　金　15:15～15:58

第１回11.4.20／近畿ブロック／旬の若手の落語家から，ベテラン，重鎮，時には東京からも出演者を迎え，多彩な出演者がとっておきのネタを披露。バラエティー豊かな内容で落語の魅力を届けた。

『かんさい熱視線』　G　金　19:30～19:55

第１回08.4.4／近畿ブロック／政治・経済・教育・医療から文化・芸能・スポーツなど関西にまつわるニュースや出来事に素早く反応，現場に寄り添い深く掘り下げ，関西社会の“今”を伝えた。

『えぇトコ』　G　金　20:00～20:43

第１回12.4.13／近畿ブロック／えぇトコに旅し，えぇトコを見つける番組。“地元愛”をキーワードに，関西の魅力をたっぷり紹介。関西ならではのおもしろい人たちの魅力も満載して，関西にまだまだいっぱいある「えぇトコ」を紹介した。

『ふたりは最高！大阪SHOWTIME』　G

（年５本）　金　20:00～20:43

第１回12.4.27／近畿ブロック／豪華なゲスト歌手と日本を代表する吹奏楽団・大阪市音楽団の演奏で届ける大阪発の歌謡ステージ。他の歌番組では見たことがない２組のゲスト歌手のコラボレーションで最高の歌謡ショーを関西の視聴者に楽しんでもらった。

『週末応援ナビ☆あほやねん！すきやねん！』　新　G

土　10:05～12:00

第１回13.4.6／近畿ブロック／08年に始まった『あほやねん！すきやねん！』が，土曜午前の115分生放送として装いを新たにスタート。MCに歌手の川中美幸さんを迎え，関西の10・20代を応援する青春情報バラエティーをコンセプトに情報性を強化。「学校」「仕事」「旅」「文化」「グルメ」の５本柱の情報で，親世代も楽しめる番組を目指した。

『新・ルソンの壺』　新　G

日　7:45～ 8:10

第１回13.4.7／近畿ブロック／これまで６年間『ルソンの壺』として関西のユニークな企業を取り上げてきたが，さらにNPO法人など今の日本社会に欠かすことのできない組織や特徴あるプロジェクトにもスポットを当て，関西の旬な動きを紹介した。

『かんさい人物ファイル　アジアに夢中！』　新　G　（月１回程度）日　7:45～ 8:10

第１回13.4.28／近畿ブロック／日本経済の衰退からアジアに活躍の場を求める人が増える中，アジアで活躍する関西人を追い，その姿からアジアとの付き合い方，アジアを生き抜くための処世術を探った。

『関西ラジオワイド』　R1

月～金　16:05～18:00

第１回00.4.3／近畿ブロック／「楽しく聞ける情報満載の安心ラジオ」として，緊急時の報道と地域に密着した生活情報番組を目指し，防災情報を充実させたほか，週２回のインタビューコーナーでは，さまざまな分野で活躍する人々にたっぷりと話を伺った。

『FMサウンドポケット　なみはな』　FM

月～金　18:00～18:50

第１回09.3.30／近畿ブロック／リクエスト中心のFMエンターテインメント番組。洋楽，J－POPなど曜日でジャンル分けしたほか，リスナーからのレスポンスを重視し，放送中にいただいたリクエストにはその日の内に応えた。「らじる★らじる大阪」のスタートに合わせて，リクエストのしやすいホームページにリニューアルした。

（２）主な特集番組

『その時に備えて　南海トラフ巨大地震』　G　4.28

南海トラフ巨大地震の被害想定で，最悪の場合死者が９万人を超えると指摘されている近畿地方の被害を減らすための各地の取り組みと課題を追った。

『金聖響&大フィル　青少年のためのコンサート』　G　4.29

若手世代を代表する指揮者・金聖響が大フィルとの共演で青少年に送るコンサート。13歳の少年バイオリニストも大フィルと共演した。

『漫才夏祭り2013』　G　8. 2

ベテランから若手まで豪華顔ぶれが大集合。やすきよ漫才など懐かしの思い出シーンや西川きよし50周年企画など特別コーナーを充実させた。

『歴史散策・八重が生きた京都』　G　8. 3

新島旧邸など，大河ドラマの主人公・八重の足跡をたどり，その魅力と知られざるエピソードを伝えた。

『鑑真に挑む～最高峰の肖像彫刻　誕生の謎』　G　8. 3

さまざまな謎に包まれる現存最古で最高峰の肖像彫刻，奈良・唐招提寺の国宝・鑑真和上坐像の「お身代わり像」をつくる２年がかりのプロジェクトに密着した。

『桂文枝の落語新世紀』　G　8.10，1.11，3.29

桂文枝とゲストの「創作落語」をたっぷりとお届けした。ゲストはそれぞれ，桂文珍，桂米助，林家木久扇。

『少女たちの学級日誌～幼い瞳が見た戦争』　G　8.16

今も残される戦時中に少女たちが書いた191枚に及ぶ学級日誌と貴重な証言から「少女たちが見た戦争」に迫った。

『週末応援ナビ☆あほやねん！すきやねん！夏休みSP』　G　8.21

関西の大学で学ぶ外国人留学生たちの「日本愛」や「カルチャーショック」をクイズ形式で紹介した。

『いのちの話をしよう～助産師・小林寿子さんのメッセージ』　G　8.22

経験に基づくアドバイスが母親たちから人気の助産師・小林寿子さんが，高校生に向けた「命の授業」に挑戦する活動に密着した。“子どもを守れ！キャンペーン”関連番組。

『オダサクさん、こんにちは』　G　8.24
『夫婦善哉』をはじめ，大阪を舞台にたくましく生きる市井の人々を描き続けた作家・織田作之助の生涯と作品の魅力を佐藤江梨子がたどった。

『子育てガンバロ！クイズSHOW～宇宙船ガンバロ号のWARPトラベル』　G　11.30
歌あり，ダンスあり，笑いありの子どもの可能性を伸ばす方法を紹介するクイズショー。“子どもを守れ！キャンペーン”関連番組。

『漫才祭り2013～年末スペシャル』　G　12.26
ベテランから若手まで今一番面白い関西の漫才師が大集合。オール阪神・巨人が大阪の人気市場から縁起のイイ食べ物を紹介するコーナーなど企画も充実させた。

『花園オールドボーイ』　G　1.10
東大阪市を舞台に，68歳の現役ラガーマンが，市と一緒に準備してきたラグビーイベントの開催までを描いた青春ドラマ。

『震災19年　真の復興へ　やらなあかんことがある』　G　1.17
19年経ってなお，心の傷や地域との分断に苦しむ人が多い中，真の復興に向けてどんなプロジェクトを立ち上げるか，作家の高村薫やNPO代表らとともに考えた。

『全力応援！かんさい～ソチ五輪観戦ガイド』　G　2. 1
ソチ五輪の開幕を前に，メダル期待の高橋大輔をはじめ関西ゆかりの選手たちを一挙紹介。観戦のツボなどを紹介した。

『「ごちそうさん」ファンミーティング』　G　3. 1
大きな反響を呼んだ『連続テレビ小説～ごちそうさん』。視聴者の声援に応えてNHK大阪ホールで開催した「ファンミーティング」のもようを会場の熱気そのままに伝えた。

『第44回NHK上方漫才コンテスト』　G　3.14
関西の若手の登竜門。厳しい予選を勝ち進んだ芸人６組が出場し，審査では新たにデータ放送による視聴者投票を実施した。優勝は和牛。司会は千原兄弟が務めた。NHK大阪ホールからの生放送。

『甲子園でやったるで！　センバツで輝け　期待の関西勢』　G　3.18
第86回選抜高校野球大会に関西から出場する７校の戦力や見どころを紹介した。

『ファイト！～性同一性障害のボクサーと子どもたち』　G　3.31
性同一性障害を抱えながら，障害のある子どもに運動を教えるWBC女子フライ級王者・真道ゴーさんと子どもたちの，“生きにくさ”と闘いながら生きる姿を見つめた。“子どもを守れ！キャンペーン”関連番組。

（３）主な府県域番組

〔京都局〕

『Jリーグ「京都サンガ」対「栃木SC」，J1昇格プレーオフ　準決勝「京都サンガ」対「V・ファーレン長崎」，「ギラヴァンツ北九州」対「京都サンガ」』　G
京都府域　11.24，京都府・長崎県域　12. 1，京都府・北九州地域　3. 2

『bjリーグ「京都ハンナリーズ」対「高松ファイブアローズ」』　G　京都府域　10.13

『かっこいい漢（オトコ）について考えよう！』　FM　京都府域　3.20

『第30回NHK全国大学放送コンテスト　Nコン！　表現する力が加速する。』　G　京都府域　3. 7

〔神戸局〕

『Enjoy！トアステ　エレキサウンドライブ』　FM　兵庫県域　4.26

『兵庫特集　新兵庫史を歩く』「優しき仏たちの播磨路へ～加西市」「藤の花香る酒蔵の街～伊丹市」』　G　兵庫県域　6.16，11.28

『なでしこリーグ「INAC神戸レオネッサ」対「ベガルタ仙台レディース」』　G　兵庫県域　10.13

『Jリーグ「ヴィッセル神戸」対「松本山雅FC」』　G　兵庫県域　10.20

『ひょうご 官兵衛を訪ねて』「広峯神社～兵庫県姫路市」「青山古戦場～兵庫県姫路市」「志方城～兵庫県加古川市」「御着城～兵庫県姫路市」「篠ノ丸城～兵庫県宍粟市」「有岡城～兵庫県伊丹市」　G
兵庫県域　11.29，12. 6，13，　2.13，21，　3. 7

『クラシックで迫る！官兵衛再発見』　FM　兵庫県域　1.11

『ひょうご安全の日～1.17のつどい』　G2　兵庫県域　1.17

〔和歌山局〕

『挑戦！NHK防災サバイバル』　G　和歌山県域　6.27

『紀の国スペシャル～僕らの“ハッピーボックス”～紀伊半島豪雨から２年』　G　和歌山県域　9.23

『NHK和歌山局　守るプロジェクト～「臨時災害放送局セミナー」～南海トラフ巨大地震に備えて』　FM　和歌山県域　12.12

〔奈良局〕

『奈良特集～飛鳥・星ロマン～日本人と天体の深く意外な物語』　G　奈良県域　1.27

『ラジオ特集「防災知恵袋スペシャル2014」～県全体で意識を高めていくために』　FM　奈良県域　3.15

『奈良特集～南和で暮らし続けたい～奈良県南部の市町村は今』　G　奈良県域　3.17

〔大津局〕

『クイズで知るびわ湖』　G　滋賀県域　4.13

『クイズで知るびわ湖～特別編』　G　滋賀県域　4.13

『文珍・南光のおでかけ演芸会～滋賀県・近江八幡市』　G　滋賀県域　6.16

『酒井大僧正をしのんで～「NHK特集～行　比叡山　千日回峰」』　G　滋賀県域　10.12

『NHK大津放送局・防災特番～いざメシ大集合in滋賀』　G　滋賀県域　3.12

『田上トパーズ！～滋賀発地域ドラマ』　G　滋賀県域　3.21

『おうみi』　FM　滋賀県域（最終金曜）

『秋季高校野球ラジオ特番～湖国のセンバツ史』　FM　滋賀県域　10. 5

滋賀県ラジオ局共同特別番組**『防災ラジオ滋賀2014』　FM**　滋賀県域　2.11

〔各局共通〕

『NHKのど自慢予選会』　G

「京都府」（12.15），「兵庫県」（9.30）

「和歌山県」（5.3），「滋賀県」（2.27）

※「大阪府」「奈良県」は放送なし。

『天皇杯サッカー選手権大会・各府県代表決定戦』　G

京都・神戸・和歌山・奈良・大津　8.25

『第80回NHK全国学校音楽コンクール・各府県コンクール』

京都府域　FM／ 8.29～30

兵庫県域　FM／ 8.28～30

和歌山県域　FM／ 8.28

奈良県域　G／ 8.28～30，FM／ 8.28

滋賀県域　G／ 8.25～27，FM／ 8.30

３．スポーツ中継

全国放送では，プロ野球，社会人野球，Jリーグ，天皇杯サッカー，センバツ高校野球・全国高校野球選手権，全国高校駅伝，全国女子駅伝，びわ湖毎日マラソン，大相撲春場所，競馬，ラグビー日本選手権，大学ラグビー，学生柔道，甲子園ボウル，学生相撲選手権などをテレビ・ラジオで中継した。

地域放送では，広島で行われる織田記念陸上に関西ゆかりのトップアスリートが出場し，インターローカルで伝えた。以下，地域放送実績。

（１）高校野球

第95回全国高校野球選手権大会

〈県域放送〉

大阪大会	準決勝	G・R1／ 7.27
	決勝	G・R1／ 7.28
京都大会	準々決勝	FM／ 7.24
	準決勝	G・FM／ 7.26
	決勝	G・FM／ 7.27
兵庫大会	５回戦～準々決勝	FM／ 7.24～25
	準決勝	G／ 7.27
	決勝	G／ 7.28
和歌山大会	準決勝	G／ 7.26
	決勝	G／ 7.27
奈良大会	準々決勝	FM／ 7.24～25
	準決勝	G／ 7.27
	決勝	G／ 7.28
滋賀大会	準決勝	G／ 7.28
	決勝	G／ 7.29

第58回全国高校軟式野球選手権大会　決勝

R1近畿ブロック・愛媛単＆FM神奈川単／ 8.29

秋季近畿地区高校野球大会

〈近畿ブロック放送〉

準々決勝		R1／10.26～27
準決勝		R1／11. 2
決勝		R1／11. 4

〈県域放送〉

京都大会	準決勝	FM／10. 5
	３位決定戦・決勝	FM／10. 6
兵庫大会	準決勝	FM／10. 5
	３位決定戦・決勝	FM／10. 6
滋賀大会	準決勝	FM／10. 5
	３位決定戦・決勝	FM／10. 6
奈良大会	準決勝	FM／10.12
	３位決定戦・決勝	FM／10.13

（２）プロ野球

〈近畿ブロック放送〉

「阪神」対「DeNA」	G／ 4.12
「オリックス」対「ソフトバンク」	G／ 4.21
「オリックス」対「日本ハム」	G／ 6.15
「阪神」対「広島」	G／ 6.28
「阪神」対「中日」	G／ 9.12

※マルチ編成サブチャンネルで放送
クライマックスシリーズ・ファーストステージ
「阪神」対「広島」　R1／10.13

（３）Jリーグ・天皇杯サッカー

〈近畿ブロック放送〉
J2「G大阪」対「熊本」　G／11. 3

〈県域放送〉
J2「神戸」対「松本」　G兵庫／10.20
J2「京都」対「栃木」　G京都／11.24
J2「京都」対「長崎」
G京都／12. 1　※J1昇格プレーオフ
J2「北九州」対「京都」　G京都／ 3. 2

天皇杯全日本サッカー選手権　各府県代表決定戦
第18回和歌山県サッカー選手権大会
G和歌山単／ 8.25
第18回サッカー奈良県選手権大会
G奈良単／ 8.25
第18回大阪サッカー選手権大会
G大阪単／ 8.25
第18回京都サッカー選手権
G京都単／ 8.25
第16回兵庫県サッカー選手権
G兵庫単／ 8.25
第18回滋賀県サッカー選手権
G滋賀単／ 8.25

（４）その他のスポーツ

なでしこリーグ「神戸」対「仙台」
G兵庫単／10.13
G近畿ブロック／10.14（録画）

織田記念国際陸上
G中国・北海道ブロック／ 4.29
E近畿ブロック／ 4.29（録画）

第42回関西学生サッカー選手権　決勝
「大体大」対「関西大」
E近畿ブロック／ 6. 1

関西大学ラグビー
「立命館」対「近畿大」
E近畿ブロック／11.16

関西学生アメリカンフットボール
「関西学院」対「立命館」
E近畿ブロック／11.24

プロバスケットボール　bjリーグ
「宮崎」対「滋賀」　G宮崎・滋賀／ 4.14
「京都」対「高松」　G京都単／10.13
「大阪」対「埼玉」　G大阪単／10.26

（特集番組）

ソチ五輪直前特集
『全力応援！かんさい～ソチ五輪観戦ガイド』
G　近畿ブロック／ 2. 1

選抜高校野球開幕特集
『甲子園でやったるで！　センバツで輝け　期待の関西勢』　G　近畿ブロック／ 3.18

Ⅱ．技　術

１．番組制作

ドラマでの新たな映像表現や，Twitterと視聴者投票を利用した双方向番組開発など，新たな技術を用いた質の高い番組制作に加え，地域サービスの充実，迅速・的確な緊急報道など視聴者目線の番組制作に取り組んだ。

（１）ドラマ番組

『連続テレビ小説～ごちそうさん』はテーマである“食”を撮影面に加え照明や音声で効果的に表現し多くの視聴者から好評を得た。

『土曜ドラマ～夫婦善哉』は大判撮像素子のデジタルシネマカメラを用い，奥行きのある立体的な映像で，明治から大正・昭和の大阪の風景とそこに生きた人々を効果的に表現した。

（２）一般番組

NHK大阪ホールでの公開番組『わが心の大阪メロディー』『ふたりは最高！大阪SHOWTIME』などの音楽芸能番組や,『歴史秘話ヒストリア』『生活笑百科』『バリバラ』といった番組を大阪から発信し，視聴者から高い評価を得た。

（３）スポーツ中継

全国高校駅伝（12月），女子駅伝（１月），びわ湖毎日マラソン（３月）において，安定した電波伝搬（でんぱん）を実現して高画質映像と，5.1サラウンド音声による迫力と臨場感あふれる放送を行った。また,「春夏･高校野球」や「プロ野球」「サッカー」などの中継放送を実施，スポーツの感動を全国に届けた。

（４）地域番組

独創的な発想で成功を収めている地元中小企業を紹介し，関西経済を元気づける『新・ルソンの壺』，地域の社会問題などをホットに伝える『かんさい熱視線』や『アジアに夢中！』などで，関西ならではの地域情報を発信した。このほか，10代の視聴者層に向けた『あほやねん！すきやねん！』など多様な番組を放送した。

（５）3-Screens展開

より幅広くNHKとの接触者を増やすため，放送に加えて「インターネット」のサービスを展開した。全国高校駅伝（女子・男子）中継では，デ

ータ放送（12セグ，１セグ），VOD動画配信（PC向け，スマートフォン向け）でサービスを行い，効率的なコンテンツ制作による3-Screens展開をした。一方，生放送の『あほやねん！すきやねん！』や『バリバラ』では，視聴者からのTwitterを紹介するとともに，データ放送，携帯，スマホからの視聴者投票を行う視聴者参加型の双方向番組を制作した。

（６）選挙放送・緊急報道

７月の参議院選挙は，自民・公明が大勝，与党の議席数は過半数を上回り，焦点であった“ねじれ”が解消する結果となった。今回の選挙から公職選挙法の改正で選挙運動期間中，インターネットを利用した選挙運動が一定の枠内で解禁され，候補者や政党は，ホームページやブログ，電子メール等で投票を呼びかけたり，自身の選挙運動の映像をネット上にアップしたりすることが可能となった。また，有権者もTwitter等で候補者を応援することができるようになった。

政見・経歴放送は，総合テレビ・ラジオ第１放送で，大阪局から近畿域内に送出した。総放送時間は，テレビ：８時間７分30秒（前回に比べて36分30秒増），ラジオ：９時間５分（前回に比べて53分増）となったが，いずれも異常なく放送した。今回は，参議院議員選挙と並行して兵庫県知事選の政見・経歴放送も同時に実施した。開票速報では，本部ならびに域内各局と連携し，深夜に及ぶ放送を開票状況表示を含めミスなく無事送出した。また，データ放送・インターネットでも開票状況をほぼリアルタイムに送出した。

３月の大阪市長選挙は，大阪都構想の推進を掲げて民意を問うため，現職市長が突然辞任した。論戦を挑もうとする前市長に対し，主要政党がそろって候補擁立を見送る異例の構図となったが，選挙の結果，前市長が２回目の当選を果たした。投票率は23％余りと大阪市長選では過去最低だった。開票速報番組は，開票状況表示を含めミスなく無事送出した。また，データ放送・インターネットでも開票状況をほぼリアルタイムに送出した。

放送機能強化の取り組みとして，『情報まるごと』を４回（5.30，9.19，10.30，11.28）大阪から生放送を行った。東京上空からのヘリコプター中継映像や全国各放送局からの映像を大阪局に直接引き込むなど，訓練要素を組み入れ，関西からの情報発信とともに首都直下地震発災時の大阪局バックアップ機能の検証を行った。

ニュース・緊急報道では，「阪神・淡路大震災から19年」を全国発信するとともに，「淡路島で震度６弱」（4.13），「宝塚市役所火事」（7.12），「京都・福知山花火大会で爆発」（8.15），「台風18号災害　特別警報」（9.16），「京都・王将社長射殺事件」（12.19）など全国が注目する近畿発のニュースを，ヘリコプターやCSKなど取材伝送機材を駆使し，いち早く確実に伝えた。

NHKがラジオ放送をインターネットに同時配信しているサービス「らじる★らじる」は，東京から放送する全国向けの番組に加え，仙台，名古屋，大阪の各放送局の地域番組も配信できるようになり，大阪では５月27日の17時からサービスを開始した。これにより，仙台，名古屋，大阪の各放送局が放送している「ラジオ第１」と「NHK－FM」の番組が全国各地でパソコンやスマートフォンで聴くことができるようになった。

２．視聴者とのふれあい（CS活動）

CS活動として，５月および11月の「BKワンダーランド」において，「スタジオ公開」や「スーパーハイビジョンなど最新技術の展示」を実施し，NHK放送技術の理解促進に努めた。

小学５年生を対象に，放送局の仕事についての理解促進を目的とした「出前授業」には，大阪府内７校15クラス，490人の参加があり，児童・学校側からも大変好評だった。

また，「のど自慢予選会」では域内にも出向き，「時差再生」や「カメラマン体験」などで視聴者とのふれあい活動を行い，番組に関連する視聴者サービスに努めた。

３．設　備

（１）放送網機能強化，地上デジタルネットワークと放送網の安定に向けた取り組み

大規模災害に備えた放送網の非常対策および，「あまねく」の達成に向けた放送設備の安定運用に努めた。また，FM親局送信所の送信設備更新や送信機２台化などの補完整備を取り進め，ネットワークとシステムの高信頼化を図った。

①デジタルTV中継放送所の整備により，地形的要因によるローカル放送の難視地域をカバーした。（奈良・奈良西G：2.28開局，京都・四ノ宮小金塚G：3.10開局）

②送信機の２台化整備により，地上デジタル放送の安定したサービスを確保した。（京都・久美浜東G，Eほか３局所）

③放送所の自家発電装置用燃料タンクの容量増強により，稼働時間を約２倍（約200時間）とし

た。（大阪・羽曳野R，京都・小塩山FM）
④ラジオ放送所にプログラムを伝送するための回線を，従来の有線に加え，無線との併用による冗長化を図った。（和歌山・新宮R）
⑤安定電波確保のため，老朽化したFM親局送信所の送信設備を更新した。（大阪・飯盛山FM）
⑥非常災害時におけるTV／FM中継放送所の機能停止等万が一の事態に備え，非常用送信車両を整備した。（大阪会館）
⑦ラジオ中継放送所の監視を強化するため，中継放送所の音声を会館に送り返す装置を整備した。（大阪，京都，神戸，和歌山の各放送会館および各ラジオ中継放送所）
⑧停電時における電波確保の強化のためラジオ中継放送所に自家発電装置を整備した。（京都・福知山R）
⑨全国一斉（５年毎）の放送局再免許申請を完了した。（近畿 TV：387局，R：19局，FM：59局，BS：１局）

（２）NHK共聴の安定運用に向けた取り組み

完全デジタル化後のNHK共聴の安定運用に向けて，13年度は施設老朽に伴う大規模改修（光化）15施設，小規模改修（部分補修）を19施設について完了した。

また，放送網機能強化関連整備のバックアップ用UPS整備を10施設，アナログ施設撤去を50施設について行った。

加えて，地上デジタル放送導入後にフェージングによるデジタル混信が発生していた京都府伊根町の５施設について，３か年に及ぶ対策計画を策定し，国庫助成手続きを行いながら，２年度目の整備工事を完了させた。

施設運用上の弱点排除に向けて，雷害に対する高速避雷器の設置を，12年度の改善研究結果に基づく仕様で，８施設について完了させた。

（３）番組制作・送出設備の整備

被災等によって本部機能が喪失した場合に備えて，大阪局の機能強化整備を実施した。13年度は，可動式CSアンテナおよびCS受信系統整備を行うとともに，収録VTRや編集機を増設した。緊急速報や津波警報をスーパー表示する緊急卓，２か国語音声対応，ジサダス（緊急収録対応），報道プレビュー等の整備を行った。また，報道情報システム，ロボカメモニタリングシステムのバックアップサーバーを整備した。

老朽化した大阪局の編集室（ES-1）およびドラマ用オフライン編集室２室の更新を行った。域内局のニュース台本システム・アート送出サーバーを更新し，安定運用を図った。

（４）災害・緊急報道対応設備の整備

紀伊半島からの伝送機能の強化を図るため，大雲取～護摩壇～三国山～大阪会館伝送ルートの固定無線回線整備を行った。また，木ノ本・御坊（和歌山），大津会館・甲賀・彦根（大津）の各FPU基地局をハイビジョン化更新するとともに，橋本伝送拠点，彦根報道室からのハイビジョン伝送を可能とした。南海トラフ地震による津波被害に備えて，和歌山局の取材伝送機能（取材前線基地からの伝送手段等）を強化した。

局外に設置している天気カメラのハイビジョン化更新を行った。13年度は，天王山（京都），御坊・白浜空港（和歌山），葛城（奈良），大津プリンス・瀬田川・びわ湖バレイ・草津（大津）の整備を実施した。

（５）放送会館の建て替え

老朽化した京都放送会館の建て替えを進めた。13年１月に建築工事着工，14年８月の竣工を予定している。建物完成後に放送設備の整備を行い，15年２月に運用を開始する予定である。

大津放送会館の建て替えに向けて，13年９月に旧滋賀会館敷地に建設することが確定した。18年度中に建物および放送設備の工事を完了させる予定である。

４．送受信技術

（１）衛星による暫定受信対策（衛星セーフティネット）終了に向けた取り組み

近畿広域地上デジタル放送推進協議会（以下，近畿協議会）の一員として，15年３月末で終了する衛星セーフティネットの恒久対策を，デジサポ等と連携して推進した。13年度はワンセグチューナーを用いた「ワンセグ対策」が，デジタル移行に伴う「新たな難視」への恒久対策として加わった。

「地上デジタル放送難視地区対策計画」に登録されている難視地区の対策に取り組んだ結果，14年３月末時点で衛星セーフティネット利用の約1,200世帯のうち，良視等の対象外世帯を除いた要対策世帯は，約560世帯となっている。

（２）ケーブル移行支援策等への取り組み

NHK共聴の施設のケーブルテレビ移行に伴う助成は11年度で終了したが，引き続き自主共聴のデジタル化，新設に対して助成を行っている。近畿域内の13年度実績は３施設で32世帯となった。

（３）VHF帯周波数利用対応

デジタル完全移行により跡地となったVHF帯

の利用について域内各放送局，在阪民放と連携して近畿V－Low実証実験協議会，ジャパンモバイルキャスティングと総務省近畿総合通信局に対応し，特にジャパンモバイルキャスティングの送信所開局に対して近接したNHK送信設備，共聴設備への影響を注意する等，引き続き安定した電波確保，受信環境の維持に取り組んでいる。

Ⅲ．視聴者

１．イベント事業

13年度，近畿ブロックでは，269件のイベントを実施。視聴者サービスの充実と視聴者結び付きの強化に努めた結果，参加者は12年度より32万人以上多い176万2,593人となった。

大阪局では，後期の『連続テレビ小説』「ごちそうさん」と連動して，大阪局はもとよりドラマの舞台となった北区でファンミーティング等の関連イベントをこれまでにない規模で開催。３年目となる「子どもを守れ！キャンペーン」では，NHK大阪ホールで『子育てガンバロ！クイズSHOW』（11.4）を実施した。また，NHKの最先端技術を幅広い人々と関係者に周知するため，さまざまな企業の最先端技術が集まるグランフロント大阪・ナレッジキャピタルで，8Kスーパーハイビジョンによる『NHK紅白歌合戦』をライブビューイングするイベント（12.30～31）を実施し，２万3,937人が参加した。

（１）全国放送公開番組

『NHKのど自慢』『BS日本のうた』『スクールライブショー』『ザ少年倶楽部』『わが心の大阪メロディー』『上方演芸会』など76本をNHK大阪ホールと近畿各地で実施した。

（２）展覧会

「特別展『中国 王朝の至宝』」（13.2.2～4.7，神戸市立博物館），「NHK大河ドラマ特別展『八重の桜』」（7.13～9.1，京都文化博物館），「一角獣と貴婦人」（7.27～10.20，国立国際美術館），「竹内栖鳳展」（10.22～12.1，京都市美術館），「第60回日本伝統工芸展」（10.9～14，高島屋京都店，10.16～21，JR大阪三越伊勢丹），「生誕100年佐藤太清展」（12.22～2.9，京都文化博物館），「MANGAのちから」（1.15～3.10，大阪歴史博物館）などを実施した。

（３）教育・子どもイベント

「第60回NHK全国高校放送コンテスト府県大会」「第30回NHK杯全国中学校放送コンテスト府県大会」「第80回NHK全国学校音楽コンクール府県コンクール」「同ブロックコンクール」を６月から９月に，「キミが主役だ！NHK放送体験クラブ」を年間を通して近畿各府県で実施したほか，「NHK朗読ひろば」（10.9，大阪市立滝川小学校），「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（12.21～23，NHK大阪ホール）などを実施した。

２．営　業

（１）全体状況

13年度は，「支払い率の向上」「営業経費の抑制」を一層進めるべく，契約収納活動において最も大きなシェアを占める訪問要員の効果的・効率的な運用に努めた。地域スタッフに関しては少数精鋭化を進め，法人委託に関しては新たな法人の開発（公開競争入札１地域，エリア型法人11地域）と既存法人の規模拡大・生産性向上に取り組んだ結果，法人委託の取り次ぎは，総数，衛星，未収者削減のいずれでも地域スタッフを上回ることとなった（未収者削減は，12年度から地域スタッフの取り次ぎ数を上回っていた）。

事業所増加に関しては，職員を中心とした活動を計画的・継続的に実施し，２万件を超える増加数を確保した。放送番組やイベントを契機とした職員による契約取り次ぎ活動により成果につながったものも複数あった。

民事手続きに関しては，支払督促を計画的に推進し，公平負担の徹底に取り組んだ。

上記の活動の結果，13年度はブロック合計で４年連続となる全営業諸目標を達成することができた。さらにブロック内の11営業拠点においても１拠点も欠けることなく，全営業諸目標を達成することができた。

３．広　報

〔大阪局〕

①経営広報・番組広報

毎月１回，関西放送記者会加盟18社を対象に局長定例会見を開催し，大阪局および域内局の放送を中心とした幅広い事業内容について広報した。

番組広報では，大阪局制作の『連続テレビ小説』「ごちそうさん」について，「ごちそうさん委員会」を中心にさまざまなイベントやPRに取り組んだ。特に，大阪市営交通110周年復刻ラッピング列車の運行に合わせ，１車両に「ごちそうさん」のフルラッピングを行い，ヒロイン・杏さんも出席して出発式を行った（9.16～3.26）。

また，ドラマの舞台となった大阪・北区では，

地元先行試写会（9.26）や東出昌大さんのトークショー（12.14），最終回を見る「ごちそうさん感謝祭」（3.29）を行った。

「ごちそうさん」の関西の期間平均の視聴率は21.8%で，02年前期の「さくら」以来の21％超えとなった。

「ごちそうさん」のPR用のグッズ（うちわ，クリアファイル，てぬぐい，旗）を作成し，イベントを盛り上げた。

このほか，『上方漫才コンテスト』（3.14），『土曜ドラマ～夫婦善哉』（8.24～9.14），『地域ドラマ～花園オールドボーイ』（1.10）の取材会や試写会を実施するなど，関西地域の番組と大阪局制作の番組PRに努めた。

新たに，若い世代を中心にNHKに親しみを持ってもらうよう，大阪局公式ツイッターをスタートさせた（5.1）。

②視聴者広報

視聴者向けのイベントとして，８月に「ぼくの絵わたしの絵」展を実施（BKなつ祭・8.9～18）。３月には『連続テレビ小説』「ごちそうさん」最終盤に合わせ，「ごちそうさんセット公開」を実施した（3.14～23）。アトリウムに収録で使用したセットを建て込み，小道具・衣装などの展示を行ったほか，13年度「子どもを守れ！キャンペーン」に寄せられた子どもたちの写真を展示した「いちおしキッズ☆フォト写真展」を開催した。会期中に，およそ４万1,500人が訪れ，会場では，NHKの番組に対する意見や要望も多く寄せられた。

12月には，大阪局見学コース「BKプラザ」の来場者が，01年の開場以来の累計で500万人に達し，記念式典を実施した。14年３月末には累計来場者が511万人に達した。

BKプラザスタジオ（公開番組スタジオ）では「あなたもキャスター☆君もカメラマン！」や「3Dハイビジョン映像体験」などの体験見学を定期的に開催したほか，イベントに合わせてワークショップを開くなど，子どもや家族が楽しめる催しを開催した。

大阪市の中学校を対象にした職場体験学習では，34校から126人が参加し，リポートや撮影・音声など番組制作の基礎について学習した。

13年度に大阪局へ寄せられた視聴者意向件数は，電話・手紙・来局・メールなど合わせて11万8,000件余りだった。

〔京都局〕

14年度に新放送会館への移転を控えた京都局では，本格的なデジタル時代にふさわしい地域文化の創造と情報発信の拠点を目指して，放送，イベントなどを展開した。『ニュース610京いちにち』では地域にこだわった新コーナー「とことん！京都」を設け，府下の博物館や美術館を探訪する「突撃！お宝発見隊」，商店街を紹介する「商店街看板娘でSHOW」など身近な話題を発信した。また，京都が直面する課題を掘り下げて報道する「京都クローズアップ」も定期的に放送した。

イベントでは，ドラマのご当地として大変関心が高かった『大河ドラマ～八重の桜』の「特別展」をはじめ，放送と連動した「歴史散策・八重が生きた京都」などを年間を通して実施した。あわせて特設ホームページの開設や公共交通機関の広告，学生向け雑誌の掲載などのドラマ広報も積極的に行った。

年度末には現会館で最後となる「会館公開」を開催し，新会館に装備される予定である「８K・スーパーハイビジョン」の公開を実施。275インチの大画面で『紅白歌合戦』，「ソチ五輪」のダイジェストや京都の秋の風景を，迫力ある映像で上映した。来場者数はこれまでの最高となる１万人余りとなった。また，新会館移転に向けて，ホームページ・ツイッターによって注目が高まってきた京都局のキャラクター「ねこまる」を放送で更に活用していくなど，新会館PRのツールとして広報展開を図った。

〔神戸局〕

「JR福知山線脱線事故から８年」「阪神・淡路大震災から19年」など，兵庫県が抱える課題を掘り下げて取材し，地域放送で重点的に伝えながら，ブロック放送や全国放送へも幅広く発信した。

また，７月の参議院議員選挙では，自民党・民主党が長年にわたり１議席ずつ獲得していた改選議席を日本維新の会が奪えるかという状況の中で兵庫県選挙区の開票速報を迅速･的確に放送した。

『ニュースKOBE発～我が町ケーブルテレビ』『神戸新聞共同企画～ミニ番組・ひょうご　官兵衛を訪ねて』など地元マスコミやケーブルテレビと協力しながら，きめ細かな地域の情報を発信した。

また，県内の話題をくまなく伝えるべく，『ニュースKOBE発～ふるさとキャラバン（小野市，三木市，加古川市）』『新兵庫史を歩く～加西市・伊丹市』の実施や，『ニュースKOBE発～兵庫ぶらり旅（県下各地）』などの放送・イベントの編成により，情報発信を強化し，地域に根ざす神戸局の存在感を高めた。

「いのちを守る放送局」として，阪神・淡路大震災の被災者の思いを伝えるコーナー「あの日を胸に」を新設したほか，東日本大震災の被災地に寄り添う取り組みや南海トラフ地震に備える取り組みを紹介するリポートを年間を通して放送した。また，震災発生日を中心に，『おはよう日本』や「ひょうご安全の日1.17のつどい」の中継をはじめ，『NHKスペシャル～阪神・淡路大震災19年　救助が来ない　巨大地震　その時あなたは』『震災19年　真の復興へ　やらなあかんことがある』などを制作，放送した。

12年10月に行方不明者の遺体が次々と発見された尼崎連続死体遺棄事件については，『NHKスペシャル～未解決事件File.03 尼崎殺人死体遺棄事件』で，緻密な取材に基づいた番組構成で事件の全容に迫った。

14年の『大河ドラマ～軍師官兵衛』を神戸局でも盛り上げるべく，『ニュースKOBE発』では新コーナー「官兵衛参上」で地元の動きやドラマの見どころ，出演者へのインタビューなどを放送した。また，『新兵庫史を歩く～伊丹市』では，官兵衛の人生を大きく変えた有岡城を詳しく紹介した。さらに，NHK交響楽団メンバーによる「軍師官兵衛」をイメージした楽曲の演奏会のもようをFM放送で番組化した。

また，14年に宝塚歌劇団が創立100周年を迎えるのに合わせ，さまざまな周年行事や地元の盛り上がりなどについて『ニュースKOBE発』などで継続的に伝えた。

インターネットのコンテンツの充実を図るため，ホームページのトップページへの神戸局制作番組やニュースコーナーの掲載を充実した。

データ放送を使った防災情報伝達の仕組み「公共情報コモンズ」を運用し，兵庫県と連携して年２回の訓練を行った。

〔和歌山局〕

13年度は，南海トラフで想定される巨大地震・巨大津波や台風などの災害で「１人の犠牲者も出さない」ことを目指し，放送やイベントを通じて災害への備えを進める「守るプロジェクト」を展開した。

放送では『あすのＷＡ！』内で，暮らしの安全を守るために今知っておきたいテーマを掘り下げる「まもる」のコーナーを開始した（毎週水曜）。また，いざという時自力で避難所まで避難できる体力をつけてもらうための「NHK BOSAI体操」を制作し，県域で定期的に放送を開始したほか，ホームページ上でも動画を公開した。

イベントでは，子どもたちに災害時に主体的に動く知識・判断力・行動力を身につけてもらうための「挑戦！NHK防災サバイバル」を開催したほか，局外イベントへのブース出展を例年以上に積極的に行った。その際，防災意識を高めてもらうためのアンケート実施や，局マスコットキャラクター「わかまる」をデザインに使用したオリジナル防災グッズ，防災に役立つ情報をまとめたパンフレットなどの配布を行った。結果，ふだんNHKに触れる機会がない人に向けてもNHKの番組・活動を効果的にPRすることができた。

また，13年度は広報グッズを多岐にわたってリニューアルした。イベントやCS活動で着用するスタッフジャンパーをはじめ，会館玄関横と階段踊り場のポスター掲示パネル，「わかまる」の着ぐるみなど長年使用されていたものを，15年度に迎える開局80周年を見据えデザインを含め全面的に見直した。610ポスター・ちらし制作においては，番組のキャッチコピーを一新したほか，ちらしウラ面の内容を刷新し，『あすのＷＡ！』のラインナップをカラーで掲載した。これにより，現場の職員が取材先や交渉先などに持参し，１人１人が和歌山局の“広報マン”となって，より番組をPRすることが可能となった。

〔奈良局〕

９月28，29日の２日間，奈良局を身近に感じてもらう取り組みとして会館を公開する「NHK奈良わくわくステーション」を開催し，約3,800人の来場者を迎えた。車庫に特設したステージでは，「忍たま乱太郎キャラクターショー」など子ども向けのショーを２日間で７回実施，立ち見が出る回もあるなど盛況を博した。このほか，奈良県で初公開となる「スーパーハイビジョン展示」や「大河ドラマ　八重の桜巡回展」，毎年人気のアナウンサー体験ができる「体験あなたもニュースキャスター」などを実施した。

奈良局では東日本大震災を受けて，日本の精神風土の原点とも言える奈良の豊饒（ほうじょう）な文化に光を当てて，現在と未来を生きる上での指針となる知恵を伝えていく「こころの都」プロジェクトに取り組んでいるが，この会館公開に合わせて近隣の奈良女子大学で，奈良市出身の俳優・八嶋智人さんをゲストに迎え「こころの都トークショー」を開催した。今回のトークショーでは地域の人や奈良女子大学の学生と打ち合わせを重ね，当日の受付，前説などで協力してもらいながら，公共放送への理解を深めてもらい，近隣地域の人との連携を強化した。この「こころの都」プロジェクト関連で

は，12月14日に日本の天体観測のはじまりの地と言われる明日香村で「飛鳥・星ロマン～日本人と天体の深く意外な物語」と題して，俳優の関口知宏さんをゲストにトークショーと天体観測も実施し，延べ280人が参加。冬の星空を見上げながら古代人と天体との関係に思いをはせた。

11月30日に奈良局では初めて「視聴者のみなさまと語る会～NHK経営委員とともにin奈良」を開催した。県内外から29人の視聴者に参加してもらい，意見交換を行った。参加者からはNHKの事業収支や受信料制度，放送番組や編集方法など幅広い質問が出され，経営委員や役員，奈良放送局局長が回答した。会の終了後には「ドラマデザインの魔法～朝ドラ，大河の現場から」と題して，本部デザインセンターのデザイナーによるトークショーも開催した。

このほか12年11月から実施しているロビーを活用した展示コーナーでは，13年度も『連続テレビ小説』「純と愛」や「あまちゃん」などのパネル展を開催した。「純と愛」パネル展では，セットの原画と写真など30点以上の資料を展示し，来館者の関心を集めた。

スタジオなどで放送局の仕事を体感してもらう会館見学に，13年度は26団体725人の参加があり，幼稚園児から年配の人，海外からの留学生まで，幅広い層の方に見学してもらい，放送局の仕事について理解を深めてもらうとともに，見学終了時にはふれあいミーティングを実施し，意見を伺った。

ホームページでは奈良県内のニュース，奈良放送局制作の番組情報，イベント情報などさまざまな情報を発信した。午後６時台のニュース・情報番組『ならナビ』のコーナー「ならナビ食堂」のページでは紹介した料理のレシピを放送と同時に公開し，また，番組内でもホームページを紹介するなど，より放送と連動したサービスで利便性の向上を図った。

〔大津局〕

13年度の県域放送『おうみ発610』は，「県民の安心・安全を守り，地域の活性化に貢献する」を「放送局のちから」の目標に掲げ，県内市町の防災の取り組みと課題を検証する「防災ピックアップ」のコーナーなど，県民の安全と暮らしに役立つ情報を充実させた。そのほか，クイズを通して「びわ湖」の環境を考える「クイズで知るびわ湖」，地域の話題や人，豊かな自然などを発掘する「おうみ探検隊」，近江の旬の食材を生産者や料理方法とともに紹介する「おうみ食探訪」，滋賀の伝統の技や芸能を紹介する「おうみの伝統」などの番組内のコーナーを充実させ，地域に密着した情報を伝えた。

13年度大津局では，「地域との連携，絆を深める」を目標に掲げ，滋賀県豊郷町で行われる「とよさと軽音楽甲子園」や，地域に密着したケーブルテレビの活動，湖東地域を走る近江鉄道などの要素を入れ，そこに住む人たちの息づかいや思いを題材とした地域ドラマ『田上トパーズ！』を制作した。12月にBSプレミアムで，３月に県域でそれぞれ放送した。

大津局と滋賀県内の民放４局が共同で制作した『防災ラジオ滋賀2014～災害に備える』を２月に県域FM放送で放送した。メインコンテンツとして災害発生時に被災した環境下で，保存食を使って手軽に調理できるレシピを競うイベント「いざメシ大集合in滋賀」を公開録音で２月に実施した。イベントの様子はFMラジオだけでなく３月に県域テレビで放送し，災害に備える重要性を伝えた。

地域ドラマ『田上トパーズ！』に連動して，ホームページにおいてドラマのストーリーや出演者，ロケ地，協力者の皆さんなどを紹介した。また，ドラマのロケ取材会や完成試写会を開催し，ボランティアエキストラやマスコミ，ドラマに協力してもらった人々などを招待した。また，『おうみ発610』で地域ドラマの制作状況を「田上トパーズ！通信」として紹介したほか，番組ポスターやチラシを近江鉄道やケーブルテレビなどドラマ関連団体に掲出・配布するなど，多くの県民に番組をPRする広報活動を展開した。

中　　国

◇夏から秋にかけて各地で相次いだ豪雨・土砂災害や山口県周南市の５人殺害事件，３月に発生した伊予灘を震源とする地震など，災害や事件・事故にあたり，域内のネットワークを生かして迅速・正確に情報を発信した。
◇被爆から68年が経過し，被爆体験の記録・継承が喫緊の課題となる中，幅広い世代に向けて多様な核・平和関連番組を放送。核兵器廃絶や平和の尊さを訴えるメッセージを強く発信した。
◇７月の参議院選挙，11月の広島県知事選挙，２月の山口県知事選挙にあたり，正確かつきめ細かい選挙報道を実施した。
◇貴重な地域資源である海をテーマにしたシリーズ「海と生きる」を中四国９局が共同で展開した。併せて，BS番組と連携して瀬戸内の豊かな魅力を伝えるキャンペーンを展開し，数多くの関連番組を全国・地域向けに放送した。

Ⅰ．放　送

１．放送の概要

〔広島局〕

金曜夜間を“地域をみつめる時間帯”とし，多彩な番組を編成した。12年度の『フェイス　グランデ～里山資本主義』に続き，貴重な地域資源である海の持つ可能性を人との関わりの中で描く新シリーズ『海と生きる』（G，中国ブロック）を６本放送した。旅番組『あいたい』（G，中国ブロック）では，中国地方各地の自然や風土・文化の魅力を再発見した。また，地域局競作のオムニバス番組『スリーストーリーズ』（G，中国ブロック）を放送した。『フェイス』（G，中国ブロック）では，「出雲大社　平成の大遷宮」（G，5.10），「おっぱいが戻った～鳥取で始まった再生医療」（G，6.7），「メイド・イン・ヒロシマ　リーダーの戦略」（G，7.12）など，多様なテーマを取り上げ，中国地方各地の動きをビビッドに伝えた。夏場の豪雨・土砂災害を受けて放送した「記録的豪雨　特別警報　どう命を守るか」（G，9.13）では，防災・減災の観点から，想定を超える豪雨の際に身を守る方法を分かりやすく伝えた。

夕方６時台の『お好みワイドひろしま』は，県民の関心の高いニュースを分厚く伝えるなど，地域に密着し幅広い話題を取り上げた。視聴者からの身近な疑問に答えるコーナー「あなたの声リポーターです！」も継続し，視聴者とのつながりをさらに深めた。

昼前の『ひろもり』では，県内各地の話題や暮らしを豊かにする情報をきめ細かく伝えた。

ラジオでは『金曜夕方　どぉ～かいの！』（R1，広島県域）を新設し，アラフォー世代の本音トークを通して，視聴者との結び付きを深めるとともに，地元広島の魅力を再発見した。

核・平和関連番組は，『NHKスペシャル』「終わりなき被爆との闘い～被爆者と医師の68年」（G，8.6，全国）で今もなお人々を苦しめ続ける被爆の実態を明らかにしたほか，『ドキュメンタリードラマ～基町アパート』（G，8.24，全国），平和への願いを歌に込めた『いのちのうた2013～立ち上がる勇気』（G，8.2，中国ブロック），７年目の『ヒバクシャからの手紙』（G，8.9，全国），『我が愛する被爆都市～新資料が語る作家・梶山季之の世界』（G，7.26，中国ブロック），『クローズアップ現代～世界をかける“はだしのゲン”』（G，7.30，全国），子どもたちへ向けた『えほんでつたえるげんばく』（G，8.3，中国ブロック），『原爆の日ラジオ特集～今こそ伝えたい被爆の苦しみ』（R1，8.6，全国），『ラジオ文芸館～石の記憶』（R1，8.3，全国）など，多彩な番組で幅広い世代へ被爆の記憶を継承し，平和へのメッセージを発信した。

スポーツでは，初めてクライマックスシリーズに進出したプロ野球「広島カープ」やJリーグ２連覇を果たした「サンフレッチェ広島」の試合を数多く中継。「サンフレッチェ広島」が２連覇を決めた際には『連覇達成！おめでとうサンフレッチェ広島』（G，12.7，広島県域）を放送した。１月19日には『第19回全国都道府県対抗男子駅伝』を全国放送した。

〔岡山局〕

夕方６時台の『岡山ニュースもぎたて！』は，毎日のニュースを分かりやすく伝え，３年目を迎えた。12年度から継続した「安全・安心キャンペーン」は防災・減災をはじめ身近なテーマで毎月企画シリーズを放送した。金曜夜間については，ドキュメンタリー『現場に立つ』をさまざまなテーマで６本制作したほか，岡山の幕末の経済改革者･山田方谷を取り上げた『岡山スペシャル』（G，9.6）を放送した。さらに，瀬戸大橋で結ばれた岡山・香川両県の県民対決バラエティー『おかたかっ！』（G，11.29）を高松局と共同制作。デー

タ放送・ネットと連動し，75分の生放送を行い，42万件超のアクセスがあった。ラジオの地域放送では，図書館での公開録音『おかやま朗読ひろば』（R1，1.26），メールやツイッターで意見を募集した生番組『年末特集岡山ラジオ・おからじ！』（R1，12.26，2.22）などを放送した。スポーツではソチ五輪・パラリンピックに出場した岡山ゆかりの選手の活躍を伝えたほか，サッカーJ2「ファジアーノ岡山」の試合を２本中継した。全国放送番組では『あさイチ～JAPAなび 岡山・美咲町』（G，6.13），『新日本風土記～倉敷』（BSP，7.5），『プロフェッショナル 仕事の流儀～チーズ農家・吉田全作』（G，10.14），『ひるブラ～岡山県備前市日生町』（G，1.22），『小さな旅～石切り心意気が響いて～岡山県笠岡市北木島』（G，3.23），『NHKスペシャル～里海　SATOUMI　瀬戸内海』（G，3.23）等を制作し，“岡山”を全国に発信した。

〔松江局〕

1983年以来の規模となった島根県西部の豪雨（7.28，8.23～25）で気象庁は「これまで経験したことのない大雨」「命を守る行動を」などと発表。現場からの中継やL字画面を含めた迅速・的確な報道を行ったほか，災害情報ホームページでの詳細な情報提供や中国地方初のライフライン放送も実施し減災報道に努めた。

60年に１度の出雲大社の大遷宮については，ニュースのほか，中国ブロックの番組『フェイス』（G，5.10），『金曜スペシャル』（G，7.19）や全国放送の『NHKスペシャル』（G，1.2），『ドキュメント72時間』（G，12.13），『ゆく年くる年』（G，12.31）等で余すところなく伝えた。

また，限界集落でたくましく暮らす人々を見つめた２本の地域発ドキュメンタリー『桜の里からの手紙』（G，5.7），『花桃の里にいらっしゃい』（G，6.4）を全国放送し，視聴者から多くの好評が寄せられた。

夕方６時台の『しまねっとNEWS　610』は島根原発関連や若者の就労問題などを継続して伝えたほか，内容を大幅に刷新し，旅企画「ぶらり・おでかけ」や心温まる話題を集めた「しまねハートニュース」など新コーナーをスタートさせた。

〔鳥取局〕

13年度は，「元気。発信！とっとりけん」を，鳥取局のキャンペーンに掲げ，地域の応援団として，鳥取県を元気にしようと全局を挙げて取り組んだ。園児たちの声による５秒のCGスポットを，平日夕方６時台の『いちおしNEWSとっとり』や，番組PRなどで連日放送し，浸透を図った。鳥取局初の独自制作となった鳥取発地域ドラマ『ちょっとは、ダラズに。』（BSP，1.29）は，ロケ地となった米子の市民約250人も，エキストラとして参加。下町情緒が色濃く残る米子市のたたずまいと，チャレンジ精神旺盛で，人生を楽しく生きようとする「ダラズもん」の元気な姿を，全国に発信した。

スタジオセットを一新した『いちおしNEWSとっとり』は，関心の高いニュースを，記者の解説などで丁寧に伝えた。気象予報士による天気情報で，データ放送と連動した双方向サービスを新たに導入し，クイズを４回実施した。サッカーJ2「ガイナーレ鳥取」の中継でも，クイズやアンケートを実施するなど県民サービスの向上に努めた。

全国放送では，仏像に魅せられた少女の日常と，温かく見守る人たちを描いた『ドキュメント鳥取発～仏に恋する女の子』（G，4.23），非日常的で幻想的な，砂丘の風景にひかれる人たちを見つめた『ドキュメント72時間～砂丘に呼びよせられて』（G，11.15）を放送した。中国ブロックでは，読み書きが不自由な，発達障害の男性を追った『フェイス　50歳　成長中！～読み書き困難と向き合って』（G，5.31）を放送，『目撃！日本列島』（G，6.15，全国）へ展開した。また，最新の再生医療の現場を取材した『フェイス～おっぱいが戻った～鳥取で始まった再生医療』（G，6.7）も，『サイエンスZERO～天然の治療薬？脂肪に潜むスーパー細胞』（E，12.1，全国）に展開した。

このほか，４年目になるお笑い芸人が県内をぶっつけ本番で旅する若者向け番組『√るーとhigh↑』を計27回放送し，これに連動したラジオ番組『やしろ荘でごにょごにょ』を，隔月１回で新たに放送開始した。

ホームページでも『いちおしNEWSとっとり』から選んだ動画を毎週１～２本配信，『√るーとhigh↑』の最新放送回も載せるなど，動画配信も効果的に行った。

〔山口局〕

７月末に県北部を襲った記録的豪雨災害をはじめ，度重なる豪雨や台風の接近に対して，逆L字画面やデータ放送，災害情報ホームページも含めて迅速かつ手厚く報道。ラジオ第１でライフライン放送も行うなど，地域の安全・安心の確保に努めた。また，衆院選後初の国政選挙となった参院補選やその後の参院選，山口市長選，知事の病気辞任に伴う県知事選など，重要な選挙を正確・迅速に伝えた。さらに，異例の事態に発展した周南

市の５人連続放火殺人事件，米軍岩国基地へのオスプレイ飛来や空中給油機受け入れ問題について手厚く取材。その他，相次ぐ詐欺被害や救急車の到着遅れなど多くの問題を，全国ニュースを含めて放送した。夕方６時台の県域番組『情報維新！やまぐち』では，視聴者からのお便りをもとにしたぶっつけ本番のミニ紀行「お便りさんぽ」や，各界で活躍する山口県出身者にインタビューする「ホットトーク」など，さまざまな形で地域密着の情報を提供。「放送局のちから」調査（電話調査）では，同一時間帯で，山口県で最も見られている番組となった。

県域番組は金曜夜間の『YAMAGUTIC』を中心にさまざまなテーマを取り上げた。記録的豪雨を検証した「想定を超えた豪雨」（G，8.30）はその後，広島局，松江局と共同で中国ブロック番組『フェイス』（G，9.13）に展開。また，地域の文化施設やケーブルテレビ局と連携した会館公開イベント連動生放送（G，11.2）や，公開録音による『みすゞ朗読コンサート』（FM，2.15）なども行った。

全国放送としては，海底砂漠化を扱った『サイエンスZERO』（E，4.21），鉄道の町・下松を旅した『小さな旅』（G，5.26），工場閉鎖に伴う大量退職と再就職の現場を見つめた『地方発　ドキュメンタリー』（G，1.28），ご当地エネルギーの可能性を追った『サキどり↑』（G，2.2），里海をテーマとした『NHKスペシャル』（G，3.23）など多くの番組で山口の情報を全国発信した。また，『今日は一日“バブル世代”三昧』（FM，8.11）や，11年度から始めたTwitter連動番組『スゴつぶ』（R1，8.17）を全国放送に展開。その他『年越しラジオ　ゆく年くる年』（R1，12.31）や『おめでとう日本列島2014』（R1，1.1）にも参加するなど，さまざまなスタイルでラジオの全国発信を行った。

２．地域放送番組

（１）定時番組

『NHKニュース　おはよう○○（県名）』　G

月～金　7:45～ 8:00

第１回93.4.5／県域／県内のニュースやきょうの動き，気象情報に加え，各地の話題や課題などを中継やリポートで伝えるニュース・情報番組。

『NHKニュース　おはようちゅうごく』　G

土　7:30～ 8:00

第１回93.4.10／中国ブロック・一部県域／中国５県の朝の表情を伝える中継やリポート，週末のイベント情報や生活情報，そして「西日本の旅」など，多彩な内容のニュース・情報番組。

『ひろもり』（広島局）　G

月～金　11:30～12:00
（岡山）11:40～12:00
（松江）11:45～12:00
（鳥取）11:40～12:00
（山口）11:45～12:00

第１回08.4.4／各県域／生活・文化・健康など，くらしに役立つ情報番組。

（各局タイトル）

『ひるまえもぎたて！』	（岡山局）
『ひるまえしまねっと』	（松江局）
『いちおし情報便』	（鳥取局）
『カフェのんた』	（山口局）

『お好みワイドひろしま』（広島局）　G

月～金　18:10～18:59

第１回84.4.2／県域／キャスターを一新。広島県内のニュースを視聴者目線に立って詳しく，分かりやすく伝え，県民の関心が特に高いテーマは「ニュースアップ」「特集」で分厚く放送。新コーナー「“ネットでお好み”１週間」では，広島局のホームページに掲載されるニュースの中から関心の高かった項目を紹介し，取材記者などがニュースの背景やその後の動きを解説した。「食☆探偵局」「お好み探検隊」では県内の食の話題やとっておきの情報をリポート。また，視聴者の疑問を解き明かす「あなたの声リポーターです！」でさらに視聴者との結び付きを強めた。

（各局タイトル）

『岡山ニュースもぎたて！』	（岡山局）
『しまねっとNEWS　610』	（松江局）
『いちおしNEWSとっとり』	（鳥取局）
『情報維新！やまぐち』	（山口局）

『ひろしまニュース845』（広島局）　G

月～金　20:45～21:00

第１回96.4.1／各県域／県内の１日の出来事をコンパクトにまとめて伝えるニュース番組。

（各局タイトル）

『岡山ニュース845』	（岡山局）
『しまねっと845』	（松江局）
『とっとりニュース845』	（鳥取局）
『やまぐち845』	（山口局）

『フェイス』　G　金　19:30～19:55

第１回11.4.1／中国ブロック・随時各県域／タイムリーな話題・情報を機動的に伝え，中国地方の“いま”を深く，鋭く切り取る番組。経済・産業・環境・社会・医療・スポーツなど，さまざま

な視点で地域を見つめた。

『NHK中国地方放送審議会』　G　　随時

第１回97.11.16／中国ブロック／番組審議会の審議内容を伝える番組。

『おはよう中国』　R1　　月～土　7:40～ 7:58

第１回89.4.3／中国ブロック／気象・交通など朝に欠かせない情報やニュース，旬の人や時の話題を電話インタビューで構成。

『金曜夕方　どぉ～かいの！』　新　R1

金　（大相撲期間を除く）17:00～17:55
（プロ野球中継時を除く）18:00～18:50

第１回13.4.5／広島県域／「子育て」「仕事・家事」「夫婦関係」など，アラフォーならではの悩みをリスナーとともに考えた。また，県内各地の「道の駅」「コミュニティーFM局」などと結び，各地の旬の話題を届けると同時に，さまざまな分野で活躍している人物を招いてのインタビュー，アラフォーにこだわった青春ソングを集めてのリクエストなど，盛りだくさんで放送した。

『√るーとhigh↑』　G　　日　22:40～22:50

第１回11.4.17／鳥取県域／お笑い芸人が県内をぶっつけ本番で旅する若者向け番組。

（２）特集番組（核・平和関連番組を除く）

〔中国ブロック〕

『海と生きる』　G　　金／20:00～20:43ほか

「奇跡の宝石箱　瀬戸内海」
広島・高松・松山局／ 5.17
「カブトガニと藻場とカキ筏（いかだ）と人と」　広島・岡山・山口局／ 6.14
「いさなの町　漁（いさ）り火の浜」
松山・高知・徳島・鳥取局／ 9.20
「天空の旅人　瀬戸内を行く」　広島局／10.11
「しまなみ　海の道」　松山局／11.22
「2014巻頭言～豊かさとは　幸せとは　里海×里山資本主義」
広島・岡山・山口局／ 1.10

『あいたい』　G　　金／20:00～20:43

「ツルと描く　ふるさとの夢～山口県周南市八代」　広島局／ 4.12
「心ひとつに　大綱引き」　鳥取局／ 5.24
「戦国大名が築いた夢の都～大内文化　山口の旅」　山口局／ 6.28
「廃線復活に思いをよせて～広島市　可部」
広島局／ 7.12
「未来へつなげ！伝統の技と心～広島・安芸太田町」　広島局／ 9.13
「母ちゃんは最強の海女士～山口県　長門市大浦」　広島局／10.18
「瀬戸内の心にふれる～広島県沿岸の旅」
広島局／10.25
「山あいの町が“神儀”に沸く～広島　神石高原町　油木」　広島局／11. 1
「『日本一』をめぐる旅～瀬戸内･山口県沿岸」
広島局／12.13
「最高の星を探して～岡山県井原市美星町」
岡山局／ 1.17
「総集編～中国地方の宝を探して」
広島局／ 3.14

『スリーストーリーズ』　G　　金　20:00～20:43

「希望」　広島・松江・山口局／ 7. 5
「信頼」　広島・岡山・松江局／ 9.27
「再起」　広島・鳥取・山口局／11.29
「働く」　広島・岡山・鳥取局／ 3. 7

『金曜スペシャル』　G　　金　20:00～20:43

「目指すは世界ブランド～密着！岡山ジーンズ・パリ展示会」　岡山局／ 4.19
「それぞれのラストラン」　広島局／ 4.26
「花桃の里にいらっしゃい」　松江局／ 5.10
「ふるさと自慢うた自慢～広島県竹原市」
広島局／ 5.31
「ふるさとにありがとう～広島　西城秀樹」
広島局／ 6. 7
「遷宮　出雲大社　神と人々の記録」
松江局／ 7.19
「駆け抜ける！山も谷も」　松江局／10. 4
「二階堂和美LIVE～歌手　ときどき　僧侶　そして　母」　広島局／11.15
「幸せの“フク”を追う」　広島局／ 1.24
「シェール革命の衝撃～ものづくりニッポン　問われる戦略」　広島局／ 1.31
「瀬戸内みらいコンサート」　広島局／ 2.28

『広響コンサート』　FM　　日　14:00～16:00

「第330回定期演奏会」　広島局／ 6.23
「第335回定期演奏会」　広島局／ 3. 2

『第80回NHK全国学校音楽コンクール～中国ブロックコンクール』　E

広島局／ 9.28／14:00～16:34

『アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2013～中国地区大会』　G

広島局／11.17／15:05～15:59

『防災の日　ラジオ特集～豪雨災害から身を守るために～全国最多の危険が潜む中国地方』　R1　　広島局／ 9. 1／16:05～16:55

『僕らの青～瀬戸内の詩』　G

広島局／11.16／11:15～11:29

〔県域〕

『わたしのベストショット』　G
広島県域／（年10回）土／ 5:15～ 5:40
4.13，5.11，6. 8，7.13，9.14，
10.12，11.16，12.14，1.11，3. 8

『アニメ　たまゆら』　新　G
広島県域／（12回）日／13:05～13:30ほか
4. 7，21，28，5.12，19，
5.26，6. 2，9，16，30
（4.7，6.30は２回分放送）

『アニメ　たまゆら～もあぐれっしぶ』　G
広島県域／（12回）日／13:05～13:30ほか
7. 7，14，21，28，8. 4，11，
8.18，25，9. 1，8，15，22

『Heart Rock Cafe 2013～広島を盛り上げるアコースティックシンガーたち』　FM
広島県域／ 5.12／22:30～23:30

『The Art of GAMAN～強制収容所で生まれた“尊厳の芸術”』　G
広島県域／ 7.27／ 5:15～ 5:43

『闘えクライマックスシリーズ』　R1
広島県域／10.11／21:05～21:55

『投げた！打った！走った！～NHK広島カップ少年野球広島大会』　G
広島県域／11.30／ 5:15～ 5:40

『連覇達成！おめでとうサンフレッチェ広島』　G　広島県域／12. 7／23:30～23:58

『Heart Rock Cafe 2013～カズン&二階堂和美』　FM　広島県域／12. 7／12:30～14:00

『いつも全力～サンフレッチェ広島　森保一監督の指導哲学』　R1
広島県域／12.15／16:05～16:55

『がんばれ！ふるさとランナー～ひろしま男子駅伝あすスタート』　G
広島県域／ 1.18／11:15～11:54

『熱唱！NHKのど自慢予選会』　G
鳥取県境港市　鳥取県域／ 7.29／ 1:40～ 4:13
広島県尾道市　広島県域／ 9.21／ 2:05～ 4:20
山口県下関市　山口県域／11. 6／ 1:40～ 4:13
岡山県倉敷市　岡山県域／ 3. 3／ 1:35～ 4:13

『現場に立つ』　G　岡山県域／19:30～19:55
「死刑囚からの臓器移植～中国での“渡航移植”の実態」　4. 5
「“もめ事”こそ教材～おかやま希望学園の日々」　6. 7
「島で最期まで～笠岡諸島・手づくりの介護」　7. 5
「チャンスは里山にあり～田舎ビジネスに挑む若者たち」　10. 4
「お年寄りを救えない～セルフネグレスト葛藤の現場から」　1.17
「売り出せ！晴れの国おかやま～奮闘！晴れ男・晴れ女のPR作戦」　3. 7

『岡山スペシャル』　G
「岡山の偉人　日本経済を変える！？～幕末の改革者　山田方谷」
岡山県域／ 9. 6／19:30～19:55

『おかたかっ！　岡山VS香川』　G
岡山・高松ブロック／11.29／19:30～20:45

『年末特集　岡山ラジオ・おからじ！』　R1
岡山県域／12.26／15:55～18:00

『おかやま朗読ひろば』　R1
岡山県域／ 1.26／ 8:05～ 8:55

『岡山ラジオ・おからじ！スペシャル～岡山を知らないなんて言わせない！』　R1
岡山県域／ 2.22／13:05～15:00

『風土をつむぐ』　G
島根県域／土／12:40～12:45
4.27，6.22，7.27，9. 7，21，
11. 2，30，12.21，1.25，3.22

『Shimagine』　G
島根県域／22:40～22:45
6.26，9.29，12.22，3.30

『身近なモノに商機あり！～地味な島根が都会で人気』　G
島根県域／11.29／19:30～19:55

『舞を伝える　舞と生きる』　G
島根県域／12. 7／10:05～11:30

『ドキュメント鳥取発』　G
「あきらめない～難病と闘う二人」
鳥取県域／11.29／19:30～19:55
「「白」ひとすじに～人間国宝・前田昭博」
鳥取・島根ブロック／ 3. 7／19:30～19:55

『√るーとhigh↑4年目突入スペシャル！』　G
鳥取県域／ 6.21／20:00～20:43

『合言葉は“ダラズ”！…で、ダラズって何？～鳥取発地域ドラマの魅力』　G
鳥取県域／ 1.17／20:00～20:43

『鳥取文芸館』　R1
鳥取県域／ 4.20，6.15，9.21，11.16，12.14，
2.15／ 9:05～ 9:55，3.22／ 8:05～ 8:55

『やしろ荘でごにょごにょ』　R1
鳥取県域／ 4.23，6.18，9. 3，11. 5，
1. 7，2. 4，／21:05～21:55

『YAMAGUTIC』　G　山口県域／19:30～19:55
「わたしは町のカメラマン～アマチュアビデオ

この１年」　5.24
「“共感の出資”が地域を変える～クラウドファンディングの可能性」　6.14
「想定を超えた豪雨～水害からひと月　被災地は」　8.30／19:30～20:00
「坂本龍一×野村萬斎～新作舞台に挑む」　11. 1／20:00～20:43
「大好き！やまぐちフェスタin中央公園」　11. 2／10:05～10:30
「突きつけられたゲンジツ～希望退職711人の“労働移動”」　12.13
「超特急が拓（ひら）くニッポンの未来～新幹線を作る男たちの半世紀」　1.24
「為せば成る～“100歳スイマー”世界記録への挑戦」　3. 7

『やまぐち　風をあつめて』　G
（49回）　山口県域／ 6. 4～ 2.25

『シリーズ防災特集～いざという時、NHKラジオ～防災士に聞く各地の防災』　R1・FM
山口県域／11:50～12:00
「瀬戸内の高潮・浸水対策」　6.17
「洪水に備える」　6.18
「施設の災害弱者をどう守る？」　6.19
「「救難救助」の視点から見た備え」　6.20
「原発防災について」　6.21

『みすゞ朗読コンサート』　FM
山口県域／ 2.15／19:20～21:00

『まど・みちおさんを偲（しの）んで～まど・みちおを歌おう！～ふしぎなポケットコンサート』　G　山口県域／ 3. 8／10:30～11:11

〔各局共通〕

『第80回NHK全国学校音楽コンクール』　E
「広島県コンクール」
小学校の部　8.25／14:00～16:00
中学校・高等学校の部　8.31／13:00～14:52
「岡山県コンクール」
小学校・中学校・高等学校の部　8.31／12:25～13:55
「島根県コンクール」
小学校の部　8.24／ 9:00～ 9:47
中学校の部　8.24／10:00～11:20
高等学校の部　8.24／12:00～13:06
「鳥取県コンクール」　FM
小学校・中学校・高等学校の部　8.25／ 7:20～ 8:45
「山口県コンクール」　E
小学校・高等学校の部　8.24／12:00～14:02
中学校の部　8.25／14:00～15:30

３．核・平和関連番組

（１）地域番組

〔中国ブロック〕

『フェイス』　G
「核許すまじ　国際社会の挑戦」　広島局／ 4.12／19:30～19:55
「はだしのゲン　世界へ」　広島局／ 6.28／19:30～19:55
「見捨てられた“ビキニ大量被ばく”～共に闘うヒロシマ」　広島局／10.25／19:32～19:57
「どうする被爆建物」　広島局／ 1.31／19:30～19:57

『我が愛する被爆都市～新資料が語る作家・梶山季之の世界』　G
広島局／ 7.26／20:00～20:43

『いのちのうた2013～立ち上がる勇気』　G
広島局／ 8. 2／19:30～20:43

『えほんでつたえるげんばく』　G
広島局／ 8. 3／17:00～17:34

『キス、握手、笑み　原爆ドームを背に～２万枚の写真が語る平和』　G
広島局／ 8.16／22:00～22:49

『オリバー・ストーンとヒロシマ』　G
広島局／ 9. 6／20:00～20:43

『平和の響き50年～広島交響楽団　祈りのコンサート』　E　広島局／ 9. 7／12:00～12:59

〔広島県域〕

『お好みワイドひろしま～“原爆の日”特集』　G　8. 6／18:10～19:00

（２）全国放送

『平成25年　広島平和記念式典』
G　8. 6／ 8:00～ 8:37
G 中国ブロック　8. 6／ 8:00～ 9:00
R1　8. 6／ 8:00～ 9:00

『NHKスペシャル～終わりなき被爆との闘い～被爆者と医師の68年』　G
8. 6／19:30～20:28

『クローズアップ現代～世界をかける“はだしのゲン”』　G　7.30／19:30～19:56

『ラジオ文芸館～石の記憶』　R1
8. 3／ 8:05～ 8:45

『FMシアター～紅いハンカチ』　FM
8. 3／22:00～22:50

『原爆の日ラジオ特集～今こそ伝えたい被爆の苦しみ～被爆者の日記は語りかける』　R1
8. 6／21:05～21:55

『ヒバクシャからの手紙』　G
8. 9／ 0:10～ 1:38
『ETV特集～ガタロさんが描く町～清掃員画家のヒロシマ』　E　8.10／23:00～23:59
『ドキュメンタリードラマ～基町アパート』　G
8.30／19:30～20:44
『音楽と朗読で平和を紡（つむ）ぐ～ワールド・ピース・コンサート“ヒロシマ”2013』
BSP　8.27／23:45～ 1:14

４．スポーツ中継

〔高校野球〕＊ブロックと特記した以外は県域放送
第95回全国高校野球選手権大会・地区大会
広島県　準々決勝　R1／ 7.24，G・E／ 7.25
準決勝　G・E・R1／ 7.27
決勝
G・E・R1／ 7.28，30（再試合）
岡山県　準決勝　G・E・R1・FM／ 7.25
決勝　G・R1／ 7.26
島根県　準々決勝　R1／ 7.23
準決勝　G・E・R1／ 7.25
決勝　G・R1／ 7.26
鳥取県　準々決勝　R1／ 7.23，24
準決勝　G・E・R1／ 7.26
決勝　G・R1／ 7.27
山口県　準々決勝　R1／ 7.24～ 7.25
準決勝　G・E・R1／ 7.26
決勝　G・E・R1／ 7.29
平成25年度秋季高校野球・地区大会
広島県　決勝　R1／10. 7
岡山県　準々決勝　R1・FM／ 9.29
準決勝　R1／10. 6
３位決定戦・決勝　R1／10. 7
島根県　準決勝　R1／ 9.28
３位決定戦・決勝　R1／ 9.29
鳥取県　準決勝　R1／10. 5
３位決定戦・決勝　R1／10. 6
山口県　準決勝　R1／ 9.22
３位決定戦・決勝　R1／ 9.24
第121回秋季中国地区高等学校野球大会
（中国ブロック）
準決勝　G・G2・E・R1／11. 2
決勝　G・G2・E・R1／11. 3
〔プロ野球〕
（中国ブロック）
「広島」対「DeNA」　R1／ 4.18
「広島」対「巨人」　R1／ 4.19
「広島」対「巨人」　R1／ 4.20
「広島」対「巨人」　R1／ 4.21
「広島」対「中日」　R1／ 5.10
「広島」対「巨人」　R1／ 6.27
「広島」対「DeNA」　R1／ 8. 1
「広島」対「DeNA」　R1／ 8.29
「広島」対「中日」　R1／ 9. 5
「広島」対「阪神」　R1／ 9.19
（中国・東海３県ブロック）
「中日」対「広島」　R1／ 9.26
（広島県域）
「広島」対「ヤクルト」　G2／ 4. 4
「広島」対「中日」　G／ 5.12
「広島」対「西武」　R1／ 6. 9
「中日」対「広島」　R1／ 9.25
「広島」対「中日」　R1／10. 3
（広島・鳥取ブロック）
「広島」対「阪神」　G／ 4. 5
（広島・東海３県ブロック）
「中日」対「広島」　R1／ 3.28
〔Jリーグ〕
（広島・佐賀ブロック）
「広島」対「鳥栖」　G／ 4.14
（広島・仙台ブロック）
「広島」対「仙台」　G／10.26
（広島・水戸ブロック）
「鹿島」対「広島」　G／12. 7
（広島県域）
「広島」対「甲府」　G／ 5.18
「広島」対「清水」　G／10. 5
「広島」対「湘南」　G／11.30
（岡山・富山ブロック）
「岡山」対「富山」　G／11.17
「岡山」対「富山」　G／ 3. 2
（鳥取県域）
「鳥取」対「千葉」　G／11.24
（鳥取・高松ブロック）
「鳥取」対「讃岐」　G／12. 8
〔その他のスポーツ〕
第47回　織田記念国際陸上
G／中国・松山ブロック／ 4.29
女子ホッケー日本リーグ
「コカ・コーラウエスト」対「ソニーHC」
E／広島県域／ 4.21
第66回広島県高校総体バレーボール女子決勝
E／広島県域／ 6.10
2013年度全広島サッカー選手権・決勝
～第93回天皇杯広島県代表決定戦～
G／広島県域／ 8.24

第33回岡山県サッカー選手権大会・決勝
～第93回天皇杯岡山県代表決定戦～
G／岡山県域／ 8.25
第18回島根県サッカー選手権大会
～第93回天皇杯島根県代表決定戦～
G／島根県域／ 8.25
平成25年度鳥取県サッカー選手権・決勝大会
G／鳥取県域／ 8.25
平成25年度　山口県サッカー選手権大会　決勝
～第93回天皇杯代表決定戦～
G／山口県域／ 8.25
なでしこリーグカップ
「ベガルタ仙台レディース」対「岡山湯郷ベル」
G／岡山・東北ブロック／ 6. 2
第19回全国男子駅伝ハイライト
G／広島県域／ 1.19

Ⅱ．技　術

１．安全・安心を守る機能強化

大規模災害時でも確実に放送を継続するため，放送設備の機能強化を進めた。

広島県向島ラジオ，東城ラジオ，岡山県新見ラジオ，島根県石見ラジオ，川本ラジオ，鳥取県千代水ラジオ，上後藤ラジオ，山口県防府ラジオの自家発燃料タンクを増量し，岡山県久世ラジオ，島根県江津ラジオ，六日市ラジオでは自家発電装置を新設した。また，これまでの有線回線に加え広島県福山木之庄ラジオ，鳥取県上後藤ラジオに自営無線回線を新設し，プログラム伝送ルートを２系統化して信頼度を高めた。

広島局に非常用送信車両，非常用可搬送信機，非常用空中線を配備し非常用機材の充実を図った。

２．地上デジタル放送

新たな難視対策として山口県に南豊北中継局を開局（12月）した。これによりエリア内の約120世帯の「新たな難視」世帯の解消が図れた。13年度末で広島224世帯，岡山31世帯，島根３世帯，山口123世帯の対策未完了世帯を残している。鳥取県の新たな難視対策は完了した。

同対策への呼びかけに応じない世帯や対策を辞退した世帯に対し，衛星セーフティネットの終了を告知するスーパーによって周知を開始した。また，対策困難世帯にワンセグ対策を説明する訪問活動を行っており，順次同意を得ている。

３．選挙報道，緊急・災害報道

参議院議員選挙（7.21），広島県知事選挙（11.10）では，『経歴政見放送』および『開票速報』を確実に放送した。

廿日市市土砂崩れ（６月），呉市少女殺人死体遺棄事件（７月），周南市連続放火殺人事件（７月），島根県・山口県豪雨災害（７・８月），釣り船衝突事故（１月），伊予灘地震（３月）などの緊急報道に迅速・的確に対応した。

東日本大震災報道への支援を継続するとともに大阪局機能強化整備に伴う緊急報道対応・運行業務支援にも対応した。

４．地域放送

広島局では『平和記念式典中継』『NHKスペシャル』『ヒバクシャからの手紙』など核・平和関連番組を数多く放送した。

『海と生きる（豊かさとは　幸せとは　里海×里山資本主義）』でバーチャルセットを用いたスタジオ収録（12.22）を行うとともに，イメージソング『僕らの青』のプロモーションビデオを広島局で初めて４K制作した。

スポーツ番組や公開派遣音楽番組を中心に，13年度も5.1サラウンド音声制作に取り組んだ。

番組連動サービスとして，プロ野球中継やJ1サッカー中継では応援メッセージをツイッターやメールで募集した。『NHK全国学校音楽コンクール中国ブロック大会』（９月）や『高専ロボコン』(10月）のライブストリーミング動画配信，『全国都道府県対抗男子駅伝』（１月）でダイジェスト動画の配信を実施した。岡山局では双方向番組『おかたかっ！』，松江局は『Shimagine』，鳥取局では『いちおしNEWSとっとり』で番組連動データ放送を実施した。

５．開　発

広島局ではクラウド型サービスを利用し，放送所設備の予備品や測定器の物品貸出フローの効率化を図る「中国域内共通物品管理システム」を開発した。

岡山局では受信相談や難視調査の事前検討をより正確に行う「伝搬路可視化アプリケーション“Z-Map”」の開発と番組送出担当者の音量レベル管理を支援する「ラウドネス管理支援システム」を開発した。

６．視聴者活動

中国域内での『NHKのど自慢』予選会の会場で来場者に向けて「中継車見学・カメラ操作体験」を３回実施。「予選会の時差再生視聴」を４回開催し，放送事業への理解促進に努めた。

７．放送設備の更新

広島局のFPU基地局（己斐）をハイビジョン化更新するとともに，緊急地震速報作画装置の更新，電子文字発生装置の更新，氷蓄熱空調システムの更新などを実施し，放送サービスの安定度向上と番組制作・緊急報道機能の充実を図った。

また，天気カメラ（広島県広島インターチェンジ，宇品，宮島，尾道，生口島，岡山県新見，島根県隠岐空港，大田市役所，鳥取県米子支局）をハイビジョン化した。

Ⅲ．視聴者

１．広報

〔広島局・福山支局〕

13年度は，４月に局内見学施設「ハートプラザ」を12年ぶりにリニューアルし，「バーチャルスタジオ」や「デジタルサイネージ」等，デジタルコンテンツを活用した体験型の見学施設として整備を行い，幅広い世代に向けた来館者サービスの充実に積極的に取り組んだ。５月は全国屈指の来場者で賑わうフラワーフェスティバルで，アナウンサー，気象キャスターとともに来館者が原稿を読んだり，お天気キャスターに挑戦したりするなど，番組作りを体験できるイベントを実施した。期間中の会場は，約１万人の来訪者でにぎわい，大盛況となった。

７月には，広島局が制作した『ドキュメンタリードラマ～基町アパート』のロケ取材会を物語の舞台となった基町小学校で実施した。事前に積極的な情報発信を図ったことで，県内外の20を超える媒体に記事が掲載された。13年度については，年間を通じて各種媒体とのネットワーク強化に取り組み，広島局の番組やイベントなど，さまざまな情報をタイムリーに発信することができた。

13年度も広島局オリジナルキャラクターを活用した「広島カープ応援隊」「サンフレッチェ広島応援隊」活動を広島局が中継する試合において実施した。幅広い世代の視聴者とのふれあい活動を通じて地域の放送局としての存在感を高めることができた。

13年度の広島局ハートプラザ来場者数は15万9,220人。広島局・福山支局を合わせた来館者数は18万1,808人となった。電話などで視聴者から寄せられた意見・要望は１万7,256件となった。

〔岡山局〕

東日本大震災を機に始めた「安全・安心キャンペーン」を継続し，夕方６時台を中心にスポット，ホームページ等で年間を通して展開し県民へのさらなる浸透を図った。公開番組は，『民謡をたずねて』（6.1），『ふるさと自慢うた自慢』（11.5），ラジオの地域番組『おかやま朗読ひろば』（1.11），『NHKのど自慢』（2.16）等11本，イベントや展覧会等は，岡山県初の８Kスーパーハイビジョンの上映とハイブリットキャストの公開（4.26～29），地元の祭り「うらじゃ」（8.3）や，「備前焼祭り」（10.19～20），「そうじゃ吉備路マラソン」（2.23）に連動した新規のイベントを含め23本を実施，約４万8,300人が参加した。また，視聴者層の拡大を図るため，『岡山ニュースもぎたて！』の巨大懸垂幕の設置や岡山駅前の地下街広報スペースを活用したポスターの掲示，岡山局と地域番組を紹介した小冊子の作成・配布等を行った。このほか，「番組公開ライブラリー」の利用は833人，岡山局に寄せられた意見・要望は１万8,000件に上った。

〔松江局〕

60年に１度行われる出雲大社の遷宮にあわせ，出雲市の古代出雲歴史博物館で「出雲大社展」を開催し，会期64日間で７万9,556人が来場した。また，夕方６時台の県域情報番組『しまねっとNEWS 610』の視聴者投稿写真コーナーの力作を集めた「しまねの四季」写真展を県内５つの会場で開催したほか，『ごきげん歌謡笑劇団』『俳句王国がゆく』などの公開派遣番組や，「第60回日本伝統工芸展」など年間を通じて多彩なイベントを実施した。

こうしたイベントに加え，放送会館を地域に開かれた“広場”として位置づけ，１階ロビーを視聴者の作品の発表の場として提供しながら，夏休み期間中には「ぼくの絵わたしの絵展」を開催するなど来館のきっかけづくりに努めた。ハートプラザには年間6,970人が訪れた。

〔鳥取局〕

「元気。発信！とっとりけん」を年間キャンペーンとして掲げ，地域の応援団としての取り組みを積極的に展開した。

イベントは『NHKのど自慢』『BS日本のうた』

などの公開番組に加え，全国で初めて病院での開催となる「NHKハート展」を鳥取大学医学部附属病院で実施。15日間で１万10人が来場した。

米子市が舞台となった鳥取発地域ドラマ『ちょっとは､ダラズに｡』（BSP, 1.29）の広報展開では，ポスター・リーフレット・グッズ製作に加えて，出演者による県知事・米子市長表敬訪問，地域FM・CATV出演，記者会見などを実施。また，ロケ地を巡るイベント「FMウォークin米子」（参加175人），出演者の歌手・森昌子さんによる「スペシャルコンサート」（観客510人），ドラマロケ写真展（鳥取局・米子市内11会場で巡回展示）により，ドラマ放送をアピールした。

県内在住者として初の人間国宝が選ばれ，県域番組『ドキュメント鳥取発　「白」ひとすじに～人間国宝・前田昭博』（G，3.7）に連動する形で前田さんの白瓷（はくじ）作品展を会館ロビーで開催。12日間で760人が来場し，来館者の増加につなげた。

〔山口局〕

春に，営業と連動し公開番組やイベントを集中的に展開。下松市ではゲストに氷川きよしを迎えた『BS日本のうた』（4.18）を実施した。応募数が１万8,076通，抽選倍率が44倍を超える大イベントとなった。新入生へNHKをPRする「大学セミナー」（5.22，山口大学）では，タレントのユージがトークで学生を盛り上げ，大学側にも満足していただけた。

萩市では，『大河ドラマ八重の桜セミナー』（6.15）を開催。俳優の吉川晃司を迎え，30～40代の女性が多く参加した。同じく萩市の明倫小学校が，『音コン』開催80回記念『特集ドラマ～はじまりの歌』（9.23）のロケ地となり，NHKドラマ初出演の俳優・松本潤が来山し話題となった。

また，高専ロボコン中国地区大会（10.20，柳井市）では，徳山高専が全国大会へ駒を進め，見事全国優勝した。

山口県の詩人，金子みすゞ生誕110周年を記念し『みすゞ朗読コンサート』（2.2，長門市）を実施し，県内向けに放送（2.15，FM）した。朗読に女優の三倉茉奈，ピアノ加羽沢美濃，バイオリン松本蘭，地元のみすゞ少年少女合唱団が参加した。また，周南市出身のまど・みちおさんが104歳で逝去，山口局がかつて実施したイベント『ふしぎなポケットコンサート』（G，3.8，県域）を追悼番組として放送した。

13年度，山口局が実施したイベントは，公開番組５本を含む年間23本で，延べ２万1,399人が参加した。そのうち会館公開（11.2）には2,300人が来場しにぎわった。ハートプラザには年間２万9,174人が訪れた。

２．イベント事業

13年度，中国地方では154件のイベントを実施し，視聴者サービスの充実とNHKへの理解促進に努めた結果，73万人の参加者があった。

広島局では「フラワーフェスティバルNHKシクラメンパーク」（5.3～5，広島局），“いのち”や“平和”の尊さを伝える「いのちのうた2013」公開録画（7.13，広島市）のほか，日系人がアメリカ西部の強制収容所で制作した作品の展覧会「尊厳の芸術展」（7.20～9.1，広島市）の開催に合わせて広島市内の被爆建物を巡るウォークラリーなどを実施し，被爆地の放送局として“平和の大切さ”を考える機会を提供した。

また，中国・四国地方のNHK各局が制作する特集番組『海と生きる』の放送に合わせ，“瀬戸内海”をテーマに小中高生から歌詞を募集して（応募数676点），番組のイメージソング「僕らの青」を制作し，「瀬戸内みらいコンサート」（12.3，広島市）で披露した。そのほか，瀬戸内関連番組に連動して，大学対抗のレシピコンテスト「瀬戸内さしすせそ」（1.19，広島市）や，『NHKスペシャル～里海』をテーマにしたトークショー（3.19）など地元の題材をテーマにしたイベントを実施した。

（１）全国放送公開番組など

『NHKのど自慢』『ごきげん歌謡笑劇団』『BS日本のうた』などの全国放送公開番組を中国各局で29本実施した。

また，「NHK交響楽団演奏会 中国地方公演」（2.26，広島／2.27，山口／3.3，岡山／3.4，島根）を実施し，地域の音楽文化振興に寄与し，クラシック音楽ファンの期待に応えた。

（２）教育・こどもイベント

「NHK放送体験クラブ」「NHK全国学校音楽コンクール」「NHK杯中学校･高等学校放送コンテスト」を中国各局で，また，「中国地方放送教育研究大会」（8.8，島根），「高専ロボコン中国地区大会」（10.20，山口）などの学校・教育関係イベントを実施したほか，「おかあさんといっしょ宅配便ポコポッテイト小劇場」（中国各局），「いないいないばあっ！あつまれ！ワンワンわんだーらんど」（6.9，島根），「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（2.8，広島）などのファミリー向けイベントを実施した。

（３）スポーツ・福祉・キャンペーン

「ラジオ体操・みんなの体操会」「各県サッカー選手権大会（天皇杯各県代表決定戦）」を中国各局で実施。「天皇盃第19回全国男子駅伝」（1.19，広島市・廿日市市），および関連イベント「駅伝ふるさとひろば」（1.14～19，広島局）を実施。福祉関連では「NHK歳末･海外たすけあい」（12.1～25），「東日本大震災義援金受付」（通年）を中国各局で実施したほか，「NHKハート展」（7.20～8.3，鳥取大学医学部附属病院／12.1～15，広島局），「介護百人一首展」（山口・広島局），「NHKハートフォーラム」（広島・松江・山口局）を実施。キャンペーン関連では「環境」（広島・松江・山口局），「ふるさとの食にっぽんの食」（広島・山口局），「防災」（岡山・鳥取局）に関するイベントを実施した。

（４）展覧会

「尊厳の芸術展－The Art of Gaman－」（7.20～9.1広島県立美術館），特別展「手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから」（11.15～1.5，広島県立歴史博物館），クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に「印象派を超えて」（1.2～2.16，広島県立美術館），「第60回日本伝統工芸展」（11.12～12.8，岡山県立美術館／12.11～25，島根県立美術館／2.16～3.16，広島県立美術館）などの展覧会を開催した。

３．営業

13年度における中国ブロック各県の推計世帯支払率は，広島県84.1％，岡山県80.0％，島根県92.9％，鳥取県90.0％，山口県87.9％となり，すべての県において前年度よりも向上した。なかでも，島根県と鳥取県は推計世帯支払率が90％を超えており，全国水準の73.8％と比較して高位にある。

13年度の中国ブロックは，経営計画に掲げる４つの営業改革に着実に取り組み，全ての営業目標を達成することができた。具体的には，ブロックとして初めて公開競争入札を導入し法人委託化を拡大，営業経費の抑制につなげた。また，公開番組・イベント等とタイアップした多面的なPR活動により，受信料制度の理解促進に努めた。

域内の会議では，現場活動に重点を置いた実践型の人材育成に取り組み，営業現場のスキル向上につなげた。

「民事手続き」については，世帯や事業所を対象に誠心誠意の対応を続け，公平負担の徹底を図った。

これら効率的な契約・収納業務の体制構築による営業改革を着実に取り進め，２年連続となる中国ブロック全目標達成を果たした。

四　　国

◇四国を，震度７の揺れや30メートルを超える津波が襲うおそれのある「南海トラフ巨大地震」への備えとして，サブステーション・伝送設備の整備や電源機能強化など放送機能の強化を図った。また，災害時に１人でも多くの命を救い必要な情報を伝えられるよう緊急報道の体制を強化するとともに，地震に強い街づくりや防災・減災対策，原子力発電所の安全対策など課題を検証して，安全・安心につながる番組を放送した。

◇四国の知られざる魅力を掘り起こして伝える「四国の底力」キャンペーンを展開して３年目。13年度は，四国に生きる“人”を描くドキュメンタリー番組を新設したほか，四国発地域ドラマを制作するなど，四国４県の放送局が協力して“ふるさとで暮らすことの幸せ”を実感し，元気になるような番組を放送した。また，地域文化の振興を図り，幅広い層がふれあい，楽しめるイベントを四国各地で展開した。

◇徳島局は，開局80周年にあたり記念番組の放送・記念事業に取り組んだ。徳島発地域ドラマ『狸な家族』が，「東京ドラマアウォード2013」にて「ローカル・ドラマ賞」を受賞した。

Ⅰ．放　送

１．放送の概要

〔松山局〕

松山局は，四国の知られざる魅力を掘り起こして伝える「四国の底力」キャンペーン３年目として，従来の価値観にとらわれない“幸せ”や“四国の個性”探しにつながる放送に取り組んだ。14年３月に，瀬戸内海が全国で初めて国立公園に指定されて80年となることから，四国地方と中国地方の各放送局が連携して，人と海との新たな関係を考える大型企画『海と生きる』シリーズを展開し，「奇跡の宝石箱　瀬戸内海」（５月），「しまなみ　海の道」（11月）など，金曜夜間を中心に年間６本の特集番組を放送したほか，平日午後６時10分からの地域情報番組を中心に関連企画も放送した。また，BSプレミアムで『にっぽん再発見瀬戸内物語』を展開し，視聴者からの投稿写真で大賞を決める番組や，地域の歴史や名物，魅力的な人々を紹介する特集番組を展開した。

四国を震度７の揺れや30メートルを超える津波が襲うおそれのある「南海トラフ巨大地震」に備えるために，四国各地で行われている対策を紹介し，被害を最小限にとどめ，人々の生命・安全を守るため，課題を検証していく番組を放送した。また，伊方原子力発電所を巡る動向と安全審査を検証する番組を放送した。

７月の参議院議員選挙に際しては，政見放送，開票速報を的確に放送した。

金曜午後７時30分からの新番組『ドキュメントしこく』では，瀬戸内海の伝統漁にかける男たちや，がんと向き合いながら生きる教師，高校の女子野球部にふるさと再生の夢を託す人々など四国で懸命に生きる人に焦点を当てた。同じ金曜午後７時30分の『四国羅針盤』では，南海トラフ巨大地震から被害を最小限にするための対策や取り組みを，さまざまなケースで検証した。さらに３月には，東日本大震災から３年がたち，その教訓から四国で備えがどこまで進んでいるのかを検証する73分のスペシャル番組を放送した。また，伊方原発の安全審査を検証したほか，４月13日早朝に淡路島付近で起きたマグニチュード6.3の地震を受け，直下型地震の脅威と市街地に潜むリスクを検証した。ITを駆使した次世代型の農業がもたらす可能性や，「徳島ヴォルティス」が四国で初めてJ1に昇格したサッカーなど，さまざまな角度から四国の“いま”を見つめた。

双方向で視聴者がリモコンやインターネットでアンケートに参加する報道トークバラエティー『四国のいいぶん』は３年目を迎え，「高校野球強豪復活の可能性」（６月），「結婚人口は増やせるか」（11月），「急増する詐欺被害」（１月）をテーマに年３回放送した。

金曜夜８時からの『しこく８』では，双方向番組「四県対抗　しこクイズ」を，農業高校対決（４月），国立大学対決（７月），芸術系高校対決（10月），水産系高校対決（１月）と年４回生放送し，番組中にメールやソーシャルネットワーキングサービスで視聴者から出場校への応援メッセージを受け付けたり，リモコンやインターネットでクイズに参加した人の正答率をチーム得点に反映するなど，視聴者と一体感を感じる演出を実施した。四国各地の謎や伝承を徹底的に解明する「四国なぞ解き行脚」（年３本）などのほか，「ふるさとへ」（５月），「はぴあわ。」（６月），「四国うまいハンター」（７月），「四国一番行脚☆チャレンジTV！」（10月），「えかこと旅」（12月）など，次のシリーズ番組を目指す開発番組も放送した。

８月には，高知県の「よさこい祭り」と徳島県の「阿波おどり」を73分の拡大版として２週連続で放送したほか，香川県まんのう町で行われた四国最大のロックフェスティバルを紹介した『熱狂！MONSTER baSH2013』を放送した。そのほか，『心を照らす桜』『瀬戸内の楽園　小豆島』『四国遍路　1200年を見つめて』など，人や歴史，文化，自然など，四国の魅力を伝えた。年７本，愛媛県域向けに放送した『伊予路てくてく』では多彩なゲストが愛媛県内を旅し，その土地に暮らす人々との交流を通して，地域の魅力を伝えた。３月の最終回は73分の総集編スペシャルとして番組開始当初からの名場面を紹介した。

平日夕方の地域ニュース情報番組『いよ×イチ』は，“安心・安全”を守る最前線のニュース情報番組として，新コーナー「南海トラフ地震に備える」を立ち上げ，県内の防災・減災の最前線の取り組みや他県の現状を紹介した。そのほか伊方原発の動向，地域経済の動向など暮らしに直結する情報を届けたほか，７月の参院選リポートなど，県民の知りたい情報をきめ細かく伝えた。また「気象コーナー」では，気象予報士が身近な視点から天気を紹介する企画も放送した。

平日午前11時40分からの『えひめ　おひるのたまご』では，家庭でできる暮らしの知恵から「俳句」「絵手紙」などの趣味，旬の食材と料理，CATVリポートなど，幅広い情報を伝えた。また，番組キャラクターが県内で活躍する人々を紹介した。

全国放送では，１月13日に特集番組『アフリカゾウ誕生～“家族”になる日を夢見て』を総合で放送した。とべ動物園で産まれたアフリカゾウ“砥愛（とあ）”の誕生から母・姉との同居生活ができるまでの試行錯誤を３か月にわたって取材し，好評を博した。

松山局制作のEテレ全国放送番組『俳句王国がゆく』は，公開派遣型の番組になってから２年目を迎え，年10回の特集番組として全国各地で収録を行った。松山で活躍する俳人が中心の俳句王国チームと，訪れた地の地元チームに分かれ，前半は地元の景勝地や名産をテーマに句を競う「ご当地俳句バトル」，後半は「テレビ句会」を中心とした構成とし，幅広く楽しめる内容で放送した。

また，『しこく８』では「燃えろ！五七五・学生俳句チャンピオン決定戦　2013」(8.2)，「17音　言葉と言葉の闘い～俳句甲子園2013」(9.13)を，県域特集で『それいけ！俳句キッズ』(8.31)を放送。R1では季語にとらわれない身近なテーマで，自由に575作品を投稿してもらう番組『つぶや句575』を年６回全国放送する（5.25，7.15，9.16，11.23，1.13，3.21）など，俳句の魅力を伝える番組を放送した。

スポーツ中継は地域スポーツを中心に放送した。サッカーJ2「愛媛FC」の２試合を総合テレビで中継し，四国初のJ1の昇格をかけた「徳島ヴォルティス」の昇格プレーオフ２試合を四国向けに放送した。野球独立リーグの四国アイランドリーグplus「愛媛マンダリンパイレーツ」の１試合をR1で放送した。夏と秋の高校野球地区大会はテレビとラジオで中継を実施。秋の県大会と四国大会はインターネット，携帯端末で独自の試合速報を行った。

〔高知局〕

13年度は，高知の自然とそこに住む人々の魅力を伝える番組作りに重点的に取り組んだ。60周年を迎えた「よさこい祭り」では，放送時間を例年の２倍近くに拡大し，真夏の祭典の熱気を伝えた。また，60周年に関連して，『FMシアター』「南国土佐を後にして」（８月）や『新日本風土記』「南国土佐」（10月）を制作し，高知の自然と「はちきん」「いごっそう」に代表される土佐人気質について掘り下げて伝えた。さらに，地域発ドラマ『ダルマさんが笑った。』では，高知県西部・幡多地域で見ることができる「ダルマ夕日」をテーマに，港町で暮らすたくましい女性を描いた。また，マンガ家を多く輩出する県として，『ドキュメント20min.』「わたしの“青春”まんが甲子園」（８月）や，『NHKスペシャル』「みんなの夢まもるため～やなせたかし“アンパンマン人生”」（１月）を制作し，高知県の意外な一面を全国にアピールした。

南海トラフ巨大地震対策では，夕方６時台のニュース番組『こうち情報いちばん』を中心に，防災・減災報道に精力的に取り組んだ。最大30メートル以上の津波が押し寄せると想定されている黒潮町の高台移転の問題や，災害時に有効だとされる井戸の活用法，１週間分の備蓄が提言されている食料の問題など，さまざまな角度から防災・減災に関する最前線の情報を伝えた。また，４月からサブステーション「朝倉報道拠点」を開設し，放送会館が機能不全に陥った場合の態勢づくりに着手した。

『こうち情報いちばん』では，防災のほかにも，オランダの新しい農業技術「データ農業」や，県の出資を得て設立された「おおとよ製材所」の話題，公立中学校の「授業態度改善策」など，多様

な県民の期待に応えてきた。中継やインタビューなど，番組制作とアナウンスが報道と一体になって取り組んだ結果，年間の視聴率では，２年連続で同時間帯１位になった。また，８月の全国最高気温記録更新や，９月の突風被害，10月の台風や大雨などにも機敏に反応し，データ放送やインターネットも含め，気象災害情報を迅速に伝えた。

７月の参議院議員選挙では，テレビとラジオ合わせて，政見・経歴放送を１時間53分間放送し，県民に判断材料を提供した。また，開票速報では，緻密な事前取材によって，開票とほぼ同時に当確を出し，深夜まで開票結果と情勢分析を手厚く伝えて，県民の要望に応えた。

公開番組としては，『ごきげん歌謡笑劇団』（高知市，６月実施）や『NHKのど自慢』（宿毛市，11月実施），「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（高知市，２月実施）などを行った。「おかあさんといっしょファミリーコンサート」では，入場希望者が13.8倍の倍率となり，大いに沸くイベントとなった。

〔徳島局〕

13年度は，開局80周年記念番組・事業に重点的に取り組んだ。６月には徳島県三好市山城町を舞台にした徳島発地域ドラマ『狸な家族』を全国放送。深い山あいの暮らしの中で新たな絆を見いだそうと葛藤する家族の姿を描いたドラマは，内外から高く評価され，10月には「東京ドラマアウォード2013」にて「ローカル・ドラマ賞」を受賞した。また，11月には徳島市で『大杉漣×住友紀人 ただいま、とくしま！』の公開収録を実施。第一線で活躍する徳島県出身の２人を初めて同じステージに迎え，互いの半生を振り返るトークや，母校の高校生を交えたライブを行い，“ふるさと徳島”の魅力を存分に伝えた。このほかにも，10月には『阿波スペシャル』で「蜂須賀家」を，12月には『新日本風土記』で「鳴門」を特集するなど，地域の歴史・文化を取り上げた記念番組を放送。『NHKのど自慢』（阿南市）や『BS日本のうた』（三好市）など，大型公開番組も記念事業として実施した。

南海トラフ巨大地震に備えた地域の防災・減災報道の取り組みとして，９月の『阿波スペシャル』では「みんなどうしてるの？巨大地震への備え」，３月には地元FM局と共同制作した『防災ラジオ特番～その時のために“できること”』を放送。視聴者に巨大地震への備えを呼びかけ，県民の防災・減災への意識の向上を図った。

地域を盛り上げる取り組みとして，10月には音楽番組『あわ☆メロ』を放送。お笑いタレントや地元の大学サークルをゲストに，双方向でお便りを募集するなど，若年層の興味・関心を高める試みを行った。12月には徳島をホームとするJリーグチーム「徳島ヴォルティス」のJ1昇格がかかった試合を中継。『とく６徳島』を中心に「徳島ヴォルティス」に密着し，昇格直後には『四国羅針盤～四国サッカー新時代』や『ヴォルティスJ1昇格記念　やったぜ、とくしま！』など特別番組を徳島放送局から公開で生放送した。

〔高松局〕

南海トラフの巨大地震で高松局の機能が喪失した場合に備えて「高松サブステーション」を整備したほか，映像の受信基地とロボットカメラをすべてハイビジョン化し，緊急報道体制を強化した。平日夕方のニュース情報番組『ゆう６かがわ』では，県の新たな被害想定を受けて，被害を最小限に抑えるための対策や取り組みを紹介したほか，月１回，専門家による「防災インタビュー」を新設，局のホームページとも連動して防災情報の発信を強化した。４月の震度５弱を観測した地震や９月の大雨では，特設ニュースのほかL字画面，ホームページなどできめ細かく伝えた。

瀬戸大橋開通25年にあたる４月，全国に向けてヘリコプターと橋上からの２元中継を実施するとともに，橋の老朽化問題や地域経済に与えた影響などを探った。「第２回瀬戸内国際芸術祭」は，夏と秋の会期も中継キャラバンを行うなどして芸術祭の魅力を伝えたほか，局のホームページに独自サイトを開設するなど集中的に情報発信した。中四国ブロックの新番組『海と生きる』や，いかなご漁の技に迫った『ドキュメントしこく』でも，瀬戸内海の自然や島々の魅力をたっぷりと伝えた。

50年以上も魚の行商を営む85歳の女性を描いた『にっぽん紀行』や，岡山と香川を結ぶフェリー航路を巡る人々の交流を見つめた『小さな旅』，小豆島の歴史と風土にスポットを当てた『新日本風土記』など，香川独特の文化や人の魅力を掘り起こした全国放送番組は好評を博した。

地域の魅力を探ってきた金曜夜の県域番組『まちカラ』が，３年間の放送に終止符を打ったほか，『笑ってうたって　しあわせ家族』は最終回に公開収録を実施，1,600人を超すファンが見守る中，７年間の番組の歴史にピリオドを打った。

その一方で，夏の野外音楽イベント『熱狂！MONSTER　baSH』を初めて番組で取り上げ，エネルギッシュな音楽とともに全国から観覧に訪

れた若者たちをドキュメントタッチで描いた。

11月には，地域バラエティー番組『おかたかっ！』を岡山局と共同制作，データ放送もフル活用してメッセージや投票を募った結果，42万件の応募があり，双方向番組の新たな可能性を追求した。

12月には，地元サッカーチーム「カマタマーレ讃岐」のJ2入れ替え戦を鳥取局と共同制作し，データ放送を活用した応援メッセージが四国ブロック放送で最多の1,481通も寄せられるなど，大きな反響があった。

２．地域放送番組

（１）定時番組

『おはようえひめ』　G

各県域　月～金　7:45～ 8:00

第１回93.4.5／最新のニュースや気象情報をきめ細かく伝えるほか，天気カメラリレーで四国４県の朝の表情を伝えた。企画や中継などで構成。随時，四国４県や西日本各局と共同で季節の中継や企画シリーズを放送した。／各局タイトル：『おはようこうち』高知局，『おはよう徳島』徳島局，『おはようかがわ』高松局

『おはよう四国』　G

四国ブロック　土　7:30～ 8:00

第１回93.4.10／週末の朝にふさわしくさわやかさを大切に，休日に役立つ情報を伝えることが番組コンセプト。四国の魅力を再発見する企画「四国プラス」では，各局のリポーターが，季節の風物詩や伝統の技，そして旬の食べ物などを取材し，スタジオで紹介した。週末のイベント情報を案内する「ウィークエンド・ナビ」や西日本各地を巡る紀行「西日本の旅」を継続して放送した。

『えひめ　おひるのたまご』　G

県域　月～金　11:40～12:00

第１回07.4.4／暮らしに役立つ生活情報を伝える番組。月曜は「暮らしを豊かに」と題して，健康や趣味の世界などの情報，火曜は映像を基に俳句を募集する「挑戦！movie俳句」や１つのテーマから絵手紙を募集して紹介。水曜は愛媛県内の旬の食材を使った料理のほか，キャスターが県内各地の港を巡るコーナーを新設，漁業の豊かさや特産品をお伝えした。また，木曜は県内の小学校を訪ねて校歌や地域の話題を伝える「校歌の旅」，金曜は県内各地のケーブルテレビが伝える地域の情報を紹介した。このほか，番組キャラクターの「昼田真子（ひるたまこ）さん」が県内各地を訪ねて，あまり取り上げられない地域の人や取り組みを紹介するミニコーナーや各地の「お知らせ」，NHK職員が番組やイベントなどを紹介する「NHK掲示板」なども放送した。

『いよ×イチ』　G

各県域　月～金　18:10～18:59

第１回11.4.4／愛媛県域／平日夕方の地域ニュース情報番組『いよ×イチ』は，愛媛の“安心・安全”を守る最前線のニュース情報番組として，毎週金曜に「南海トラフ巨大地震に備える」シリーズを新設し，大阪・名古屋管内と連携して防災・減災に役立つリポートを発信した。また，東日本大震災から３年となった３月11日には，四国各局が参加して防災特集を放送した。さらに，伊方原発について，原発規制基準の発表に合わせて，その安全性を検証するリポートなどを積極的に伝えたほか，７月の参院選の選挙報道などに力を注いだ。／各局タイトル：『こうち情報いちばん』高知局，『とく６徳島』徳島局，『ゆう６かがわ』高松局

『四国羅針盤』　G

四国ブロック　金　19:30～19:55
㊐土　10:05～10:30

第１回00.3.31／“四国のいまを追い続ける”をモットーに各県が抱える課題や，事件・事故の背景などを伝えた。13年度は，南海トラフ巨大地震の関連で「巨大津波　避難の処方箋」「巨大地震山の孤立にどう備えるか」「巨大地震　食料をどうする」などを放送。また，「“マダニ感染症”最新報告」「LCC　地方に何をもたらすか」「害虫が押し寄せる～カメムシ被害　最新報告」など，関心が高くタイムリーなテーマを重点的に放送した。

『ドキュメントしこく』　新　G

四国ブロック　（月１本程度）金　19:30～19:55
㊐土　10:05～10:30

第１回13.4.5／「四国の“今を生きる”人々を伝える」をコンセプトに新設したドキュメンタリー番組。13年度は，「老人ホームの恋」「最後まで教壇に」「おんちゃんたちの女子野球」「ミャンマーから来たエース」「いつまでも山小屋で」など，夢の実現を目指して前を向いて歩き続ける人たちの姿を放送した。

『しこく８』　G

四国ブロック　金　20:00～20:43

第１回10.4.9／家族そろって“元気・感動・笑顔”を充電！　地域を舞台に活躍する人々や地域の文化，風俗，歴史，自然など多彩なテーマで個性豊かな四国の魅力を再発見していく番組。13年度は

四国の元気と感動を伝え，地域や人々の幸せと充実感を改めて実感できる番組を展開。４県の地域の魅力をクイズ形式で再発見していく73分の視聴者参加型双方向クイズ番組「四県対抗　しこクイズ」（年４回）や，四国各地の謎や伝承を解明する「四国なぞ解き行脚」（年３回）などのシリーズの番組も含まれる。

『四国おはようネットワーク』　R1

四国ブロック　月～土　7:40～ 7:58

第１回93.4.5／最新の気象情報，ニュースのほか，四国各地の朝の様子や話題を，各県の「おはようリポーター」に電話で伝えてもらった。このうち，月曜は「防災ネットワーク」と題して，四国の災害の研究者や防災関係者に，南海トラフ巨大地震への備えや災害時の対応などを聞いた。また，このコーナーは松山局の防災ポータルサイト「防マガ」と連動，原稿や放送は「防マガ」にも掲載した。土曜は，四国各地の俳句関係者と伝える「俳句ネットワーク」。１つの季語にまつわる作品の紹介やその奥深さなどを伝えてもらった。祝日は朗読の日として「四国を読む」を放送。四国ゆかりの文芸作品を，各局のアナウンサーを中心に朗読した。

（２）特集・特別番組

〔中国・四国ブロック〕

『海と生きる』　G

「奇跡の宝石箱　瀬戸内海」
松山局・高松局　5.17／19:30～20:43
「いさなの町　漁（いさ）り火の浜」
松山局・高知局　9.20／20:00～20:43
「しまなみ　海の道」
松山局　11.22／19:30～20:43

〔四国ブロック〕

『四国のいいぶん』　G　19:30～20:43

「“野球王国　四国”は復活できるか」　6.28
「増やせるか　四国の結婚人口」　11.15
「急増する詐欺被害　どう防ぐ？」　1.17

『四国羅針盤スペシャル』　G

「巨大地震　備えは進んだのか～東日本大震災から３年」
四国地方４局　3. 7／19:30～20:43

『ドキュメントしこく』　G　19:30～19:55

「ずっとあなたのそばにいたい～徳島　老人ホームの恋」　4. 5
「イカナゴの群れを追う～瀬戸内・伝統漁にかける男たち」　5.10
「最後まで教壇に」　6. 7
「そのままの君で～シンガーソングライター　堀内　佳」　7.19
「ミャンマーから来たエース～ゾーゾーウー　日本野球への挑戦」　7.26
「おんちゃんたちの女子野球～高知・室戸」　9. 6
「輝く自分になりたい～ご当地アイドルの青春」　9.20
「僕は巨石に魅せられた」　10.18
「いつまでも山小屋で～剣山　山頂の正月」　1.24

『しこく８』　G

「四国なぞ解き行脚～春編」
松山局　4. 5／20:00～20:43
「心を照らす桜～陽光桜の物語」
松山局　4.12／20:00～20:43
「四県対抗　しこクイズ～農業高校対決！」
松山局・高松局　4.19／19:31～20:44
「石鎚　神さんの山」
松山局　5.10／20:00～20:43
「ふるさとへ～高知市　作家・山本一力」
松山局　5.24／20:00～20:43
「はぴあわ。」
松山局　6. 7／20:00～20:43
「四県対抗　しこクイズ～国立大学対決！」
松山局・徳島局　7. 5／19:30～20:43
「四国なぞ解き行脚～夏編」
松山局　7.12／20:00～20:43
「四国うまいハンター」
松山局　7.26／20:00～20:43
「燃えろ！五七五・学生俳句チャンピオン決定戦　2013」　松山局　8. 2／19:30～20:43
「土佐の夏2013　よさこい祭り」
高知局　8.23／19:30～20:43
「心かさねて　阿波おどり～写真家・浅田政志が見た熱狂の街」
徳島局　8.30／19:30～20:43
「熱狂！MONSTER　baSH2013～４万人が“跳んだ”２日間」
高松局　9. 6／20:00～20:43
「17音　言葉と言葉の闘い～俳句甲子園2013」
松山局　9.13／20:00～20:43
「NHK徳島開局80周年ドラマ～狸（たぬき）な家族」　徳島局　10. 4／19:30～20:43
「四県対抗　しこクイズ～芸術系高校対決！」
四国地方４局　10.11／19:30～20:43
「四国一番行脚☆チャレンジTV！」
松山局　10.18／20:00～20:43
「ひとりぼっちのニホンカワウソ」

高知局　11. 1／20:00～20:43
「えかこと旅～グッチ裕三が四国で一番小さな町をゆく」　松山局　12. 6／20:00～20:43
「かんきつ王国の逆襲」
松山局　12.13／20:00～20:43
「四国遍路　1200年を見つめて」
松山局　1.24／20:00～20:43
「四県対抗　しこクイズ～水産系高校対決！」
松山局・高知局　1.31／19:30～20:43
「瀬戸内の楽園　小豆島」
高松局　2.28／20:00～20:43
「四国なぞ解き行脚～冬編」
松山局　3.14／20:00～20:43

『Nコン2013　第80回NHK全国学校音楽コンクール・四国ブロックコンクール～小・中・高等学校の部』　E
松山局　9.28／14:00～17:00

『アイデア対決・高専ロボコン2013～四国地区大会』　G　松山局　11.17／15:05～15:59

〔県域〕

『Nコン2013　第80回NHK全学校音楽コンクール・各県コンクール』
「愛媛県」E 8.24～25　「高知県」FM 8.23
「徳島県」FM 8.27　「香川県」FM 8.25

〔愛媛県域〕

『伊予路てくてく』　G
「石原良純の松山市　郊外電車の旅」
4.26／20:00～20:43
「総集編スペシャル」　3.21／19:30～20:43

『それいけ！俳句キッズ』　G
8.31／15:05～16:00

〔高知県域〕

『とさ金８』　G
「わらしべ長者大作戦」　4.26／20:00～20:43
「はちきんスペシャル」　11.29／20:00～20:43

『土佐の夏2013　よさこい祭り』　G
8.10／18:10～18:55
8.11／18:10～18:55

『防災特番～南海地震に備えちょき』　R1
2. 9／14:05～15:55

〔徳島県域〕

『阿波スペシャル』　G
「アートで病院を変えたい」
5.31／20:00～20:43
「大杉漣×住友紀人　ただいま、とくしま！」
11.29／20:00～20:43

『熱演！真昼の阿波おどり2013』　E
8.27～29

『あわ☆メロ』　G
「秋の学園祭スペシャル」
10.13／15:05～16:30

『第23回　リオデ徳島音楽祭』　FM
11.17／14:00～15:55

『防災ラジオ特番』　R1　3.16／16:00～17:00

〔香川県域〕

『まちカラ』　G
「第10号　観音寺市」　4.26／20:00～20:43
「第14号　高松市＆直島町」
10.25／20:00～20:43

『朗読　壺井栄賞』　R1　8.26／20:05～20:55

『おかたかっ！～岡山VS香川』　G
11.29／19:30～20:45

『笑ってうたって　しあわせ家族』　G
「感謝！感激！最終回スペシャル」
3.21／19:30～20:43

３．スポーツ中継

〔高校野球〕

全国高校野球選手権大会・各県大会（各県域）

愛媛県	３回戦	R1／ 7.21～22
	準々決勝	R1・FM／ 7.23～24
	準決勝	G・E・R1・FM／ 7.26
	決勝	G・E・R1／ 7.27
高知県	準々決勝	R1／ 7.23～24
	準決勝	G・E・R1／ 7.26
	決勝	E・R1／ 7.27
徳島県	準々決勝	R1／ 7.23～24
	準決勝	G・E・R1／ 7.26
	決勝	G・E・R1／ 7.27
香川県	３回戦	R1・FM／ 7.19～21
	準々決勝	R1・FM／ 7.22～23
	準決勝	G・E・R1／ 7.25
	決勝	G・R1／ 7.26

秋季四国地区高校野球・各県大会（各県域）

愛媛県	準決勝，３位決定戦，決勝	R1・FM／ 9.28～29
高知県	準決勝，３位決定戦，決勝	R1／10. 6～ 7
徳島県	準決勝，３位決定戦，決勝	R1／ 9.29，10. 6
香川県	準決勝，３位決定戦，決勝	R1／10. 5～ 6，12

秋季高校野球四国大会（四国ブロック）

準決勝	G・G2・E・R1・FM／10.26
決勝	G・G2・E・R1・FM／10.27

〔全日本サッカー選手権〕（各県域）
〔地区大会〕
愛媛県　代表決定戦　G／ 8. 4
高知県　代表決定戦　G／ 8.25
徳島県　代表決定戦　G／ 8.25
香川県　代表決定戦　G／ 8.24
〔サッカーJリーグ・JFLリーグ中継〕　G
四国ブロック
徳島ヴォルティス戦
対「京都サンガ」　12. 8
対「サガン鳥栖」　3. 1
愛媛県域
愛媛FC戦
対「ヴィッセル神戸」　5.19
対「アビスパ福岡」　3.16
徳島県域
徳島ヴォルティス戦
対「東京ヴェルディ」　5.26
対「ガンバ大阪」　10.27
対「V・ファーレン長崎」　11.24
香川県域
カマタマーレ讃岐戦
対「FC町田ゼルビア」　6.16
対「ホンダロックSC」　11.24
〔J2・JFL入れ替え戦中継〕　G
香川県域
カマタマーレ讃岐戦
対「ガイナーレ鳥取」　12. 8
〔四国アイランドリーグplus中継〕　R1
愛媛県域
愛媛マンダリンパイレーツ戦
対「高知ファイティングドッグス」　5. 6
高知県域
高知ファイティングドッグス戦
対「愛媛マンダリンパイレーツ」　4.29
対「徳島インディゴソックス」　6.23
徳島県域
徳島インディゴソックス戦
対「香川オリーブガイナーズ」　5.30
対「香川オリーブガイナーズ」　9.13
香川県域
香川オリーブガイナーズ戦
対「愛媛マンダリンパイレーツ」　5.10
対「愛媛マンダリンパイレーツ」　5.29
対「徳島インディゴソックス」　6. 8
対「徳島インディゴソックス」　9. 6
対「高知ファイティングドッグス」　9.10
徳島・香川ブロック
「徳島インディゴソックス」
対「香川オリーブガイナーズ」　9.28

Ⅱ．技　術

１．放送機能の強化

南海トラフ巨大地震への対応としてサブステーション整備，電源機能強化および伝送設備整備など放送機能の強化を行った。

高知局に続き，徳島局と高松局に放送会館の津波被災に備え，取材・情報発信の拠点となるサブステーションの整備を行った。

伊方ロボットカメラに自然エネルギー電源システムを整備し，商用電源が長期間停電となっても太陽光発電と風力発電により運用継続を可能とした。

大規模災害時などに２つの衛星を同時受信できるよう，松山会館にCS受信第２アンテナを整備した。FPU受信基地局関連では，徳島・阿南基地局にヘリ自動追尾機能を，高知・北山基地局に自家発電装置を整備した。

放送所関連では，商用電源の停電対策を強化するため，高知・柏尾山テレビ放送所，松山・城山FM放送所など13局の自家発電装置の燃料タンク容量を倍増した。城山FM放送所には無停電電源装置（UPS）を新設し商用電源の瞬停対策を強化した。松山・野村ラジオ放送所と徳島・山城ラジオ放送所に自家発電装置を整備し，停電対策を強化した。

高松・前田山テレビ放送所の監視回線に自営無線回線を新設し，有線回線と合わせて２重化した。

２．地域放送の充実

四国域内では徳島『狸な家族』，高知『ダルマさんが笑った。』，高松『さぬきうどん融資課』の地域発ドラマ制作を行った。このほか，全国公開派遣番組『俳句王国がゆく』を年間10本，中四国シリーズ『海と生きる』，松山『石鎚　神さんの山』，高知『土佐の夏2013　よさこい祭り』，徳島『心かさねて　阿波おどり』を制作した。『新日本風土記』では徳島「鳴門」，高松「小豆島」，『さわやか自然百景』では「四国山地 瓶ヶ森」「石鎚山麓　面河渓」などを制作した。

松山局発ブロック放送の『四県対抗　しこクイズ』『四国のいいぶん』，新規開発の『うまいハンター』など双方向番組の充実を図った。高知『よさこい祭り』や徳島『あわ☆メロ』，高松『まち

カラ』と双方向番組を実施してデジタルコンテンツ開発の取り組みを強化した。

四国の各放送局で安全・安心ポータルサイトの送出をデータ放送で開始した。災害情報入力システムへの移行を行い，公共情報コモンズからの自治体災害情報を迅速に放送利用する環境を整えた。

「特別警報」の運用開始に伴う気象システムの改修を行い，大規模災害につながる重要な情報を確実に視聴者に届けるための体制が整った。

３．放送設備の整備

番組制作設備ではハイビジョンCS中継車（松山・ZH-11）を更新した。松山局の市駅前・松山観光港，高知局の足摺岬・桂浜・安芸，徳島局の海陽町・美波町・牟岐，高松局の小豆島・ゴールドタワー・引田のロボットカメラおよび高松局の小豆島の報道室をハイビジョン化した。ヘリ取材の支援システム整備や自動追尾機能付き小型衛星伝送装置を車載し機動性を向上させた。ニュースウェブの展開に合わせてニュース動画システムを運用開始した。報道室の取材カメラをファイルベース対応カメラへ更新して運用開始した。

放送所設備では，徳島・上那賀FM放送所を開局した。松山･針田ラジオ放送所の放送機，高知･柏尾山テレビ放送所，松山・城山FM放送所など７局の自家発電装置，高知・五台山FM放送所など６局の送信空中線，高知・須崎FM放送所など２局の放送機を更新した。

松山局では西海など５局，高知局では土佐佐賀など４局，徳島局では宍喰など４局，高松局では大内丹生など３局の域内合計16局のテレビ放送所の放送機２台化を行った。

４．緊急報道・選挙報道

「台風27号」「淡路島・震度６弱，西予市・震度５強の地震」「西条市・遺体放置事件」など自然災害や事件・事故などに迅速・確実に対応した。

災害発生時に備え，域内支援ルート調査やIP機材を活用した離島中継，緊急報道機材の運用訓練を実施した。

第23回参議院議員選挙では政見・経歴放送の収録・放送から選挙事務所中継を含む開票速報まで正確で迅速な放送を行った。

５．良好な受信環境の確保

新たな難視対策は，総合通信局，デジサポ四国，地域協議会と連携して新たな難視626地区（5,082世帯）のうち，566地区の対策を完了した。セーフティネット受信地区の恒久対策は，対策未完了60地区のうち，59地区の対策手法を決定した。

NHK共聴設備では，松山・西谷，高知・橋川野など12施設の光化改修工事が完了した。

Ⅲ．視聴者

１．広　報

〔松山局〕

（１）地域番組等の番組広報

中四国シリーズ『海と生きる』の広報には，年間を通じ，さまざまな角度から取り組んだ。

放送予定や関連イベント情報をリリースして新聞・雑誌・ウェブ等への記事掲載を図り，ポスターやパネルを作成し，会館ロビーにPRコーナーを設けた。放送やウェブと連動した関連企画『海めし！～わたしのイチオシレシピ』では，四国の海産物を使った料理を募集し，番組周知を図った。

また，『いよ×イチ』と『えひめ　おひるのたまご』の大型看板を４月から５月にかけて松山市内の繁華街に初めて掲出し，『伊予路てくてく』と『俳句王国がゆく』は各回ごとのチラシを作成するなど，県域・四国ブロックの地域放送番組や松山局制作の全国放送番組などの番組広報にも努めた。加えて，徳島局，高知局，高松局が制作した地域発ドラマの情報発信を当該局とともに行った。

（２）地域の皆さまとの絆を強化

自治体，地元メディアと一体となったイベントをはじめ，多彩な広報イベントを県内各地で実施し，年間を通して幅広い視聴者層に接する機会を持った。

地域のCATVと共催したイベント「わくわく番組体感ランドinよしうみバラ公園」では，地域催事と連動し，今治市島しょ部の吉海町で子ども向けステージショーなどを行った。

公開番組『にっぽん再発見　瀬戸内物語』「私のとっておきの１枚」や，県・松山市・マスコミ各社が催す「えひめ・まつやま産業まつり」と連関し，会館公開「NHKふれあい秋まつり」を11月に開催した。これは13年度より開催時期を３月から移したもので，四国で初めての８Kスーパーハイビジョン公開やダイオウイカを撮影したカメラなど最新の技術機器展示，ステージショーやファミリー向けワークショップなどに，２日間で１万7,000人が来場した。

会館内のアートギャラリーでは，地域の趣味サークルや団体による幅広い分野の展示を，年間44回（うちNHK主催で「NHKテレビ放送60年の歩み展」「ぼくの絵わたしの絵展」等３回）実施し，入場者数は５万2,000人だった。また，団体見学者は小学５年生を中心に129団体4,600人，来局者総数は８万7,000人だった。

その他，松山局制作の番組・イベント，アナウンサーから会館施設まで紹介する総合パンフレットを作成した。

（３）会館見学施設の拡充

来館者の放送への理解を深めてもらうため，従来のファミリー向け展示に加え，１階ロビーにお天気カメラや気象画面を操作できる体験コーナーを新設，スキップバックレコーダーなど災害報道に関するコーナーを２階から移設など，14年度の見学施設の拡充に向けて取り組んだ。

（４）誠実，迅速，的確な視聴者対応と「視聴者からの声」

電話，来局，メール，手紙などによりハートプラザへ寄せられた質問・意見・要望は年間で１万732件にのぼり，各部と連携して迅速に対応するとともに，番組や業務改善などに反映させた。

また，「ふれあいミーティング」を２回実施し，視聴者との意見交換を通じて，番組や公共放送の理解促進につなげた。

〔高知局〕

高知発地域ドラマ『ダルマさんが笑った。』の広報活動を集中的に展開。ロケ取材会や試写会を実施し，新聞・雑誌・ウェブ等に記事掲載を図ったほか，県全域の自治体や交通機関と連携するなど，番組広報に努めた。

また，高知を舞台にした『大河ドラマ』「龍馬伝」の再放送に合わせ，「衣装・パネル展」を独自に実施。イベント来場者・会館見学者向けの記念品や，新たなご当地キャラクター作成などに取り組み，年間を通してより親しまれる放送局を目指した。

〔徳島局〕

６月には地域発ドラマ『狸な家族』に連動する形で「題字・パネル展」を開催。ドラマのメイキングの様子を紹介するパネルや，県内外から応募された600点以上の書道作品を展示した。８月には３日間にわたって阿波おどりイベント「熱演！真昼の阿波おどり」を実施。期間中の猛暑にもかかわらず，出演者と観客を合わせた来館者数は8,000人を超えた。３月には特別会館公開「春のふれあいフェスティバル」を開催。キャラクターショーや三味線や餅つきなど，家族で楽しめるイベントを実施し1,000人近くが来場した。

〔高松局〕

瀬戸内海の島々を舞台に開催された「第２回瀬戸内国際芸術祭」にあわせて，「おいでよ！瀬戸内」キャンペーンを展開した。香川県出身でうどん県副知事役の要潤さんをイメージキャラクターとしたポスターやチラシを制作し，関連番組を積極的にPRしたほか，独自ホームページサイト「せとうち再発見」を開設し，番組や高松局の取り組みを紹介した。

10月に開催した会館公開では，「大河ドラマ巡回展」や「ステージショー」などに大勢の家族連れが来場し，地域の皆さまとの触れ合いを深めることができた。

２．イベント事業

（１）全国放送公開番組

『NHKのど自慢』『BS日本のうた』『ごきげん歌謡笑劇団』『俳句王国がゆく』など20本の全国放送公開番組を四国４県で実施し，１万7,000人余りが来場した。

（２）教育・こどもイベント

「全国学校音楽コンクール」「放送コンテスト」「放送体験クラブ」（四国各局）などの教育イベントを実施するとともに，「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（高知局），「いないいないばあっ！あつまれ！ワンワンわんだーらんど」（高松局），「おかあさんといっしょ あつまれ！土曜日」スタジオ収録（松山局），「ポコポッテイト小劇場」（四国各局）などのこども向けイベントを実施した。

（３）展覧会

「第60回日本伝統工芸展」（松山・高松局）を実施し，地域の文化振興に寄与した。

（４）音楽イベント

15回目を迎え，地元クラシック音楽ファンからも期待の高い「N響松山定期演奏会」（松山局）を実施するとともに，N響メンバーが学校を訪ねる「学校にN響メンバーがやって来た」（松山局）を実施し，地域の音楽文化の振興に寄与した。

（５）福祉・キャンペーンイベント

「NHKハート展」（徳島局），「NHKハートスポーツフェスタ」（松山局），「歳末・海外たすけあい」（四国各局）などのNHKハートプロジェクト関連イベントのほか，「ふるさとの食　にっぽんの食」地域フェスティバル（松山・徳島・高松局），「環境キャンペーン」関連イベント（松山

局），また，南海トラフ巨大地震への備えについて考えるNHK東日本大震災プロジェクト関連イベント「震災から３年～明日へのつどい」や「防災キャンペーン」関連イベント（松山局）など，NHKが取り組む各種プロジェクトと連動したイベントを実施した。

（６）スポーツイベント

「ラジオ体操・みんなの体操会」（松山・高知・高松局）のほか，「各県サッカー選手権大会（天皇杯県予選）」（四国各局），「NHKジュニアスポーツ教室」（高知局），地域放送局杯各種スポーツ大会を実施し，地域のスポーツ文化の振興に寄与した。

（７）地域への貢献イベント

中四国シリーズ特集番組『海と生きる』と連動した「瀬戸内の詩」募集キャンペーン（四国各局）や，「瀬戸内みらいコンサート」（松山局）のほか，小学生が俳句作りを楽しむ『それいけ！俳句キッズ』（松山局）や，『大河ドラマ』「龍馬伝」のBS再放送に合わせ坂本龍馬ゆかりの地を訪ねる「クイズdeウオーク龍馬伝」（高知局），高知発地域ドラマ『ダルマさんが笑った。』の関連イベント「NHKワークショップ“ねんどデはちきん母ちゃん”」（高知局），また，徳島出身の俳優・大杉漣さんと作曲家・住友紀人さんがトークと音楽を通じてふるさとの魅力を伝える徳島局開局80周年記念イベント「ただいま，とくしま！」（徳島局）など，四国の風土や文化を伝えるイベントを実施し，地域文化振興への一助とした。

３．営　業

「平成24～26年度　NHK経営計画」の２年目にあたる13年度は，営業改革の推進により受信料の公平負担に向けた取り組みを展開した。年度前半の前倒しによる業績確保と，受信料制度の理解促進と増収に向けた部門を超えた「プロジェクト810」活動を強化した。

四国ブロックとしては，12年度に引き続き，BS放送の普及，受信状況に応じた契約取り次ぎの拡大と事業所対策を進めることにより，人口や世帯の動態に左右されない地方圏における受信契約数増加モデルの構築に取り組んだ。

具体的には，契約・収納業務における法人委託の拡大に取り組み，受信契約業務実施体制の構造改革を推進した。法人委託事業者は13年度中に新たに４社が加わり，合計９社，13エリアにまで拡大し，契約取り次ぎ数を向上させた。

また，事業所割引制度や業界団体取りまとめを活用した事業所対策にも継続的に取り組むとともに，新たに会社や病院などの「寮」対策も実施した。

さらに，民事手続きによる支払督促を四国ブロック４県とも２回ずつ実施し公平負担の徹底に努めた。

九州・沖縄

◇九州北部豪雨関連，高齢化社会をめぐる問題，飲酒運転問題，いじめ問題，沖縄の基地問題，原発関連，新たな産業・文化の動向など，地域が抱える課題や地域社会の新たな動きを伝えた。また，地域ドラマの制作にも取り組んだ。福岡局は11作目となる『苦くて、甘い～希望の茶』，長崎局では『私の父はチャンポンマン』，そして大分局では３作目となる『そんじょそこら商店街』を制作した。

◇10月11日未明，福岡市博多区の整形外科医院が全焼し入院患者など10人が煙に巻かれ，死亡する火災被害を伝えた。防火扉が作動しなかった。この火事により，小規模診療所に対しても防火扉の点検が義務づけられた。また，国は，スプリンクラーの設置費用をほぼ全額補助する方針を決めた。

◇福岡局では，生字幕設備整備を行い，ローカルニュース番組での生字幕放送を９月30日から開始した。奄美群島喜界島にラジオAM波の夜間難聴改善のため，FM波でラジオ第１を放送する中継局を14年３月３日に開局した。石垣島には，尖閣諸島周辺の航空取材力強化のため，高性能なヘリ映像伝送受信設備を整備した。放送技術研究所と福岡・熊本局とで，８Kスーパーハイビジョンの伝送実験を熊本県人吉市で行い，長距離伝送実験に成功した。

◇営業活動の生産性向上と契約収納体制のさらなる強化，そして受信料値下げへの影響を最小限に抑えるための前倒し活動に取り組んだ。契約収納強化では，法人への業務委託の積極的拡大，また，業界団体やケーブルテレビ事業者等との連携強化など多様な戦力の活用を図った。この結果，九州･沖縄地方における有料契約件数は，431万2,260件となった。

◇地域放送公開番組を42本実施したほか，地域企画イベント，「中国　王朝の至宝」展をはじめとする展覧会，そして食料や環境キャンペーンなどの各種イベントを実施し，およそ112万人の視聴者とのふれあいを行った。

◇14年の『大河ドラマ』「軍師官兵衛」は，九州では福岡と大分が舞台となることから，福岡局は，大河ドラマPR隊「軍師官兵衛一座」を結成，そして大分局では，12月に中津市で「黒田サミット」を開催しPRした。佐賀局では，肝臓がん全国ワースト１位のため，「ストップ！肝がん」キャンペーンを通年で行った。鹿児島局では「奄美群島本土復帰60年」「桜島大正噴火100年」という節目にあたり，さまざまな活動を行った。

Ⅰ．放　送

１．放送の概要

（１）地域放送

平日夕方６時台のニュース番組や金曜夜７・８時台の番組など定時番組の定着を目指すとともに，多様な特集番組とあわせて地域放送の充実・強化を図った。

平日夕方６時台のニュース番組は，九州・沖縄向けのニュースを新設したのをはじめ，地域の動きや課題を掘り下げて伝え，人々の暮らしに役立つ情報の提供に努めるとともに，アジア情報も発信して，視聴者の関心に応えた。なお，北九州局，沖縄局が番組をリニューアルした。

金曜夜７時台は，原則第２週を各県ごとの放送としたほか，ブロック放送では報道番組『特報フロンティア』を放送，九州北部豪雨関連，高齢化社会をめぐる問題，Jリーグやプロ野球関連，飲酒運転問題，いじめ問題，沖縄の基地問題，原発関連，新たな産業・文化の動向など，九州・沖縄地域が抱える課題や地域社会の新たな動きを取り上げた。金曜夜８時台は，九州・沖縄各地の魅力的な人物や文化・自然など地域の情報を，さまざまな切り口で親しみやすく紹介するスタジオベースの地域情報バラエティー番組『きん☆すた』を編成した。さらに，この時間帯では，地域の“いま”とそこに住む人々の絆を描くドラマや，地元で人気のプロ野球「福岡ソフトバンクホークス」の試合中継など，多彩な番組を編成した。

また，アジアの中の九州・沖縄を新たな視点で捉える『ガチアジア』を新設，木曜夜10時台に年間を通して随時放送した。

このほか，戦争と平和について考える番組や，防災関連の番組，地域イベントと連動した番組など，多様な特集番組を編成し，地域視聴者の期待・関心に応えた。

（２）全国発信

〔テレビ〕

『NHKスペシャル』や『クローズアップ現代』『ETV特集』『地域ドラマ』など多様な番組を九州・沖縄各局が全国発信した。

『NHKスペシャル』

「終わりなき被爆との闘い～被爆者と医師の68年」（G，8.6）／被爆者の間で「第２の白血病」と呼ばれる病気の解明に取り組んできた広島・長崎の医師たちの日々に密着し，その実態に迫った。

シリーズ“ジャパン ブランド”「第１回“食と農”に勝機あり」（G，1.11），「第２回“日本式”生活インフラを輸出せよ」（G，1.12）／これからの日本が成長の糧にできる「強み」とはいったい何なのか２夜連続で探った。第１夜は「食と農」をテーマに，第２夜は「グリーン・ジャパン」の最前線を描いた。（部分参加）

「返還合意から18年　いま“普天間”を問う」（G，1.24）／転機を迎えている普天間基地の移設問題について，政府・沖縄県・地元住民を取材し，検証を行った。

『クローズアップ現代』

「国境の海で魚が消える～追跡・中国虎網漁船」（G，4.4）／近年，水産資源をめぐる攻防が激化している東シナ海。国境の海で今何が起きているのか，真相に迫った。

「“偽装質屋”狙われる高齢者たち」（G，4.11）／100円ショップの商品を質草に，10万円もの金を貸し付ける“偽装質屋”。実質的な担保は高齢者の年金。質屋を装うヤミ金の実態に迫った。

「追跡　再生医療トラブル～体性幹細胞治療の闇」（G，6.25）／再生医療のひとつ「体性幹細胞治療」。研究段階でその効果がはっきりしないなか，副作用などトラブルも起きている。知られざる幹細胞医療の実態を追った。

「黒煙が高齢者を襲った～検証・福岡医院火災」（G，10.15）／福岡市の医院で起きた火災で，煙による一酸化炭素中毒で多くの犠牲者が出たのはなぜか，防ぐ事はできなかったのか検証した。

「動きだした水銀規制～水俣の教訓をどう生かす」（G，11.7）／知られざる水銀輸出国，日本。先日採択された「水俣条約」により，今後水銀の国際取引は規制される。有毒物の水銀をいかに安全に国内で管理，処分していくかを検討した。

「揺れる巨大医療グループ　徳洲会・不正選挙の実態」（G，11.14）／独自に入手した内部資料や関係者の証言から，民間医療グループ「徳洲会」による不正選挙の実態に迫った。

「明らかになる古代の“日韓外交史”」（G，12.2）／福岡県の古墳から，６世紀当時に敵対していた朝鮮半島の新羅産とみられる金銅製馬具が発見された。豪華な埋葬品から古代の多元的な「半島と日本」の外交の実像に迫った。

「“親子”になりたいのに…～里親・養子縁組の壁」（G，1.15）／虐待や育児放棄で施設に暮らす子供と，晩婚化で不妊に悩む夫婦が共に急増しているが，「親子になりたい」という願いがかなうのはわずかだ。なぜか，何が必要か探った。

「原発事故にどう備えるか　検証　避難計画」（G，3.5）／再び原発事故が起きた場合に，住民の命をどう守るのか。１万人アンケートを基に福島の避難の実態を取材。全国の原発立地自治体の取り組みと共に検証した。

『プロフェッショナル　仕事の流儀　アフリカの大地、志で駆ける　医師・国際NGO代表・川原尚行』（G，9.16）／内戦が続くアフリカ・スーダンで８年にわたり医療支援を続ける川原尚行。型破りな行動力で地方の無医村に飛び込み，文化や宗教の垣根を越え治療に挑む日々に密着した。

『仕事ハッケン伝　村上健志×市役所職員』（G，7.11）／フルーツポンチ・村上健志が，就業した先は北九州市役所フィルム・コミッション担当課。映画誘致を地方再生の起爆剤にしようと奮闘するスゴ腕公務員の現場に飛び込んだ。

『ドキュメント72時間』

「飛べ！イプシロン」（G，9.27）／世界中から注目を集めたロケットの打ち上げイベントに揺れた小さな町の悲喜こもごもの様子を記録。

「沖縄　眠らない床屋」（G，3.7）／沖縄・那覇にある24時間営業の床屋。髪を切られる男たちが漏らす「沖縄人のつぶやき」に耳を傾けた。

『ドキュメンタリー同期生　俺たちは、歌い続ける～福岡ライブハウス“照和”73年組』（G，12.25）／福岡のライブハウス「照和」。チューリップや海援隊など数々のスターを生んだ伝説のステージ。全盛期の70年代にここで歌った仲間たちのその後を一枚の写真からたどった。

『ドキュメント20min.　廃虚マンションは大騒ぎ～アートが街にやってきた』（G，1.3）／大分市街の廃虚マンションに全国各地の現代美術家が大集合。市民とともに，寂れて見えるモノや街に輝きを再発見した。

『ETV特集』

「沖縄“所有者不明土地”が語る戦後」（E，6.22）／沖縄に残る「所有者不明土地」。戦争で記録が失われ，所有者不明のまま放置されてきた土地だ。戦争と基地に翻弄され続けてきた沖縄の歴史と記憶をたどる。

「三池を抱きしめる女たち～戦後最大の炭鉱事故から50年」（E，11.30）／三池炭鉱の爆発事故

から50年。今も後遺症に苦しむ人たちがいる。病気を抱えた夫を支えてきた妻たちの半世紀を追った。

『趣味Do楽　めざせカラオケ王（キング）！広瀬香美のボーカル・レッスンPART2』（全８回）（E／12.3，10，17，24，1.7，14，21，28）／広瀬香美さんが歌の指導を行うシリーズ第２弾。生徒は荻原次晴さん，熊谷真実さん，高橋真麻さん。

『アスリートの魂』

「新たな自分へ　バドミントン　垣岩令佳」（BS1，5.13）／ロンドン五輪で銀メダルを獲得したバドミントンの垣岩令佳選手。藤井選手とのペア解消後，プレイヤーとしての自立を目指し挑戦を続ける垣岩選手に密着。

「不屈のストライカー　サガン鳥栖　豊田陽平」（BS1，7.8）／サガン鳥栖のFW豊田陽平選手。高さとスピードを併せ持つ点取り屋だ。逆境を乗り越え，屈指のストライカーへと成長した強さの秘密とサッカーへの熱い思いに迫った。

『新日本風土記』

「霧島連山」（BSP，5.10）／霧島連山は日本書紀などの神話ゆかりの山々が連なる火山地帯。湧き水や温泉，そして火山灰で育つさつまいもにより発展した芋焼酎文化などを紹介。

「屋久島」（BSP，7.26）／世界遺産登録から20年目になる屋久島。かつては大規模な林業が行われ，島の人々の生活を支えた。今も山を敬い山と共に暮らす人々の姿を見つめる。

「阿蘇」（BSP，11.1）／日本最大のカルデラ・阿蘇。火山を畏れ，祈りをささげ，その恵みを受けながら，活火山と共に生きる人々。脈々と受け継がれていく人々の営みを見つめる。

「長崎の島々」（BSP，11.22）／古来，海外との交易で栄え，文化を吸収してきた長崎の島々。国境の地として時代の最先端をいく一方，独自の文化を育んできた。日本の歴史が詰まったタイムカプセルをいく。

『さだまさし　東北へのメッセージ』（BSP，8.25）／さだまさしが，長崎から東北へエールを送った，復興支援コンサート（8.4）をハイライトで伝えた。

『プレミアムドラマ　大分局発地域ドラマ　そんじょそこら商店街』（BSP，3.12）／大分県豊後高田市。客無し，魅力無しの商店街で始まった，ホンキでホントの宝探し…寂れた商店街を「昭和の町」として生まれ変わらせた実話に基づく物語。

『プレミアムドラマ　長崎局発地域ドラマ　私の父はチャンポンマン』（BSP，12.18）／長崎県小浜温泉。名物・小浜ちゃんぽんを売り込むご当地ヒーロー“チャンポンマン”の町おこし物語。家族や地域の絆を再生していく，笑いあり涙ありの痛快ドラマ。

このほか，『平成25年 沖縄全戦没者追悼式』（G，6.23）や『平成25年 長崎平和祈念式典』（G，8.9）の生中継をはじめ，『目撃！日本列島』『うまいッ！』『のんびりゆったり路線バスの旅』，『あさイチ』枠内コーナー，『ひるブラ』『地方発　ドキュメンタリー』『ハートネットTV』などで全国発信した。また，「諫早湾開拓開門問題」や「普天間基地移設」など，九州・沖縄ブロック向けの番組で取り上げたテーマを，全国向けニュースなどにも展開した。

〔ラジオ〕

定時番組の『博多屋台こまっちゃん」（福岡局制作）や『沖縄熱中倶楽部』（沖縄局制作）をはじめ，『平成25年 沖縄全戦没者追悼式』（R1，6.23）や『平成25年 長崎平和祈念式典』（R1，8.9）の生中継，ラジオ第１放送『NHKジャーナル』『ラジオ深夜便』『ここはふるさと旅するラジオ』，FM放送『今日は一日〇〇三昧』などで全国発信した。

『博多屋台こまっちゃん』（R1，毎月第４水曜）／小松政夫さんが屋台の大将という設定で，常連客であるNHKアナウンサーが九州・沖縄で活躍する各界の人々を連れて屋台を訪ねるという番組。13年度は11回放送。

『沖縄熱中倶楽部』（R1，毎月最終土曜）／「思わず行きたくなる沖縄」をキーワードにしたカルチャーエンターテインメント番組。ガイドブックにはない食や暮らしのちょっといい話，名所や名物，最新の沖縄音楽まで，奥深い沖縄ワールドの一端を，うんちくたっぷりに紹介した。

『日系人たちの沖縄戦～ハワイ　戦後68年　今語られる真実』（R1，8.15）／９万人以上もの民間人が命を失った沖縄戦。悲惨な地上戦では，米軍の一員としてアメリカから連れてこられた日系人も少なくなかった。これまであまりなかった「日系人の視点」からの沖縄戦を体験者の証言でつづった。

このほか，『佐賀発ラジオ深夜便』（R1，5.31），『奄美発ラジオ深夜便』（R1，12.27），『福岡発ラジオ深夜便』（R1，2.1）などで，各地の話題を全国に発信した。

（３）選挙報道

13年７月の参議院選挙は，前年末の衆議院選挙で大勝した自民党が勢いを維持する一方，政権を失った民主党は，候補者の擁立が遅れた。また，衆議院選挙で躍進した，いわゆる第三極の「日本維新の会」と「みんなの党」は，選挙協力が不調に終わった。このため，事前の情勢取材や各種調査では，九州各県で自民党候補が極めて優勢な情勢で，沖縄を除く７つの選挙区で，投票終了と同時に，自民党候補に当選確実を打ち出した。民主党は，第三極が分裂したことに乗じて，福岡の２議席目を辛うじて確保するにとどまった。一方，沖縄選挙区では，こう着状態が続く普天間基地の移設問題や，主権回復を記念する式典を巡る政府との認識のギャップが影を落とし，自民党の新人と社会大衆党の現職の競り合いとなった。NHKでは，管内各局から応援態勢を組み，綿密な開票所取材を実施して，社会大衆党の現職の当選確実を他社に先駆けて打ち出した。

14年１月には，普天間基地の移設先となっている沖縄県の名護市で市長選挙が行われた。名護市辺野古への移設に反対している現職に対し，移設推進を掲げる新人が立候補し，移設計画の是非が最大の争点となった。政府・自民党のほか，13年末に辺野古沿岸部の埋め立てを承認した沖縄県の仲井眞知事が，新人候補を全面的に支援したが，野党が一致して支持した現職には及ばなかった。現職は，市長の権限を活用して，移設計画にストップをかけたいとしていて，計画の行方に影響を与えることも予想される。NHKでは，綿密な情勢取材を行うとともに，管内各局から応援態勢を組んで，的確に当選確実を打ち出したほか，選挙戦の意義や，選挙結果の与える影響などについて，きめ細かく伝えた。

このほか，九州・沖縄では，２月に長崎県知事選が行われたほか，10月と１月には，それぞれ県庁所在地の佐賀市と宮崎市で市長選挙が行われた。佐賀市長選では，現職と新人の競り合いとなり，最終盤で現職の当選確実を伝えた。他の２選挙は，現職が圧倒的に優勢で，投票終了直後に当選確実を報じた。

（４）事件，事故，災害

13年10月11日未明，福岡市博多区の整形外科医院が全焼し入院患者など10人が煙に巻かれて死亡した。火元は１階の部屋のコンセント周辺で，煙や熱を感知して自動で閉まる防火扉が作動しなかったことが被害を拡大させたと見られている。警察は業務上過失致死傷の疑いで捜査を続けている。この火事をきっかけに，小規模な診療所でも，防火扉の点検が義務づけられたほか，国がスプリンクラーの設置費用をほぼ全額補助する方針を決めるなど，防火対策が強化された。

11月３日，失業者が職業訓練を受けながら生活費を受け取れる国の雇用対策制度を悪用して800万円余りをだまし取ったとして，指定暴力団・同仁会系の暴力団幹部が逮捕された。この制度は審査が甘く，各地で不正が相次いでいたが暴力団の関与が明らかになったのは今回が初めてだった。最終的な被害額は2,000万円に達し，逮捕者もおよそ30人に上った。

14年２月４日，福岡市中央区の繁華街で乗用車が暴走，９台の車に次々に衝突して15人がけがをした。車に乗っていた２人は「脱法ハーブを吸った」と話し，脱法ハーブと見られる乾燥植物が見つかった。警察は，危険運転致傷罪の適用を目指して捜査を続けている。脱法ハーブを吸ったドライバーによる事故は全国で相次いでいるが，この事故では，異常な暴走の様子を視聴者が撮影していて，その映像を使ったニュースは脱法ハーブの危険性を改めて訴えるものとなった。

1992年に福岡県飯塚市で女児２人が殺害された事件で，すでに死刑が執行された元死刑囚の家族が求めていた再審請求に対し，福岡地裁は，３月31日，再審を認めない決定を出した。弁護団は，決定を不服として福岡高裁に即時抗告の手続きを取り，今後，高裁で改めて当時のDNA鑑定や目撃証言の信用性などについて審理される。死刑が執行された事件で再審が認められたことはなく，再審開始決定となれば死刑制度を巡る議論に影響を与えることになり，今後の審理が注目される。

九州・沖縄の各地では，１時間100ミリ前後の記録的豪雨を観測するなど，たびたび大雨に見舞われた。減災報道に万全を期すため，各局とも特設番組や逆L字画面での字幕スーパーなどを通して，防災情報を伝えた。

台風の接近は九州が３回，沖縄９回で，このうち台風17号が９月４日に鹿児島県指宿市付近に上陸した。このときに宮崎市のほか南九州市でも解析雨量が100ミリに達した。10月に伊豆大島で大規模な土砂災害があったことを受けて，沖縄に台風27号が接近した際には南大東島に記者・カメラマンを派遣し，中継も行った。

鹿児島市の桜島は活発な活動が続いている。13年の爆発的な噴火は835回，４年連続で800回を超えた。専門家は，直ちに大噴火が起きる兆候はないものの，近い将来は大噴火が起きる可能性があ

ると指摘している。NHKが気象庁気象研究所に依頼して行ったシミュレーションでは，降灰だけで鹿児島市都市部で80センチ以上積もり，都市機能が大混乱するおそれがあり，全国に飛散して各地で交通機関がマヒすることが浮き彫りとなった。また，熊本県の阿蘇山でも14年１月に２年７か月ぶりの小規模な噴火が観測された。

14年３月には，国が南海トラフ巨大地震に備えて防災対策を強化する「推進地域」に九州・沖縄で６県116市町村を指定し，特に津波対策を強化する「特別強化地域」に大分・宮崎・鹿児島県の22の市と町を指定した。

２．地域放送番組

（１）定時番組

〔九州・沖縄ブロック番組〕

『おはようサタデー九州沖縄』　G

土　7:35～ 8:00

第１回93.4.10／九州・沖縄ブロック／九州・沖縄を舞台に活躍する人たちにじっくりと話を聞く「サタデートーク」や各地からの中継，「西日本の旅」，地域の週末情報などで構成。

『特報フロンティア』　G

金　19:30～19:55

㊐日　7:45～ 8:10

第１回11.4.1／第１，３～５週：九州・沖縄ブロック／スタジオをベースに，九州・沖縄地域の課題や，人々が注目する出来事に正面から向き合い，検証や提言を行う報道番組。九州北部豪雨関連，高齢化社会を巡る問題，Jリーグやプロ野球関連，飲酒運転問題，いじめ問題，沖縄の基地問題，原発関連，新たな産業・文化の動向など，地域の人々にとって身近で重要なテーマをタイムリーに，分かりやすく掘り下げて伝えた。第２週は各県域の番組を編成。／各局タイトル：『特報フロンティア』(福岡),『北九州×クロス』(北九州),『くまもとの風』(熊本・第２週以外あり),『長崎人（じげもん)』(長崎),『かごしま熱風録』(鹿児島),『いっちゃがゴールド』(宮崎・第１週に編成),『宮崎熱時間』(宮崎),『ドキュメント挑』(大分),『佐賀イズム』(佐賀),『きんくる～沖縄金曜クルーズ』(沖縄),『沖縄の歌と踊り』(沖縄)

『きん☆すた』　G

金　20:00～20:43

㊐翌週土　10:05～10:48

第１回11.4.8／九州・沖縄ブロック／スタジオベースの地域情報バラエティー番組。“見ると元気になる”痛快な番組を目指し，九州・沖縄の一番すごい人やモノ，各地の文化や自然などの地域情報を，さまざまな切り口で取り上げた。毎回，番組の見どころを紹介するプレオープニングを19:55～19:58で編成。

『ガチアジア』　G（年４本）

木　22:00～22:43

再放送は随時

第１回13.4.25／九州・沖縄ブロック／九州・沖縄地方は，歴史的にも常にアジアと最前線で向き合ってきた。また，アジアからの優れた文化を先進的に取り入れ，全国に流布させる役割も担ってきた。アジアの地図を逆さまに眺めながら，現在進行形の九州・沖縄とアジアとの関係を捉え直す知的教養エンターテインメント番組。

『おはよう九州沖縄』　R1

月～土　7:40～ 7:58

九州・沖縄ブロック／九州・沖縄のニュースや気象・交通情報，地域のホットな話題で構成する生活情報番組。

〔県域番組〕（一部九州・沖縄ブロック）

『NHKニュース　おはよう日本』　G

福岡県域，各局単	月～金	7:45～ 7:51
	土	7:30～ 7:35
九州・沖縄ブロック	月～金	7:51～ 8:00

第１回93.4.5／福岡県域・各局単の時間帯は，各県のニュース・気象情報。ブロック時間帯は，各局のネットワークを生かした広域ニュースやリポート，各地の朝の表情を伝える中継などで構成。

『はっけんTV』　新　G

九州・沖縄ブロック	月～金	11:30～11:45
福岡県域	月～木	11:45～12:00
福岡単	金	11:45～12:00

第１回13.4.03／九州・沖縄“８県（はっけん)”の今を“発見（はっけん)”する番組として新設。各県の市町村の話題や行楽・イベント情報，我がまち自慢など，九州・沖縄のネットワークを生かして生放送で伝えた。福岡・北九州局は，11:45から引き続き県域（金曜は単）で，料理や健康など暮らしに役立つ身近な情報を伝えた。／各局タイトル：北九州局『きたきゅう　たいむ』，熊本局『テレメッセくまもと』，長崎局『ながさきナビゲーター　ヒルミテ』，鹿児島局『ひるまえクルーズかごしま』,宮崎局『昼前ホットみやざき』，大分局『好きっちゃ　おおいた』，佐賀局『ひるまえ情報便』，沖縄局『沖縄ちゅらTV（新設)』

『熱烈発信！福岡NOW』　G

福岡単　月～金　18:20～18:59

第１回11.4.4／単／13年度から18:10～18:20，管中ニュース（除く鹿児島，沖縄）を新設したため，開始時間を18:20とした。コンセプトは「今日にこだわり，明日を見つめる」「見たい，知りたいに，とことん応える」。福岡の１日の動きや事件・事故等の最新情報，人々の暮らしに直結する県内のさまざまな重要課題の行方，東京や世界などの動きと福岡との関わり，アジア情報，スポーツ情報，街角情報などを分かりやすく伝えた。

福岡局以外の各放送局も同時間帯にニュース番組を編成。北九州局と沖縄局が番組をリニューアルした。各局タイトル／北九州局『ニュースブリッジ北九州』，熊本局『クマロク！』，長崎局『見んと！長崎』，鹿児島局『情報WAVEかごしま』，宮崎局『ニュースWAVE宮崎』，大分局『しんけんワイド大分』，佐賀局『ニュースただいま佐賀』，沖縄局『おきなわ　HOT eye』。（鹿児島と沖縄は18:10～）

『ふく！なび』　G

福岡単　（月２本）水　20:43～20:45ほか

第１回11.10.12／福岡単または福岡県域／視聴者に親しまれる放送局を目指し，福岡局のさまざまな取り組みを紹介する経営広報番組。地域放送の目玉番組やデジタル放送の魅力，営業活動，イベント展開など，“いま知ってもらいたい福岡局のイチ押しの取り組み”を紹介した。

『玄海竜二踊る』（４分ミニ番組）　**G**

熊本単　第１・３土　12:40～12:44ほか

『くまべん』（５分ミニ番組）　**G**

熊本単　第２・４土　12:40～12:45ほか

『くまもとの石橋』（２分ミニ番組）　**G**

熊本単　第２・４土　20:43～20:45ほか

『PEOPLE・ぴーぷる』（４分ミニ番組）　**G**

熊本単　第２土　13:50～13:54ほか

『かごしまの夕べ』　FM

鹿児島単・毎月最終木　17:20～18:00

『宮崎　夢追い人』（５分ミニ番組）　**G**

宮崎単　12:40～12:45

『YUYAのオーレ！サガン鳥栖』　R1

佐賀単　月　19:45～20:00

『めざせ！佐賀博士』（５分ミニ番組）　**G**

佐賀単　隔週土 12:40～12:45ほか

『有田焼いろは』（５分ミニ番組）　**G**

佐賀単　隔週土 12:40～12:45ほか

『うちなーであそぼ』（５分ミニ番組）　**E**

沖縄単　月　17:25～17:30ほか

（２）特集番組

〔九州・沖縄ブロック〕

『大相撲九州場所前夜祭』　G

（福岡）11. 8／22:00～22:48

『音キュー！ミュージックライブ』　G

（福岡）　5.23／22:00～22:48

『平成25年沖縄全戦没者追悼式～沖縄県糸満市・平和祈念公園から中継』　G

（沖縄）　6.23／11:45～11:54

※12:15～12:45で全国放送。沖縄は県域向けに11:54～12:15でマルチ編成

『特別番組　沖縄　慰霊の日』　G

（沖縄）　6.23／18:10～18:45

『人間国宝　十四代酒井田柿右衛門さんをしのぶ』　G　（佐賀）　6.29／10:50～11:15

『九州沖縄特集～えん旅！南こうせつ　日田市をゆく』　G　（福岡）　7. 5／20:00～20:43

『九州沖縄特集～戦後史証言　水俣～戦後復興から公害へ』　G　（福岡）　8.24／15:05～16:04

『九州沖縄特集～さだまさし　長崎から東北へ～復興支援コンサート』　G

（福岡）　9.13／20:00～20:43

『生中継　めしあがれ！九州ご当地グルメ～2013九州B－１グランプリin日田～大分県日田市から中継』　G

（大分）　9.14／10:05～11:53

『九州沖縄特集～三池を抱きしめる女たち～戦後最大の炭鉱事故から50年』　G

（福岡）12.29／　8:00～　8:49

『九州沖縄特集～第12回NHK朗読と音楽の夕べ～黒田官兵衛を読む』　G

（福岡）1.11／10:05～11:18

『九州沖縄特集～石に刻まれた巨大災害～桜島大噴火100年　その時何が』　G

（福岡）　2. 1／15:05～15:48

『黒田官兵衛とその時代』　G

（福岡）22:45～22:50

12.11，1. 8，22，2. 5，26，3. 5，12，24

『方言バラエティー　あ～ね！』　G

（福岡）3.28／22:55～23:20

〔県域番組〕

〔福岡局〕

『ふっくがゆく　NHKどんたく広場』　G

県域　5. 3／12:15～12:43

『ふっくTV　ふくおかをカンガェル』　G

県域　5. 6，3.20／19:30～19:55

『博多祇園山笠2013～福岡市・櫛田神社から中継』　G　県域　7.15／ 4:30～ 6:00

『中継スペシャル　大濠花火大会』　G
県域　8. 1／20:00～20:45
『ガクラジ　イン　中村学園大学』　FM
県域　11. 3／14:00～15:59
『熱烈発信！福岡この１年』　G
福岡単　12.28／18:10～19:00
『ライフサポーター　あなたを守る防災ラジオ』
R1　県域　3. 8／12:15～12:55
〔北九州局〕
『ニュースブリッジ北九州～年末ハイライト』
G　12.27／18:10～19:00
〔熊本局〕
『くまもとの風スペシャル』　G
「新たな自分へ～バドミントン　垣岩令佳」
6. 7／20:00～20:44
「究極のお弁当対決！！“くまべん”夏の陣」
7. 5／20:00～20:43
「証言記録　チッソと水俣～戦争復興から公害へ」　9. 6／20:00～20:43
「究極のお弁当対決！！“くまべん”秋の陣」
10. 4／20:00～20:43
「カントリーゴールド2013～25回目の“約束の日”」　11. 1／19:30～20:59
「阿蘇～火と水の大地で生きる」
1.10／20:00～20:43
『NHK・美術館コンサート』　FM
5.24,　9.13,　1. 9,　10,　2.28／18:00～18:50
『特別番組　２度の豪雨災害からの教訓～白川大水害から60年・九州北部豪雨から１年』
R1　6.21／12:30～13:00
『防災・命のラジオ2013～防災とまちづくり』
R1　9. 2／12:20～13:00
『朗読×JAZZ　夏目漱石「夢十夜」より』　FM
12.20／12:30～13:00
『クマロク！年末スペシャル2013　ともに　あしたへ』　G　12.27／17:44～19:00
『フォーラム認知症新時代in熊本　いきいきと暮らすために～医療・介護・地域の支え合い』
G　2. 1／10:05～10:48
〔長崎局〕
『被爆体験記 朗読シリーズ「ナガサキ 被爆の記憶」（１）～（16）』　R1・FM
7.22／11:55～12:00ほか
『さだまさし　野外コンサート2013』　G
8. 4／16:00～18:45
『NHK長崎開局80周年記念公開番組～ありがとう80年★ありがとう長崎』　G
9.28／14:00～15:00
『生中継！長崎くんち2013』　E
10. 7／ 7:00～10:15
『見んと！長崎　年末ハイライト』　G
12.27／18:10～19:00
『V・ファーレンJ2開幕特番　徹底討論　どうなる？ことしのV・ファーレン長崎』　G
2.28／19:30～20:43
〔鹿児島局〕
『かごしま大作戦』　G　20:00～20:43
「南さつま市の“春”をたずねよう」　4. 5
「みんなのドラマを作ろう」　5.10
「垂水市で究極の“水”を探せ」　6. 7
「水族館の１日を楽しもう！」　7.12
「“最後の運動会”を楽しもう！」　10. 4
「鹿大祭で“青春”を探せ！」　11.29
「“初午祭”の魅力に迫れ！」　1.24
「指宿でおもてなしの心を学べ！」　3. 7
『かごしまスペシャル　防災シンポジウム2013～8.6豪雨災害　20年目の教訓』　G
6.14／19:32～20:43
『第18回かごしま郷土芸能～輝き続ける　ふるさとの宝』　G　12. 6／20:00～20:43
『ひるまえクルーズかごしま　年末スペシャル』
G　12.27／17:10～17:34
『情報WAVEかごしま　年末奄美スペシャルハイライト』　G　12.27／17:35～19:00
『かごしまスペシャル“きょらの郷（しま）”から歌い継ぐ～奄美・日本復帰60年コンサート』
G　1.17／19:30～20:43
『桜島に抱かれて』　G　1.19／ 7:45～ 8:00
〔宮崎局〕
『VOICE（favorite song）』　FM
5.25／19:20～21:00
『NHK・MRT・エフエム宮崎　３局合同防災ラジオ2013』　R1　5.29／12:30～13:54
『みやざきスペシャル　延岡学園　準優勝特番』
G　9. 5／22:00～22:48
『MIYAZAKI DRUMMER'S CLUB LIVE VOL.7』　FM　10.12／19:20～21:00
『みやざきスペシャル　宮崎を食べようスペシャル』　G　11.22／20:00～20:43
『宮崎FM特集　30年目の“F”～大韓航空機撃墜事件追悼コンサート』　FM
12.7／20:10～21:00
『宮崎FM特集　ザ・ジャズ・レジェンド　与世山澄子』　FM　12.26／23:25～ 1:00
『みやざきスペシャル　宮崎スポーツ王国～スーパー小中高生大集合』　G 12.29／12:15～12:58

〔大分局〕

『ぶんラジ〜迫る！名軍師・黒田官兵衛』　R1
4.22／20:05〜20:55

『防災ラジオ2013〜豪雨災害からの教訓』　R1
8.30／12:20〜12:57

『大分スペシャル〜熱く燃える島・姫島の旅』　G
9.13／19:30〜19:55

『３局合同ラジオ特番〜2013 STOP飲酒運転』　R1
12. 6／12:20〜12:57

『しんけんワイド大分　年末スペシャル〜おおいた再発見　そして未来へ』　G
12.27／16:55〜19:00

『大分の新成人が選ぶ、大人になっても歌いたい歌ベスト10！』　FM
1.12／17:00〜18:50

『もうひとつの“そんじょそこら商店街”〜豊後高田が燃えた２週間』　G
3. 7／19:30〜19:55

『大分スペシャル〜未来に育て！大分っ子』　G
3. 7／20:00〜20:43

『大分県民が選ぶ、卒業式で歌いたい歌ベスト10！』　FM
3.21／14:00〜17:00

〔佐賀局〕

『人間国宝　十四代酒井田柿右衛門さんをしのぶ』　G
6.28／19:30〜19:55

『ボクたちの大一番〜唐津青翔高校相撲部』　G
8.30／22:55〜23:20

『生中継！唐津くんち2013宵ヤマ』　E
11. 2／20:00〜21:30

『ラジオ版　YUYAのオーレ！サガン鳥栖　公開生放送スペシャル』　R1
11. 9／13:00〜13:55
14:00〜15:00

『さがスペシャル』　G
「二人の首長〜玄海原発・運転再開に苦悩する男たち」
11.22／20:00〜20:43
「歌王さが・カラオケのど自慢〜決勝大会」
3. 7／19:30〜20:43

『ひるまえごはん年末スペシャル〜運気アップ料理ご紹介』　G
12.27／11:30〜11:54

『ニュースただいま佐賀2013年末スペシャル〜佐賀の一年を振り返る』　G
12.27／17:10〜18:00
18:10〜19:00

『ラジオ版　YUYAのオーレ！サガン鳥栖　開幕直前SP』　R1
2.28／21:05〜21:55

『サガン鳥栖応援番組〜帰ってきた！しゃべくりサガン三昧』　G
3.24／22:55〜23:20

〔沖縄局〕

『沖縄の歌と踊り』　G
「沖縄の歌と踊りスペシャル〜歌劇･渡地物語」
8.24／10:05〜11:18
「正月特集　沖縄民謡の名曲に舞う」
1. 1／12:15〜12:53

『LIVE届け！沖縄の風』　G
10.11／19:30〜20:43

『沖縄ちゅらTVスペシャル〜クリスマス料理を紹介』　G
12.25／11:30〜11:54

『おきなわ HOT eye　年末ハイライト』　G
12.27／18:00〜19:00

『ダン☆バト』　G
3. 1／10:05〜10:48

〔各局共通〕

『第80回NHK全国学校音楽コンクール』

〔九州・沖縄ブロック〕

九州・沖縄ブロックコンクール
小学校・中学校・高等学校
E　9.28／14:00〜17:00

〔各県域〕

福岡県コンクール
小学校・中学校・高等学校
FM　9. 1／14:00〜18:50
小学校・高等学校　E　9. 7／12:30〜15:00
中学校　E　9.14／12:30〜14:58

熊本県コンクール
小学校　FM　8.19〜20／18:00〜18:50
中学校　FM　8.21〜22／18:00〜18:50
中学校・高等学校　FM　8.23／18:00〜18:50

長崎県コンクール
小学校・中学校・高等学校
FM　8.31／14:00〜18:00
E　9. 1／15:00〜16:58

鹿児島県コンクール
小学校・中学校・高等学校
E　8.31／12:30〜14:52

宮崎県コンクール
FM　8.26〜 8.30／18:00〜18:50
E　9. 7／13:00〜15:00

大分県コンクール
FM　9. 1／14:00〜17:00

佐賀県コンクール
小学校・中学校・高等学校
E　8.24／12:00〜14:00
小学校・中学校・高等学校
FM　8.25／ 9:00〜11:00

沖縄県コンクール
小学校　E　8.24／ 9:30〜11:00

中学校・高等学校　　E　8.24／12:00～13:29

３．スポーツ中継

〔高校野球〕

〔九州・沖縄ブロック〕

第133回九州地区高校野球大会

準々決勝	R1／10.28
準決勝	R1／10.30
決勝	R1／10.31

〔県域〕

NHK旗（杯）高校野球大会

福岡県大会	R1／ 5.12，18～19
熊本県大会	R1・FM／ 5.30，6. 1～ 2
長崎県大会	R1／ 6. 7
鹿児島県大会	R1／ 5.27～28，30～31
	G・E／ 5.30～31，G／ 5.31
宮崎県大会	R1／ 6. 5～ 6
佐賀県大会	R1／ 6. 3，5，G／ 6. 5

第95回全国高校野球選手権大会・地区大会

福岡大会	準々決勝	G・E・R1／ 7.23～24
	準決勝	G・E・R1／ 7.26
	決勝	G・E・R1／ 7.28
熊本大会	４回戦	R1･FM／ 7.16～18
	準々決勝	R1･FM／ 7.19～20
	準決勝	G・E・R1･FM／ 7.22
	決勝	G・E・R1･FM／ 7.24
長崎大会	準々決勝	R1・FM／ 7.17
	準決勝	G・E・R1／ 7.20
	決勝	G・E・R1／ 7. 2
鹿児島大会	４回戦	R1・FM／ 7.17～18
	準々決勝	R1／ 7.19～20
	準決勝	G・E・R1・FM／ 7.22
	決勝	G・R1／ 7.23
宮崎大会	３回戦	R1・FM／ 7.13
		R1／ 7.14
	準々決勝	R1・FM／ 7.16～17
	準決勝	G・E・R1／ 7.19
	決勝	G・E・R1・FM／ 7.20
大分大会	準決勝	G・E・R1・FM／ 7.22
	決勝	G・E・R1・FM／ 7.23
佐賀大会	３回戦	R1・FM／ 7.13～14
		R1／ 7.15
	準々決勝	R1・FM／ 7.16～17
	準決勝	R1／ 7.20
	決勝	G・R1／ 7.21
沖縄大会	３回戦	R1／ 7.13～14
	準々決勝	R1／ 7.15
	準決勝	G・E・R1／ 7.20
	決勝	G・R1／ 7.21

〔プロ野球〕

〔九州・沖縄ブロック〕

「ソフトバンク」対「ロッテ」	G／4.12
「ソフトバンク」対「広島」	G／5.31
「ソフトバンク」対「西武」	G／8. 2
「ソフトバンク」対「楽天」	G／8.30
「ソフトバンク」対「ロッテ」	G／3.28

※マルチ編成で試合開始から終了まで放送。

〔サッカー〕〔各県域〕

各県サッカー選手権大会決勝

福岡大会		G／ 8.25
熊本大会		G／ 8.25
長崎大会		G／ 8.25
鹿児島大会		G／ 8.25
宮崎大会	準決勝	G・E／ 8.24
	決勝	G／ 8.25
大分大会		G／ 4.13
佐賀大会		G／ 8.25
沖縄大会		G／ 8.25

Jリーグ（J2）・サッカー中継　〔各県域〕

「水戸ホーリーホック」対「ギラヴァンツ北九州」	北九州単	G／10.20
「ギラヴァンツ北九州」対「ザスパクサツ群馬」	北九州単	G／11. 3
「ギラヴァンツ北九州」対「京都サンガ」	北九州単	G／ 3. 2
「ロアッソ熊本」対「横浜FC」	熊本単	G／11.17
「ファジアーノ岡山」対「V･ファーレン長崎」	長崎単	G／ 4.14
「V･ファーレン長崎」対「徳島ヴォルティス」	長崎単	G／11.24
「V･ファーレン長崎」対「ザスパクサツ群馬」	長崎単	G／ 3. 2
「大分トリニータ」対「鹿島アントラーズ」	大分単	G／ 4.13
「アルビレックス新潟」対「大分トリニータ」	大分単	G／ 5.18
「大分トリニータ」対「セレッソ大阪」	大分単	G／10. 5
「大分トリニータ」対「川崎フロンターレ」	大分単	R1／11.30
「水戸ホーリーホック」対「大分トリニータ」	大分単	G／ 3. 2
「大分トリニータ」対「カマタマーレ讃岐」	大分単	G／ 3.16
「サガン鳥栖」対「横浜F・マリノス」		

佐賀単　G／ 5.25
「サガン鳥栖」対「徳島ヴォルティス」
佐賀単　G／ 3. 1

〔高校駅伝〕〔各県域〕
全国高校駅伝　各県予選
福岡県　R1／10.27
熊本県　R1／11. 2
長崎県　R1／11. 6
鹿児島県　R1／11. 1

〔bjリーグ〕〔各県域〕
「宮崎シャイニングサンズ」対「滋賀レイクスターズ」　宮崎単　G／ 4.14

〔その他〕
Wリーグ　−レギュラーシーズン−
「JX-ENEOS」対「三菱電機」
鹿児島単　E／11.16
実況生中継！元祖泥田バレーボール大会「25年おつかれ様スペシャル」　大分単　R1／ 6. 2

Ⅱ．技　術

１．大規模災害に備えた放送機能強化整備

南海トラフ地震などに備え，取材伝送機能の強化，局外天気カメラや伝送機器のハイビジョン化，非常用送信機・空中線整備，放送会館および放送所の電源強化などのハード面における機能強化を順次進めた。13年度，宮崎・遠見山FPU基地のハイビジョン化とヘリ追尾機能付加によりヘリ中継エリアを拡大した。送信設備被災や長期停電時の電波確保を目的とした非常用送信車両を整備した。

２．地域放送の充実と設備整備

福岡局では生字幕設備の整備作業を着実に進めてローカルニュース番組での生字幕放送を９月30日から開始した。

地域を舞台としたドラマを，福岡局，長崎局，大分局の３局で制作し，地元で暮らす人々の元気と情熱を発信する魅力ある番組制作を推進した。

長崎局では開局80周年を記念して，さだまさしさん出演の特集番組など，さまざまな番組を制作して長崎から全国へ情報発信した。

技術者が提案・制作するミニ番組では，熊本局で郷土の貴重な財産を幅広い世代に発信する『くまもとの石橋』，北九州各地域の歴史や遺産，自然など「ふるさと」の魅力を伝える北九州局『ふるさと探訪』，地元で情熱的に生きる“匠”たちを紹介する『宮崎 夢追い人』の制作に13年度も引き続き取り組んだ。大分局では特機として小型カメラを搭載した撮影船を知恵と工夫を生かして開発し，小川の様子をアメンボ目線で捉えた映像をリポートして反響を得た。

プロ野球などのスポーツ中継ではマルチ放送サービスを実施したほか，双方向データ放送を定期的に実施するなど，デジタル放送の機能を生かしたサービスを行った。佐賀県域番組『歌王さが』で告知スポットでの連動データ放送や独立コンテンツの提供，宮崎局『昼前ホットみやざき』で視聴者参加型の双方向連動データ放送を初展開するなど，新たな手法によるローカルサービスの充実に努めた。

ラジオ用AMの夜間難聴改善のため奄美群島の喜界島にFM波によるラジオ第１放送を行う中継局を14年３月３日に開局した。

新熊本放送会館建設は，16年度の運用開始を目指し準備を進めているが，13年度では設計者の選定および「基本設計」を完了した。

３．緊急報道・災害報道への対応

台風や豪雨，大雪などの災害報道，福岡市の整形外科で10人が死亡した医院火災や宜野座村米軍基地での米軍ヘリ墜落を含む事件・事故などの緊急報道に的確に対応するため，現場中継や伝送業務，特設ニュース送出，逆L字画面での情報送出を確実に行った。

尖閣諸島周辺における航空取材力の強化を図るため，石垣島に高性能なヘリ映像伝送受信設備を整備した。

４．新たな難視対策と混信対策

地上デジタル化に伴う九州・沖縄域内の新たな難視５万5,000世帯の恒久対策を順次進め，完全解消にめどをつけた。

季節フェージングで発生する外国波（韓国波）混信障害を回避するため，地上デジタル放送推進協議会のメンバーとして総務省九州総合通信局，在福民放と協力し妨害波の分析と対策計画の策定を行った。13年度は送信チャンネルの切り替え（改善リパック）を福岡県内，長崎県内各１局で実施した。14年度には改善リパックと補間置局それぞれ１局の対策を行い改善を図ることにした。

５．新サービスへの取り組み

８Kスーパーハイビジョンの地上放送の実現に向けた研究開発として放送技術研究所が実施する

熊本県人吉市での伝送実験に熊本局，福岡局が連携して取り組みを行った。

伝送実験の結果，人吉地上デジタル中継局のサービスエリアと同程度となる27km離れた地点でも８K信号が良好に受信できることが確認され，14年１月，８K長距離伝送実験成功を発表した。

６．視聴者サービスの向上

福岡局では技術職員が先生役を務めて小学校５年生を対象に「放送局の仕事」と題した講義と，中継車を使用して体験型授業を行う「中継車訪問授業」を計11校で開催，780人を超える小学生への番組制作業務に対する理解促進に取り組んだ。

域内各局でも小学校への「出前授業」や，のど自慢予選会での時差再生サービス，大学講座の講師派遣や学生の会館見学等での交流，会館公開でのカメラマン体験や中継車公開，ハイブリッドキャスト展示などを実施した。

Ⅲ．視聴者

１．広報

13年度，九州・沖縄の各局には，視聴者から電話などで11万5,403件の意見・要望が寄せられた。地域の皆さまからご意見を聞く「ふれあいミーティング」を計113回にわたって開催した。

〔福岡局〕

14年１月から放送の『大河ドラマ』「軍師官兵衛」の主人公・黒田官兵衛が福岡藩の礎を築いた人物であることから，期待に盛り上がる福岡の町を後押しする取り組みを積極的に行った。秋の会館公開では大河ドラマPR隊「官兵衛一座」の公演，官兵衛をマンガで紹介する冊子の配布，ドラマパネルや城の模型・兜（かぶと）の展示，ドラマ関係者の講演会などを行った。12年度誕生したマスコットキャラクター「ふっく」も引き続き活用。プロ野球や音楽ライブでのアトラクション，番組，会館公開などに出演した。また，10月放送の地域ドラマ『苦くて、甘い～希望の茶』PRのために，ロケ地八女市での取材会や会館公開での出演者トークショー，地元の祭りでの広報活動などを行った。

〔北九州局〕

13年度は，10月に北九州局のあるリバーウォーク北九州で，小倉の医師会や歯科医師，薬剤師会と共催で認知症をテーマにしたイベント「笑顔で向き合おう　認知症」を行った。

また，北九州局内のリバーサイドスタジオでは，７月に「北九州大水害を語り継ぐ講演会」，８月「高校生による水生生物のワークショップ」，12月に「軍師官兵衛トークショー」を企画するなど，「ギャラリーリバスタ」を年６回，「ライブリバスタ」を年８回行った。

局外では，「出前コンサート」を年４回，10月には北九州市卸売市場での「市場まつり」，11月には「築上町感謝祭」を実施するほか，３月には，ラッピングモノレール「ハレピョン号」の運行を開始し，地域サービスの充実に努めた。

〔熊本局〕

熊本局では，マスコットキャラクター「からしれんこんどーもくん」を活用し，年間を通じてさまざまなイベントで県民の皆さんにPR活動を行った。

４月の会館特別公開「つつじフェア」では，時折雨が降る中，２日間で6,500人を超える来場者があり，『大河ドラマ』「八重の桜」の撮影関連展示や番組でおなじみの出演者やキャラクターなどが登場し，子どもから大人まで幅広い年代層の人々に楽しんでいただいた。

毎月発行する広報誌「ひのくに通信」では，就職活動生向けに号外版を作成し，若者向けにも積極的な広報活動を展開した。

〔長崎局〕

13年度，長崎局は開局80周年にあたり，さまざまな広報展開を行った。地域ドラマ『私の父はチャンポンマン』を制作，12月に全国放送した際には，長崎市で制作発表会，ロケ地・雲仙市小浜では取材会や地元試写会を行った。また，２月には番組の再放送に合わせ，雲仙市小浜で脚本家トークショーを開催した。９月28，29日に行った「ふれあい広場2013」では，「80周年記念番組」の公開生放送に加え，「わんわんとあそぼうショー」や「キャスタートークショー」など，多彩なイベントで，子どもから大人まで楽しんでいただき，8,000人の入場者で大いに盛り上がった。その他，「ハートプラザコンサート」を年２回，１階ギャラリーでの展示会を13回，延べ141日実施するなど，地域に密着したサービスに努めた。

〔鹿児島局〕

13年度は「奄美群島本土復帰60年」「桜島大正大噴火100年」という節目の年であり，さまざまな活動を行った。「奄美群島本土復帰60年」では，奄美大島で「奄美音楽フェスティバル」を開催し，本土復帰までの道のりをトークと音楽で紹介した。また，「桜島大正大噴火100年」では，視聴者から桜島に関する思いや写真，絵画を募集し，

放送で紹介するほか，写真・絵画展示，音楽で桜島への思いをつづる「ふるさと桜島コンサート」を開催。600人を超える来場者でにぎわった。その他，毎年恒例となった「NHKふれあい広場2013」では，地元新聞社，商工会議所と相互協力し，２日間で２万2,000人の来場者を迎え，NHKのさまざまな番組や取り組みを紹介した。

〔宮崎局〕

10月26，27日の２日間にわたりNHK宮崎放送会館を一般に公開する「NHKふれあい広場2013」を開催した。館内で防災について学ぶコーナーや最新の放送技術の展示等を行うほか，13年度は屋外に特設ステージを設け，放送局ならではの地域放送番組の公開収録や公開生放送を行い，番組に親しんでいただくとともにNHKへの理解促進を図った。

データ放送やホームページでは，大雨や台風時に関連情報をきめ細かく伝えたほか，視聴者の要望に応え，データ放送で火山噴火や道路交通情報等の提供を行った。11月には，夕方のニュース番組『ニュースWAVE宮崎』でデータ放送の双方向クイズやアンケートを実施し，視聴者サービスの充実を図った。

〔大分局〕

14年『大河ドラマ』「軍師官兵衛」は，大分県がご当地となることから，関係する自治体がさまざまなイベントを実施，大分局では福岡局と共同で制作した「福岡・大分　大河ドラマ　軍師官兵衛」のホームページでイベントを紹介するとともに，一部イベントには大分局のマスコットキャラクター「かぼすどーもくん」を派遣するなど積極的に協力した。特に，中津市で12月に開催された「黒田サミット」は，主人公の黒田官兵衛とゆかりのある５市の関係者が集まるイベントで注目度も高く，幅広く大河ドラマをPRできることから，出演者の黒木瞳さんとチーフ・プロデューサーのトークショーや，劇団「官兵衛一座」の舞台公演を設定，イベントを盛り上げるとともにドラマの魅力を伝えた。

大分発地域ドラマ『そんじょそこら商店街』（3.12，22時～BSP）では，舞台である豊後高田市の昭和の町の人々に協力していただき，移動放送博物館や地域ドラマのパネル展を実施，地域に密着したPR活動を展開した。また，完成したドラマの地元試写会や出演者の奥田瑛二さんとドラマの演出（ディレクター）のトークショーを実施。マスコミや撮影に協力・出演していただいた地元の人を招き，ドラマをいち早く楽しんでいただいた。

〔佐賀局〕

佐賀県の13年連続肝がん死亡率全国ワースト１位という記録を受け，県民の肝臓病への認知度アップを目指し県や大学と連携して地域情報番組『ひるまえ情報便　シリーズ　ストップ！肝がん』などで肝臓病に関する情報を発信するとともに，『NHKのど自慢』（９月）や13年度で２回目を迎えた県内ケーブルテレビ局との共同企画イベント『歌王さが　カラオケのど自慢』（３月）など，さまざまな機会を捉えて肝炎ウィルス無料検査を行うなど「ストップ！肝がん」キャンペーンを広く展開した。10月開催の会館公開「NHK佐賀まつり」ではEテレの健康番組『チョイス』と連動し「ストップ！肝がん～佐賀県民のチョイス」を開催し，参加者への無料検査を呼びかけた。また，地元サッカーチーム「サガン鳥栖」の応援番組『開幕直前SP』（２月），『しゃべくりサガン三昧！！』（３月）などを試合中継に合わせて放送するとともに『オーレ！サガン鳥栖』（11月）の公開生放送を実施し，多くのファンが詰めかけ応援の気運を盛り上げるなど，NHKのステーションイメージを広くアピールした。

〔沖縄局〕

新しい夕方のニュース『おきなわHOT eye（ホットアイ）』のスタートに際し，番組ポスターやリーフレットなどを作成し，県内各自治体や経済団体，婦人会など多岐にわたって番組周知を行った。さらに，地域に密着した放送局を目指し，NHK沖縄局マスコットキャラクター「さぁたぁちゃん」が，子どもたちや各市町村の“ゆるキャラ”と一緒にダンスを踊る企画「Go！Go！さぁたぁ」を22か所で実施し，『おきなわ　HOT eye』でも放送した。そのほか，離島・南大東島のふれあいまつりや自治会の秋まつり，沖縄市での「610」キャラバン，沖縄国際映画祭など，地域の祭りで子どもから年配の方まで県民の皆さんとふれあう機会を持ち，幅広い層にNHK沖縄放送局のイメージアップを図った。

２．イベント事業

13年度，九州・沖縄地方では，公開番組をはじめ，地域企画イベント，食料や環境などのキャンペーン，会館公開，教育，こども，福祉，スポーツなど各種イベントを実施し，約112万人の視聴者とのふれあいを行った。

（１）全国・地域放送番組の公開

『NHKのど自慢』『BS日本のうた』『熱血！オ

ヤジバトル』などの全国放送公開番組や，『大相撲九州場所前夜祭』などの地域放送公開番組を九州・沖縄で42本実施し，約３万9,000人の参加者があった。

（２）地域企画イベント

「NHKおきなわ　ダン☆バト（沖縄局）」「ふるさと桜島～桜島大正大噴火100年コンサート」などの新規企画イベントを実施した。また，「NHK・美術館コンサート」（熊本局），「歌王さが」（佐賀局）なども継続実施した。

（３）教育・こどもイベント

「第62回九州地方放送教育研究大会」（11.1）を佐賀県有田町で開催し，九州・沖縄各県の幼稚園・保育園，小・中・高等学校の教師や教育関係者など539人が参加した。また，「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（宜野湾市・熊本市），「いないいないばあっ！あつまれ！ワンワンわんだーらんど」（佐世保市），「ポコポッテイト小劇場」を実施し，8,000人を超える参加者があった。その他，各局で「NHK放送体験クラブ」を実施し，九州・沖縄全体で140校7,800人余りの小学生・教師などが参加した。また，「NHK全国学校音楽コンクール」（小・中・高校），「NHK杯中学校・高等学校放送コンテスト」などの教育イベントを各局で実施した。

（４）スポーツ・福祉・キャンペーン

「第26回NHK旗福岡県選抜高校野球大会」，「NHKジュニアソフトボール教室」（長与町）を実施した。

福祉関連として「第８回NHK福岡ハートパーク」（10.19～11.24，福岡市），「NHKハート展」（福岡市，熊本市）などを実施した。また，「第12回NHK朗読と音楽の夕べ」（福岡市）を開催し，福祉イベントに42万人を超える参加者があった。

「ふるさとの食　にっぽんの食」「NHK環境キャンペーン」などキャンペーンイベントを実施した。

（５）その他

主な展覧会として「中国　王朝の至宝」展（7.9～9.16），「国宝大神社展」（1.15～3.9），「日本伝統工芸展」（2.11～2.16）（以上福岡局），「尊厳の芸術展」（6.1～30）（沖縄局）を実施し，18万人を超える来場者があった。

３．営　業

13年度は引き続き営業活動の生産性向上と契約収納体制の一層の強化に取り組み，より効率的・効果的な活動と活性化を促進し，契約総数・衛星契約の増加，世帯支払率の向上を図り，受信料収入の確保に努めた。

受信料の値下げによる影響が通年化することから，その影響を最小限に抑えるために，前倒しの活動を基本に取り組んだ。

契約収納体制を強化するために，法人委託への業務委託拡大を積極的に展開し，法人委託の受け持ち世帯が大幅に増加した。また，業界団体，ケーブルテレビ事業者等との連携を一層強化するなど多様な戦力を活用した。営業職員による事業所対策も積極的に行った。

また，『にっぽん再発見～私のとっておきの１枚』や福岡発・地域ドラマなどの放送番組や会館公開等のイベントを活用した810活動を積極的に展開した。

13年度の九州･沖縄地方における有料契約件数は431万2,260件となった。